Panasonic

留守番電話付
デジタルコードレスファクス
取扱説明書

品番 KX-PW301DL（ケイ エックス ピー ダブリュー ディー エル）

Eメール おたっくす

77セレクティ・おたっくすEメール・ナンバー・ディスプレイに関するお問い合わせは、3ページを参照ください。

本機について知りたい情報（Q&A）を取り出せます

取り出しかた　先にインクフィルムと記録紙をセットしてね（26～29ページ）

① フリーダイヤル（通話料金無料）**0120-365989** に電話をかける
② 音声案内に従ってダイヤルする
③ コード番号をダイヤルする
※お問い合わせコード表は260～261ページを参照ください

ファクスで情報が送られてきます

便利な操作ガイドがプリントできます

プリントのしかた

- 電話操作ガイド
- ファクス/コピーガイド
- 留守電操作ガイド
- 機能登録ガイド
- 電話帳ガイド
- スキャナー操作ガイド

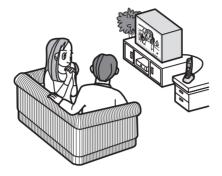
See pages 262 and 263 for English Guide.
（262～263ページに 英語説明が載っています。）

このたびは、デジタルコードレスファクスをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

電話コンセントのない部屋でもインターネットやBS／CSデジタル放送が楽しめる『ワイヤレスリンク』搭載（☞214ページ）

56Kデータ通信対応

●別売のPHSデータ通信用PCカードを使って56Kデータ通信ができます（☞221ページ）

子機で文字Eメールが送れる

●送信のみ　（☞158ページ）

ハンドスキャナーで雑誌などを簡単にコピーできる（☞112ページ）

お手持ちのfeelH"（フィールエッジ）、H"（エッジ）などDDIポケットの電話機が子機として使える『デジタルコードレス』対応（☞224ページ）

家ではコードレス子機

外では feelH" または H"

『目覚まし』機能

●子機のみ　（☞138ページ）

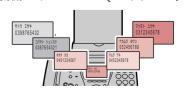
お好きなメロディを呼出音にできる『えらんでメロディ和音』対応（☞146ページ）

外出先から、ドアホンに応対できる『ドアホンワープ』機能（☞236ページ）

停電時も通話できる

●親機のみ　（☞249ページ）

7色バックライトつき液晶

●親機のみ　（☞50ページ）

商標・登録商標について

- Microsoft, Windows, PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe, AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
- その他記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は各会社の商標または登録商標です。

便利な電話サービス

0077 SELECTY（77セレクティ）

- おトクな市外回線を自動で選ぶ　☞146ページ
- ヒット曲を呼出メロディとして使える えらんでメロディ 和音 ☞146ページ
（KDDIが提供する機能です）

お問い合わせ先：　KDDI　カスタマサービスセンター
フリーコール **0077ー772（通話料金無料）**
受付時間　9：00〜21：00（土・日・祝も受付）

おたっくすEメール

Eメール

- おたっくすからEメールが送れる　☞150ページ

KDDIの77セレクティの利用と、九州松下電器株式会社との「おたっくす情報サービス」の契約（有料）が必要です。
ご利用料金は、KDDI株式会社から請求されます。

お問い合わせ先：　通信サービスサポートセンター
☎ **（092）832ー3322（通話料金有料）**
受付時間　9：00〜12：00・13：00〜17：00（月曜〜金曜）
定休日　土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏期休暇など
九州松下電器株式会社の休日
Eメール　p110@fem.dion.ne.jp（365日／24時間）

- お問い合わせのEメールには、お客様のお名前と連絡先電話番号および、機種品番を明記してください。

ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ

- かけてきた相手の電話番号が本機のディスプレイに表示される
（NTT※との契約が必要です）　☞190ページ

お問い合わせ先：　ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター
0120ー848521（通話料金無料）
受付時間　9：00〜17：00（月曜〜土曜）
または　NTT窓口
☎ **116（通話料金無料）**
受付時間　9：00〜17：00（土・日・祝も受付）
定休日　12月29日〜1月3日

モデムダイヤルインサービス

- 1つの電話回線で2つの電話番号が持てる　☞210ページ
（NTT※との契約が必要です）

お問い合わせ先：　NTT窓口
☎ **116（通話料金無料）**
受付時間　9：00〜17：00（土・日・祝も受付）
定休日　12月29日〜1月3日

※ NTT：NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ

上記のサービスは2001年 5月現在のものです。 サービスの内容は予告なく変更および終了することがあります。

マイライン・マイラインプラスに関するお知らせ

77セレクティ、おたっくすEメールをご利用時の料金請求について

■ 平成13年5月1日より電話会社選択サービス「マイライン」、電話会社固定サービス「マイラインプラス」が開始されています。(「マイライン」「マイラインプラス」は、NTT東日本・NTT西日本のサービスです。)

■ 本機には、KDDI株式会社（以下KDDIと記載）の市外回線を自動で選ぶ「77セレクティ」と「えらんでメロディ」、「おたっくすEメール」をご利用いただける機能を搭載しております。

●これらの機能をご利用された場合、KDDIよりご利用料金の請求が行われます。

※詳しくは、右記「お客様に料金請求を行う電話会社」をご確認ください。

●電話会社選択サービス「マイライン」：

あらかじめご利用になる電話会社を決め、登録しておくサービスです。通話ごとに登録した電話会社と違う電話会社を選んで、電話をかけることもできます。この場合、電話会社の識別番号（NTTコミュニケーションズなら0033）を最初にダイヤルする必要があります。

●電話会社固定サービス「マイラインプラス」：

いつでも同じ電話会社をご利用になりたい場合、あらかじめ電話会社を決め、登録しておくサービスです。
この場合、登録された電話会社のみのご利用となります。

各機能については、77セレクティ（☞142ページ）/えらんでメロディ（☞146ページ）/おたっくすEメール（☞150ページ）をご覧ください。

■お客様に料金請求を行う電話会社（下表内太線枠部についてはKDDIより料金請求があります。）

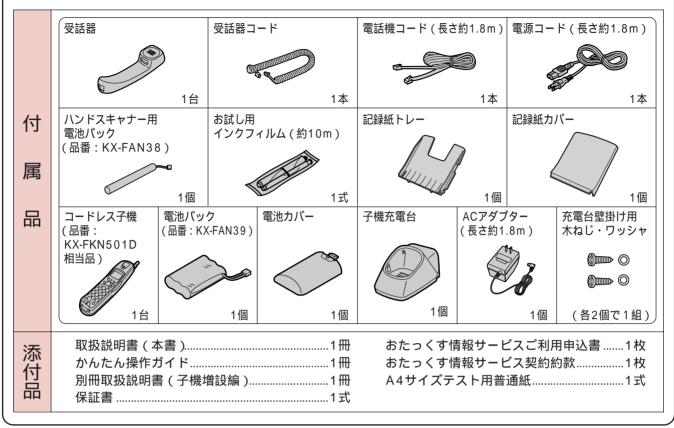
	77セレクティをご利用される方 0077 SELECTY ○：緑色点灯時					77セレクティをご利用されない方 0077 SELECTY ○：消灯時				
	電話			おたっくすEメール	えらんでメロディ	電話			おたっくすEメール	えらんでメロディ
	市内	市外（県内､県外）	国際			市内	市外（県内､県外）	国際		
マイライン	マイラインにて登録された電話会社	注1）**KDDI** または マイラインにて登録された電話会社	マイラインにて登録された電話会社	**KDDI**	**KDDI**	マイラインにて登録された電話会社			注2）おたっくすEメールはご利用できません	注2）えらんでメロディはご利用できません
マイラインプラス	マイラインプラスにて登録された電話会社			**KDDI**	**KDDI**	マイラインプラスにて登録された電話会社				

※注1） KDDIとNTTの通常通話料金を比較して安い方の市外回線を自動選択します。
（NTT以外の電話会社をマイラインで登録されている場合は、その電話会社との比較は行いません。）
・KDDIが選択された場合 ：通話料金は「KDDI」より請求されます。
・NTTが選択された場合 ：通話料金は「マイラインにて登録された電話会社」より請求されます。
※注2） おたっくすEメール/えらんでメロディのご利用には、77セレクティのご利用（無料）が必要です。
また、おたっくすEメールのご利用には別途、九州松下電器株式会社との契約（有料）が必要です。

お知らせ

- **「77セレクティ」をご利用のお客様で、マイラインプラスの市外通話区分（県内・県外）をKDDI以外で登録されている場合、市外電話をかけると「ピ、ピ、ピ」という短い発信音が聞こえ、相手先につながります。これは、マイラインプラスによりKDDI以外の電話会社を選んでいることをお知らせする音で、故障ではありません。**
（「77セレクティ」を解除されますと音が鳴らなくなりますが、この場合「えらんでメロディ」や「おたっくすEメール」はご利用になれません。）
- **「77セレクティ」をご利用の場合、ワイヤレスリンクで接続した情報通信機器からのダイヤル時には、「77セレクティ」がはたらきません。**（ワイヤレスリンクは、KX-PW301DLのみの機能です。）

ご使用の前に

付属品・添付品を確認してください。
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

ご使用にあたってのお願い

- 設置を行う前に「安全上のご注意」「正しくお使いいただくためのお願い」をお読みください。（☞12～17ページ）
- このファクスは電話機コードを接続し、電源コードをつなぐと約1時間後に、KDDIのおトクな0077市外電話を選択する「77セレクティ」が自動的に設定されます。（登録料、基本料は無料です。）利用されない場合は（☞31ページ）
- 設置は「かんたん設置ガイド」または取扱説明書の「準備」（☞26～53ページ）に従って行ってください。
- ご使用中に動作がおかしくなったときは、「故障かなと思ったとき」「こんな表示が出たら」に従って処置してください。（☞238～245ページ）直らないときは、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へご連絡ください。
- 本機をご使用になるにあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡された日から**「機器使用料」は不要**となります。詳しくは、**局番なしの116番**（通話料金無料）へお問い合わせください。（現在お客様所有の電話機をご使用の場合、NTTへの連絡は不要です。）
- **取扱説明書中の お願い 項目には、操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。**
- 取扱説明書中の お知らせ 項目は、アドバイスとして記載しています。
- **本機のメモリーに受信（記憶）したファクスや登録した内容（電話帳など）で重要なものは、必ずプリントしてください。**（メモリー代行受信 ☞86ページ、電話帳のプリント ☞128ページ）
  ➡使用誤りや静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、また故障・修理や使用中に電源が切れたときは、メモリーに記憶した内容が変化・消失する場合があります。
  上記要因などにより、本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

なまえや機能の名称からページを探すときは「さくいん」が便利です。
(☞271～273ページ)

ご使用の前に

困ったとき

電話

コピー（親機）

もくじ

ファクス

留守番電話

ハンドスキャナー

もっと便利に

77セレクティ

おたっくすEメール

ナンバー・ディスプレイ

モデムダイヤルイン

ワイヤレスリンク

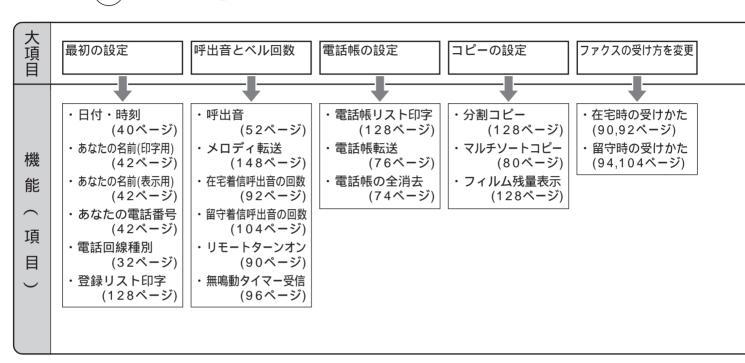
増設子機／ドアホン

もくじ

本機では、下記の機能設定ができます。
各機能の内容と設定のしかたは、各参照ページをお読みください。

一般設定

1 機能 押し、◁▷ 押して機能の「大項目」を選ぶ

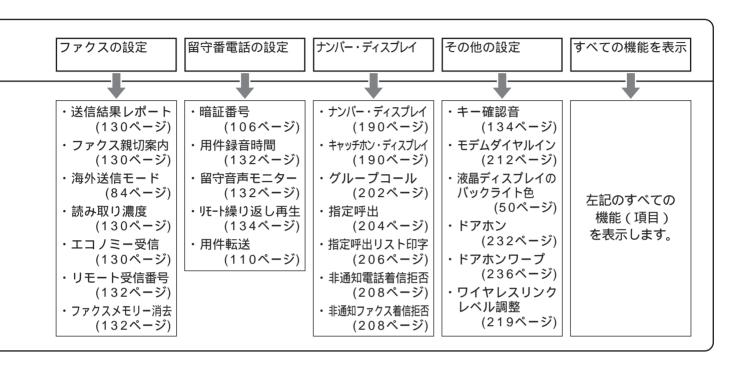
2 スタート/コピー 押し、◁▷ 押して変更・登録したい「機能（項目）」を選ぶ

おたっくすEメールの設定

1 機能 押し、Eメール 押す

2 ◁▷ 押して変更・登録したい「機能（項目）」を選ぶ

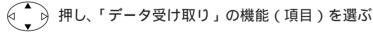
機能（項目）

77セレクティの設定

1 機能 押し、0077 SELECTY 押す

2 ■「77セレクティの設定」を変更する場合

利用をやめるときは ＃ 押す

再び利用するときは ＊ 押す

■「データ受け取り」の場合

機能（項目）	
	・77セレクティの設定（144ページ） ・データ受け取り（144ページ）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

■専用の充電台とACアダプターを使用して、指定の電池パックを充電する

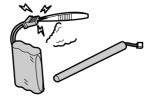
液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■電池パックを分解・改造しない

分解禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■電池パックの ⊕ ⊖ 端子を金属などで接触させない

禁　止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■子機専用／ハンドスキャナー専用の電池パック（付属品）をこれらの機器以外に使わない

禁　止

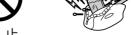
液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■電池パックを火の中に捨てたり、加熱しない

禁　止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■電池パックをネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

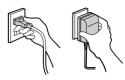
禁　止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠警告

■電源プラグやACアダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグやACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは使用を中止する

火災・感電の原因になります。

● 電源プラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持つ

感電の原因になります。

■絶対に分解や修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

● 修理は販売店へご相談ください。

■ぬらさない

水ぬれ禁止

発火・感電の原因になります。

● ぬらした場合は、電源プラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

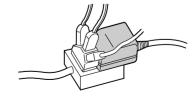
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

禁　止

傷んだまま使用すると、感電やショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

■医用電気機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU*などには持ち込まない）

禁　止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
＊CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでの設置や使用をしない

禁　止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ぬれた手で電源プラグやACアダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■内部に金属物を入れない

禁　止

火災・感電の原因になります。

■子機およびハンドスキャナーには指定の電池パック以外は使用しない

禁　止

発火・感電の原因になります。

■心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■近くに水などの入った容器（花びん、コップなど)を置かない

禁　止

こぼれた場合、火災・感電の原因になります。

● ぬらした場合は、電源プラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■雷が鳴ったら親機や電源プラグ・ACアダプター・電話機コードに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■電池パックが液もれしたら使用しない

禁　止

目に入ったり、皮膚に触れたりすると、障害の原因になります。

● 誤って目に入ったり、皮膚などについた場合は、すぐにきれいな水で十分に洗浄し、異常があるときは直ちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

■水平でない場所や振動の激しい場所では使用しない

落下により破損・けがの原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

火災・感電の原因になることがあります。

■ハンドスキャナーは落としたり、ぶつけたりしない

落下によりガラスが割れてけがの原因になることがあります。

■お手入れするときは電源プラグやACアダプターをコンセントから抜く

感電の原因になることがあります。

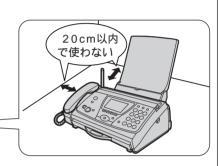
■子機を壁にかけて使用するときは充電台を確実に取り付ける

落下により、けがの原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

設置場所および設置環境について

- **火気や熱器具に近づけないでください。** ➡ 変形や故障の原因になります。
- **夏季の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くに置かないでください。**
  ➡ 35°C以上、5°C以下は、誤動作・変形・故障の原因になります。
- **寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、設置場所の温度になじむまでしばらく放置したあと使用（接続）してください。**
  ➡ 結露が発生して、故障や誤動作の原因になります。
- **親機の原稿排出口やハンドスキャナーの原稿読取部に光が直接あたるところには置かないでください。**
  ➡ コピーや送信の画質が悪くなります。

- **じゅうたんなどの上に置かないでください。**
  ➡ 通風孔をふさぎ、本体の発熱やじゅうたんの変色の原因になります。
- **ピアノなどの上に置かないでください。**
  ➡ キズがついたり、木材などの材質によっては本体の熱により、ひびわれや変色の原因になります。
- **壁から20cm以内のところでは使用しないでください。**
  ➡ 本体の発熱により、誤動作の原因になります。

コードレス子機の使用範囲・親機／コードレス子機の使用場所について

- **見通し距離、約100m以内でお話しください。**
- **次のような場所／状況では、雑音が入ったり、通話が途切れることがあります。**
  - 見通し距離で、親機から約100m以上離れたところ（周囲の環境によって、短くなります。）
  - 金属製のドア、コンクリート壁のあるところ
  - 電気製品（電子レンジ、テレビ、ワープロ、携帯電話など）の近く（約2m以内）

  ➡ 場所を移動してください

  - 動きながら子機で通話したとき（使用場所により、電波が弱いところがあります。）

  ➡ 雑音が少ない場所で通話してください

  - 車やオートバイが通ったとき
  - 蛍光灯を「入」「切」したとき
  - 近所でもコードレス電話を使っているとき

  ➡ 故障ではありません しばらくお待ちください
- **次のような場合、子機が使えないことがあります。**
  - 親機を電気製品（電子レンジ、テレビ、ワープロ、携帯電話など）の近く（約2m以内）に設置しているとき

  ➡ 親機の設置場所を変えてください

コードレス子機の傍受について

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使っての通話は、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機を使用されることをお勧めします。

● **傍受（ぼうじゅ）とは、**無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

ファクス送信について

● **本機の原稿読取部が汚れると、送信した相手の受信用紙に白や黒い線が入ることがあります。**
➡定期的（月に1回程度）にコピーをとって、確認することをお勧めします。（☞78ページ）
記録紙に白や黒い線が入るときは、お手入れしてください。（☞254～257ページ）

● **電話回線などの影響によって、文字や画像が乱れることがあります。**
➡重要書類などは、送信した相手に確認することをお勧めします。

ワイヤレスリンクについて

● **BSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーをマンションなど、共聴アンテナで使用するとき**
➡本機の電波がアンテナ伝送路への混入を防ぐため、分波器や分配器、接続ケーブルはシールド性の高い衛星放送対応のものをお使いください。
（例）・衛星放送対応の分波器や分配器などの機器を使用する。
・衛星専用の5C-FBタイプの接続ケーブルを使用する。
・衛星専用ケーブル対応F型接栓の接続ケーブルのコネクターを使用する。

● **接続する情報通信機器について**
➡接続できる情報通信機器は、パソコン（モデムが内蔵されているか、外付け対応のもの）やBSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーです。
（子機の充電台に接続するときは、子機から約1m以上離してください）
➡接続する情報通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
➡ISDNターミナルアダプターや構内交換機（PBX）、電話回線自動選択用アダプターに接続した場合、正しく動作しないことがあります。

● **ワイヤレスリンクの環境について**
➡子機の充電台に接続して使う場合は、子機を充電台から外したり、子機に触れないでください。
（子機を充電台から外すと、データ通信が切断されます）
➡無線を使用してデータ通信をやりとりしているので、使用環境によってはデータエラーが発生することがあります。（子機のアンテナマーク（Yıll）が安定して3本以上立って入る場所に設置してください）
➡親機に2台以上の子機を接続した場合、1台の子機がワイヤレスリンク機能を使用していると、別の子機は使えません。（アンテナ表示が消えます）

● **その他**
➡充電台のデータ通信用モジュラージャックには、NTTの電話回線を挿入しないでください。
➡親機や子機が使用中はワイヤレスリンク機能が使えません。
➡ドアホン接続をしている場合、ワイヤレスリンク通信中にドアホンの呼び出しがあると親機に「ドアホン1呼出中」などの表示が出て、親機でのみ通話できます。
➡キャッチホンやキャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、ワイヤレスリンク通信中に別の電話がかかってくると、通信が切れることがあります。

※上記に記載の条件を満たしている場合でも、電波の状態や情報通信機器の条件などにより、通信できないこともあります。

● **本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。**
● **本機を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理の依頼をしてください。**
● **この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。**
● **停電時は、ハンドスキャナーの電池を利用して、親機の受話器を使って電話をかけたり、受けたりすることができます。その他の機能や子機については、停電中は使えません。ハンドスキャナーの電池がなくなると使えなくなります。そのときは、停電でも使える電話機につなぎ替えてください。（☞249ページ）**

各部のなまえとはたらき

親機

（正面／右側面）

アンテナ
必ず立てる

原稿ガイド（左右各1個）
原稿の幅に合わせる
（原稿が斜めになるのを防ぐ）

受話器

原稿挿入口

液晶ディスプレイ
（☞19ページ）

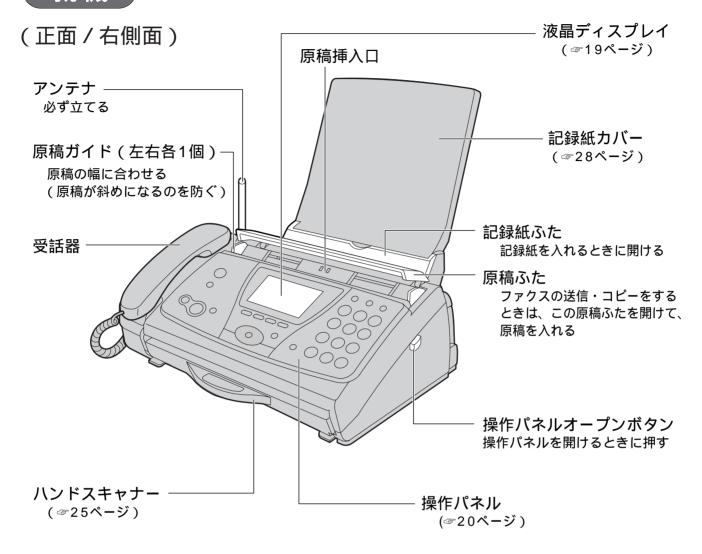
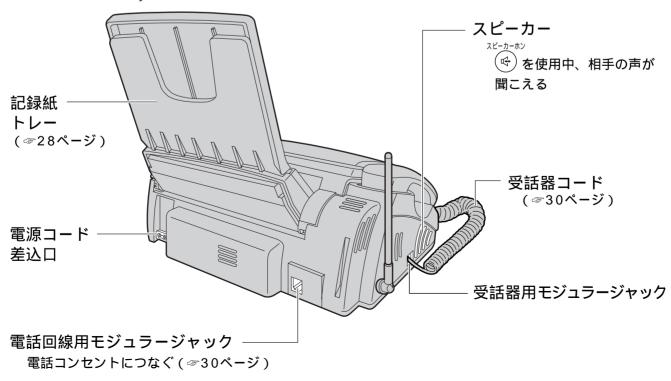
記録紙カバー
（☞28ページ）

記録紙ふた
記録紙を入れるときに開ける

原稿ふた
ファクスの送信・コピーをするときは、この原稿ふたを開けて、原稿を入れる

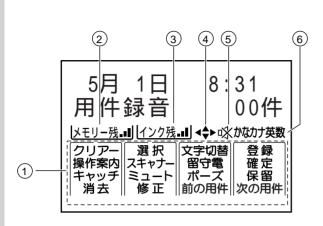
操作パネルオープンボタン
操作パネルを開けるときに押す

ハンドスキャナー
（☞25ページ）

操作パネル
（☞20ページ）

（背面／左側面）

（液晶ディスプレイ）

暗いところでも見えるバックライト付き（操作内容によって、バックライトの色が変わります。☞50ページ）

上記はすべての表示を記載しています。
（実際の状態とは異なります）

① ……………操作手順に合わせて必要な機能だけを表示（☞20ページ）

② メモリー残 ……親機のメモリー残量のめやすを表示
- メモリー残量が減ると、が減っていく
（☞下記「メモリー容量について」）

③ インク残 ……インクフィルム残量のめやすを表示
- インクフィルム残量が減ると、が減っていく
- **表示させるには、設定が必要です。**
（☞128ページ）

インクフィルム残量表示	(表示なし)	▮	▮▮	▮▮▮
残量のめやす	0	20枚以下	100枚以下	150枚以下

● **別売品の長さ50mのインクフィルムを使うときのみ、インクフィルム残量のめやすを表示します。付属のお試し用インクフィルム（約10m）は、インクフィルムの長さが短いため、正しく表示されません。**

④ ◀▲▼▶ ………マルチファンクションキー（☞21ページ）の押すことができる位置を表示

⑤ ………呼出音が「切」のとき表示（☞50ページ）

⑥ かなカナ英数 ………電話帳などの文字入力時に現在の入力モードを表示（☞44ページ）

メモリー容量について

メモリーとは、情報などを蓄積する記憶装置のことです。
親機のメモリーには、**「音声情報」**と**「画像情報」**を記憶・保存します。

■ **音声情報とは**
- 用件録音(☞98ページ)
- 通話録音(☞64ページ)
- 自作応答メッセージ(☞102ページ)

■ **画像情報とは**
- メモリー代行受信したファクス（☞86ページ）
- マルチソートコピーでの読み込み原稿（☞80ページ）

メモリー容量のめやす

音声情報	**音声情報のみの場合、** 最大約18分まで録音できます ● **画像情報を保存しているとき** ➡約18分より短くなります
画像情報※	**画像情報のみの場合、** 最大約42枚まで保存できます ● **音声情報を保存しているとき** ➡約42枚より少なくなります

メモリー残量のめやす

メモリー残量表示	(表示なし)	▮	▮▮	▮▮▮
音声情報	0	6分以下	6〜12分	12〜18分
画像情報※	0	16枚以下	32枚以下	42枚以下

●次の場合はメモリー残量がなくなり、「音声情報」や「画像情報」が記憶・保存できません。
- 録音件数が50件になったとき
- ファクスを42枚受信したとき

※「画像情報」の数値（枚数）は、A4サイズ700字程度の標準原稿（☞269ページ）で算出しています。
写真原稿や文字の多い原稿の場合は、保存できる枚数が上記より極端に少なくなることがあります。
（例）A4サイズの新聞を画質「ふつう」で受信したとき ➡ 約6枚

各部のなまえとはたらき

（操作パネル）

F1 F2 F3 F4 の使いかた

「操作案内」、「スキャナー」、「留守電」などを操作するときは、すぐ下にある F1 F2 F3 F4 を押してください。

本書では、これらのボタンを 操作案内 F1 スキャナー F2 留守電 F3 のように表しています。

お知らせ

- 「操作案内」「スキャナー」「留守電」などの表示は、操作手順によって変わります。

液晶ディスプレイ（☞19ページ）

Panasonic
KX-PW301DL-S

留守
聞き直し/通話録音　マイク
ストップ　スタート/コピー　画質
操作案内　スキャナー　留守電
F1　F2　F3　F4
子機　スピーカーホン
再ダイヤル　機能　電話帳
音量/変換

留守	● 留守番電話に設定する（☞98ページ）
聞き直し/通話録音	● 用件を聞き直す(☞101ページ) ● 通話を録音するとき使う（☞64ページ）
マイク	● 受話器を取らずに通話するとき使う（☞54ページ）
スタート/コピー	● コピーやファクスの送信・受信を開始する(☞78、82ページ)
ストップ	● 操作や登録を終わるときや、途中でやめるときに使う ● 液晶ディスプレイ消灯時にバックライトを点灯させる
画質	● ファクス送信やコピーするとき、原稿の画質を選ぶ（☞78、83ページ） ● 文字を入力するとき、文字の間にスペースを入れる（☞45ページ）

（マルチファンクションキー）の使いかた

本書では、マルチファンクションキーの押しかたを下記のイラストで表しています。

左を押す	右を押す
上を押す	下を押す
上または下を押す	左または右を押す

の見かた

マルチファンクションキーの押すことができる位置を表しています。

上が使える

下が使える

上または下が使える

右が使える

左が使える

左または右が使える

●ナンバー・ディスプレイサービスで着信した電話番号を見るとき使う (☞194ページ)

●おたっくすEメールを利用するとき使う (☞150ページ)

●77セレクティを利用するとき使う (☞142ページ)

ダイヤルボタン（点灯しません）

（トーンボタン）
●ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき使う(☞64ページ)

（シャープボタン）

●受話器を取らずに通話する（☞54ページ）

●子機を呼び出す(☞58ページ)

●電話帳を使う (☞70ページ)

●同じ相手にもう一度かける (☞56ページ)

●音量を調節する (☞50ページ)
●漢字に変換する (☞44ページ)

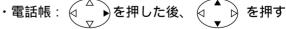
●機能登録を始めるときに使う (☞122ページ)

（登録内容の見かた）

・**電話帳：** を押した後、を押す

・**再ダイヤル：** を押した後、 を押す

・**機能：** を押した後、を押す

・**着信メモリー：** 着信メモリー を押した後、 を押す

各部のなまえとはたらき

子機

（液晶ディスプレイ）

暗いところでも見えるバックライト付き

①　②　③　④

子機1

5/ 1(火)14:59

機能　着信メモリー　留守

⑤ ⑥ ⑦

上記はすべての表示を記載しています。
（実際の状態とは異なります）

① アンテナマーク
親機からの電波の強さを表示

強い（通話に適している）
電波の状態
弱い（通話が切れることがある）
（表示しない）　電波が届いていない
（通話できない）

② 使えるマルチファンクションキー
（☞23ページ）の押す位置を表示

③ 呼出音が「切」のとき表示
（☞50ページ）

④ 電池残量を表示（☞37ページ）

⑤子機1 待受時に子機番号を表示

⑥ **表示させるには、設定が必要です。**
（☞40ページ）

⑦ 操作手順に合わせて必要な機能だけを
表示（☞23ページ）

（背面）

（操作パネル）

音量 再ダイヤル 電話帳（マルチファンクションキー）の使いかた

本書では、マルチファンクションキーの押しかたを下記のイラストで表しています。

左を押す	右を押す
上を押す	下を押す
上または下を押す	左または右を押す

電話帳
- 電話帳を使う（☞70ページ）

再ダイヤル
- 同じ相手にもう一度かける（☞56ページ）

音量
- 音量を調節する（☞51ページ）
- 漢字に変換する（☞44ページ）

（登録内容の見かた）

- **電話帳：** を押した後、を押す
- **再ダイヤル：** を押した後、を押す

ダイヤルボタン（点灯しません）

（トーンボタン）
- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき使う（☞64ページ）

（シャープボタン）

ファクス
- ファクスを受ける（☞90ページ）
- 文字を入力するとき、文字の間にスペースを入れる（☞45ページ）

スピーカーホン
- 子機を持たずに通話する（☞54ページ）

充電（充電ランプ）

充電中……………赤色点灯
充電完了時………消灯

液晶ディスプレイ（☞22ページ）

アンテナ（固定式）

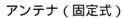
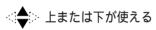
受話口

送話口

話すとき、手でふさがないでください

の見かた

マルチファンクションキーの押すことができる位置を表しています。

上が使える　下が使える
上または下が使える
左が使える　右が使える
左または右が使える

F1 F2 F3 の使いかた

「機能」「着信メモリー」「留守」などを操作するときは、すぐ下にある F1 F2 F3 を押してください。
本書では、これらのボタンを 機能 F1 着信メモリー F2 留守 F3 のように表しています。

お知らせ
- 「機能」「着信メモリー」「留守」などの表示は、操作手順によって変わります。

外線
- 電話をかける、受ける（☞54、60ページ）

内線
- 親機を呼び出す（☞58ページ）

切 電源
- 通話を終了する
- 操作や登録を終わるときや、途中でやめるときに使う
- 約2秒以上押すと、電源が入る/切れる

増設
- 子機を増設するとき使う

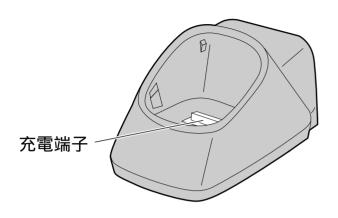
各部のなまえとはたらき

子機充電台

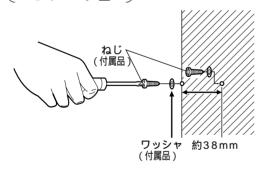
（右側面）

（背面）

データ通信用モジュラージャック
パソコンやBSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーのモジュラーコードを接続する

ACアダプター差込口

充電台を壁（柱）に掛けるには

1 木ねじとワッシャを壁(柱)に取り付ける

壁掛寸法のめやす
☞このページ左

2 充電台を木ねじに掛ける

3 子機を置く

●**必ず電池パックを入れて充電してください**
(☞36ページ)

壁掛寸法のめやす

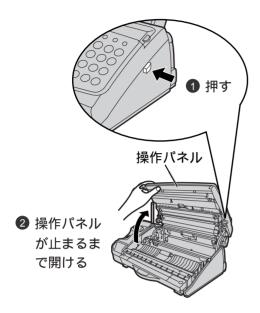
約38mm

ハンドスキャナー

（底面）
ローラー
原稿読取部
電池パック収納部
電池カバー
（正面／右側面）
接続端子
●ハンドスキャナーの取り外しかた（☞38ページ）
（操作パネル）
電池ランプ
電池容量を表す
（☞38ページ）
メモリーランプ
記憶されている容量を表す
（☞114ページ）
電池
動作中
メモリー
文字
写真
A4
B4
消去
画質
読取幅
2秒間押す
スタート/ストップ
●読み取りを開始または停止するとき押す
●読み取る原稿のサイズによって、切り替える（☞113ページ）
●読み取る原稿が文字か写真かによって、切り替える（☞112ページ）
●最後のページを消去するとき2秒間押す（☞120ページ）
動作中ランプ
動作状態を表す
（☞114ページ）

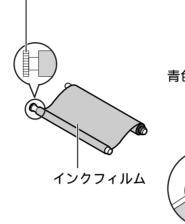
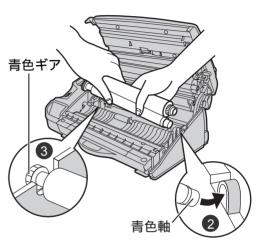
準備

インクフィルムを取り付ける

1 操作パネルを開ける

2 インクフィルムを取り付ける

❶ 青色ギアが手前左へくるようにする

❷ **青色軸を手前右側の穴に差し込む**

❸ **青色ギアを手前左側の溝に取り付ける**

インクフィルムを交換する

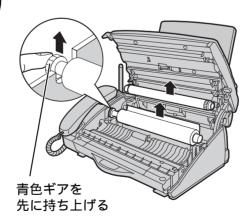
1 操作パネルを開ける

❶ 押す

操作パネル

❷ 操作パネルが止まるまで開ける

2 使用済みのインクフィルムと軸を取り出す

青色ギアを
先に持ち上げる

3 新しいインクフィルムを取り付ける

➡ 上記手順2～3を参照

■インクフィルム残量表示を設定しているとき（☞128ページ）

操作パネルを閉めて

インクフィルム交 換 しましたか はい=＊ いいえ=#

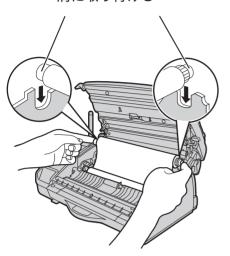
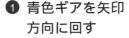
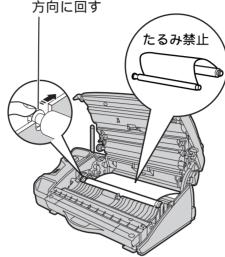
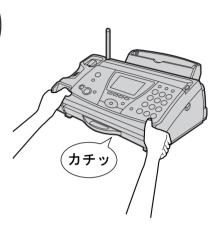
が表示されたら、

＊ を押す

➡インクフィルムの残量が「インク残▁▂▃」になる

3 たるみを取り除き、操作パネルを閉める

❹ **白色軸を奥の左右の溝に取り付ける**

❶ **青色ギアを矢印方向に回す**

❷ **両端を押さえて「カチッ」と音がするまで確実に閉める**

インクフィルムについてのお願い

- **インクフィルムは、別売品の品番：KX-FAN141をお買い求めください。**
  KX-FAN140は本機にはお使いいただけません。
  ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- 別売品以外のインクフィルムを使うと、記録品質への悪影響や動作上の不具合、製品の故障の原因となります。

お知らせ

- **本機に付属のインクフィルムは、お試し用で長さ約10m（A4サイズで約30枚）です。別売品は、長さ約50m（A4サイズで約150枚）です。コピーやファクス受信の場合、数行の印字でも１回に約33cmのインクフィルムを使用します。**
- 別売品の長さ50mのインクフィルムを使うときのみ、インクフィルム残量のめやすを表示します。
  表示させるには、設定が必要です。（☞128ページ）
  付属のお試し用インクフィルム（約10m）はインクフィルムの長さが短いため、正しく表示されません。

インクフィルムの廃棄について

- **廃棄の際には、はさみで切るなどして、情報の保護にお気をつけください。**
  インクフィルムには、プリントした内容が白抜きで残ります。
- **インクフィルムは使い捨てです。ご使用済みのインクフィルムは「プラスチック製品」として地域条例に基づいて廃棄してください。**

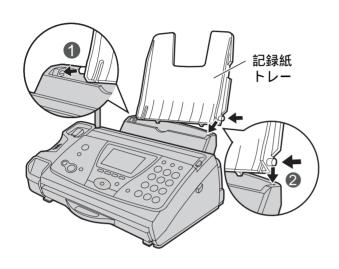
記録紙をセットする

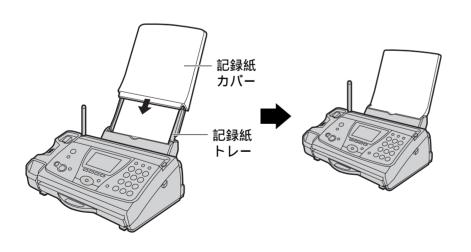
記録紙トレーに、**A4サイズ**の**普通紙**をセットしてください。（サイズや種類の異なる記録紙は使用できません。）
セットできる枚数は**最大30枚**です。

1 記録紙トレーを取り付ける

❶ **記録紙トレーの左側の凸部を穴へ入れる**
❷ **記録紙トレーの右側を押しながら右側の凸部を穴に入れる**

2 記録紙をセットする

❶ **記録紙ふたを手前に引き、固定するところまで開ける**

3 記録紙カバーを取り付ける

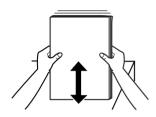
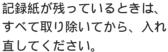
記録紙カバーを記録紙トレーに上からスライドして取り付ける

記録紙を追加するときなど、
記録紙カバーを外すときは

記録紙カバーを上へスライドして矢印方向に引き抜く

❷ **記録紙（A4普通紙）をさばき、まっすぐにそろえる**

❸ **記録紙をセットする（最大30枚まで）**

●記録紙が残っているときは、すべて取り除いてから、入れ直してください。

❹ **記録紙ふたを元に戻す**

記録紙についてのお願い

● **本機でプリントした記録紙の印字面を下にして、上から文字を書かないでください。**
➡ 印字面のインクが下のテーブルや紙に写ります。

● **本機では記録紙の両面にプリントできません。**
➡ 印刷する部分にインクが付着し、汚れの原因になります。

使用する記録紙（普通紙）について

●記録紙はA4サイズのコピー用紙（64～75g/m²）をご利用ください。**（サイズの異なる普通紙は使用できません。）**

●文字かすれなど記録品質への悪影響や、動作上の不具合などを防止するために、下記の別売品の記録紙をおすすめします。
ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

[別売品]
品　名：普通紙ファクス用記録紙
サイズ：A4カット紙・1包(250枚入り)
品　番：KX-FAN150A4

お知らせ

● 「記録紙づまり　U12 紙を取り除いてください」が表示されたときは、
詰まった記録紙を取り除いてください。
(詳しくは、☞252ページ)

紙づまりを防止するために

●厚さの異なる記録紙を同時にセットしないでください。

●下記のような記録紙は使わないでください。
- 破れているもの
- 広告などの裏面
- 折り目、しわのあるもの
- カールして（丸く反って）いるもの
- 本機で一度片面プリントしたもの

●記録紙を追加するときは、残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてさばいたあと、まっすぐそろえてセットしてください。

●プリント中は、記録紙を追加しないでください。

●本機では記録紙の両面にプリントできません。本機で片面プリントした記録紙を、裏紙として、他のコピー機やプリンターで使わないでください。
➡他の機器の紙づまりの原因になります。

●記録紙カバーを外したままにしないでください。
➡ほこりが付き、紙づまりなどの原因になります。

準　備

親機を接続する／77セレクティを利用するかを選ぶ

本機は、電話機コードを接続し、電源コードをつなぐと約1時間後に、KDDIの0077市外電話を選択したり、えらんでメロディ（呼出メロディ）を取り込んだりするKDDI が提供する「77セレクティ」（☞142ページ）**が自動的に設定されます。**（登録料、基本料は無料です。）

● 「おたっくす情報サービス」（おたっくすEメール）を利用するには、77セレクティの利用が必要です。

1　アンテナを立てる

2　受話器コードをつなぐ
「カチッ」と音がするまで差し込む

3　電話機コード（付属品）をつなぐ

■NTTのISDN回線に接続するとき（☞33ページ）

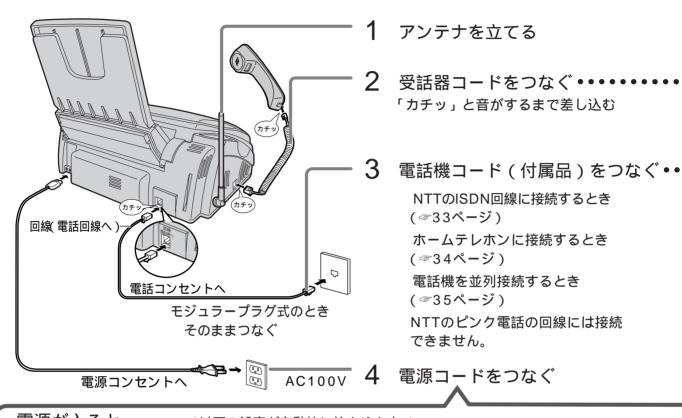
■ホームテレホンに接続するとき（☞34ページ）

■電話機を並列接続するとき（☞35ページ）

● **NTTのピンク電話の回線には接続できません。**

■モジュラープラグ式のとき

● そのままつなぐ

4　電源コードをつなぐ

電源が入ると・・・　（以下の設定が自動的に始まります。）

77セレクティ利用案内のアナウンスが流れ（約2分）自動的に77セレクティの設定が始まる

「おたっくすをお買い上げいただきありがとうございます。このおたっくすは、お申し込みをしなくてもKDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。**ご利用を希望されないお客様は「機能」「77セレクティ」「#」を押して、「77セレクティランプ」が消灯したことを確認してください。**」

●すぐに77セレクティの設定を始めたい場合は、

押す

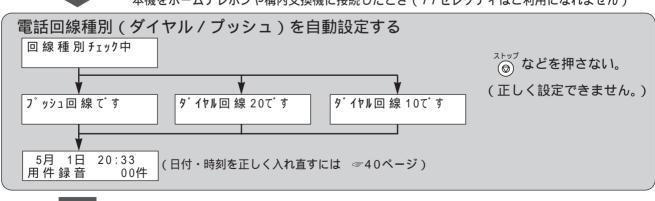
次の場合は、右記の77セレクティを利用しない場合の操作をしてください。

●77セレクティのご利用を希望されないとき

●本機をホームテレホンや構内交換機に接続したとき（77セレクティはご利用になれません）

電話回線種別（ダイヤル／プッシュ）を自動設定する

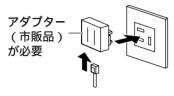
(日付・時刻を正しく入れ直すには　☞40ページ)

● ストップ などを押さない。
（正しく設定できません。）

約1時間後、77セレクティランプが緑色に点灯すると77セレクティが利用できる

● 上記の間に料金データなどを取り込むオンライン通信が始まります。そのとき、**お客様の電話番号がKDDIへ通知されますので、ご了承ください。**

●外しかた

レバーをおさえながら引き抜く

■3ピンプラグ式のとき

■直接配線方式のとき

77セレクティを利用しないとき（以下の操作をしてください）

77セレクティを利用します 2分間お待ちください	↔	利用しないときは[機能]を押してください

1 (機能) **押す** ［77セレクティ］を押してください

2 (0077 SELECTY) **押す** ［#］を押してください

3 (#) **押す** 設定を解除しました

● 0077 SELECTY 消灯

77セレクティに関するお問い合わせ先

KDDI カスタマサービスセンター

フリーコール 0077-772（通話料金無料）

受付時間　9：00～21：00（土・日・祝も受付）

お知らせ

- 77セレクティ、えらんでメロディ、おたっくすEメールと電話会社選択サービス「マイライン」、電話会社固定サービス「マイラインプラス」については、4～5ページをお読みください。
- 親機は壁掛けできません。
- **停電したときは、ハンドスキャナーの電池を利用して親機で電話をかけたり、受けたりできます。その他の機能や子機は使えません。**（☞249ページ）

こんなときは

●**次々に画面が切り替わるときは、**

今度の おたっくすは	→ ・・・

（電話機コードを接続せずに放置すると、約22分後にデモモードとなります。）

➡ 電話機コードを接続し、電源コードを抜き差しすると、自動設定を開始します。

●

5月　1日　20：33 用件録音　　00件	↔	回線種別を 設定してください

が交互表示されたら、

➡ **手動で回線種別を設定してください。**（☞32ページ）

● 電話機コードを接続してください **と表示されたときは、**

➡ 接続すると、自動設定を開始します。

●**停電したときや電源コードが外れたとき**

➡ 電源が入ると、電話回線種別の自動設定を開始します。電源を入れても電話をかけられないときは、手動で回線種別を設定してください。（☞32ページ）

●**NTTの電話回線（ダイヤル／プッシュ）を変更したとき**

➡ 電源コードを抜き、もう一度つないでください。回線種別の自動設定を開始します。

➡ 手動で回線種別を設定しているときは、設定を変更してください。（☞32ページ）

手動で電話の回線種別を設定する

本機は電源が入ると、自動的に電話回線種別（ダイヤル／プッシュ）の設定を始めます。ただし、下記のように自動で設定できなかった場合は、手動で電話回線種別を設定してください。

●ホームテレホン・構内交換機・電話回線自動選択用アダプターに接続したときなど

●親機のディスプレイに下記メッセージが交互表示されたとき

5月　1日　20:33 用 件 録 音　　　00件	↔	回 線 種 別 を 設 定 してくだ さい	（日付・時刻は表示例です）

●停電や電源コードが外れたあと、電源を入れても電話をかけられないとき

回線種別を設定する

F2　F4　ストップ　スタート/コピー　機能

1 機能 **押す**

機 能 登 録 ﾓｰﾄﾞ

2 **下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

最 初 の設 定
［ｽﾀｰﾄ］押 す

3 スタート/コピー **押す**

2001年 01月 01日
00：00

4 **下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

回 線 種 別 = 自 動

5 選択 F2 **押し、**
回線種別を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

（プッシュ回線）回 線 種 別 =ﾌﾟｯｼｭ
↓
（ダイヤル回線速度20pps）回 線 種 別 =20
↓
（ダイヤル回線速度10pps）回 線 種 別 =10
↓
（自動判定）回 線 種 別 = 自 動

6 登録 F4 **押す**

■「プッシュ」「20」「10」のいずれかを選んだとき

登 録 しました
↓
（手順5の設定を表示する）

■「自動」を選んだとき

➡ 回線種別自動設定が始まる

7 「プッシュ」「20」「10」のいずれかを選んだときは
ストップ **押す**

（例）5月　1日　20:33
用 件 録 音　　　00件

日付・時刻の表示に戻る

回線種別がわからないときは

●電話をかけるとき ➡ 局番なしの117（時報：通話料金有料）などにかけてみてください。

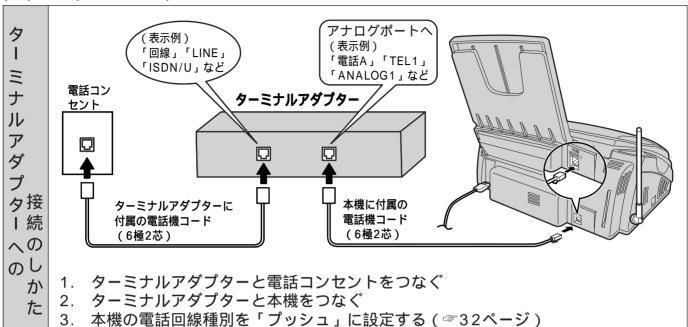
●ホームテレホンや構内交換機に接続しているとき ➡ 外線発信番号のあとで相手の電話番号をダイヤルしてください。

NTTのISDN回線に接続するとき

本機をNTTのISDN回線へ変更するときは、ターミナルアダプター（市販品）が必要です。
（本機を直接ISDN回線に接続しても使用できません）

（例）DSU（回線終端装置）内蔵タイプの場合

ターミナルアダプターへの接続のしかた

1. **ターミナルアダプターと電話コンセントをつなぐ**
2. **ターミナルアダプターと本機をつなぐ**
3. **本機の電話回線種別を「プッシュ」に設定する（☞32ページ）**

電話をかけたり、受けたりできないときは、下記をご確認ください。
（直らないときは、ターミナルアダプターをお買い上げの販売店へお問い合わせください。）

●ターミナルアダプターに極性を切り替えるスイッチ（リバーススイッチ）がありませんか？

➡スイッチを切り替えてターミナルアダプターの電源を入れ直してください。

（スイッチの表示例）　RVS　NOR　　REV　NOR　U SW

●ターミナルアダプターのDSUを切り離すスイッチが「OFF」になっていませんか？

➡「ON」に切り替えてターミナルアダプターの電源を入れ直してください。

（スイッチの表示例）　ON　OFF　DSU　　内蔵DSU　OFF　ON

●下記の電話サービスをご利用になっていませんか？

- ナンバー・ディスプレイ機能
- （モデム）ダイヤルイン機能
- i・ナンバー
- キャッチホン（コールウエイティング）

➡ターミナルアダプターの設定が必要です。（ターミナルアダプターの取扱説明書に従って、設定してください。）

●DSUを内蔵していないターミナルアダプターに接続したり、複数のターミナルアダプターを使用していませんか？

➡ターミナルアダプターの設定が必要です。（ターミナルアダプターの取扱説明書に従って、設定してください。）

お知らせ

●ターミナルアダプターによっては、下記の機能が動作しないことがあります。

- 用件転送
- 通話時間の表示
- リモート受信
- ナンバー・ディスプレイ機能
- キャッチホン
- モデムダイヤルイン機能
- ドアホンワープ

●i・ナンバーやダイヤルインを利用するときは、本機を主番号（電話を取り付けたとき、NTTと契約した電話番号）に設定したアナログポートに接続してください。（77セレクティやおたっくすEメールは、主番号で登録されます。）
主番号以外で77セレクティやおたっくすEメールを利用するときは、KDDIカスタマサービスセンターへの連絡が必要です。（利用する番号でオンライン通信を行います。）
すでに、おたっくすEメールをご利用の場合は、再登録手続きを行ってください。（☞156ページ）

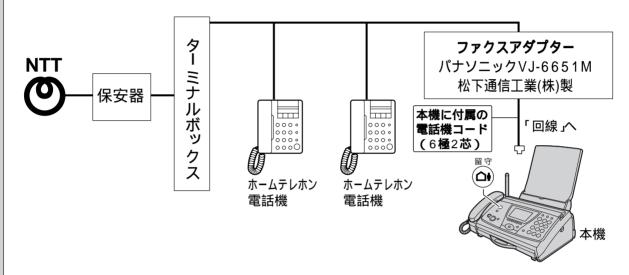
準　備

ホームテレホンに接続するとき

本機は、松下通信工業(株)製の**パナソニック ホームテレホンシステム108・208およびシステムホームテレホンに接続できます。**（コードレスタイプや、その他のホームテレホンには接続できません。）

●接続には、松下通信工業(株)製のファクスアダプター（パナソニックVJ-6651M）および配線工事が必要です。販売店にご相談ください。（工事には資格が必要です。）

ファクスアダプターによる接続

ターミナルボックスとファクスアダプターの取扱説明書をよくお読みのうえ、接続してください。

●**ホームテレホン電話機で電話を受けたいときは、在宅時の受けかたを「電話優先」**（☞90ページ）**にし、留守 を消灯させておいてください。**
上記以外に設定していた場合、電話がかかってきたときに本機が自動的に応答し、ホームテレホン電話機の呼出音は止まります。

ホームテレホン電話機で受けたファクスを本機で受信するには

ホームテレホン電話機でファクス（「ポー、ポー」音や相手の声が聞こえないとき）を受けた場合、本機へ内線転送して受信できます。ホームテレホン電話機で、下記の操作を行ってください。

1. **（保留）ボタンを押す**
2. **2秒以内に、ファクスアダプターで設定した内線番号を押す**
3. **完了音「ピッピッピッ」が聞こえたら、受話器を静かに戻す**
   ➡ 本機がファクス受信を開始する

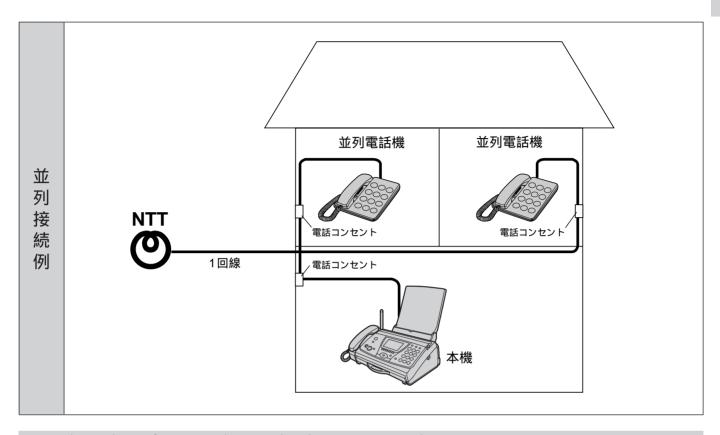
●具体的な操作は、ホームテレホンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●ホームテレホンシステム108などの電話回線が1回線タイプをご利用の場合は、本機使用中、ホームテレホン電話機は内線機能しか使えません。
●本機とホームテレホン電話機間の内線通話、およびドアホン間の対応はできません。
●本機とホームテレホン電話機間では、通話の転送はできません。
●本機をホームテレホン電話機に接続しているときは、ドアホンからの呼び出し転送（ドアホンワープ）ができない場合があります。
●**本機の以下の機能は利用できません。各機能を利用する設定になっていたら、設定を解除してください。**

77セレクティ（☞142ページ）	ナンバー・ディスプレイ機能（☞190ページ）
モデムダイヤルイン機能（☞210ページ）	おたっくすEメール機能（☞150ページ）

電話機を並列接続するとき

並列接続とは、1つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

ナンバー・ディスプレイサービスやモデムダイヤルインサービス、77セレクティを利用しているときは、電話機を並列接続すると、**誤動作の原因**になります。

並列電話機で受けたファクスを本機で受信するには （上記サービスを利用していない場合）

並列電話機でファクス（「ポー、ポー」音や相手の声が聞こえないとき）を受けた場合、リモート受信によって本機で受信できます。受話器を取って20秒以内に、下記の操作を行ってください。

1. **ダイヤル回線の場合は、トーン信号（ピッポッパッ）に切り替える**
2. **並列電話機で ㊟⑨ を押す**
   └ リモート受信番号（この番号は変更できます☞132ページ「並列電話機でファクスを受けるリモート受信番号を変える」）
3. **受話器を静かに戻す**
   ➡ 本機がファクス受信を開始する

並列接続での制限事項	• コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる場合があります。 • ホームテレホンやビジネスホンを接続すると、リモート受信できない場合があります。 • 並列電話機では、77セレクティは動作しません。 • 本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。 • 並列電話機から親機や子機への転送はできません。

お願い

- ダイヤル回線の場合、トーン信号への切り替えかたは、接続した電話機の取扱説明書をお読みください。
  トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機ではリモート受信できません。
- ファクス使用中は、並列電話機の受話器を持ち上げないでください。（正常な送受信ができません。）
- **並列電話機で電話に出たとき、本機の応答メッセージが聞こえたら**
  本機の設定が「ファクス優先」「ファクス／留守電」「留守電専用」（☞89ページ）の場合、応答メッセージが止まりません。応答メッセージを止めるには、並列の電話を切らずに、本機の受話器をいったん取って戻してください。

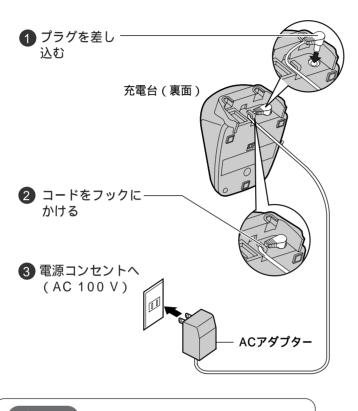
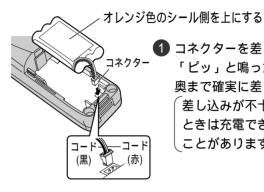
準　備

子機の電池を充電する

充電台を接続して電池パックを入れ、必ず6時間以上充電してください。(充電しないとお使いになれません。)

1　付属のACアダプターを充電台に接続する

2　電池パックを入れる

（ビニールカバーは、はがさないでください）

❶ コネクターを差し込む
「ピッ」と鳴ったあと奥まで確実に差し込む
（差し込みが不十分なときは充電できないことがあります。）

❷ 電池パックを入れる
コードをはさみ込まないように内側に寄せる

❸ 電池カバーを閉める
コードを**はさみ込まない**ように閉める

お願い

- 付属のACアダプター（極性統一形プラグ）をご使用ください。

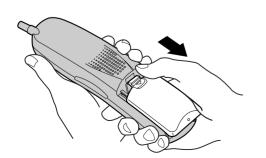
お知らせ

- 充電台は壁（柱）に掛けることもできます。（☞24ページ）

電池パックの交換

- 電池パックは消耗品です。約6時間充電しても通話数分後に電池残量表示が点滅したら、新しいものと交換してください。

1　電池カバーを開ける

2　古い電池パックを外す

3　新しい電池パックを入れて充電する

（必ず6時間以上充電してください。）

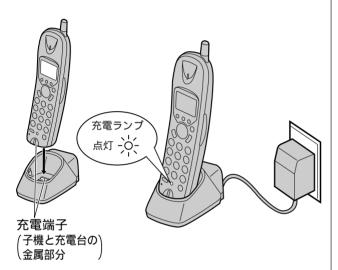
➡ 上記の手順2、3を参照

お知らせ

- 電池パックを交換すると、日付・時刻が消え、目覚ましは、はたらきません。

3 充電台へ置いて充電する

➡ 充電ランプが赤色点灯します。
➡ 充電が終わると、充電ランプが消灯し、ディスプレイに下記が表示されます。

子機 1 充電完了

お知らせ

- 子機と充電台の充電端子が当たらないと、充電できません。
- 充電が終わったあと、置いたままにもできます。（充電ランプは消灯したままです。）
- ACアダプターを電源コンセントに接続していると、充電していなくても約1.4Wの電力を消費します。

Ni-MH

ご使用済みのニッケル水素電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないでお買い上げの販売店またはニッケル水素電池リサイクル協力店へご持参ください。

液晶ディスプレイ中の電池残量表示の見かた

約6時間充電したあとの使用時間のめやす

- 連続通話時間
  （子機を持って続けて通話するとき）
  電話、トランシーバーとも……**約7時間**
  （スピーカーホンで通話すると、約7時間よりも短くなります）
- 待受時間
  （充電台に置かずに一度も通話しないとき）
  電話（家庭モード）のとき……**約700時間**
  トランシーバーモードのとき…**約100時間**

すぐに充電してください。

待受時	通話中
●「充電してください」が表示される 点滅 子機 1 充電 してください ↓ 約1分後に、電源が切れる	● 4秒ごとに「ピッ」と警告音が鳴る 点滅 ↓ 約1分後に、電源が切れる

電池パックの取り扱いについて

- **1週間以上、子機を使用しないとき**
  ➡ **切 を約2秒以上押し、電源を切ってください。**
  （電池パックの性能維持および電池の消耗を防ぐため）
  ➡**再び、電源を入れるときは、切 を約2秒以上押してください。**
- 必ず指定品（別売品／品番：**KX-FAN39**）をお使いください。
  ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

充電台について

- 長時間使用しないときは、子機の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。

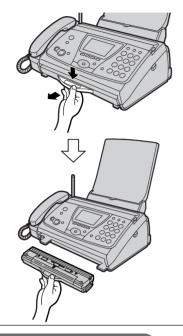
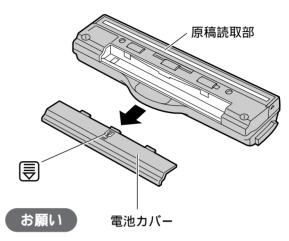
準　備

ハンドスキャナーの電池を充電する

ハンドスキャナーは、お買い上げ時は親機に接続されています。下記の手順でハンドスキャナーを取り外し、電池パックを入れてから、**必ず10時間以上充電してください。（充電しないとお使いになれません。）**
また、ハンドスキャナーの電池は、停電時に電話をかけたり受けたりするときの電源としても使いますので(☞249ページ)、ハンドスキャナーを使わないときは、必ず親機に接続しておいてください。

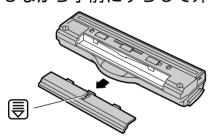
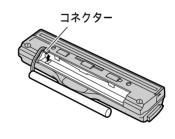
1 ハンドスキャナーの取っ手を下に押しながら引き出す

2 電池カバーの ▤ 部分を少し強めに押しながら手前にずらして外す

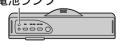
お願い

●原稿読取部にはさわらないようご注意ください。

電池パックの交換

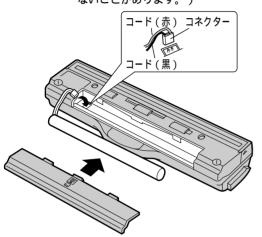
●電池パックは消耗品です。約10時間充電しても操作数分後に電池ランプが点滅したら、新しいものと交換してください。

1 電池カバーの ▤ 部分を少し強めに押しながら手前にずらして外す

2 古い電池パックを外す

電池ランプ表示と電池容量のめやす

電池ランプ表示	警告音	電池容量と使用時間
赤色点灯	鳴らない	**ハンドスキャナーを使うとき** ・ハンドスキャナーを連続使用するとき……約100分※ ・親機から外したまま使用しないとき……約3時間※ **停電時に親機で通話するとき（☞249ページ）** ・停電時に親機で連続通話するとき……約90分※ ・停電時の待受時間……約10時間※ （親機に接続して一度も使わないとき）
赤色点滅	約10秒ごとに「ピッ」と鳴る	**電池がなくなりかけています。** ➡親機に接続して充電してください。 ● この状態で使うと、読み取りが黒っぽくなってきます。
○ 消　灯	鳴らない	**電池が切れています。** ➡すぐに親機に接続して充電してください。

電池ランプ

※ 10時間以上充電した状態で、使用環境温度が20℃のとき

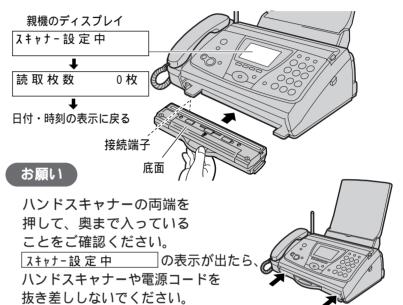
3 電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける

(電池パックのビニールカバーは、はがさないでください)

4 底面を上にして、「ガチャ」と音がするまで差し込む

● 約10時間でハンドスキャナーの電池が充電されます。

お願い

- ハンドスキャナーの両端を押して、奥まで入っていることをご確認ください。
- ｽｷｬﾅｰ設定中 の表示が出たら、ハンドスキャナーや電源コードを抜き差ししないでください。

ご使用済みのニカド電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないでお買い上げの販売店またはニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

3 新しい電池パックを入れ、親機に差し込む

（必ず10時間以上充電してください）

➡ 上記の手順3、4を参照

お願い

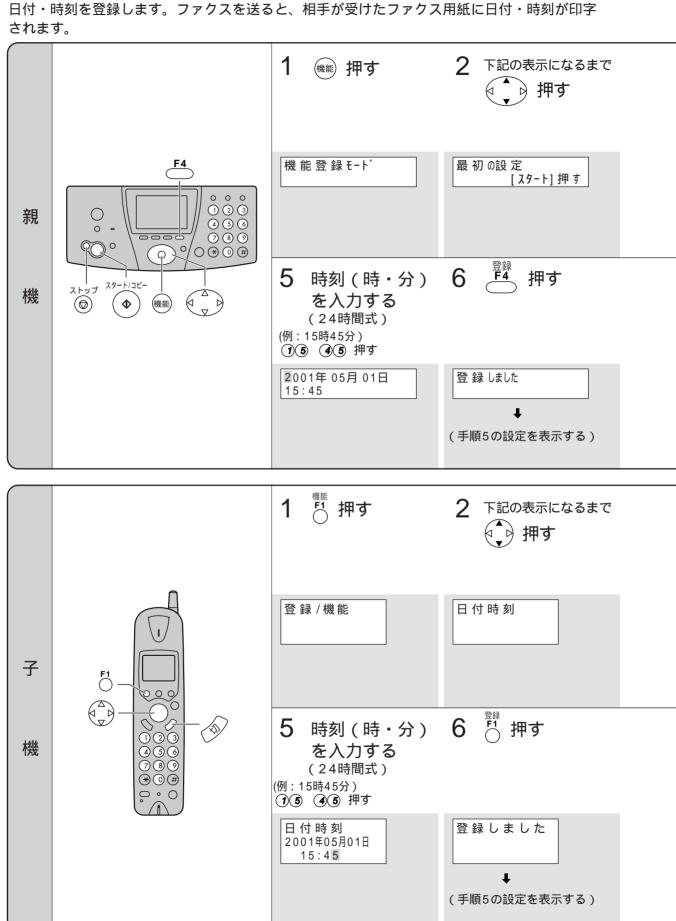
- 電池パックを一時的に抜き差しした場合は、ハンドスキャナーを必ず親機に接続し、ｽｷｬﾅｰ設定中 が表示されたあと、日付・時刻の表示になってから使用してください。
- 必ず指定の電池パック（別売品／品番：**KX-FAN38**）をお使いください。ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

お知らせ

- **次のような場合に電池がなくなると、ハンドスキャナーに記憶していた内容はすべて消えます。**
  - ・ハンドスキャナーを親機から外しておいたとき
  - ・停電中や本機の電源コードを抜いていたとき
- 本機の電源コードを長時間抜いておくときは、ハンドスキャナーに記憶している内容をプリントしてから電池パックのコネクターも抜いてください。（電池パックの消耗を防ぐことができます。）
- **停電が長く続くと、ハンドスキャナーの電池がなくなりかけ、「ピッ」という警告音が鳴り続けます。（☞左記）気になる場合は、電池パックのコネクターを抜いてください。**
  警告音が止まりますが、ハンドスキャナーに記憶していた内容はすべて消えます。また、停電時の通話（親機のみ）もできなくなります。

準 備

日付・時刻を登録する

日付・時刻を登録します。ファクスを送ると、相手が受けたファクス用紙に日付・時刻が印字されます。

3 スタート/コピー **押す**

4 年・月・日を入力する

(例：2001年5月1日)
②⓪⓪① ⓪⑤ ⓪① 押す

2001年 01月 01日
00:00
カーソル
入力できる位置を点滅で表す

2001年 05月 01日
00:00

●まちがえたとき
➡ ストップ を押し、最初からやり直す

7 ストップ **押す**

5月 1日 15:45
用件録音 00件
設定した日付・時刻を表示する

お知らせ

- 時計は、1ヵ月に約60秒ずれることがあります。
- 77セレクティを利用すると、オンライン通信終了後に、KDDI標準時刻（☞145ページ）に書き替えられます。
- カーソルは、◁▷ を押すと移動することができます。
- **途中で登録をやめるとき**
  ➡ ストップ 押す

3 登録 F1 **押す**

4 年・月・日を入力する

(例：2001年5月1日)
②⓪⓪① ⓪⑤ ⓪① 押す

日付時刻
2001年01月01日
00:00
カーソル
入力できる位置を点滅で表す

日付時刻
2001年05月01日
00:00

●まちがえたとき
➡ 切 を押し、最初からやり直す

7 切 **押す**

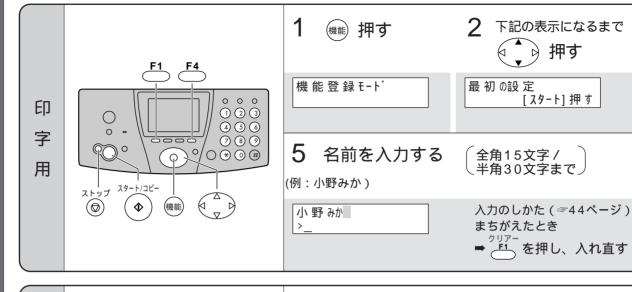
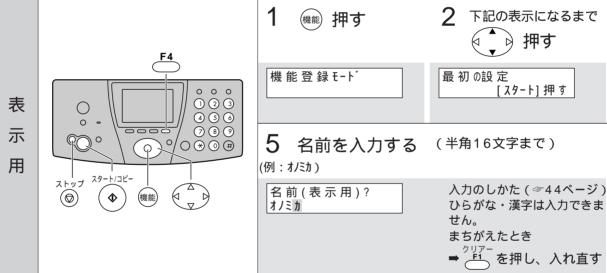
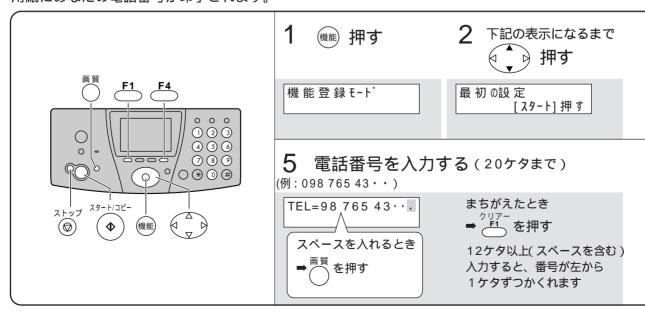
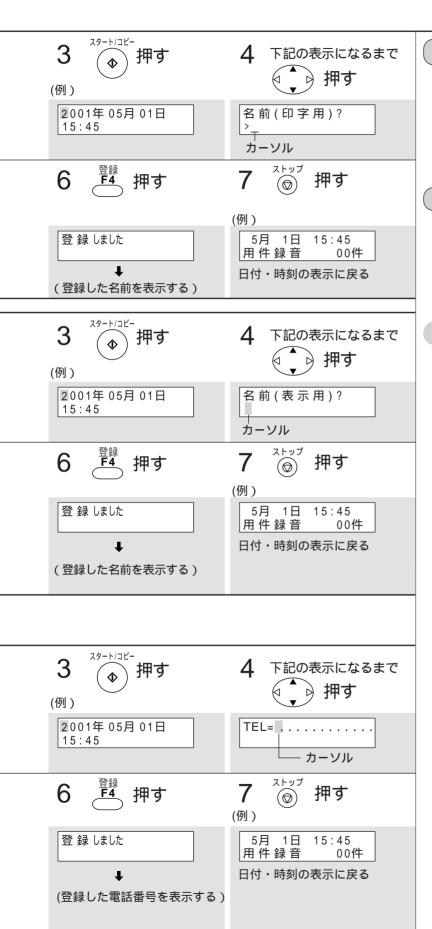
子機1
5/ 1(火)15:45
設定した日付・時刻を表示する

お知らせ

- **日付・時刻を登録しないと、ディスプレイに日付・時刻は表示されません。**
- 時計は、1ヵ月に約60秒ずれることがあります。
- カーソルは、◁▷ を押すと移動することができます。
- **途中で登録をやめるとき**
  ➡ 切 押す

あなたの名前を登録する（発信元名）

あなたの名前**（発信元名）**を登録します。
印字用発信元名（あなたの名前）を登録すると、ファクス送信時に相手の受信用紙に印字されます。
表示用発信元名（あなたの名前）を登録すると、ファクス送・受信時に相手のディスプレイに表示されます。

あなたの電話番号を登録する（発信元電話番号）

あなたの電話番号**（発信元電話番号）**を登録します。ファクスを送ると、相手が受けたファクス用紙にあなたの電話番号が印字されます。

相手に名前を知られたくないとき

- **「印字用発信元名」「表示用発信元名」**は登録しないでください。
- **登録済みのとき**
  ➡手順5で クリアー F1 を押して、名前を消す。

相手に電話番号を知られたくないとき

- **「あなたの電話番号」**は登録しないでください。
- **登録済みのとき**
  ➡手順5で クリアー F1 を押して、番号を消す。

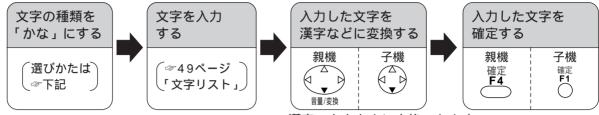
お知らせ

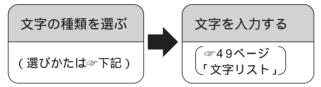
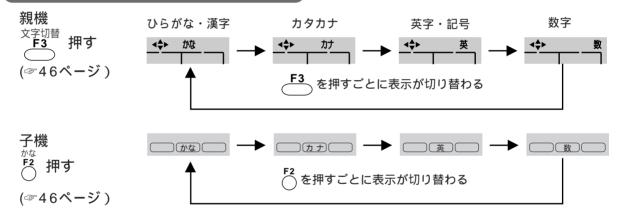
- **表示用発信元名について**
  ➡登録した名前は、**相手が当社のファクスを使用している場合に限り、相手のディスプレイに表示されます。**ただし、一部表示されないときもあります。
- 電話番号を登録しないと、ファクス送信できない場合があります。（相手のファクスが電話番号を登録した特定の相手のみ受信するような設定をしていたときなど）
- **ナンバー・ディスプレイサービスで「非通知」にしていても**（☞192、193ページ）名前や電話番号を登録すると、相手が受けたファクス用紙にあなたの名前や電話番号が印字されます。また、通信中に相手のディスプレイに表示されることがあります。
- **途中で登録をやめるとき**
  ➡ ストップ 押す

準　備

あなたの名前（登録のしかた☞42ページ）や、電話帳（登録のしかた☞66ページ）などに入力する文字を、「ひらがな・漢字」「カタカナ」「英字・記号」「数字」で入力できます。

文字を入力するときの流れ

■「ひらがな」「漢字」「カタカナ」を入力する

●漢字、カタカナに変換できます。

■「カタカナ」「英字・記号」「数字」を入力する

文字の種類（入力モード）の選びかた

■親機

文字切替 F3 押す

（☞46ページ）

■子機

かな F2 押す

（☞46ページ）

入力できる文字種一覧表（機能別）

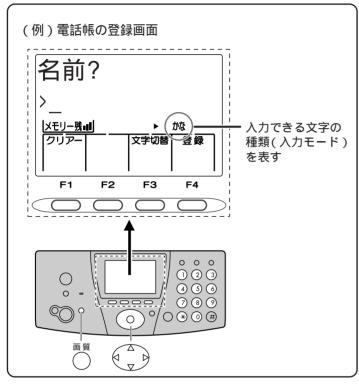
機能		参照ページ	入力できる文字種 漢字 全角	ひらがな 全角	カタカナ 半角	英字・記号 半角	数字 半角	最大入力文字数
あなたの名前（印字用）		42	○	○	○	○	○	全角 15 文字（半角 30 文字）
あなたの名前（表示用）					○	○	○	半角 16 文字
電話帳	名前※	66	○	○	○	○	○	全角　6 文字（半角 12 文字）
電話帳	フリガナ	66			○	○	○	半角 12 文字
おたっくすEメール	アドレス帳の名前※	164	○	○	○	○	○	全角　6 文字（半角 12 文字）
おたっくすEメール	アドレス帳のフリガナ	164			○	○	○	半角 12 文字
おたっくすEメール	アドレス	164				○	○	半角 60 文字
おたっくすEメール	ドメイン名	172				○	○	半角 30 文字
おたっくすEメール	定型文※	172	○	○	○	○	○	全角 20 文字（半角 40 文字）
おたっくすEメール	送信時のアドレス	158〜163				○	○	半角129文字（アドレス1〜5の合計）
おたっくすEメール	タイトル※		○	○	○	○	○	全角 16 文字（半角 32 文字）
おたっくすEメール	メッセージ※		○	○	○	○	○	全角100文字（半角200文字）

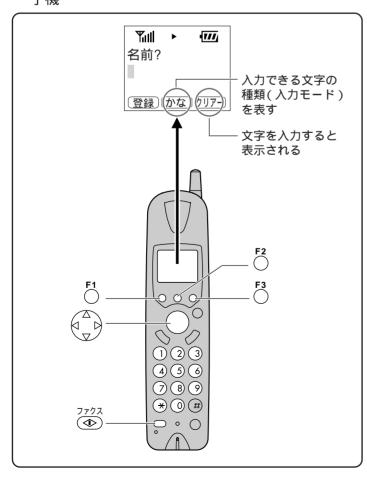
●親機の入力画面上では、ひらがなは半角表示になります。半角のひらがなは入力できません。
●最大入力文字数には、スペースも1文字分として含みます。

つづく

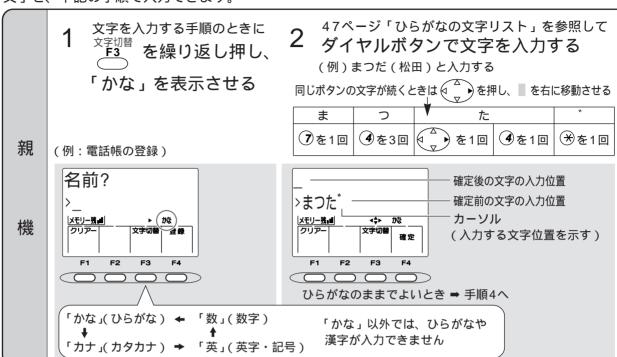
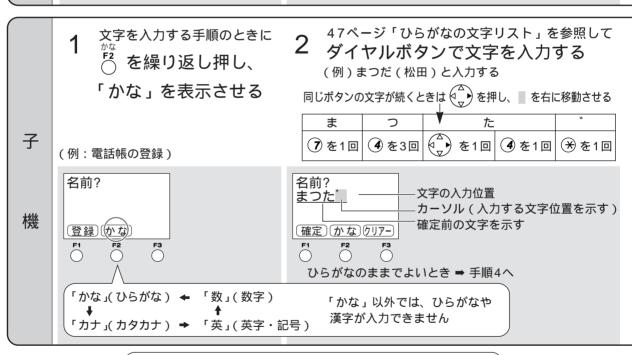
文字入力中のボタンのはたらきについて

▮ …**カーソル**	文字入力中の画面に表示される
_ …**アンダーライン**	

■ 親機

- ⓪～⑨㊀：文字を入力する
- ◁：▮ を**左に移動する**
- ▷：▮ を**右に移動する**
- 画質：**スペース（空白）を挿入する**
- F1：● ▮ **上の文字を消去する**
  ● ▮ 以降に文字がないときは、**一つ前の文字を消去する**
- ▽（音量/変換）：**漢字などに変換する**
- F4：**文字を確定／登録する**
- F3：**入力モード**を切り替える

■ 子機

- ⓪～⑨㊀：文字を入力する
- ◁：▮ を**左に移動する**
- ▷：▮ を**右に移動する**
- △：▮ を**上に移動する**
- ▽：▮ を**下に移動する**
- ファクス：**スペース（空白）を挿入する**
  ※入力モードが「数」のときは使えません。
- F3：● ▮ **上の文字を消去する**
  ● ▮ 以降に文字がないときは、**一つ前の文字を消去する**
- ▽：**漢字などに変換する**
- F1：**文字を確定／登録する**
- F2：**入力モード**を切り替える

「ひらがな」「漢字」「カタカナ」を入力する

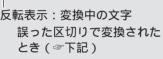
あなたの名前（登録のしかた☞42ページ）や電話帳（登録のしかた☞66ページ）などに入力する文字を、下記の手順で入力できます。

誤った区切りで変換された文字を正しく変換し直すには

(例)「ただのりこ」を「多田典子」に変換しようとしたが「忠則こ」となり、希望の文字にならないとき

つづく

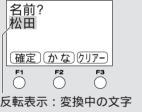
3 〈音量/変換〉を繰り返し押し、漢字などに変換する
（☞右記「変換について」）

4 〈確定 F4〉を押し、文字を確定する

反転表示：変換中の文字
●誤った区切りで変換されたとき（☞下記）

●確定された文字は、上段へ移動する

3 〈◁▷〉を繰り返し押し、漢字などに変換する
（☞右記「変換について」）

4 〈確定 F1〉を押し、文字を確定する

反転表示：変換中の文字
●誤った区切りで変換されたとき（☞下記）

名前?
松田
登録 かな クリアー
F1 F2 F3

●確定された文字は、上段へ移動する

ひらがなの文字リスト

ダイヤルボタンを押すごとに、ボタンに割り当てられた文字が順番に表示されます。

ボタン＼表示	かな
1	あいうえおぁぃぅぇぉ
2	かきくけこ
3	さしすせそ
4	たちつてとっ
5	なにぬねの
6	はひふへほ
7	まみむめも
8	やゆよゃゅょ
9	らりるれろ
0	わをんー！？（ ）
＊	゛ ゜、。

゛…濁点
゜…半濁点

お知らせ

●手順4（文字の確定）で確定した文字が「最大入力文字数」を超えたとき
➡超えた分の文字は無効になります。
（☞44ページ「入力できる文字種一覧表」）

変換について

●カタカナにも変換できます。
●希望の漢字に変換できないとき
➡漢字1文字分ずつ変換する
➡読みかた（音読み・訓読みなど）を変えて入力したあと変換する
●変換できる漢字には限りがあるため、希望の漢字に変換できないこともあります。
●複雑な漢字は、一部変形または省略しています。
●親機と子機では、同じように変換しても変換結果が異なる場合があります。
●変換中の漢字をひらがなに戻すには
➡ 〈クリアー F1〉（子機は〈クリアー F3〉）を押す

3 希望の文字に変換する
● 変換のしかた
（☞上記「手順3」）

4 文字を確定する
● 確定のしかた
（☞上記「手順4」）

5 手順1～4を繰り返し、すべての文字を変換・確定する

_
>多田 のりこ

多田_
>のりこ

多田典子
>_

「カタカナ」「英字・記号」「数字」を入力する

あなたの名前（登録のしかた☞42ページ）や電話帳（登録のしかた☞66ページ）などに入力する文字を、下記の手順で入力できます。

親機

1 文字を入力する手順のときに 文字切替 F3 **を繰り返し押し、入力したい文字の種類を表示させる**

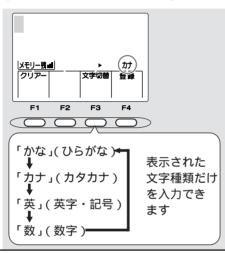
（例：カタカナを入力するとき）

2 49ページ「文字リスト」を参照して **ダイヤルボタンで文字を入力する**

（例）「カタカナ」で「タダノリコ」と入力する

同じボタンの文字が続くときは ◁▷ を押し、■ を右に移動させる

タ	タ		゛	ノ	リ	コ
④を1回	◁▷を1回	④を1回	＊を1回	⑤を5回	⑨を2回	②を5回

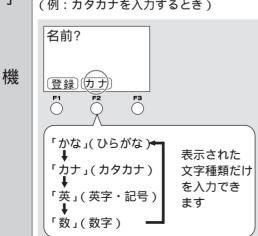
子機

1 文字を入力する手順のときに かな F2 **を繰り返し押し、入力したい文字の種類を表示させる**

（例：カタカナを入力するとき）

2 49ページ「文字リスト」を参照して **ダイヤルボタンで文字を入力する**

（例）「カタカナ」で「タダノリコ」と入力する

同じボタンの文字が続くときは ◁▷ を押し、■ を右に移動させる

タ	タ		゛	ノ	リ	コ
④を1回	◁▷を1回	④を1回	＊を1回	⑤を5回	⑨を2回	②を5回

●入力後に ▲▼ を押すと、半角カタカナになります

入力できる文字（文字リスト）

ダイヤルボタンを押すごとに、ボタンに割り当てられた文字が順番に表示されます。

ボタン＼表示	かな	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@（アットマーク） .（ドット） _ -（ハイフン） & $ \ % + = ~ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをんー（長音）！？（ ）	ワヲンー（長音）！？（ ）	！？/ ー ＊ # , ; : ｜ ・ ’ ” （ ）［ ］｛ ｝〈 〉「 」	0
＊	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。		、 。	
画質（親機）	（スペース）			
ファクス（子機）	（スペース）			

- Eメールアドレス入力時の「英」では、小文字が先に表示されます。
- Eメールアドレス入力時の「英」では、、。ー・「 」が入力できません。
- Eメールアドレス入力時は、「英」と「数」のみ入力できます。
- Eメールのメッセージ入力時では、# を押すと、「↲」が入力され、改行できます。
- 親機と子機では、表示される文字の形や順番が異なることがあります。

文字を消去するには

1 ◁▷（子機は◁▷）を押して、消したい文字に■を合わせる

（例）

小 野 の みか

2 クリアー F1（子機は クリアー F3）押す

（例）

小 野 みか

- 親機は、確定前の文字があると消去できません。一度、**確定した**後で消去します。
（例：「の」を消去したいとき）

確定前の文字「みか」

小 野 の_
>みか

確定 F4 **押す**

小 野 のみか
>_

確定すると文字が上に移動する

文字を挿入するには

1 ◁▷（子機は◁▷）を押して、挿入したい位置の後に■を合わせる

（例）

さとう

2 ダイヤルボタンで文字を入力する

（例）

さいとう

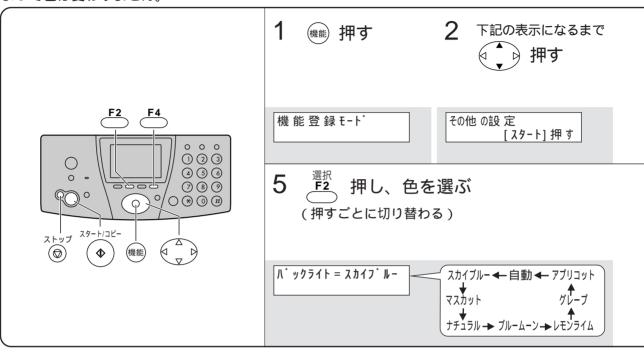
- **スペースを入れたいとき**
画質（子機は ファクス）押す

液晶ディスプレイの色（バックライト色）の設定

液晶ディスプレイの色（バックライト色）を設定できます（親機のみ）。
（お買い上げ時の設定：**「自動」**）
「自動」では、通常はスカイブルーになり、操作内容によって、色が変わります。

留守番電話	：レモンライム	Eメールの送受信	：マスカット
ファクスの送受信	：ブルームーン	エラー発生時	：アプリコット

「自動」以外の色（7色から選ぶ）にすると、選ばれている色1色の固定になります。操作内容によって色は変わりません。

音量調節のしかた

呼出音や相手の声が聞きとりにくいときは、音の大きさを変えることができます。

親機

ディスプレイ

スピーカーホン

（音量/変換）を押すごとに切り替わる

▲ 音量を大きくする
▼ 音量を小さくする

調節できるもの	調節できるとき	調節範囲
呼出音量	電話をかけていないとき	3段階、呼出音「切」
受話音量	通話中	2段階
スピーカー音量	（スピーカーホン）を押したとき 留守番電話の再生中	8段階、「切」

●呼出音を「切」にするには

ディスプレイに下記の表示が出て「ピピッ」（子機は「ピッ」）と鳴るまで、（音量/変換）（子機は（音量））を押し続ける。

親機の表示

```
呼出音量
小　　[切]　　大
```

↓

```
5月　1日　　8:30
用件録音　　　00件
メモリー残
```

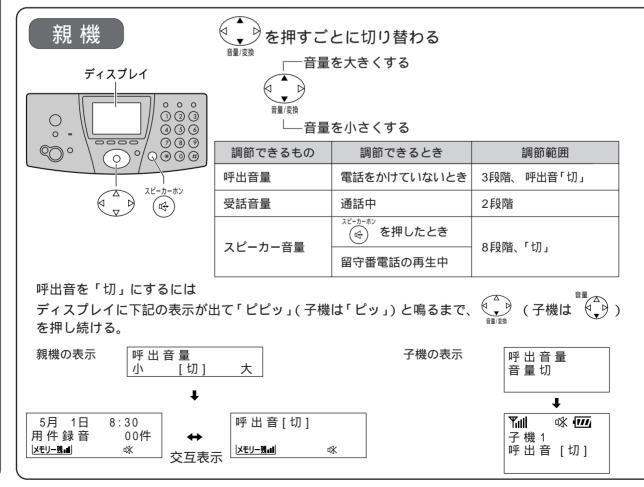
↔ 交互表示

```
呼出音[切]
メモリー残
```

子機の表示

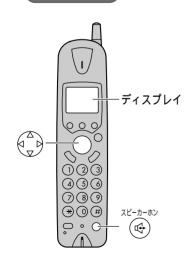
```
呼出音量
音量切
```

↓

```
子機1
呼出音 [切]
```

お知らせ

- **途中で設定をやめるとき**
  ➡ ストップ 押す
- 色の名称はバックライト選択時のめやすであり、本体のバックライトからイメージした愛称を採用しています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用すると、電話帳に登録したグループごとに着信時のバックライト色を変えることができます。
  （☞202ページ）

音量 を押すごとに切り替わる

音量
- 音量を大きくする
- 音量を小さくする

調節できるもの	調節できるとき	調節範囲
呼出音量	電話をかけていないとき	3段階、呼出音「切」
受話音量	通話中	4段階
スピーカー音量	スピーカーホン を押したとき	4段階

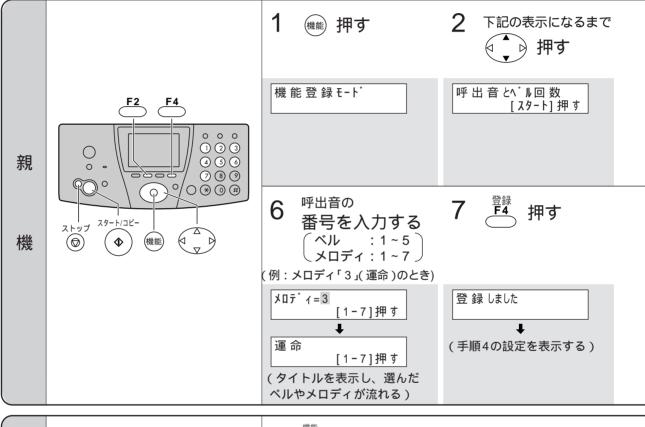
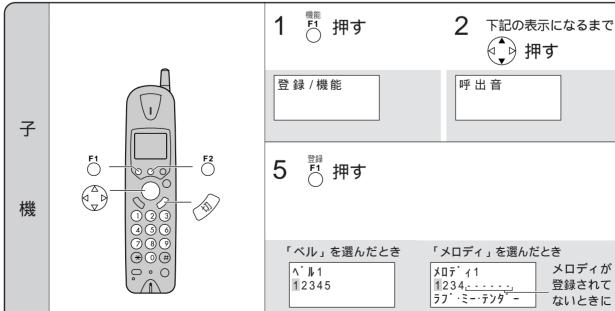
お知らせ

- 「切」にしていても、内線からの呼び出しは、最小の呼出音量で鳴ります。
  （停電時は☞249ページ「お知らせ」）
- **「切」を解除するには ➡** 音量/変換 （子機は 音量 ）を押す

外から電話がかかってきたときの呼出音の音色を、親機と子機でそれぞれ設定できます。
（内線からの呼出音の音色は、変更できません。）

●**親機は、次の12種類の中から選べます。**メロディは、4和音（4パート）再生します。

（お買い上げ時の設定：ベル「1」）

ベル	ダイヤルボタン ①～⑤	（それぞれ異なるベルが鳴ります）
メロディ	①	ラブ・ミー・テンダー（オーラリー）
	②	ハレルヤ
	③	運命
	④	カルメン
	⑤～⑦	77セレクティを利用して本機に受信・登録したメロディ（☞146ページ）を選べます。

●**子機は、次の15種類の中から選べます。**メロディは、4和音（4パート）再生します。親機から子機に転送したメロディ（☞148ページ）を呼出音として選ぶこともできます。

（お買い上げ時の設定：ベル「1」）

ベル	ダイヤルボタン ①～⑤	（それぞれ異なるベルが鳴ります）
メロディ	①	ラブ・ミー・テンダー（オーラリー）
	②	ハレルヤ
	③	運命
	④	カルメン
	⑤～⓪	（お買い上げ時は、未登録です）

3 スタート/コピー **押す**

呼出音=ベル

4 選択 F2 **押し、**

呼出音を選ぶ（押すごとに切り替わる）

呼出音=メロディ
↕
呼出音=ベル

5 登録 F4 **押す**

■「ベル」を選んだとき

ベル=1
[1-5]押す

■「メロディ」を選んだとき

メロディ=1
[1-7]押す

8 ストップ **押す**

（例）

5月 1日 15：45
用件録音 00件

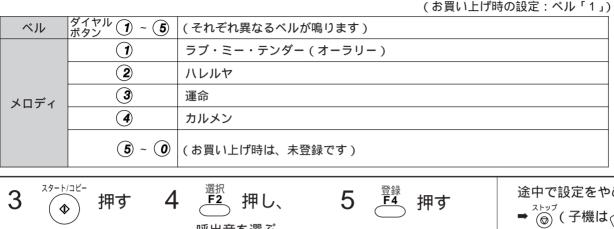
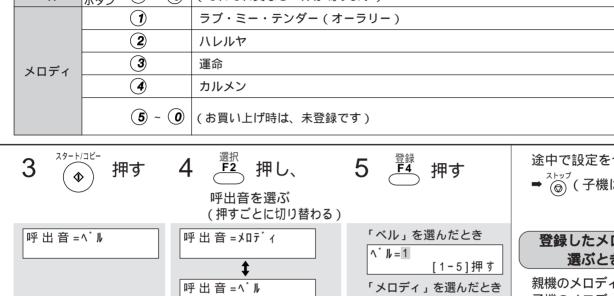
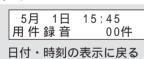
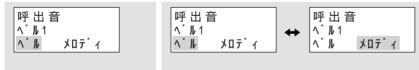
日付・時刻の表示に戻る

3 登録 F1 **押す**

呼出音
ベル1
ベル メロディ

4 選択 F2 **押し、**

呼出音を選ぶ（押すごとに切り替わる）

呼出音
ベル1
ベル メロディ
↔
呼出音
ベル1
ベル メロディ

6 呼出音の **番号を入力する**

（ベル ：1～5
メロディ：0～9）

（例：メロディ「3」（運命）のとき）

メロディ3
1234------
運命

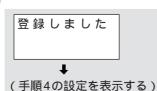
（タイトルを表示し、選んだベルやメロディが流れる）

7 登録 F1 **押す**

登録しました
↓
（手順4の設定を表示する）

8 切 **押す**

（例）

子機1

●**途中で設定をやめるとき**

➡ ストップ（子機は 切）押す

登録したメロディを選ぶときは

●親機のメロディ「5」～「7」、子機のメロディ「5」～「0」は、メロディが登録されている場合のみ、選べます。

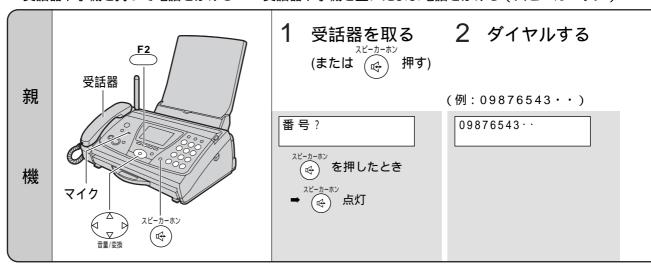
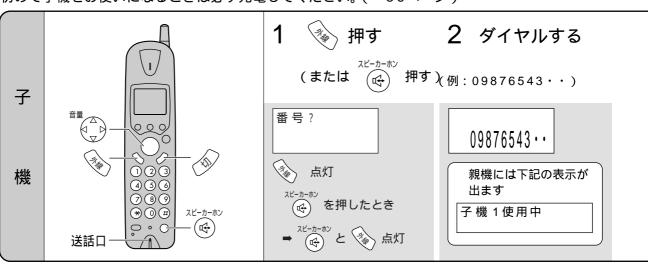
登録されていない番号を押すと

・**親機は下記が表示されます。**

登録されていません

電話をかける

ダイヤルしてかける

電話をかけるには、次の2つの方法があります。
• 受話器や子機を持って電話をかける　• 受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）

初めて子機をお使いになるときは必ず充電してください。(☞36ページ)

スピーカーホンの使いかた（スピーカーホンは、周囲を静かにしてからお使いください。）
スピーカーホンを使うと、受話器や子機を置いたまま通話できます。
相手の声はスピーカーから聞こえます。話すときは、マイク（子機は送話口）に向かって話してください。

こんなときは	親機での操作	子機での操作
通話中、相手の声が途切れる	相手の話が終わってから話す	
通話中、相手の声が聞きとりにくい（まわりが騒がしいとき）	音量/変換 を押して音量を大きくする	音量 を押して音量を大きくする
通話中、あなたの声を相手が聞き取りにくい	マイクに近づいて話す	送話口に近づいて話す
マイクや送話口までの距離について（めやす）	マイクから約1m以内	送話口から約50cm以内
受話器からスピーカーホンに通話を切り替える	スピーカーホン を押し受話器を戻す	スピーカーホン を押す
スピーカーホンから受話器に通話を切り替える	受話器を取る	スピーカーホン を押す
時報や天気予報などが聞き取りにくい	ミュート F2 を押す	―――

3 相手が出たら
話す

● スピーカーホン使用時は
マイクに向かって話す

```
09876543‥
通話時間      0'18
```

通話時間（めやす）

4 話が終わったら
受話器を戻す
(または スピーカーホン 押す)

日付・時刻の表示に戻る

● **スピーカーホンで通話していたとき**
➡ スピーカーホン 消灯

3 相手が出たら
話す

● スピーカーホン使用時は
送話口に向かって話す

通話時間（めやす）

4 話が終わったら
押す

通話時間表示が消える
➡ 外線 消灯

● **スピーカーホンで通話していたとき**
➡ スピーカーホン と 外線 消灯

電話番号を確かめたあと電話をかけるには

1. ダイヤルする
（ディスプレイに表示された番号を確かめる）
2. **（親機）** 受話器を取る、または スピーカーホン を押す
（子機） 外線 を押す、または スピーカーホン を押す

自分の声が相手に聞こえないようにする（親機のみ）（ミュート機能）

通話中に、ミュート F2 を押すと自分の声が相手に聞こえないようになります。

● ミュート中はディスプレイに
右記の表示が出ます。

```
ミュート中
```

● **ミュートから通常の通話に戻すには**
➡ もう一度、ミュート F2 を押す

お知らせ

● 相手が電話に出てから、通話料金がかかります。
● 子機で電話を切ってすぐに 外線 を押してダイヤルすると、相手につながるまでに時間がかかることがあります。

電話をかける

同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル）

以前かけた電話番号（再ダイヤル番号）を、親機と子機でそれぞれ新しい順に**10件まで**記憶しています。
再ダイヤル番号は、電話帳に登録することもできます。（☞68ページ）

親機

受話器　スピーカーホン

1 再ダイヤル◀ **押す**

（例）

01234567・・

➡親機で最後にかけた番号を表示する

2 ▲▼ **押し、かけたい番号を選ぶ**

（例）

09876543・・

子機

外線　スピーカーホン　送話口

1 再ダイヤル◀ **押す**

（例）

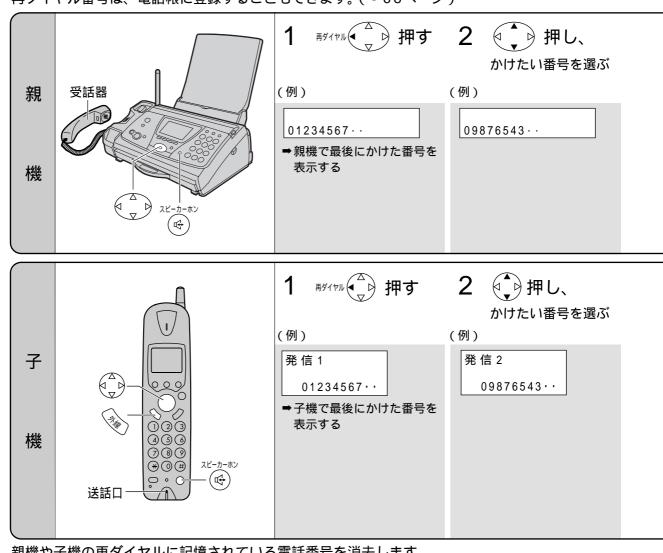
発 信 1
01234567・・

➡子機で最後にかけた番号を表示する

2 ▲▼ **押し、かけたい番号を選ぶ**

（例）

発 信 2
09876543・・

再ダイヤル番号を消去する

親機や子機の再ダイヤルに記憶されている電話番号を消去します。

親機

F1　ストップ

1 再ダイヤル◀ **押す**

（例）

01234567・・

➡親機で最後にかけた番号を表示する

2 ▲▼ **押し、消去する番号を選ぶ**

（例）

09876543・・

子機

F1　F2　切

1 再ダイヤル◀ **押す**

（例）

発 信 1
01234567・・

➡子機で最後にかけた番号を表示する

2 ▲▼ **押し、消去する番号を選ぶ**

（例）

発 信 2
09876543・・

3 受話器を取る
（または スピーカーホン 押す）

ﾀﾞｲﾔﾙします

➡ダイヤルを開始する

4 相手が出たら
話す

09876543･･･
通話時間 0'18

通話時間（めやす）

3 外線 押す
（または スピーカーホン 押す）

09876543･･

➡ダイヤルを開始する

4 相手が出たら
話す

0:00:18

通話時間（めやす）

お知らせ

- 手順2で（子機は）を押すと発信した日付の古いデータから新しいデータの順に表示されます。
- 記憶した件数が10件を超えると、以前かけた電話番号の古いデータから消去されます。

ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけてかけたいとき

（親機）

- 再ダイヤルの電話番号の前にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけて電話をかけることはできません。

（子機）

1. 再ダイヤル を押す
2. を押し、かけたい相手を選ぶ
3. メニュー F3 を押す
4. 選択 F2 を押し、「184設定」または「186設定」を選ぶ
5. 確定 F1 を押す
6. 外線 を押す

184設定
186設定
ﾎﾟｰｽﾞ

- **ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」について**
  ➡192ページ「自分の電話番号を通知して、または通知せずに電話をかける」

3 消去 F1 押す

消去しますか?
はい=＊ いいえ=#

4 ＊ 押す

消去しました

（次の再ダイヤル番号を表示する）

- **続けて消去するとき**
  ➡もう一度手順2へ

5 終わったら
ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

3 消去 F2 押す

消去
しますか？

4 はい F1 押す

消去しました

（次の再ダイヤル番号を表示する）

- **続けて消去するとき**
  ➡もう一度手順2へ

5 終わったら
切 押す

電話をかける

海外へかける

1

親機の場合

受話器を取る

（または スピーカーホン 押す）

子機の場合

外線 **押す**

（または スピーカーホン 押す）

番 号 ?

2 ダイヤルする

■ **マイライン・マイラインプラスに登録されている場合**

（例：アメリカの123－456－78××へかける）

010 － 1 － 123 － 456 － 78××

010	1	123－456－78××
国際電話を示す番号	相手国（地域）番号 アメリカは「1」	（相手の市外局番と電話番号）

■ **マイライン・マイラインプラスに登録されていない場合**

（例：アメリカの123－456－78××へかける）

00XY － 010 － 1 － 123－456－78××

00XY	010	1	123－456－78××
電話会社の国際電話識別番号	国際電話を示す番号	相手国（地域）番号 アメリカは「1」	（相手の市外局番と電話番号）

3 相手が出たら
話す

4 話が終わったら
受話器を戻す

日付・時刻の表示に戻る
● **スピーカーホンで通話していたとき**
➡ スピーカーホン **押す**
スピーカーホン 消灯

3 話が終わったら
切 **押す**

「内線通話中」が消える
● **スピーカーホンで通話していたとき**
➡ スピーカーホン 消灯

お知らせ

● 内線通話は通話料金がかかりません。
● 内線通話は保留できません。
● 内線通話中に外から電話がかかってきたら、呼出音が聞こえます。
➡親機で話すには
1. 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す（内線通話が切れる）
2. 受話器を取る（外の相手と話せる）
➡子機で話すには
1. 切 を押す（内線通話が切れる）
2. 外線 を押す（外の相手と話せる）
● **子機を増設しているときは、操作が変わります。**
➡☞226ページ

3 ポーズ F3 **押す**

0P （P＝ ポーズ）

4 電話番号を
ダイヤルする

3 ポーズ F2 **押す**

0P （P＝ ポーズ）

4 電話番号を
ダイヤルする

お知らせ

● ポーズ（空白時間）は ポーズ F3 （子機は ポーズ F2 ）1回につき、約4秒です。
● 電話帳にポーズ（空白時間）を入れて登録するときは、外線発信番号を押したあとに ポーズ F3 （子機は ポーズ F2 ）を押して、相手の電話番号を入れてください。

お知らせ

● 相手国（地域）番号リスト（☞268ページ）
● 国際通話については、電話会社によって通話可能な国や地域などが異なりますのでご注意ください。
詳しくは、各電話会社までお問い合わせください。

電話会社の国際電話識別番号について

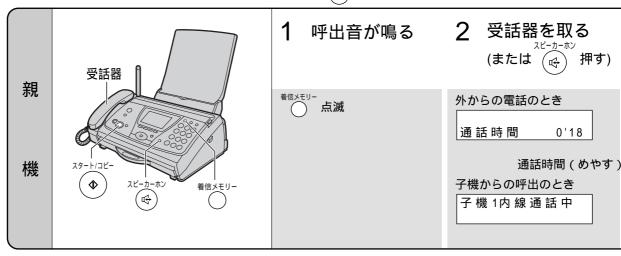
	（識別番号）
● KDDI株式会社	001
● NTTコミュニケーションズ	0033
● 日本テレコム株式会社	0041
● ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC株式会社（C＆WIDC）	0061
● MCI ワールドコム・ジャパン	0071
● ドイツテレコム・ジャパン	0080
● フュージョン・コミュニケーションズ	0038

電話を受ける

外の相手からの電話と、内線（親機または子機）からの電話は、呼出音が異なります。

■ **外の相手からの電話のとき**
「プルルル・・・プルルル」（お買い上げ時の設定）
または、設定した呼出音が鳴ります。（☞52ページ）

■ **内線からの呼出のとき**
「プルル　プルル・・・」と鳴ります。

親機で電話を受けるには、受話器を取るか、または スピーカーホン を押して受けるかの2つの方法があります。

子機は、充電台から取るだけで電話を受けることができます。**（オフフック応答）**

お知らせ

- **feel H"（フィールエッジ）、H"（エッジ）などDDIポケットの電話機を子機としてお使いのとき**
  - 付属の子機と呼出音が異なることがあります。
  - 外の相手からの電話と内線からの電話の区別ができないことがあります。

3 話す

- **「ポー、ポー」音や相手の声が聞こえないとき**
  ➡ スタート/コピー を押すと、ファクスを受信する

4 話が終わったら
受話器を戻す
(または スピーカーホン 押す)

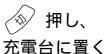
日付・時刻の表示に戻る
- **スピーカーホンで通話していたとき** ➡ スピーカーホン 消灯

3 話す

- **「ポー、ポー」音や相手の声が聞こえないとき**
  ➡「ピッ」と鳴るまで ファクス を押すと、
  ファクスを受信する

4 話が終わったら
押し、充電台に置く

- **充電台から外したままにもできます**

お知らせ

- 充電台に置いていないときは、、F2、F3以外のキーで電話を受けることができます。**（エニーキーアンサー）**
- 電話の受けかたは、変更できます。
  ➡136ページ「子機の電話の受けかたを選ぶ（オフフック応答の設定）」

通話中の操作

外の相手との通話を保留にする

通話を中断して相手をお待たせするときは、保留にします。保留中は、相手にメロディ（曲名：ガボット）が流れます。

親機

1 外の相手と通話中に

保留 F4 **押す**

親機保留中

スピーカーホン 点滅

➡相手にメロディが流れる

2 もう一度話すには

保留 F4 **押す**

● **スピーカーホン での通話を保留にしたとき**

➡ スピーカーホン を押す、または受話器を取ると通話できる

子機

1 外の相手と通話中に

保留 F3 **押す**

子機1保留中

外線 点滅

➡通話時間表示が消える

2 もう一度話すには

保留 F3 **押す**

（または 外線 押す）

0:12:35

外線 点灯

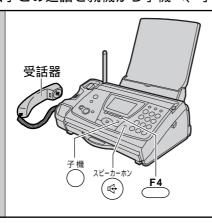
➡再び通話時間を表示する

外の相手との通話をまわす

外の相手との通話を親機から子機へ、子機から親機へまわすことができます。

親機から子機にまわす

1 外の相手と通話中に

子機 **押す**

子機1呼出中
親機保留中

➡外の相手との通話が保留になり、子機を呼び出す

2 子機が出たら

通話をまわすことを伝える

子機1内線通話中
親機保留中

● **子機が出ないとき**

➡ 子機 を押すと外の相手ともう一度話せる

子機から親機にまわす

F3
内線
外線
切
スピーカーホン
送話口

1 外の相手と通話中に

内線 **押す**

子機1保留中
内線呼出

外線 点滅

➡外の相手との通話が保留になり、親機を呼び出す

2 親機が出たら

通話をまわすことを伝える

子機1保留中
内線通話中

外線 点滅

● **親機が出ないとき**

➡ 外線 を押すと外の相手ともう一度話せる

お知らせ
- 内線通話は保留できません。
- 保留中に、受話器を戻しても通話は切れません。➡受話器を取ると、通話できます。

お知らせ
- 内線通話は保留できません。
- 保留中に、［切］を押しても通話は切れません。➡［外線］を押すと、通話できます。

3 受話器を戻す

子機1使用中

➡子機と外の相手が通話できる

3 ［切］押す

外線使用中

➡親機と外の相手が通話できる

お知らせ

- **子機を増設しているときは、操作が変わります。**
  ➡228ページ

**親機で取った電話を子機で話したいとき
子機で取った電話を親機で話したいとき**

- **子機で話したいとき**
  1. 親機側で［保留 F4］を押し、受話器を戻す　保留中
  2. 子機側で［外線］（または［スピーカーホン］）を押す

- **親機で話したいとき**
  1. 子機側で［保留 F3］を押す
  2. 子機側で［切］を押す（または充電台に置く）　保留中
  3. 親機側で受話器を取る（または［スピーカーホン］を押す）

- 保留中 の表示のまま約3分間放置すると、下記を表示し、親機は警告アラーム、子機は外線呼出音が鳴り続けます。（ただし、子機は呼出音量を「切」にしていると、鳴りません。）
  約5分たつと、通話が切れます。

親機の表示

保留警報
受話器を取ってくだ゛さい

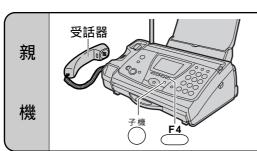
子機の表示

外線着信中

通話中の操作

親機、子機と外の相手と3人で話す（3者通話）

通話を保留にしたあと、親機と子機と外の相手の3人が同時に話せます。

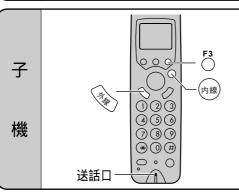
親機

1 外の相手と通話中に
子機 **押す**

```
子機1呼出中
親機保留中
```

➡外の相手にメロディが流れ、子機を呼び出す

子機

1 外の相手と通話中に
内線 **押す**

```
子機1保留中
内線呼出
```

外線 点滅

➡外の相手にメロディが流れ、親機を呼び出す

キャッチホンの電話を受ける

キャッチホンを使うには、NTTとの加入契約が必要です。

1 通話中「プップッ」音が聞こえたら
キャッチ F1 **（子機は キャッチ F1 ）押す**

➡2人目につながる
1人目は保留になる

2 **2人目と話す**

プッシュホンサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でも、トーンボタンを押すと、プッシュ回線と同じトーン信号（ピッポッパッ）を出すことができます。チケット・座席の予約などのサービスを利用できます。

1 サービス提供先に
ダイヤルする

2 電話がつながったら
⊛（トーンボタン）を押す

➡トーン信号に切り替わる

通話を録音する（通話録音）

親機で通話中の内容を最大約18分まで録音することができます。（子機での通話は録音できません。）
用件録音・自作応答メッセージ・画像情報がメモリーに記憶されていると、録音できる時間は短くなります。
（☞19ページ「メモリー容量について」）

1 受話器を使って通話中に
聞き直し/通話録音 **押す**

```
残り約××分です
```
➡
```
通話録音中
```

● メモリー残量がなくなったとき

```
メモリーがいっぱい　U80
録音できません
```
➡
```
通話時間　　18'15
```
← 通話時間（めやす）

2 録音を終わるには
ストップ **押す**

➡録音が終わる

```
通話時間　　7'25
```

通話時間（めやす）

2 子機が出たら
3者通話することを伝える

子 機 1内 線 通 話 中
親 機 保 留 中

3 保留 F4 **押す**

3者 通 話 中

➡3人で話せる

2 親機が出たら
3者通話することを伝える

子 機 1保 留 中
内 線 通 話 中

外線 点滅

3 保留 F3 **押す**

3者 通 話 中

外線 点灯

➡3人で話せる

お知らせ

- 3者通話のときに、親機と子機で同時にスピーカーホンは使えません。
- 子機2台と、外の相手との3者通話はできません。
- キャッチホンは使えません。
- 親機で3者通話にしたときは、子機には下記の表示が出ます。

内 線 通 話 中

3 1人目の通話に戻るには
キャッチ F1 **(子機は** キャッチ F1 **) 押す**

お知らせ

- ファクス送受信中にキャッチホンが入ると、画像が乱れたり、送受信できないことがあります。
- **ファクスが入ったとき**
  ➡ スタート/コピー 押す(子機は「ピッ」と鳴るまで ファクス を押す)
- キャッチホンでファクスを受信すると、1人目との通話は切れます。
  ファクスを受けずに1人目との通話を続けたいとき
  ➡もう一度 キャッチ F1 (子機は キャッチ F1)を押してください。

3 アナウンスに従って操作する

3 受話器を戻す

日付・時刻の表示に戻る

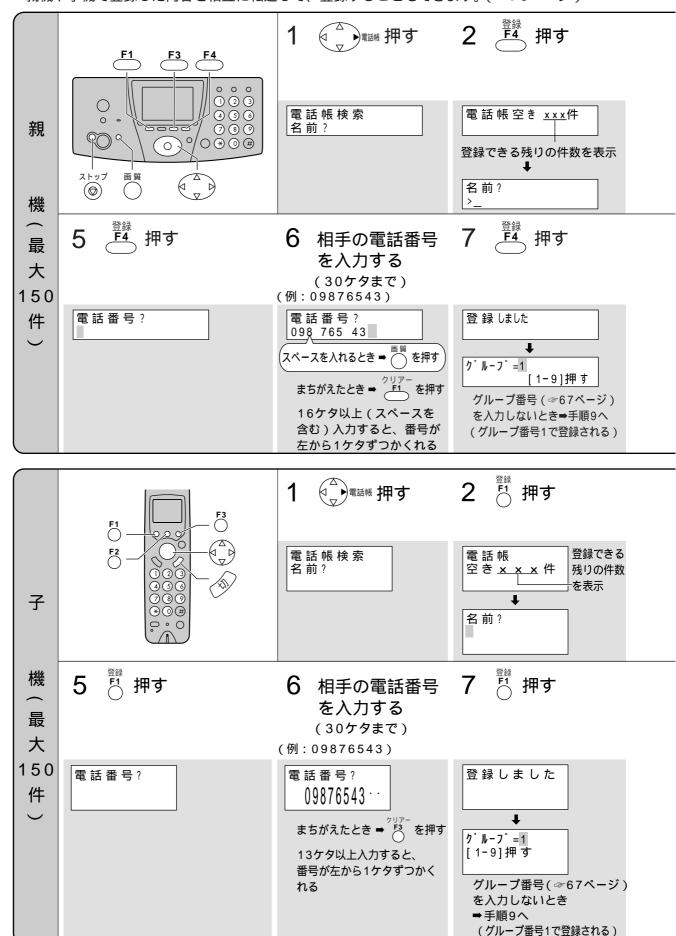
お知らせ

- **録音した内容を聞くには ➡** 聞き直し/通話録音 を押す
- **録音した内容を消すには**
  ➡ ☞102ページ「用件を消去する」
- スピーカーホン での通話は、録音できません。
- 子機での通話は、録音できません。
- 3者通話は録音できません。

電話

電話帳を使う

よくかける相手の名前と電話番号を電話帳に登録できます。
●電話帳を9つのグループ（グループ番号1～9）に分けて登録できます。（☞右記）
●親機や子機で登録した内容を相互に転送して、登録することもできます。（☞76ページ）

電話帳に登録する

グループ番号（1～9）を分けて登録すると…
- グループ番号別に、電話帳を検索できます。（☞70ページ）
- ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、グループ番号別に呼出音（親機・子機）・液晶ディスプレイの色（バックライト色）（親機のみ）を変更できます。（グループコール機能）（☞202ページ）

3 相手の名前を入力する
（全角6文字／半角12文字まで）

（例：木村）

木村
>_

- 入力のしかた（☞44ページ）
- **名前を登録しないとき**
  ➡手順5へ

4 登録 F4 押す

フリガナ？
キムラ

8 グループ番号を入力する（1～9）

（例：2）

グループ=2
[1-9]押す

9 登録 F4 押す

登録しました

⬇

名前？
>_

- **続けて登録するとき**
  ➡もう一度手順3へ
- **終わるとき**➡ ストップ を押す

---

3 相手の名前を入力する
（全角6文字／半角12文字まで）

（例：木村）

名前？
木村

- 入力のしかた（☞44ページ）
- **名前を登録しないとき**
  ➡手順5へ

4 登録 F1 押す

フリガナ？
キムラ

8 グループ番号を入力する（1～9）

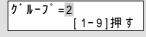
（例：2）

グループ=2
[1-9]押す

9 登録 F1 押す

登録しました

⬇

名前？

- **続けて登録するとき**
  ➡もう一度手順3へ
- **終わるとき**➡ 切 を押す

お知らせ

- **途中で登録をやめるとき**
  ➡ ストップ（子機は 切）押す
- **親機・子機ともに、あらかじめ下記の4件が登録されています。**
  - 時報（117）
  - 天気予報（177）
  - 電報（115）
  - 番号案内（104）
- ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」（☞192ページ）を入れて電話帳に登録できます。
  ➡手順6で「184」または「186」を入力し、ポーズ F3（子機は ポーズ F2）を押す。そのあとに相手の電話番号を入力する

  電話番号？
  184P098765・・
  └ポーズ（空白時間）
- **登録した内容を確認するには**
  ➡電話帳リストをプリントする（☞128ページ）

フリガナについて

- 名前を登録すると自動的に表示されます。（半角12文字まで）
  表示されたフリガナがまちがっているときは、修正してください。
  （例）
  「乙丸（オトマル）」という名前を、「乙女（オトメ）」と入力して「女」を消去し、「丸（マル）」を入力して登録したとき

  フリガナ？
  オトメマル

  この文字が不要

  ➡ クリアー F1（子機は クリアー F3）を押して、正しいフリガナに変更する（入力のしかた☞44ページ）

よくかける相手を先に表示させたいとき

- フリガナを登録するとき、最初に文字の種類を「数」にして3ケタの数字（001～150）を入れます。

  フリガナ？
  001 ナカムラ

  フリガナ？
  002 イイヅカ

  ↳数字が優先されます。
  3文字として、入力できる文字数（半角12文字）の中に含まれます。

電話帳を使う

親機や子機の再ダイヤルに記憶されている相手の電話番号を、電話帳に登録できます。

再ダイヤル番号を電話帳に登録する

親機

1 再ダイヤル◀ **押す**

(例)

01234567‥

➡親機で最後にかけた番号を表示する

2 ▲▼ **押し、登録する番号を選ぶ**

(例)

09876543‥

6 登録 F4 **押す**

電話番号?
09876543‥

7 登録 F4 **押す**

登録しました
⬇
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=1
[1-9]押す

●**グループ番号（☞67ページ）を入力しないとき**
➡手順9へ（グループ番号1で登録される）

子機

1 再ダイヤル◀ **押す**

(例)

発信 1
01234567‥

➡子機で最後にかけた番号を表示する

2 ▲▼ **押し、登録する番号を選ぶ**

(例)

発信 2
09876543‥

6 登録 F1 **押す**

電話番号?
09876543‥

7 登録 F1 **押す**

登録しました
⬇
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=1
[1-9]押す

●**グループ番号（☞67ページ）を入力しないとき**
➡手順9へ（グループ番号1で登録される）

3 登録 F4 押す
4 相手の名前を入力する
全角6文字
半角12文字まで
(例：木村)
5 登録 F4 押す
(例)
名前？
>_
木村
>_
●入力のしかた
(☞44ページ)
●名前を登録しないとき
➡手順6へ
ﾌﾘｶﾞﾅ?
ｷﾑﾗ
8 グループ番号を入力する（1〜9）
(例：2)
9 登録 F4 押す
10 終わったら ストップ 押す
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=2
[1-9]押す
登録しました
木村
09876543･･
●続けて登録するとき
➡もう一度手順2へ
日付・時刻の表示に戻る
3 登録 F1 押す
4 相手の名前を入力する
全角6文字
半角12文字まで
(例：木村)
5 登録 F1 押す
(例)
名前？
名前？
木村
●入力のしかた
(☞44ページ)
●名前を登録しないとき
➡手順6へ
ﾌﾘｶﾞﾅ?
ｷﾑﾗ
8 グループ番号を入力する（1〜9）
(例：2)
9 登録 F1 押す
10 終わったら 切 押す
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=2
[1-9]押す
登録しました
発信2
木村
09876543･･
●続けて登録するとき
➡もう一度手順2へ

電話帳を使う

電話帳でかける

電話帳でかけたい相手を表示すると、親機では受話器を取る、子機では 外線 を押すだけでダイヤルが開始されます。

親機

1 電話帳 **押す**

電話帳検索
名前？

2 **押し、かけたい相手を選ぶ**

（例）

木村
098 765 43‥

●**相手が登録されていないとき**
➡ ストップ を押し、相手を登録する（☞66ページ）
またはダイヤルしてかける（☞54ページ）

3 **受話器を取る**
（または スピーカーホン 押す）

ダイヤルします

➡ダイヤルを開始する

(例)

098 765 43‥
通話時間 0'15

●電話番号は下16ケタ（スペースを含む）を表示する

次の手順でも電話をかけることができます。

1 受話器を取る
（または スピーカーホン を押す）
→ **2** 電話帳 **を押す**
→ **3** **を押し、かけたい番号を選ぶ**

子機

1 電話帳 **押す**

電話帳検索
名前？

2 **押し、かけたい相手を選ぶ**

（例）

木村
09876543‥

●**相手が登録されていないとき**
➡ 切 を押し、相手を登録する（☞66ページ）
またはダイヤルしてかける（☞54ページ）

3 外線 **押す**
（または スピーカーホン 押す）

（例）

木村
09876543‥

➡ダイヤルを開始する
●電話番号は下12ケタを表示する

次の手順でも電話をかけることができます。

1 外線 **を押す**
→ **2** 電話帳 **を押す**
→ **3** **を押し、かけたい番号を選ぶ**

グループ番号を入力して探す

1 電話帳
（子機は 電話帳 **）押す**

電話帳検索
名前？

2 **#** **を押し、探したい名前のあるグループ番号を入力する（1〜9）**

ｸﾞﾙｰﾌﾟ＝1
［1-9］押す

3 **（子機は** **）を押し、登録している名前を探す**

➡指定されたグループのみ検索できる

4 相手が出たら
話す

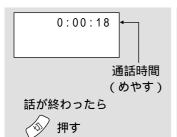
●受話器取る替わりに、スタート/コピー を押して、ダイヤルを開始することもできます（原稿があるときはファクス送信します）

```
098 765 43··
通話時間　　0'18
```

通話時間（めやす）

●**話が終わったら**
受話器を戻す
（または スピーカーホン 押す）

4「ツー」音が聞こえている間に スタート/コピー を押す
●「184」や「186」をつけたときは、「プププ・・・」音が聞こえている間に スタート/コピー を押す

4 相手が出たら
話す

●**話が終わったら**
4「ツー」音が聞こえている間に 外線 を押す
●「184」や「186」をつけたときは、「プププ・・・」音が聞こえている間に 外線 を押す

ディスプレイに表示される順番について

● **（子機は ）を押す**
数字→アルファベット→カナ→記号→電話番号（名前を登録していないとき）の順に表示される

ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけてかけたいとき

（親機）
1. 受話器を取る
2.「184」または「186」をダイヤルする
3. 電話帳 を押し、相手が表示されるまで を押す
4.「プププ・・・」音が聞こえている間に スタート/コピー を押す

（子機）
1. 電話帳 を押す
2. を押し、かけたい相手を選ぶ
3. メニュー F3 を押す

```
184設定
186設定
ﾎﾟｰｽﾞ
```

4. 選択 F2 を押し、「184設定」または「186設定」を選ぶ
5. 確定 F1 を押す
6. 外線 を押す

●**ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」について**
➡192ページ「自分の電話番号を通知して、または通知せずに電話をかける」

1 電話帳
（子機は 電話帳 ）
押す

```
電話帳検索
名前？
```

2 ダイヤルボタンで探したい名前の頭文字を入力する

（例）「中村」のとき ⑤ を押す

```
ﾌﾘｶﾞﾅ？
ﾅ
```

●入力のしかた（☞44ページ）

3 （子機は ）を押し、登録している名前を探す

```
中村
098···
```

電話帳を使う

電話帳の内容を修正する

親機や子機の電話帳に登録されている、相手の名前や電話番号を修正します。

3 修正 F2 **押す**

（例）

木村
>_

●**名前を修正しないとき**
➡ 登録 F4 を押し、手順5へ

4 **名前を修正し、** 登録 F4 **押す**

（入力のしかた ☞44ページ）

（例）

木田
>_

↓

ﾌﾘｶﾞﾅ?
ｷﾑﾗﾀﾞ

●**文字を修正するには**
➡ ◁△▷▽ を押して、入れ直す

●**フリガナを修正しないとき**
➡ 登録 F4 を押し、手順6へ

7 登録 F4 **押す**

登録しました
↓
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=1
[1-9]押す

登録されているグループ番号を表示する

●**グループ番号を修正しないとき**
➡ 登録 F4 を押す

8 **グループ番号を入れ直し（1〜9）、** 登録 F4 **押す**

ｸﾞﾙｰﾌﾟ=2
[1-9]押す
↓
登録しました
↓
日付・時刻の表示に戻る

---

3 修正 F1 **押す**

（例）

名前?
木村

●**名前を修正しないとき**
➡ 登録 F1 を押し、手順5へ

4 **名前を修正し、** 登録 F1 **押す**

（入力のしかた ☞44ページ）

（例）

名前?
木田

↓

ﾌﾘｶﾞﾅ?
ｷﾑﾗﾀﾞ

●**文字を修正するには**
➡ ◁△▷▽ を押して、入れ直す

●**フリガナを修正しないとき**
➡ 登録 F1 を押し、手順6へ

7 登録 F1 **押す**

登録しました
↓
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=1
[1-9]押す

登録されているグループ番号を表示する

●**グループ番号を修正しないとき**
➡ 登録 F1 を押す

8 **グループ番号を入れ直し（1〜9）、** 登録 F1 **押す**

（例：2）

ｸﾞﾙｰﾌﾟ=2
[1-9]押す
↓
登録しました

9 切 **押す**

お知らせ

●**名前の一部を修正したときは、「フリガナ」も修正してください。**
（修正前のフリガナが残ります。）

電話帳を使う

電話帳の内容を消去する

親機や子機の電話帳に登録されている、相手の名前や電話番号を消去します。
個別に消去する方法と、一括して（すべて）消去する方法があります。

親機で個別に消去する

F1

1 電話帳 押す

電話帳検索
名前?

2 押し、
消去する相手を選ぶ

（例）

木村
098 765 43‥

親機ですべて消去する

F4

ストップ　スタート/コピー　機能

1 機能 押し、
下記の表示になるまで
押す

電話帳の設定
［スタート］押す

2 スタート/コピー 押す

電話帳リスト=親機

子機で個別に消去する

F1　F2

1 電話帳 押す

電話帳検索
名前?

2 押し、
消去する相手を選ぶ

（例）

木村
09876543‥

子機ですべて消去する

F1

1 機能 F1 押す

登録/機能

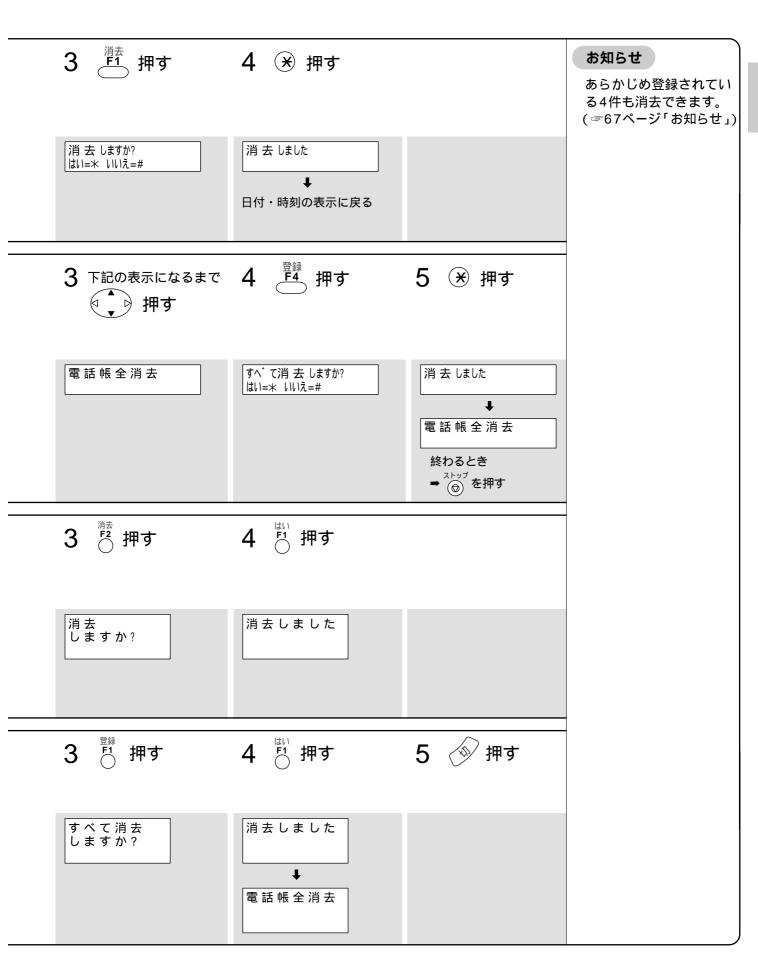
2 下記の表示になるまで
押す

電話帳全消去

お知らせ

●あらかじめ登録されている4件も消去できます。(☞67ページ「お知らせ」)

電話帳を使う

電話帳の内容を転送する

電話帳の内容（名前と電話番号）を、親機から子機、子機から親機に転送できます。
別々に登録する手間が省けて便利です。(転送しても、すでに転送先に登録されている内容は消えません)
１件ごと（個別）に転送する方法と、一括して（一斉に）転送する方法があります。

●一括して転送するときは、（子機は）を押して表示される順番で転送されます。
●一括して転送するとき、「電話帳がいっぱいです」が表示されると、自動的に転送を終了します。

親機から子機へ個別に転送する

1 親機の 機能 **押し、下記の表示になるまで 押す**

電話帳の設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押し、下記の表示になるまで 押す**

電話帳転送

3 登録 F4 **押す**

転送先=子機1

●**子機を増設しているとき**
➡ 選択 F2 を押して転送する子機を選ぶ

親機から子機へ一斉に転送する

1 親機の 機能 **押し、下記の表示になるまで 押す**

電話帳の設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押し、下記の表示になるまで 押す**

電話帳転送

3 登録 F4 **押す**

転送先=子機1

●**子機を増設しているとき**
➡ 選択 F2 を押して転送する子機を選ぶ

子機から親機へ個別に転送する

1 子機の 機能 F1 **押す**

登録/機能

2 **下記の表示になるまで 押す**

電話帳転送

3 登録 F1 **押す**

電話帳転送
個別　一斉

子機から親機へ一斉に転送する

1 子機の 機能 F1 **押す**

登録/機能

2 **下記の表示になるまで 押す**

電話帳転送

3 登録 F1 **押す**

電話帳転送
個別　一斉

お知らせ

- **電話帳の転送操作を行うときは、子機を親機の近くに持ってきてください。**
- 転送する内容と同じものが、すでに転送先に登録されている場合、その内容は転送されません。
- 転送先に同じ名前があっても、電話番号が異なるときは、追加登録されます。
- 転送ができないと、下記の表示が出ます。

親機 「転送できませんでした」　子機 「転送 できません でした」

・子機が親機から離れすぎている ➡ 親機に近づける
・子機の電池が切れている ➡ 充電する
それぞれの処置を行ったあと、転送をやり直してください。

---

4 登録 F4 **押す**

電話帳 =個別

5 登録 F4 **押す**

（例）

電話帳検索
名前？

6 ◁▷△▽ **を押し、転送する番号を選ぶ**

（例：中村）

中村
098 765 43‥

↕（交互表示）

転送は[スタート]押す

7 スタート/コピー **押す**

転送中
↓
転送しました
子機を確認してください
↓
（手順6の画面を表示する）

- **続けて転送するとき** ➡手順6へ
- **終わるとき** ➡ ストップ を押す

---

4 登録 F4 **押す**

電話帳 =個別

5 選択 F2 **押し、「一斉」を選び、** 登録 F4 **押す**

電話帳 =一斉
↓
転送は[スタート]押す

6 スタート/コピー **押す**

転送中
↓
転送しました
子機を確認してください
↓
（手順2の画面を表示する）

- **終わるとき** ➡ ストップ を押す

お知らせ

- 登録されている件数により、転送時間が長くなることがあります。

---

4 登録 F1 **押す**

（例）

電話帳検索
名前？

5 ◁▷△▽ **押し、転送する番号を選ぶ**

（例：中村）

中村
09876543‥

6 転送 F1 **押す**

転送中
↓
転送しました
親機を確認
してください
↓
（手順5の画面を表示する）

- **続けて転送するとき** ➡ 手順5へ

7 切 **押す**

---

4 選択 F2 **押し、「一斉」を選び、** 登録 F1 **押す**

電話帳転送
個別　一斉
↓
F1で転送開始

5 転送 F1 **押す**

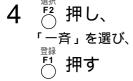
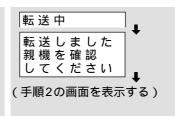
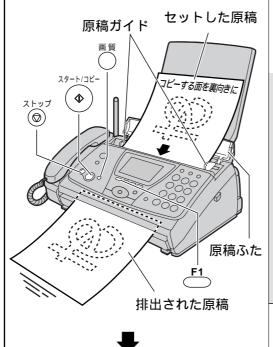
転送中
↓
転送しました
親機を確認
してください
↓
（手順2の画面を表示する）

6 切 **押す**

お知らせ

- 登録されている件数により、転送時間が長くなることがあります。

コピーする

1枚の原稿を最大30部までコピーできます。
（ハンドスキャナーで読み取った内容をプリントするには ☞116ページ）

コピーされた原稿
表向きに印字されます
あ

1 原稿ふたを開けて
原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

2 コピーする面を裏向きに
原稿を入れる
（「ピッ」と鳴る）

```
原 稿 をセットしました
画 質 =ふつう
```

- 原稿は一度に**重ねて5枚**まで
- 2枚以上コピーするときは、同じサイズ、厚さで先端をそろえる
- 原稿について（☞80ページ）

4 スタート/コピー **押す**

```
コピ°ー部 数 =1
        [スタート] 押 す
```

■ **1部だけコピーするとき**
➡手順6へ

5 ダイヤルボタンで
コピー部数を入力する
（30部まで）

（例：12部のとき）

```
コピ°ー部 数 =12
        [スタート] 押 す
```

- **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

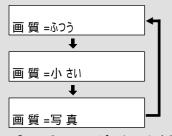
コピーする

画質選択のめやす

「ふつう」	「小さい」
大きい文字のとき	この文字の大きさより小さいとき

- 新聞などのように原稿の文字が小さいときに「**小さい**」でお使いください。

3 画質 押し、

画質を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

- 「ふつう」でコピーしても自動的に「小さい」に替わる
- 画質選択のめやす（☞下記）

6 スタート/コピー 押す

■ **A4サイズを1部だけコピーするとき**

コピ゜ー中

■ **A4サイズを複数部またはB4サイズをコピーするとき**
（例）

1枚 目 読 込 中　08%
↓
1枚 目 コピ゜ー　01/12

お知らせ

- **途中でコピーを中止したいとき ➡** ストップ を押す。
  複数コピーの場合、原稿を排出させるには、再度 ストップ を押す。
- 原稿を複数コピーする場合、部数ごとにコピーするか原稿ごとにコピーするか選ぶことができます。（☞80ページ「複数コピーの方法を変更する（マルチソートコピー）」）
- コピー濃度（原稿の読み取り濃度）を薄くまたは濃くすることができます。（☞130ページ）
- **コピーした記録紙に白や黒い線が入るとき**
  ➡ガラスや白板の汚れをふき取ってください。（☞254ページ）
- プリント中は、子機で電話を受けることはできません。

原稿サイズ別の機能

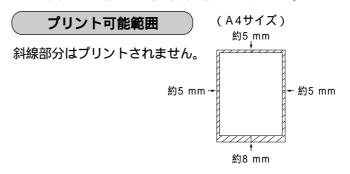
- Ｂ4サイズの原稿は ➡ いったんメモリーに読み込んで、自動的にA4サイズに縮小してコピーされます。（**自動縮小コピー**）

コピ゜ーメモリーいっぱ゜いて゛す **を表示して、動作が中断したときは、**
メモリー内の不要な用件・通話録音を消して（☞102ページ）、再度コピーしてください。

- Ａ4サイズの原稿は ➡ 等倍以外の大きさにはコピーできません。
- Ａ4サイズに１部コピーする場合、原稿の下部がプリントされなかったときに続きを次のページに印刷するか、そのページで中断するかを選ぶことができます。（☞128ページ「分割コピーの設定」）
- **プリントするときに表面がざらざらしている記録紙を使うと、文字がかすれます。**
  ➡表面がより滑らかな記録紙を使ってください。

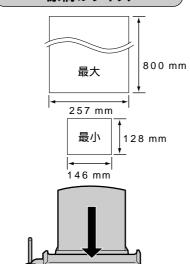
プリント可能範囲

斜線部分はプリントされません。

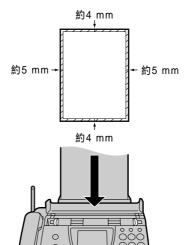
（A4サイズ）
約5 mm
約5 mm　約5 mm
約8 mm

「写真」

- 写真や濃淡がある原稿のときに**「写真」**でお使いください。

コピーする

原稿について（ファクス送信・コピーのとき）

原稿のサイズ

読み取り可能範囲

原稿のサイズにかかわらず、斜線部分は読み取れません。

原稿の紙の厚さ

- **1枚のとき**
  0.06〜0.2 mm
- **2枚以上5枚以下のとき**
  0.06〜0.13 mm

（この取扱説明書1枚は、約0.1 mmです。）

- 一度にセットできる原稿は5枚までです。
  2枚以上送るときは同じサイズ、厚さにして先端をそろえてください。

- 相手機の記録紙がA4サイズのとき
  ➡B4サイズの原稿はA4に縮小して送信する**（自動縮小機能）**

お願い

- **以下のものはコピー禁止です。**
  - 通貨、証券類、未使用郵便切手、官製はがき、印紙、酒税法で規定の証書類など**（➡ 法律で禁止）**
  - 著作権の対象となっている書籍類・芸術作品類・地図など**（➡ 個人的な使用以外は法律で禁止）**

複数コピーの方法を変更する（マルチソートコピー）

マルチソートコピーを「あり」に設定して複数コピーすると、記録紙は原稿の順番どおりにプリントされますので、並べ替える手間が省けて便利です。

設定する

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
◁△▽▷ **押す**

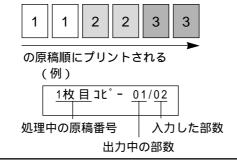
```
コピーの設定
      [スタート]押す
```

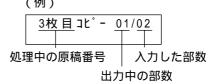
2 スタート/コピー **押す**

```
分割コピー=なし
```

マルチソートコピーについて

例：3枚の原稿を2部プリントする場合

■マルチソートコピー「なし」のとき

■マルチソートコピー「あり」のとき

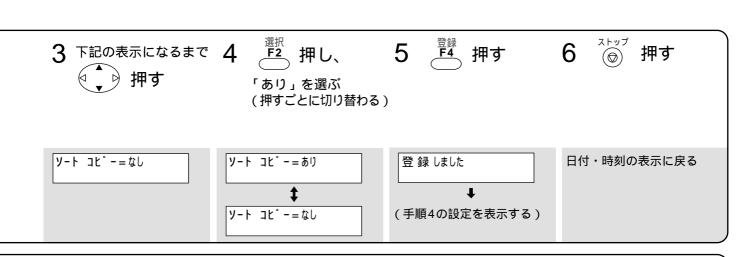
（例）

使えない原稿

■次のような原稿は、本機のハンドスキャナーまたは別の複写機でコピーをとるか、キャリアシートにはさんでください。

原稿の状態	本機のハンドスキャナーまたは別の複写機でコピーする	キャリアシートを使う
薄い紙（0.06 mm未満のもの）	○	○
厚い紙（0.2 mmを超えるもの）	○	／
布地、金属シート	○	／
のりやセロハンテープで貼り合わせたもの	○	／
縦128 mm×横146 mmより小さいもの	○	○
破れ、しわ、カールや折り目のあるもの	○	○
フィルムやトレーシングペーパーのようなもの	○	○
表または裏がコーティングされているもの	○	○
感熱紙、裏カーボン紙など化学処理したもの	○	○

キャリアシート（別売品）
品番：KX-A130（A4用）
KX-A131（B4用）

●キャリアシートは、1枚ずつセットしてください。

■原稿についているクリップやホッチキスは、取り外してください。
■インク、のり、修正液は完全に乾かしてください。
（コピーやファクス送信時に白い線が入る原因になります。）

お知らせ

●メモリーの原稿読み込み枚数は、A4サイズ700字程度の標準原稿（画質「小さい」で読み込んだとき）で最大約21枚※です。（☞269ページ「標準原稿の例」）

※ メモリーには、読み込んだコピー原稿のほかに、用件録音などの音声情報も記憶・保存します。すでにメモリー内に用件録音などがある場合は、読み込みできる枚数が上記より少なくなります。

●読み込み中にメモリーがいっぱいになると、動作を中断し、［ｺﾋﾟｰﾒﾓﾘｰｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ］を表示します。
原稿の枚数を減らすか、メモリー内の不要な用件録音を消して（☞102ページ）、再度コピーしてください。
●マルチソートコピー中に記録紙やインクフィルムがなくなったときは、始めからやり直してください。

ファクスを送る

受話器を取る、または スピーカーホン を押し、相手の電話番号をダイヤルしたあと、 スタート/コピー を押すとファクスを送信できます。

●**重ねて入れた原稿は、下から順番に送信されます**

1 原稿ふたを開けて
原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

2 送る面を裏向きに
原稿を入れる
(「ピッ」と鳴る)

```
原 稿 をセットしました
画 質 =ふつう
```

- 原稿は一度に**重ねて5枚**まで
- 2枚以上送るときは、同じサイズ、厚さで先端をそろえる
- 原稿について（☞80ページ）

4 受話器を取る
（または スピーカーホン 押す）

```
番 号 ?
```

5 ダイヤルする

（例：09876543··）

```
09876543··
```

7 受話器を戻す

- 相手のファクスに登録されている電話番号や名前を、表示する場合があります
- スピーカーホン **を押してダイヤルしたとき**
  ➡送信後、電話は自動的に切れる

音声操作案内に従って送る

1. 操作案内 F1 **押す**

```
ファクス送 信 案 内
        [スタート] 押 す
```

2. スタート/コピー **を押す**

3. 音声案内に従って操作する

相手の電話番号を確かめてから送る

1. 原稿をセットする

2. ダイヤルする
（ディスプレイに表示された電話番号を確かめる）

3. スタート/コピー **を押す**

同じ相手にもう一度送る（再ダイヤル）

1. 原稿をセットする

2. 再ダイヤル **押す**

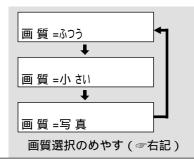
3. **を押し、送る相手を選ぶ**

4. スタート/コピー **を押す**

ダイヤルして送る

3 画質 押し、

画質を選ぶ（押すごとに切り替わる）

●画質選択のめやす（☞右記）

6 ■相手が電話に出たら、相手に スタート ボタンを押してもらったあと スタート/コピー **押す**

■「ピーヒョロロ」が聞こえたら スタート/コピー **押す**

ﾌｧｸｽ送信

➡送信を開始する

●送信が終わると、下記が表示される

XX枚　送信しました

送信した原稿の枚数が表示される

オート再ダイヤルについて

●受話器や スピーカーホン を使わないで送信する場合、相手が話し中のときや相手のファクスの応答がなかったときは、1分間隔で3回まで自動的に再ダイヤルします。
（オート再ダイヤル）

●再ダイヤル待ちのときは 再ﾀﾞｲﾔﾙ待機中

電話をかけたり、機能登録操作などで本機を使用すると、オート再ダイヤルは中止されます。

画質選択のめやす

「ふつう」「小さい」「写真」

大きい文字のとき

この文字の大きさより小さいとき

●新聞などのように原稿の文字が小さいときに「**小さい**」でお使いください。

●写真や濃淡がある原稿のときに「**写真**」でお使いください。

ファクスを送るときのお知らせ

●送信できなかったとき
➡ ストップ を押して原稿を排出する

●送信を中止したいとき
➡ ストップ を押す

再度 ストップ を押すと原稿が排出されます

●ダイヤル後「ファクスを送信します」と聞こえると、スタート/コピー を押さなくても自動的に送信を開始します。
（ファクス親切送信）

●相手機の記録紙がA4サイズのとき
➡B4サイズの原稿はA4に縮小して送信する
（自動縮小機能）

●ナンバー・ディスプレイサービスで「非通知」にしていても（☞192、193ページ）名前や電話番号を登録すると、相手が受けたファクス用紙にあなたの名前や電話番号が印字されます（☞42ページ）。また、通信中に相手のディスプレイに表示されることがあります。

ファクスを送るときの便利な機能

●送信濃度（原稿の読み取り濃度）を変更できます。（☞130ページ）

ファクス送信結果のお知らせについて

●送信結果を音声でお知らせします。**（ファクス親切案内）**
➡「ファクスを送信しました」
「ファクスを送信できませんでした」

●ファクス親切案内の音声が流れないようするには
➡130ページ「ファクス親切案内の設定」

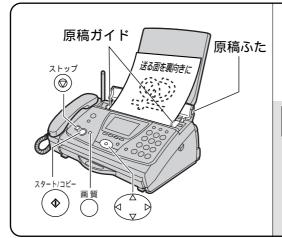
●送信できなかったときや送信するたびに、送信結果レポートを自動的にプリントするように設定できます。（☞130ページ「送信結果レポートをプリントする」）

構内交換機に接続しているとき

●ダイヤルするときに、外線発信番号のあとに ポーズ F3 を押して、電話番号をダイヤルすると、つながりやすくなります。

ファクスを送る

電話帳で送る

電話帳に登録した相手に、簡単に送信できます。（あらかじめ、電話帳への登録が必要です。☞66ページ）

1 原稿ふたを開けて
原稿ガイドを原稿の幅に合わせ、原稿を入れて画質を選ぶ

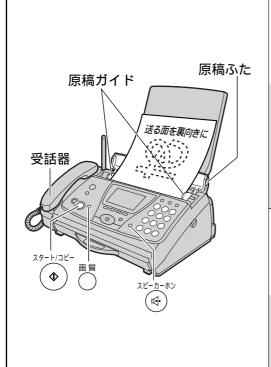
原稿 をセットしました
画質 =ふつう

- 原稿は一度に**重ねて5枚**まで
- 詳しい操作については（☞82ページ「ダイヤルして送る」の手順1〜3）

2 ▶電話帳 **押す**

電話帳検索
名前？

海外へ送る

海外へ送るには、国際電話識別番号（利用する国際電話会社の番号）と相手の国・地域番号が必要です。

1 原稿ふたを開けて
原稿ガイドを原稿の幅に合わせ、原稿を入れて画質を選ぶ

原稿 をセットしました
画質 =ふつう

- 原稿は一度に**重ねて5枚**まで
- 詳しい操作については（☞82ページ「ダイヤルして送る」の手順1〜3）

4 「ピーヒョロロ」が聞こえたら
スタート/コピー **押す**

ファクス送信

➡送信を開始する

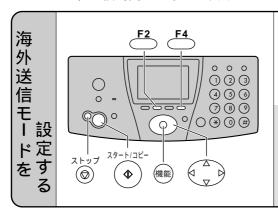
5 **受話器を戻す**

送れないときは、海外送信モードで送ってください

海外へ送るときには、電話回線の状況が悪く 通信エラー　U40 が表示されて送れないことがあります。そのときは、送信時間が通常より長くかかりますが（約2倍）、海外送信モードで送ってください。

海外送信モードを設定する

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで

押す

ファクスの設定
［スタート］押す

2 スタート/コピー **押す**

送信レポート=なし

3 押し、送る相手を選ぶ

（例）

木村
098 765 43‥

●**相手が登録されていないとき**

➡ ストップ を押す

●グループ番号や名前の頭文字を入力して、相手を選ぶこともできます（☞70、71ページ）

4 スタート/コピー 押す

（例）

098 765 43‥

⬇

ファクス送信

➡送信を開始する

お知らせ

●相手が話し中などのときは、1分間隔で3回まで自動的に再ダイヤルします。（**オート再ダイヤル**☞83ページ）

●**ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけて送信したいとき**

1. 原稿を入れたあと、受話器を取る
2. 「184」または「186」をダイヤルする
3. 電話帳 を押し、相手が表示されるまで を押す
4. 「プププ…」音が聞こえている間に スタート/コピー を押す
5. もう一度 スタート/コピー を押す

---

2 受話器を取る

（または スピーカーホン 押す）

番号？

3 ダイヤルする

■ **マイライン・マイラインプラスに登録されている場合**

（例：アメリカの123－456－78××へかける）

010 － 1 － 123 － 456 － 78××

（国際電話を示す番号）（相手国（地域）番号 アメリカは「1」）（相手の市外局番と電話番号）

■ **マイライン・マイラインプラスに登録されていない場合**

（例：アメリカの123－456－78××へかける）

00XY － 010 － 1 － 123 － 456 － 78××

（電話会社の国際電話識別番号）（国際電話を示す番号）（相手国（地域）番号 アメリカは「1」）（相手の市外局番と電話番号）

お知らせ

●相手国（地域）番号リスト（☞268ページ）

●国際通話については、電話会社によって通話可能な国や地域などが異なりますのでご注意ください。詳しくは、各電話会社までお問い合わせください。

電話会社の国際電話識別番号について（識別番号）

●KDDI株式会社……001
●NTTコミュニケーションズ……0033
●日本テレコム株式会社……0041
●ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC株式会社（C＆WIDC）……0061
●MCI ワールドコム・ジャパン……0071
●ドイツテレコム・ジャパン……0080
●フュージョン・コミュニケーションズ……0038

---

3 下記の表示になるまで 押す

海外送信 =なし

4 選択 F2 押し、

「1回」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

海外送信 =1回

⬍

海外送信 =なし

5 登録 F4 押し、ストップ 押す

登録しました

⬇

（手順4の設定を表示する）

⬇

日付・時刻の表示に戻る

➡ 上記手順でファクスを送る

●送信後、海外送信モードは自動的に解除（設定：なし）されます。

ファクスを受ける

ファクスを受けるときの共通の機能

メモリー代行受信について

記録紙またはインクフィルムがなくなったり、本体が余分な熱をもっていて（オーバーヒート）プリントできないときに、送られてきたファクスをメモリーに受信します。

●プリント待ちのファクスがあるとき

プリントするには

次の処置をすると、自動的にプリントされます。

- **記録紙がなくなったとき** ➡ 新しい記録紙を入れる。（☞28ページ）
- **インクフィルムがなくなったとき** ➡ インクフィルムを交換する。（☞26ページ）
- **オーバーヒートのとき** ➡ しばらく待つと自動的にプリントしはじめます。

●プリントされると、受信内容のメモリーは自動的に消去されます。

●プリント中にインクフィルムや記録紙がなくなると、プリントできなかったページ以降がメモリーに残ります。

●メモリーにはA4サイズ700字程度の標準原稿（画質「ふつう」で送信時）で、約42枚※まで受信できます。（☞269ページ「標準原稿の例」）

※ メモリーには、受信したファクスのほかに、用件録音などの音声情報も記憶・保存します。すでにメモリー内に用件録音などがある場合は、受信できる枚数が上記より少なくなります。

●メモリーがいっぱいになったときや、いっぱいになる前でも42枚（最大受信枚数）受信したときは、下記の表示が出ます。

メモリーが゛いっぱ゜い U80 録音で゛きません	メモリーが゛いっぱ゜い U80 録音：残りわず゛か！	不要な用件を 消去してくだ゛さい

➡受信したファクスをプリントしてください。（☞上記）

●用件録音などの音声情報でメモリーがいっぱいのときは、ファクス受信ができません。ただし、記録紙がセットされていれば、最初の1枚だけは受信できます。（通信速度は、通常より遅くなります。）

•**通常どおり受信するには** ➡ 不要な用件録音（☞102ページ）を消す。

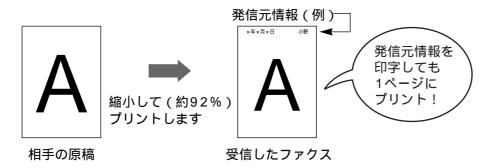
●プリント中は、ストップ を押してもプリントを中止できません。

●メモリー代行受信しているファクスを消去することができます。（☞132ページ）
消去するとファクスの内容を見ることはできません。

受信したファクスについて

- 発信元情報やページ数が自動的に印字されます。
- 縦・横ともに縮小して（約92%）プリントされます。**（エコノミー受信☞下記）**
- **相手がA3、B4サイズの原稿でファクスを送ってきたときは、A4サイズに縮小されます。**
  ➡文字が小さく読みにくいときは、相手に画質「小さい」で送ってもらってください。
- **プリントするときに表面がざらざらしている記録紙を使うと、文字がかすれます。**
  ➡表面がより滑らかな記録紙を使ってください。

エコノミー受信について

発信元情報やページ数を印字するため、相手の原稿によっては、1ページ分の内容が2ページにまたがってプリントされることがあります。本機では2ページにまたがらないように、縦・横ともに縮小（約92%）して、1ページにプリントします。

- **等倍で印字したいときは**
  ➡設定を「なし」に変えてください。（☞130ページ「エコノミー受信の設定」）

ファクスを受ける

ファクス（電話）の受けかたには5種類あります。使いかたに合わせて受けかたを選んでください。

留守 ボタンが消灯している場合、お買い上げ時の設定は「電話優先」になっています。

使いかたに合った受けかたを選ぶ

あなたの使いかたは？

家にいるとき（在宅時の受けかた）

電話に出てから ファクスを受ける

（☞90ページ）

● 在宅時に電話がかかってくることが多いときに使います。

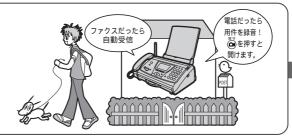
（お買い上げ時）

電話に出られなくても ファクスを自動的に 受ける

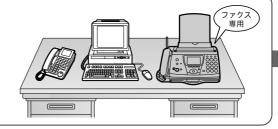
（☞92ページ）

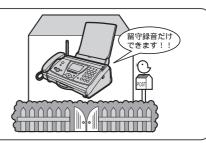
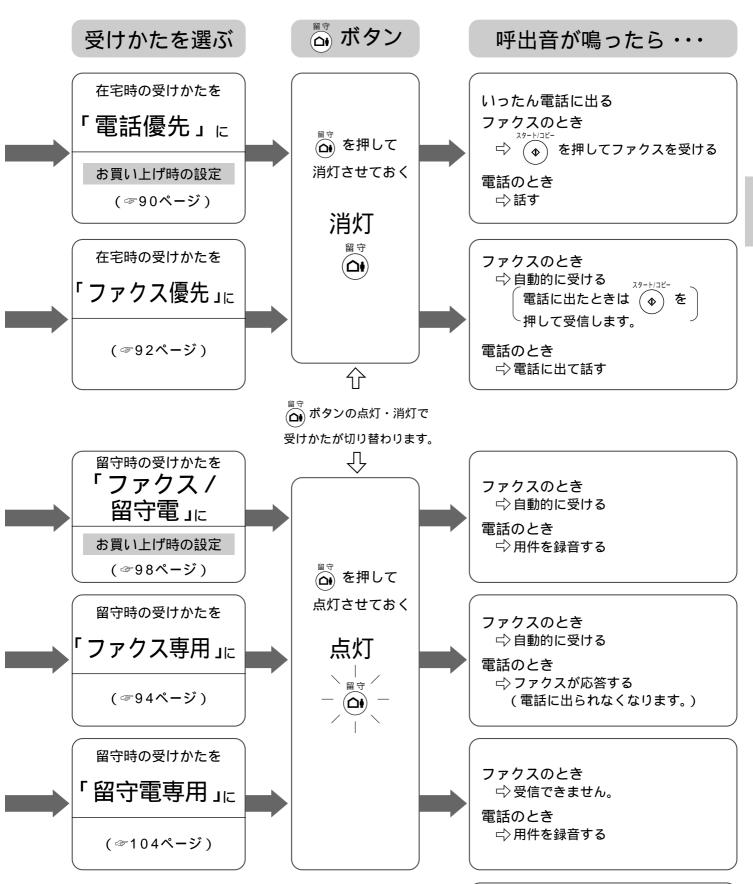
外出しているとき（留守時の受けかた）

留守時にファクスの受信と用件録音をする

（☞98ページ）

ファクスだけ受ける（ファクス専用）

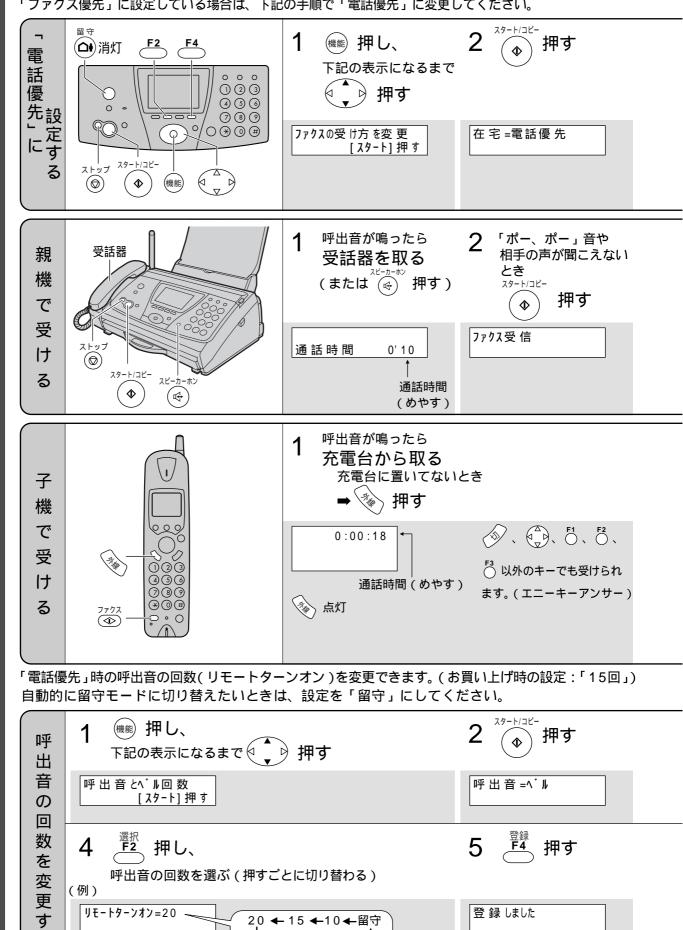
（☞94ページ）

● 電話を受けることはできません。

用件だけ録音する（ファクスは受けない）

（☞104ページ）

● ファクスを決まった時間帯（常時）に呼出音を鳴らさずに受信することもできます。（☞96ページ）

ファクスを受ける

家にいるときに電話に出てからファクスを受ける（電話優先）

お買い上げ時は**「電話優先」**に設定されており、一度電話に出てファクスを受けるようになっています。
「ファクス優先」に設定している場合は、下記の手順で**「電話優先」**に変更してください。

3 選択 F2 **押し、**
「電話優先」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

在 宅 =電話優 先
↕
在 宅 =ファクス優 先

4 登録 F4 **押す**

登 録 しました
↓
（手順3の設定を表示する）

5 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

●**「電話優先」は** 留守 **が消灯しているときに、はたらきます。**

---

3 受話器を戻す

➡受信を開始する

●**受信を中止するとき**
➡ ストップ を押す

お知らせ

●受信結果を音声でお知らせします。**（ファクス親切案内）**
「ファクスを受信しました」「ファクスを受信できませんでした」
➡**音声案内が流れないようにするには**（☞130ページ「ファクス親切案内の設定」）

●受話器を取ったときに「ファクスを受信しますので電話を切ってお待ちください」というメッセージが聞こえたら、スタート/コピー を押さなくても自動的に受信します。**（ファクス親切受信）**

●7〜8回以上呼出音が鳴ってから受話器を取ると、ファクスを受信できないことがあります。

---

2 「ポー、ポー」音や相手の声が聞こえないとき「ピッ」と鳴るまで
ファクス **押す**

ファ ク ス 受 信

お知らせ

●**受信を中止するとき** ➡ 親機の ストップ を押す

●**通話中にまちがって** ファクス **を押したとき**

ファ ク ス 受 信 ➡ ファクス を押すと通話に戻ることができます

●相手がファクスのとき「ファクスを受信します」というメッセージが聞こえたら ファクス を押さなくてもファクスを自動的に受信できます。**（ファクス親切受信）**

● feel H"、H" などDDIポケットの電話機を子機としてお使いのとき
➡手順2で㊍⑨（この番号は変更できます。☞132ページ「並列電話機でファクスを受けるリモート受信番号を変える」）を押してください。

---

3 下記の表示になるまで
押す

リモートターンオン=15

6 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お願い

●**「しない」に設定していると、77セレクティを利用する場合、オンライン通信の電話がかかってきたときにデータの受け取りができません。また、Eメールの着信通知サービス（☞184ページ）が利用できません。**

呼出音の回数と本機の動きについて

設 定	本 機 の 動 き
10、15、20、25、30	設定した回数の呼出音が鳴ったあと、一時的に「ただいま呼び出しております」と応答メッセージが流れ、再呼出音が鳴る また、外出先から暗証番号を入力すると、自動的に104ページで設定している留守モードに切り替わる （ファクス優先時の動きをする☞92ページ）
しない	電話に出るまで、呼出音が鳴り続ける
留守	呼出音が15回鳴ると、自動的に104ページで設定している留守モードに切り替わる （この呼出音の回数は、変更できません）

●応答メッセージが流れ始めたところから、相手に通話料金がかかります。

ファクスを受ける

家にいるときに電話に出られなくてもファクスを自動的に受ける（ファクス優先）

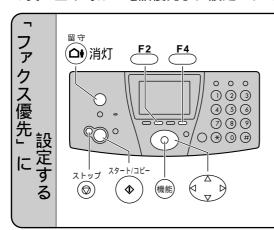
電話よりファクスが送られてくることが多いお宅では、電話がかかってくると呼出音を鳴らし、ファクスだと自動的に受信することができます。
お買い上げ時は**「電話優先」**に設定されています。**「ファクス優先」**に変更してください。

「ファクス優先」に設定する

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

```
ファクスの受け方を変更
        [スタート]押す
```

2 **押す**

```
在宅=電話優先
```

電話がかかってきたり、ファクスが送られてくると

ここから相手に通話料金がかかります

本機の**「呼出音」**が6回鳴る

●呼出音の回数は変えられます。（☞下記）
●**決まった時間帯（常時）に呼出音を鳴らしたくないとき**（☞96ページ）

相手に1回目のメッセージが流れる

●相手からのファクス信号（ポー、ポー音）が来ていれば、ここで受信を開始します。

呼出音・再呼出音の回数を変更する

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

```
呼出音とベル回数
        [スタート]押す
```

2 スタート/コピー **押す**

```
呼出音=ベル
```

3 **下記の表示になるまで**
押す

```
呼出回数=6
(ファクス優先)
```

7 **押す**

```
登録しました
```

⬇

（手順4の設定を表示する）

8 **押す**

日付・時刻の表示に戻る

3 選択 F2 **押し、**

「ファクス優先」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

在 宅 =ﾌｧｸｽ優 先

↕

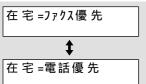
在 宅 =電話優 先

4 登録 F4 **押す**

登 録 しました

↓

（手順3の設定を表示する）

5 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- **「ファクス優先」は 留守 が消灯しているときに、はたらきます。**

本機の「再呼出音」が6回鳴る

- 再呼出音の回数は変えられます。（☞下記）
- 再呼出音の途中で受信を開始することがあります。

相手に2回目のメッセージが流れる

- 相手がこのときファクスを送信すると、受信を開始します。

お知らせ

- 再呼出音が鳴り終わる前に電話に出た場合
  - **相手が電話のとき**
    ➡ 通話できる
  - **相手がファクスのとき**
    ➡ スタート/コピー を押すと受信できる
- 呼出音をメロディに設定している場合、「呼出音」と「再呼出音」の音質は異なります。

4 選択 F2 **押し、**

呼出音の回数を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

（例）

呼 出 回 数 =0 (ﾌｧｸｽ優 先)

0 → 2 → 4 → 6 → 0

5 登録 F4 **押す**

再 呼 出 回 数 =6 (ﾌｧｸｽ優 先)

6 選択 F2 **押し、**

再呼出音の回数を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

（例）

再 呼 出 回 数 =9 (ﾌｧｸｽ優 先)

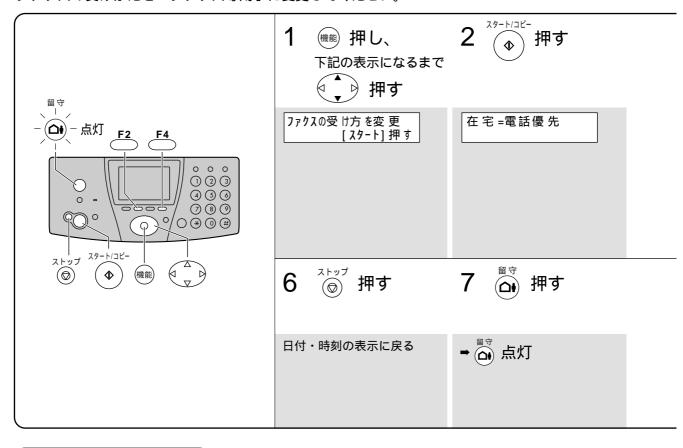
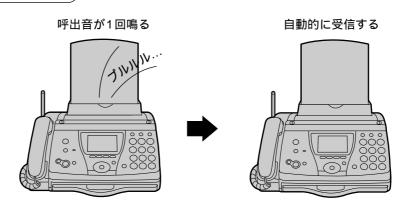
9 → 1 5 → 3 → 6 → 9

お知らせ

- 自動受信できない場合は、呼出音の回数を少なくしてください。

ファクスを受ける

ファクスだけ受ける（ファクス専用）

電話を受けずに、ファクスだけを自動的に受信することができます。
ファクスの受けかたを**「ファクス専用」**に変更してください。

ファクスが送られてくると

- 呼出音の回数は変えられません。
- **決まった時間帯（常時）に呼出音を鳴らしたくないとき**（☞96ページ）

3 **下記の表示になるまで** ▲▼◁▷ **押す**

4 選択 F2 **押し、**
「ファクス専用」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

5 登録 F4 **押す**

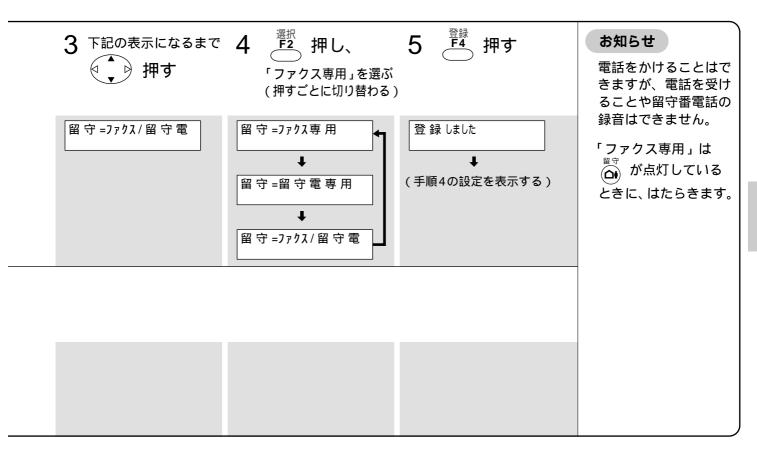
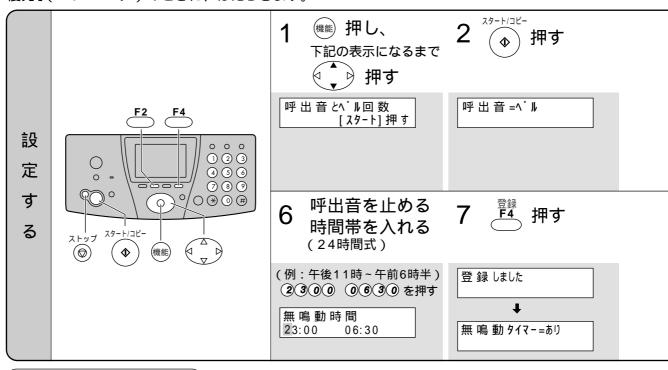
お知らせ

- 電話をかけることはできますが、電話を受けることや留守番電話の録音はできません。
- **「ファクス専用」は 留守 が点灯しているときに、はたらきます。**

ファクス

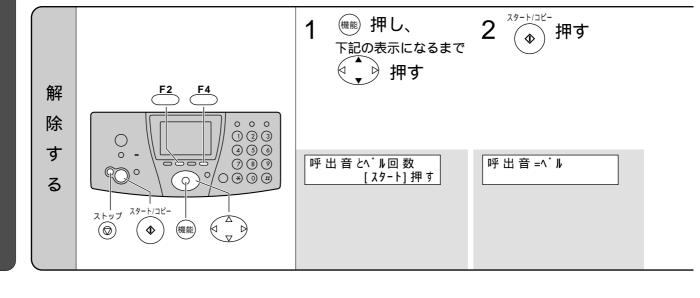
ファクスを受ける（ファクス専用）

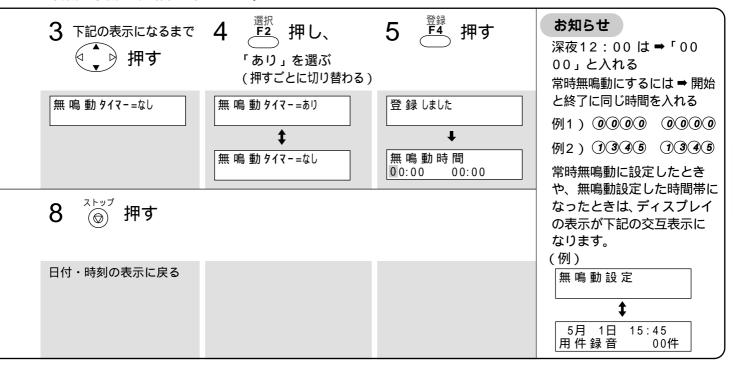
ファクスを受ける

決まった時間帯（常時）に呼出音を鳴らさずに受ける（無鳴動受信）

深夜にファクスやEメールを受けることが多い場合など、毎日決まった時間帯に呼出音を鳴らさずに受信することができます。**留守設定中（留守 点灯）、または在宅時の受けかたが「ファクス優先」（☞92ページ）のときに、はたらきます。**

ファクスが送られてくると

呼出音を鳴らさずに受信する

お知らせ

- **無鳴動に設定しても、次の場合は呼出音が鳴ります。**
  - 「ファクス優先」に設定中、相手が受話器を取って手動でダイヤルしたあとスタートボタンを押してファクスを送信したときや、電話をかけてきたとき（☞右記）
  - 「電話優先」に設定しているとき
  - 記録紙やインクフィルムがなく、メモリーもいっぱいのとき
- **無鳴動設定は、本機だけに、はたらきます。**
  並列に接続した電話機を無鳴動にすることはできません。

お知らせ

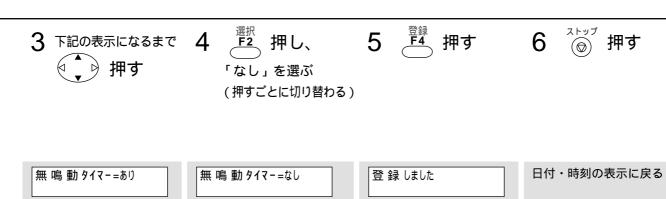
●**留守時の受けかたを「ファクス／留守電」や「留守電専用」（☞104ページ）にしている場合、相手が電話でも親機と子機の呼出音は鳴りません。**

●「ファクス優先」に設定している場合、相手が受話器を取って手動でダイヤルしたあとスタートボタンを押してファクスを送信したときや、電話をかけてきたときは、**再呼出音が鳴ります**。

電話がかかってくる

本機の呼出音は鳴らない

- 相手に呼出音が1回聞こえ、「ただいま呼び出しております」のメッセージが流れます。
- ここから相手に通話料金がかかります。

本機の再呼出音が鳴る

- 相手に再呼出音が聞こえます。
- 再呼出音の回数は変えられます。（☞92ページ）
- 呼出音をメロディに設定している場合、「再呼出音」の音質は、無鳴動に設定していないときの「呼出音」の音質と異なります。

留守番電話を使う

留守中にファクスの受信と用件録音をする（ファクス／留守電）

お出かけ前に 留守 を点灯させておくだけで、用件を録音したり、ファクスを自動的に受信します。
お宅での使いかたに合わせて、**「留守電専用」**（☞104ページ）や**「ファクス専用」**（☞94ページ）に受けかたを変えることもできます。

親機で設定する

留守 点灯 ストップ

1 お出かけ前に
留守 **押す（点灯）**

残り約 15分です
応答ﾒｯｾｰｼﾞ：固定
ﾒﾓﾘｰ残
— 残り時間のめやす

➡応答メッセージが流れ、留守番電話に設定される
例：「ファクス/留守電」設定時の固定応答メッセージ

ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は送信してください。電話の方は、「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。

●応答メッセージを止めるには ➡ ストップ を押す

「ファクス／留守電のとき」

電話がかかってきたり、ファクスが送られてくると

本機の呼出音が2回鳴る

ここから相手に通話料金がかかります

相手に「プルル　プルル」と短い呼出音が鳴ったあと、下記の固定応答メッセージが流れる

ただいま留守にしております。
ファクシミリをご利用の方は、送信してください。
電話の方は、「ピー」という音に続けてお名前と
ご用件をお話しください。

こんなことができます！

●呼出音の回数を変える（☞104ページ）
●**決まった時間帯（常時）に呼出音を鳴らさないようにする（☞96ページ）**

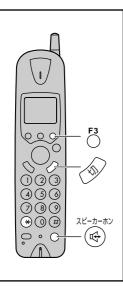
こんなことができます！

●応答メッセージをあなたの声で録音する（☞102ページ）

用件録音時間について

●1件当たりの録音可能時間は2分です。（お買い上げ時の設定）
・録音可能時間を変更することもできます。（☞132ページ）
●**合計約18分まで録音できます。**（録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。）
・通話録音や自作応答メッセージも含みます。
●用件録音中にメモリーがいっぱいになると、相手に「これ以上録音できません」というメッセージが流れ、自動的に録音は切れます。
●メモリーがいっぱいになると、応答メッセージは固定応答メッセージに切り替わります。（☞103ページ）

●「ファクス／留守電」や「ファクス専用」に設定しているとき
記録紙がセットされていることを確認してください。

子機で設定する

1 留守 F3 押し、
 押す

留守電操作
設定　　=＊
解除/再生=0

子機 スピーカーホン 点灯
親機 留守 点灯
➡「ピー、留守設定をしました」とメッセージが流れたあと応答メッセージが流れ、留守番電話に設定される

2 切 押す

スピーカーホン 消灯

お知らせ
●留守番電話に設定しても、残っている用件は消えません。
・用件を消去するには
(☞102ページ)

ファクスのとき
自動的に受信する

電話のとき
留守番電話に用件を録音する
●用件録音中は、スピーカーから相手の声が聞こえます。
●用件録音件数は、最大50件です。
●以下のような場合は自動的に録音が切れ、用件が録音されません。
・録音中に6秒以上無音が続いたとき
・相手の用件が短いとき（4〜5秒以内）
・相手の声が小さかったとき

■応答メッセージが流れているときや用件の録音中に電話に出るには
（親機）　受話器を取る、または スピーカーホン を押す
（子機）　 を押す、または スピーカーホン を押す
・録音は途中で止まり、1件分として残ります。

帰ってきたら
● 留守 を押し、
用件を再生する
(☞100ページ)

こんなことができます！
●用件1件当たりの録音時間を変える（☞132ページ）
●用件録音中にスピーカーから相手の声が聞こえないようにする（留守音声モニター）（☞132ページ）

メモリーには、用件録音などの音声情報のほかに、受信したファクスなどの画像情報も記憶・保存します。すでにメモリー内に受信したファクスがある場合は、用件録音時間が上記より短くなります。
➡ **受信したファクスをプリントするには**（☞86ページ「メモリー代行受信について」）

留守番電話を使う

用件を再生する

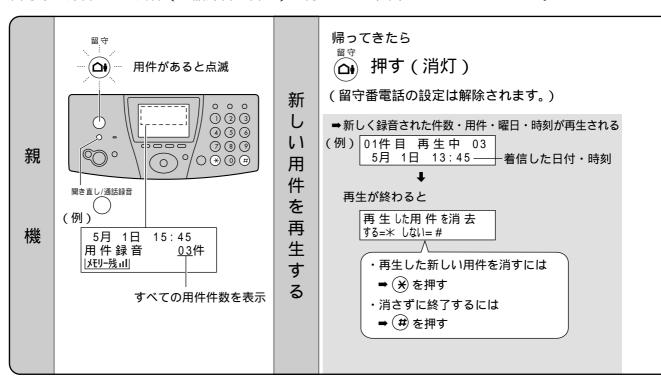
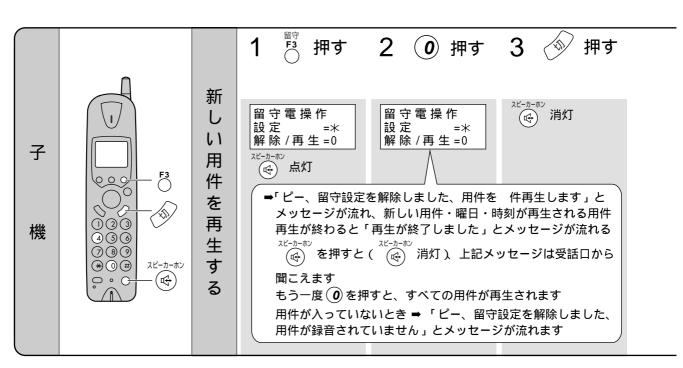
留守中に録音された**用件**（通話録音を含む）を再生したり、聞き直すことができます。

すべての用件を再生する

聞き直し/通話録音 ○ **押す**

➡「用件を○件再生します」とメッセージが流れ、**すべての用件**が再生される

（例）
```
01件目 再生中 03
 5月 1日 13：45
```
⬇

再生が終わると
```
再生した用件を消去
する=＊ しない=＃
```
- **再生したすべての用件を消すには**
  ➡ ＊ を押す
- **消さずに終了するには**
  ➡ ＃ を押す

用件再生中にできること

再生中の用件を聞き直す	聞き直し/通話録音 ○ を押す
早聞き（早く）再生する	早聞き 5 を押す
遅聞き（ゆっくり）再生する	遅聞き 4 を押す
再生速度を元に戻す	遅聞き 4 または 早聞き 5 を押す
次の用件に進んで再生する	進む分だけ 次の用件 F4 を押す（例：2つ先➡2回）
前の用件に戻り再生する	戻る分だけ 前の用件 F3 を押す（例：2つ前➡2回）
再生を中止する	ストップ ◎ を押す（再生を再び始めるには、聞き直し/通話録音 ○ を押す）
再生中の用件を消す	再生中に 消去 F1 を押し、＊ を押す

すべての用件を再生する

1 留守 F3 **押す**

```
留守電操作
設定　　　=＊
解除/再生=0
```
スピーカーホン 点灯

2 4 **押す**

●「用件を○件再生します」とメッセージが流れ、**すべての用件**が再生されます

3 切 **押す**

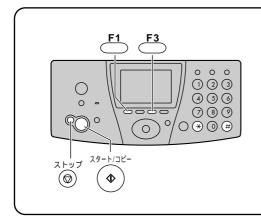
スピーカーホン 消灯

用件再生中にできること

再生中の用件を聞き直す	――――――
早聞き（早く）再生する	5 を押す
遅聞き（ゆっくり）再生する	4 を押す
再生速度を元に戻す	4 または 5 を押す
次の用件に進んで再生する	進む分だけ 3 を押す（例：2つ先➡2回）
前の用件に戻り再生する	戻る分だけ 1 を押す（例：2つ前➡2回）
再生を中止する	＃ を押す（再生を再び始めるには、4 を押す）

留守番電話を使う

用件を消去する

不要な用件・通話録音を消したいときは、下記の操作で消去してください。

1 留守電 F3 **押す**

用件全消去
[スタート]押す

●再生されていない用件があるとき

用件全消去
再生されていません

●消去を中止するとき

➡ ストップ を押す

自作応答メッセージに変える

あなたの声で応答メッセージを録音すると、自動的に固定応答メッセージと入れ替わります。
メモリーがいっぱいのときは、応答メッセージを録音できません。不要な用件・通話録音を消してから録音してください。

あなたの声で録音する（自作応答メッセージ）

1 留守電 F3 **押し、**

下記の表示が出るまで

押す

自作応答録音
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

自作応答録音
受話器を取ってください

あなたの声で録音した応答メッセージを消去すると、自動的に固定応答メッセージに戻ります。

固定応答メッセージに戻す

1 留守電 F3 **押し、**

下記の表示が出るまで

押す

自作応答消去
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

消去しますか?
はい=＊ いいえ=#

2 スタート/コピー **押す**

すべて消去しますか?
はい=＊ いいえ=#

3 ＊ **押す**

用件全消去
しばらくお待ちください
↓
用件全消去
消去しました
↓
日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- 手順2で # を押すと、消去せずに手順1の画面に戻ります。
- **再生中の用件だけを消すとき**
  ➡再生中に 消去 F1 を押し、＊ を押す

3 受話器を取り、スタート/コピー **押す**

自作応答録音
開始は[スタート]押す
↓
自作応答録音
録音 ■>>>>>>>

4 「ピー」音のあと受話器に向かって**録音する**（16秒以内）

自作応答録音
録音 ■>>>>>>>

- 録音時間の経過を■で表示する

5 ストップ **押す**

自作応答録音
受話器を置いてください

6 **受話器を戻す**

自作応答録音
再生 ■>>>>>>>

➡録音されたメッセージを1回再生する

- 録音し直すときは、手順6のあと、もう一度手順1から行ってください。

3 ＊ **押す**

自作応答消去
しばらくお待ちください
↓
自作応答消去
消去しました
↓
日付・時刻の表示に戻る

- 自分の声で録音した応答メッセージは消去され、固定応答メッセージに戻ります

お知らせ

あなたの声で応答メッセージを録音していても、次のような場合は、固定応答メッセージに切り替わります。

「ファクス/留守電」のとき	**用件録音ができないとき** ・メモリーがいっぱいのとき ・50件録音されているとき	ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。
	用件録音やファクス受信もできないとき ・記録紙またはインクフィルムがなく、メモリーもいっぱいのとき	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。
「留守電専用」のとき	**用件録音ができないとき**	

留守番電話を使う

呼出音の回数を変更する

相手に応答メッセージが流れ始めるまでに鳴る呼出音の回数を選べます。（お買い上げ時の設定：2回）

1 （機能）**押し、**

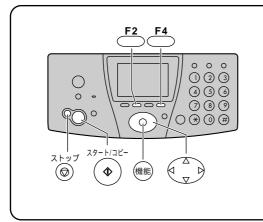
下記の表示になるまで

（◀▲▼▶）**押す**

```
呼出音とベル回数
        [スタート]押す
```

2 スタート/コピー（◇）**押す**

```
呼出音=ベル
```

留守中の受けかたを選ぶ

- **ファクス受信と用件録音をしたいとき** ➡ **「ファクス／留守電」**を選ぶ（お買い上げ時の設定）
- **留守番電話で用件録音だけしたいとき**（ファクスは受けない） ➡ **「留守電専用」**を選ぶ
- **ファクス受信だけしたいとき** ➡ **「ファクス専用」**を選ぶ（☞94ページ）

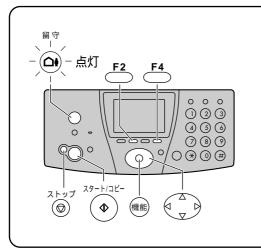
1 （機能）**押し、**

下記の表示になるまで

（◀▲▼▶）**押す**

```
ファクスの受け方を変更
        [スタート]押す
```

2 スタート/コピー（◇）**押す**

```
在宅=電話優先
```

「留守電専用のとき」

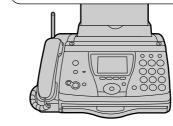
電話がかかってくると

本機の呼出音が2回鳴る

- 呼出音の回数は変えられます。（☞上記）
- **決まった時間帯（常時）に呼出音を鳴らしたくないとき**（☞96ページ）

ここから相手に通話料金がかかります

相手に「プルル　プルル」と短い呼出音が鳴ったあと、下記の固定応答メッセージが流れる

ただいま留守にしております。
電話の方は、「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。

- **用件を自動的に録音します。**（ファクスは自動受信しません。）

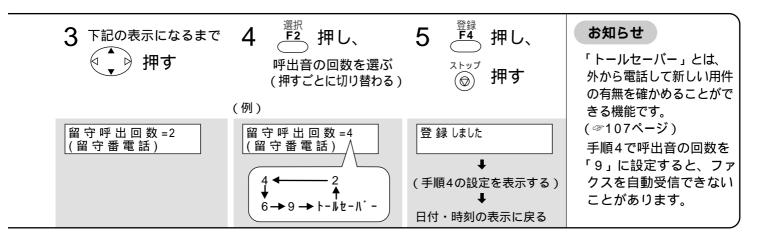
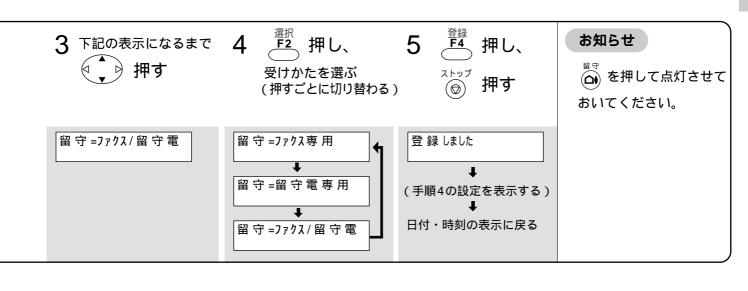
お知らせ

- **「トールセーバー」**とは、外から電話して新しい用件の有無を確かめることができる機能です。
  (☞107ページ)
- **手順4で呼出音の回数を「9」に設定すると、ファクスを自動受信できないことがあります。**

お知らせ

- 留守 **を押して点灯させておいてください。**

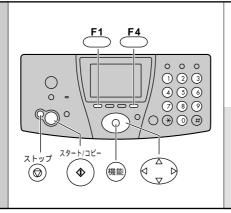
外出先から留守番電話を操作する

おでかけ前に

外出先から留守番電話を操作するには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

暗証番号を登録する

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

留守番電話の設定
[スタート] 押す

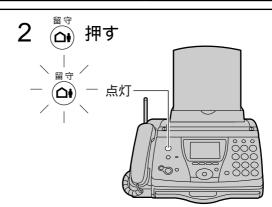
2 スタート/コピー **押す**

暗証番号 = ...
[4桁]

留守電をはたらかせる

1 設定を確認する
留守中の受けかたを
「ファクス／留守電」または
「留守電専用」に設定する。
(☞104ページ)

2 留守 **押す**

留守
点灯

外出先から用件を聞く（留守番電話のリモート操作）

トーン信号 (ピッポッパッ) が出せる電話機を使って、外出先から留守番電話を操作できます。

1 外から電話をかける

ただいま留守にしております・・・

2 応答メッセージが聞こえている間に
暗証番号を押す

新しい用件があるとき
用件が○件あります

新しい用件がないとき
用件が録音されていません

(➡手順5へ)

再生中にできること

- 前の用件に戻る ………… 1 を押す
- 次の用件に進む ………… 3 を押す
- 遅聞き再生 (ゆっくり再生) をする… 4 を押す
- 早聞き再生 (早く再生) をする …… 5 を押す
- 再生速度を元に戻す …… 4 または 5 を押す
- 再生を中止する ………… # を押す
- 押しまちがえたとき ……正しい番号を押し直す

再生終了後にできること

- すべての用件を聞き直す …… 4 を押す (保存されている用件も再生されます)
- すべての用件を消す ………… 6 を押し、「消去します。6を押してください。」のメッセージのあと再び 6 を押す

お知らせ

- **外出先からの留守番電話操作カード** (☞269、270ページ) を切り取ってお使いください。

3 暗証番号を入力する（4ケタ）

(例：1234)

暗証番号=1234 [4桁]

●＊や＃は使えません
●**まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

4 登録 F4 押す

登録しました

⬇

（手順3の設定を表示する）

5 ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

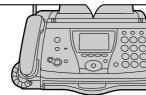
お願い

●リモート受信番号とは違う番号を登録してください。
（☞132ページ）

---

3 応答メッセージが流れる

「ファクス／留守電」のとき……ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は送信してください。電話の方は、「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。

「留守電専用」のとき……ただいま留守にしております。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。

●もし「録音時間が残りわずかです。不要な録音を消去してください」とメッセージが流れたら、不要な用件を消去してください。
（☞102ページ）

---

3 新しく録音された用件を聞くには **4秒待つ**または **2 を押す**

●一度聞いた用件は再生されません
（お買い上げ時の設定：リモート繰り返し再生の選択が「1回」のとき）

4 用件を聞く

5 受話器を戻す

お知らせ

●手順2で「用件が録音されていません」と聞こえても4秒以内に 4 を押すと、一度聞いた用件の聞き直しができます。

リモート繰り返し再生について

●一度聞いた用件を毎回聞けるように設定できます。
リモート操作を、家族などの数人で行うときに便利です。
（☞134ページ「リモート繰り返し再生の選択」）

外出先からの電話代節約のために（トールセーバー）

外から電話して、新しい用件の有無を確かめることができる機能です。留守時の「呼出音の回数を変更する」（☞104ページ）で「トールセーバー」を選んでください。

外から電話をかける
➡ 新しい用件メッセージがあると**呼出音3回以内**で留守番電話が応答 ➡ **暗証番号を押し、用件を聞く**
➡ 新しい用件メッセージがないと**呼出音4〜6回**で留守番電話が応答（**3回目の呼出音が終わったところで電話を切ると通話料金はかかりません**）

●通常の呼出音が聞こえたあと、異なる呼出音が2回聞こえますが、この2回の呼出音は回数に関係ありません。

外出先から留守番電話を操作する

留守番録音の設定を変更する

留守番録音の設定をしないで外出したとき、外出先から留守番録音の設定ができます。

留守番録音ができるようにする

1 外から電話をかける

「ただいま呼び出しております・・・」

➡設定した回数の呼出音が鳴る
- 電話優先のとき
  「電話優先」時の呼出音の回数
- ファクス優先のとき
  「ファクス優先」時の呼出音の回数

2 メッセージが聞こえている間に **暗証番号を押す**

「留守設定をしました」

3 受話器を戻す

留守番録音をやめる

1 外から電話をかける

「ただいま留守にしております・・・」

2 応答メッセージが聞こえている間に **暗証番号を押す**

「用件が○件あります」
または
「用件が録音されていません」

3 4秒以内に **[0] 押す**

「留守設定を解除しました」

用件転送の設定を変更する

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておくと（☞110ページ）、用件転送の設定をしないで外出したとき、転送できるように設定できます。

用件転送ができるようにする

1 外から電話をかける

「ただいま留守にしております・・・」

2 応答メッセージが聞こえている間に **暗証番号を押す**

「用件が○件あります」
または
「用件が録音されていません」

3 4秒以内に **[7] 押す**

「転送を設定しました 転送先は○○です」
（○○：転送先の電話番号）

用件転送をやめる

1 外から電話をかける

「ただいま留守にしております・・・」

2 応答メッセージが聞こえている間に **暗証番号を押す**

「用件が○件あります」
または
「用件が録音されていません」

3 4秒以内に **[9] 押す**

「転送を解除しました」

お知らせ

- **暗証番号を押さずに、留守設定に変えることもできます。**
  ➡「電話優先」時の呼出音の回数を「留守」に設定する。
  （呼出音が15回鳴ると、自動的に留守設定になる（☞90ページ））
- **ファクスの受けかたを「ファクス専用」にしていると、留守番録音ができません。**

4 受話器を戻す

4 受話器を戻す

4 受話器を戻す

外出先から留守番電話を操作する

用件を転送する

留守番電話に用件が録音されたとき、録音された用件を外出先の電話や携帯電話・PHSなどに転送したり、登録されたポケットベルを呼び出しできます。あらかじめ暗証番号の登録が必要です。(☞106ページ)

転送先の電話番号を登録する

F1 F2 F4
ストップ スタート/コピー 機能

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで ◁▷ **押す**

留守番電話の設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

(例)

暗証番号=1234
[4桁]

5 登録 F4 **押す**

転送先=.........

6 **転送先の電話番号を入力する**
(50ケタまで)
(例:0987654)

転送先=0987654..

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

転送先で電話を受けて転送された用件を聞くには、トーン信号(ピッポッパッ)が出せる電話機を使って操作してください。

転送先での電話の受けかた

1 **本機の留守番電話に用件が録音される**

2 **登録された電話番号に本機から電話がかかる**

●約50秒以内に相手が電話に出ないときは、電話は切れます

3 **転送先で電話を受ける**

こちらは留守番電話です。用件を転送しますので暗証番号を入れてください。

転送先にポケットベルの番号を登録する

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで ◁▷ **押す**

留守番電話の設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

(例)

暗証番号=1234
[4桁]

3 **下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

用件転送=なし

7 あなたの電話回線がダイヤル回線のとき
⊛ **押す**

転送先=1234567*.

8 ポーズ F3 **4回押す**

転送先=567*PPPP.

(P=ポーズ)

9 ポケベルに表示させる
メッセージ番号を入力する
(例:1234)

転送先=PPPP1234.

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

4 暗証番号を押し 4秒待つ

用件が◯件あります。
再生します。

お知らせ

- 転送先が話し中のとき、呼び出しても電話に出ないとき、暗証番号が押されないときは、1分間隔で3回自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、さらに30分間隔で3回まで自動的にかけ直します。**(オート再ダイヤル)**
- 転送先を携帯電話・PHSなど・自動車電話にする場合、着信できる状態(電源が「入」、サービスエリア内)のときは転送できますが、電波状況が悪いと転送できません。また、着信後トーン信号が出せない機器には転送できません。
- 本機をホームテレホンや構内交換機に接続しているときは、うまく転送できない場合があります。

4 選択 F2 押し、

「ポケベル」を選ぶ
(押すごとに切り替わる)

(例)

用件転送=ポケベル

電話 → ポケベル → なし

5 登録 F4 押す

転送先=.........

6 ポケットベルの電話番号を入力する

(例:1234567)

転送先=1234567..

- **まちがえたとき**
  ➡ クリアー F1 を押す

お知らせ

- 手順6～10では、合計50ケタまで登録できます。
- 登録方法は、ポケットベルの会社によって異なります。
  ポケットベルのお求め先にご相談ください。

10 # 2回押す

転送先=PP1234##.

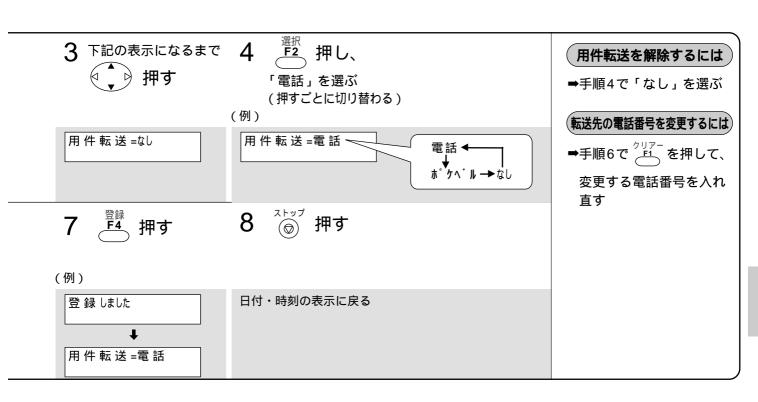
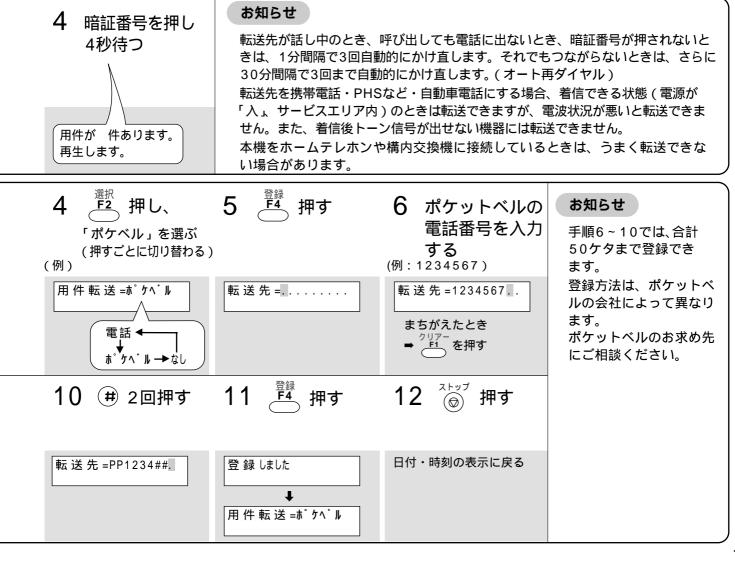
11 登録 F4 押す

登録しました

↓

用件転送=ポケベル

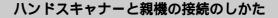
12 ストップ 押す

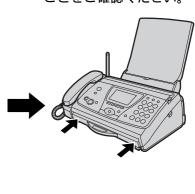
日付・時刻の表示に戻る

ハンドスキャナーを使う

ハンドスキャナーを使うと、ノートや雑誌などのとじこみ原稿を読み取って親機でプリントしたり、ファクスで送ることができます。お買い上げ時は、必ず10時間以上充電してください。(☞38ページ)

ハンドスキャナーの取り外しかた

ハンドスキャナーの取っ手を下に押しながら引き出す

ハンドスキャナーと親機の接続のしかた

ハンドスキャナーの底面を上にして、「ガチャ」と音がするまで差し込む

●ハンドスキャナーの両端を押して、奥まで入っていることをご確認ください。

●ハンドスキャナーを使わないときは、親機に接続しておいてください。(☞上記)
外したままにすると、コピーやファクス送信ができません。(ハンドスキャナーは携帯用ではありません。)

原稿を読み取って記憶する

動作中ランプ
文字 写真
画質
読み取り位置
原稿左端
A4 B4
読取幅
スタート/ストップ

1 ハンドスキャナーを取り外して裏返す (☞上記)

2 画質 **押し、画質を選ぶ**
(押すごとに切り替わる)

●「文字」……原稿が文字や表のとき
●「写真」……原稿に写真や濃淡があるとき

5 ハンドスキャナーの スタート/ストップ **押す** (「ピッ」)

➡約1〜2秒後、動作中ランプが緑色点灯
●動作中ランプの点灯を確認してから、手順6を行ってください

6 「動作中ランプ」緑色点灯後、**原稿を読み取る**
●原稿の読み取りかた(☞113ページ)

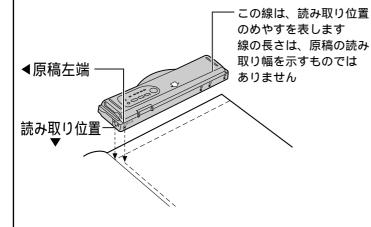
➡読み取りが正常なとき、動作中ランプ緑色点滅(警告音は鳴らない)
・「動作中ランプと警告音について」(☞114ページ)

7 読み取りが終了したら スタート/ストップ **押す** (「ピッ」)

➡読み取った内容は、ハンドスキャナー内に**1ページ分として**記憶される
➡動作中ランプ点滅→点灯→消灯(読み取った原稿により、消灯までの時間が異なる)
●動作中ランプが消灯したことを確認してから、手順8を行ってください

つづく

ハンドスキャナーの合わせかた

「読み取り位置」と「原稿左端」を原稿に合わせる

お知らせ

- 原稿の先端から約14mmは、読み取れない場合があります。

原稿の読み取りかた

ハンドスキャナーを原稿に押しあて、まっすぐに動かす（スキャナー上の⇩方向）

ハンドスキャナーを動かす速度
- 「文字」モードの場合：1秒間に約100mm※
- 「写真」モードの場合：1秒間に約25mm

※ 原稿の文字が小さいときは、1秒間に約50mm の速さでスキャナーを動かすと、きれいに読み取れます。

お知らせ

- 矢印方向と逆に動かすと、鏡に写したように上下左右が反対にプリントされます。

3 読取幅 **押し、読取幅を選ぶ**
（押すごとに切り替わる）

- 「A4」読取幅･208mm以内
- 「B4」読取幅･252mm以内
- 「B4」で読み取った原稿は「A4」に縮小してプリントされます

4 ハンドスキャナーを **原稿に合わせる**

- ハンドスキャナーの合わせかた（☞上記）

8 ハンドスキャナーを親機に接続する
（☞上記）

```
読取枚数      10枚
  印字は[ｽﾀｰﾄ]押す
```
⬇
日付・時刻の表示に戻る

9 **■プリントする**
（☞116ページ）
■ファクス送信する
（☞118ページ）

お知らせ

- **メモリーランプが速く点滅しているときは**
  ➡ハンドスキャナーのメモリー使用量がいっぱいで、記憶できません。（☞114ページ「メモリーランプについて」）
- **ハンドスキャナーを親機から外しているときや停電中に電池がなくなると、記憶された内容はすべて消えます。**
  （☞38ページ「電池ランプ表示と電池容量のめやす」）

読み取り可能枚数（めやす）

- 画質が「文字」の場合、ハンドスキャナーを動かす速度によって、下記のように画質モードが変わります。

画質	動かす速度（動作中ランプ表示）	画質モード	読み取り可能枚数
文字	1秒間に50mm（緑色の遅い点滅）	小さい	約10枚（A4サイズ700字程度の標準原稿（☞269ページ））
	1秒間に100mm（緑色の速い点滅）	ふつう	約20枚（A4サイズ700字程度の標準原稿（☞269ページ））
写真	ー		約1枚（A4サイズの写真）

- 新聞記事や、細かな網目が入った原稿などは、記憶できる枚数が極端に少なくなります。
  1ページ分の読み取り内容が少なく、メモリー使用量がいっぱいにならないときは、最大99枚まで記憶されます。

ハンドスキャナーを使う

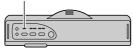
原稿を読み取って記憶する

動作中ランプと警告音について

ハンドスキャナーのご使用にあたっては、動作中ランプの点灯、消灯を確認してください。
（正しく読み取りできないことがあります。）

動作中ランプ表示	警告音	ハンドスキャナーの状態	対応
緑色点滅（遅い）	鳴らない	● 読み取りが正常に行われている ● 画質スイッチが「文字」のとき、「小さい」モードで読み取られている	
緑色点滅（速い）	鳴らない	● 読み取りが正常に行われている ● 画質スイッチが「文字」のとき、「ふつう」モードで読み取られている	
緑色点灯	鳴らない	読み取り中に静止している	30秒以上動かさないと読み取りを自動的に終了し、記憶する ➡再度、読み取りを始めるには（スタート/ストップ）を押す
赤色点灯	鳴らない	動かす速度が速い （原稿は読み取られている）	➡もう少しゆっくり動かす
赤色点灯	「ピー」と鳴る	動かす速度が速すぎる （読み取られていない部分がある）	文字や写真が押しつぶされたようにプリントされる ➡もう少しゆっくり動かす
消灯	「ピーピーピー」と鳴る	● メモリーがいっぱいになった（メモリーランプ緑色の速い点滅） ● 1枚の読み取りの長さが、約1.5m以上になった	➡記憶している内容を消去する ➡2回以上に分けて読み取る
消灯	鳴らない	動作していない	

メモリーランプについて

ハンドスキャナーに記憶しているメモリー使用量を、ランプで表示します。

メモリーランプ表示	メモリー使用量
消灯	0%
緑色点灯	～66%
緑色点滅（遅い点滅）	～99%
緑色点滅（速い点滅）	100%

お知らせ

● **メモリー使用量がいっぱいになると、新しく読み取ることはできません。**
➡記憶した内容を、親機で消去してください。（☞120ページ）

● **読み取りの途中でメモリー使用量がいっぱいになったとき**
➡最後のページだけを消去できます。（☞120ページ）

原稿について

読み取りサイズ

読み取りをしてはいけない原稿

●通貨、証券類、未使用郵便切手、官製はがき、印紙、酒税法で規定の証書類など
（➡法律で禁止）

●著作権の対象となっている書籍類、芸術作品類、地図など
（➡個人的な使用以外は法律で禁止）

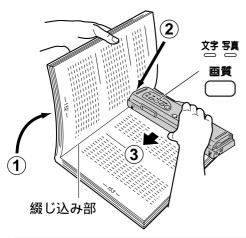
読み取りをおすすめできない原稿

●見開きページの中央部分や段差のある原稿
➡ハンドスキャナーを押しあてたときにすきまができるため、プリントしたときに黒くなったり、文字がぼやけます。

●読み取り面が汚れていたり、インク・修正液・朱肉・ノリなどが乾いていない原稿
➡読み取るとき、ハンドスキャナーの原稿読取部（ガラス面）に汚れやゴミが付着するため、親機でプリントしたときに白や黒い線が出る原因になります。

ハンドスキャナーの上手な使いかた

厚みのある本などを読み取るとき

読み取るページにしわができると、その部分が写らなかったり、黒くなったりすることがあります。
下記の方法で読み取りを行うと、きれいに読み取ることができます。

① 読み取る面の反対側（左側のページ）をできるだけ直角に立てる。

② 綴じ込み部にハンドスキャナーの左端を押しあてる。

③ ハンドスキャナーを軽く押さえながら、スキャナー上の矢印（⇩）を読み取り方向に沿ってゆっくり動かす。

本の左側のページを読み取るとき

本の上下を逆にして、上記の手順と同じように読み取ると、きれいに読み取ることができます。

ハンドスキャナーを使う

読み取った内容をプリントする

読み取った内容を全ページプリントできます。

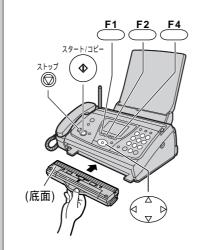
全ページをプリントする

F2
スタート/コピー
ストップ
（底面）

1 ハンドスキャナーを親機に接続する または 親機に接続した状態で スキャナー F2 **押す**

➡記憶されている枚数を表示する
（例：10枚）

```
読取枚数        10枚
  印字は[ｽﾀｰﾄ]押す
```

読み取った内容をページを指定してプリントしたり、拡大（約1.2倍）または縮小（約0.7倍／約0.8倍）してプリントできます。

ページ指定・拡大・縮小プリントする

1 ハンドスキャナーを親機に接続する または 親機に接続した状態で スキャナー F2 **押す**

➡記憶されている枚数を表示する
（例：10枚）

```
読取枚数        10枚
  印字は[ｽﾀｰﾄ]押す
```

5 親機の 登録 F4 **押す**

（例）

```
終了ﾍﾟｰｼﾞ=07
      [数字]押す
```

手順4で入力したページ番号を表示する

6 プリントしたい **最後のページ番号を2ケタで入力する**

（例：10ページ目まで）

```
終了ﾍﾟｰｼﾞ=10
      [数字]押す
```

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

● **1ページだけプリントするとき**
➡手順4と同じページ番号を入力する

7 親機の 登録 F4 **押す**

```
等倍=A4→A4
      [ｽﾀｰﾄ]押す
```

2 親機の スタート/コピー **押す**

等倍=A4→A4
[スタート]押す

3 親機の スタート/コピー **押す**

印字中　　1枚目

➡プリントを開始する

● B4サイズの原稿のときは、A4サイズに縮小される

お知らせ

● **プリントを途中でやめるとき**

➡ 親機の ストップ を押す

● **プリント中は電話をかけることができません。**

● 親機でプリントしても、読み取った内容は消えません。

2 **下記の表示になるまで** 親機の **押す**

■ **全ページをプリントするとき**

一括印字
[スタート]押す

■ **ページを指定してプリントするとき**

ページ指定印字
[スタート]押す

3 親機の スタート/コピー **押す**

■ **全ページをプリントするとき**
➡ **手順8へ**

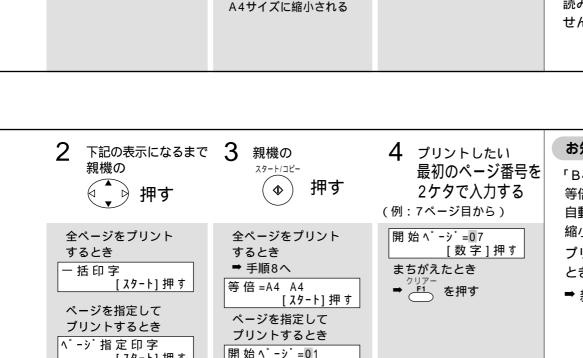
等倍=A4→A4
[スタート]押す

■ **ページを指定してプリントするとき**

開始ページ=01
[数字]押す

4 プリントしたい **最初のページ番号を2ケタで入力する**

（例：7ページ目から）

開始ページ=07
[数字]押す

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

お知らせ

●「B4」サイズの原稿は等倍にプリントできません。自動的に「A4」サイズに縮小プリントされます。

● **プリントを途中でやめるとき**

➡ 親機の ストップ を押す

8 親機の 選択 F2 **を押し、倍率を選ぶ**

（押すごとに切り替わる）

9 親機の スタート/コピー **押す**

（例：7ページ目からのプリント）

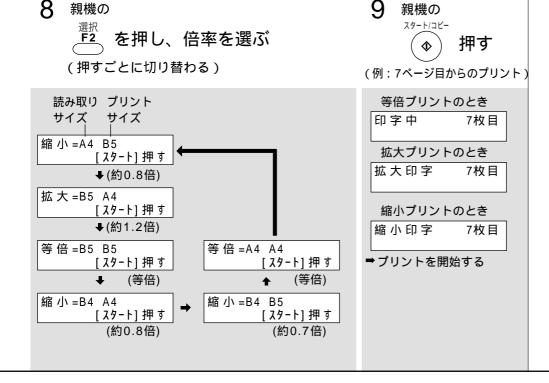
■ **等倍プリントのとき**

印字中　　7枚目

■ **拡大プリントのとき**

拡大印字　　7枚目

■ **縮小プリントのとき**

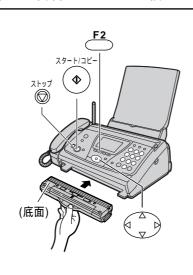
縮小印字　　7枚目

➡プリントを開始する

ハンドスキャナーを使う

読み取った内容をファクスで送るときは、ハンドスキャナーを親機に接続してください。**（☞112ページ）**

読み取った内容をファクスで送る

読み取った内容を全ページ送信したり、ページを指定して送信できます。

全ページを送信する

1 ハンドスキャナーを親機に接続する

または

親機に接続した状態で スキャナー F2 **押す**

➡記憶されている枚数を表示する

（例：10枚）

```
読取枚数    10枚
 印字は[ｽﾀｰﾄ]押す
```

2 下記の表示になるまで

親機の **押す**

```
一括送信
      [ｽﾀｰﾄ]押す
```

ページを指定して送信する

F1 F2 F4
スタート/コピー
ストップ
(底面)

1 ハンドスキャナーを親機に接続する

または

親機に接続した状態で スキャナー F2 **押す**

➡記憶されている枚数を表示する

（例：10枚）

```
読取枚数    10枚
 印字は[ｽﾀｰﾄ]押す
```

2 下記の表示になるまで

親機の ◁▷ **押す**

```
ﾍﾟｰｼﾞ指定送信
      [ｽﾀｰﾄ]押す
```

6 送信したい **最後のページ番号を2ケタで入力する**

（例： 10ページ目まで）

```
終了ﾍﾟｰｼﾞ=10
     [数字]押す
```

● **まちがえたとき**

➡ クリアー F1 を押す

● **1ページだけ送信するとき**

➡手順4と同じページ番号を入力する

7 親機の 登録 F4 **押す**

```
番号？
```

3 親機の スタート/コピー **押す**

4 ダイヤルする

(例：09876543・・)

5 親機の スタート/コピー **押す**

番号?	09876543・・	ｽｷｬﾅｰ送信　1枚目

●**電話帳を使うとき**
➡ 電話帳 押し、送る相手が表示されるまで を押す

➡送信を開始する

3 親機の スタート/コピー **押す**

4 送信したい **最初のページ番号を2ケタで入力する**

5 親機の 登録 F4 **押す**

(例： 7ページ目から)

(例)

開始ﾍﾟｰｼﾞ=01 [数字]押す	開始ﾍﾟｰｼﾞ=07 [数字]押す	終了ﾍﾟｰｼﾞ=07 [数字]押す

●**まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

手順4で入力したページ番号を表示する

8 ダイヤルする

9 親機の スタート/コピー **押す**

(例：09876543・・)

(例)

09876543・・	ｽｷｬﾅｰ送信　7枚目

●**電話帳を使うとき**
➡ 電話帳 押し、送る相手が表示されるまで を押す

➡送信を開始する

お知らせ

●**送信を途中でやめるとき**
➡ ストップ を押す

●ハンドスキャナーに記憶した内容を送信しても、記憶した内容は消えません。

●ハンドスキャナーに記憶した内容を送信する場合、送信時間が通常より長くなります。

●相手が話し中などのときは、1分間隔で3回まで自動的に再ダイヤルします。(**オート再ダイヤル** ☞83ページ)

ハンドスキャナーを使う

読み取った内容を消去する

読み取った内容が不要になったときや、メモリーランプが緑色の速い点滅（メモリー使用量がいっぱい）になって新しく読み取れないときは、読み取った内容を消去してください。

全ページを消去する

1 **ハンドスキャナーを親機に接続する** または 親機に接続した状態で スキャナー F2 **押す**

➡記憶された枚数を表示する
（例：10枚）

```
読取枚数　　　10枚
　印字は[ｽﾀｰﾄ]押す
```

ページを指定して消去する

1 **ハンドスキャナーを親機に接続する** または 親機に接続した状態で スキャナー F2 **押す**

➡記憶された枚数を表示する
（例：10枚）

```
読取枚数　　　10枚
　印字は[ｽﾀｰﾄ]押す
```

5 親機の 登録 F4 **押す**

（例）

```
終了ﾍﾟｰｼﾞ=07
　　　[数字]押す
```

手順4で入力したページ番号を表示する

6 消去したい **最後のページ番号を2ケタで入力する**

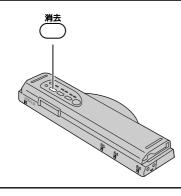
（例： 10ページ目まで）

```
終了ﾍﾟｰｼﾞ=10
　　　[数字]押す
```

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

● **1ページだけ消去するとき**
➡手順4と同じページ番号を入力する

読み取りの途中でメモリー使用量がいっぱいになったとき（☞114ページ）など、最後に読み取ったページだけを消去できます。

最後に読み取ったページを消去する

1 ハンドスキャナーの 消去 **を「ピッ」と音が鳴るまで約2秒間押す**

➡最後に読み取ったページを消去する
●続けて消去したいときは、上記の操作を繰り返してください

2 下記の表示になるまで
親機の
押す
3 親機の
スタート/コピー
押す
4 親機の
押す
一括消去
[スタート]押す
すべて消去しますか?
はい=＊ いいえ=#
消去しました
読取枚数 0枚
日付・時刻の表示に戻る
2 下記の表示になるまで
親機の
押す
3 親機の
スタート/コピー
押す
4 消去したい
最初のページ番号を
2ケタで入力する
(例：7ページ目から)
ページ指定消去
[スタート]押す
開始ページ=01
[数字]押す
開始ページ=07
[数字]押す
●まちがえたとき
クリアー
F1
を押す
7 親機の
登録
F4
押す
8 親機の
押す
消去しますか?
はい=＊ いいえ=#
消去しました
(例)
読取枚数 6枚
印字は[スタート]押す
日付・時刻の表示に戻る

使いかたに合わせて機能を変更・登録する(親機)

変更・登録する機能を選ぶ

親機では、使いかたに合わせて機能を変更・登録したり、登録している内容をプリントできます。
機能については、「機能登録一覧表」（☞123～126ページ）を参照してください。
（カーソルキー）を使って、変更・登録したい機能を選択できます。

ディスプレイで機能を探して選ぶ

F2　F4
ストップ　スタート/コピー　機能

1 （機能）**押す**

機能登録モード

2 （カーソルキー）**押し、機能の大項目を選ぶ**

最初の設定
　[スタート]押す

最初の設定
↓
呼出音とベル回数
↓
電話帳の設定
↓
コピーの設定
↓
ファクスの受け方を変更
↓
ファクスの設定
↓
留守番電話の設定
↓
ナンバー・ディスプレイ
↓
その他の設定
↓
すべての機能を表示

機能登録モード

3 スタート/コピー **押す**

(例：「最初の設定」のとき)

2001年 01月 01日
00:00

➡各項目の中の1番目の機能（項目）が表示される

4 （カーソルキー）**押し、変更・登録する機能（項目）を選ぶ**

➡変更・登録できる機能（項目）が表示される

5 選択 F2、登録 F4、スタート/コピー **などを押し、変更・登録する**

●操作方法は、「機能登録一覧表」に記載されている各参照ページをご覧ください。
●**操作が終わったら**
ストップ を押す
➡日付・時刻の表示に戻る

コード番号（☞123～126ページ「機能登録一覧表」）を入力して、変更・登録したい機能を選択できます。

コード番号で選ぶ

F2　F4
ストップ　スタート/コピー　機能

1 （機能）**押す**

機能登録モード

2 **コード番号を押す**

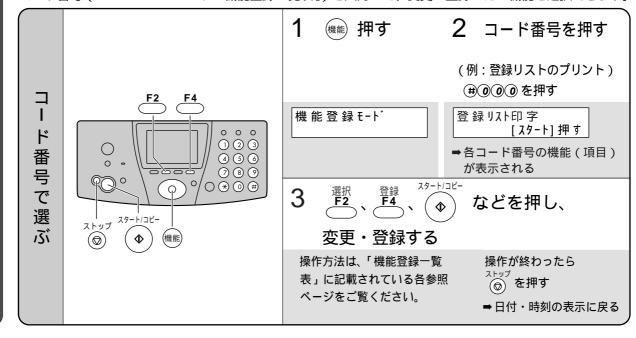
(例：登録リストのプリント)
#000 を押す

登録リスト印字
　[スタート]押す

➡各コード番号の機能（項目）が表示される

3 選択 F2、登録 F4、スタート/コピー **などを押し、変更・登録する**

●操作方法は、「機能登録一覧表」に記載されている各参照ページをご覧ください。

●**操作が終わったら**
ストップ を押す
➡日付・時刻の表示に戻る

＜機能登録一覧表＞

親機では、次の機能が登録できます。お買い上げ時は、［　　］のついている内容に設定されています。

コード番号	機　能	ディスプレイ	変更・登録できる内容	参照ページ
最初の設定 [ｽﾀｰﾄ]押す				
#001	**日付・時刻**	2001年 01月 01日 00:00	現在の日付・時刻を設定する	40
#002	**あなたの名前（印字用）**	名前(印字用)? >_	相手のファクスに印字される、あなたの名前を登録する	42
#003	**あなたの名前（表示用）**	名前(表示用)?	相手のディスプレイに表示される、あなたの名前を登録する	42
#004	**あなたの電話番号**	TEL=............	相手のファクスに印字される、あなたの電話番号を登録する	42
#079	**電話回線種別**	回線種別=自動	自動設定か手動設定（回線の種別）を選ぶ 自動／プッシュ／20／10	32
#000	**登録リスト印字**	登録ﾘｽﾄ印字 [ｽﾀｰﾄ]押す	現在の親機の登録内容をプリントする	128
呼出音とﾍﾞﾙ回数 [ｽﾀｰﾄ]押す				
#054	**呼出音**	呼出音=ﾍﾞﾙ	親機の呼出音を選ぶ（子機でも設定できます） ベル／メロディ	52
		ﾍﾞﾙ=1 [1-5]押す	「ベル」にしたとき、ベル音を選ぶ 1／2／3／4／5	
		ﾒﾛﾃﾞｨ=1 [1-7]押す	「メロディ」にしたとき、メロディを選ぶ 1／2／3／4／5／6／7	
#145	**メロディ転送**	ﾒﾛﾃﾞｨ転送	えらんでメロディで親機に受信・登録したメロディを子機に転送する	148
#112	**在宅着信呼出音の回数**	呼出回数=6 (ﾌｧｸｽ優先)	0回／2回／4回／6回	92
	在宅着信再呼出音の回数	再呼出回数=6 (ﾌｧｸｽ優先)	3回／6回／9回／15回	
#121	**留守着信呼出音の回数**	留守呼出回数=2 (留守番電話)	応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数 2回／4回／6回／9回／トールセーバー	104
#126	**リモートターンオン**	ﾘﾓｰﾄﾀｰﾝｵﾝ=15	10回／15回／20回／25回／30回／しない／留守	90
#114	**無鳴動タイマー受信**	無鳴動ﾀｲﾏｰ=なし	呼出音を鳴らさずにファクスを受ける あり／なし	96
	無鳴動タイマー受信の時間帯	無鳴動時間 00:00 → 00:00	「あり」にしたとき、切替時間を設定する	

使いかたに合わせて機能を変更・登録する(親機)

＜機能登録一覧表＞（つづき）

コード番号	機　　能	ディスプレイ	変更・登録できる内容	参照ページ
電話帳の設定 [ｽﾀｰﾄ]押す				
#041	電話帳リスト印字	電話帳ﾘｽﾄ=親機	親機または子機の電話帳に登録した名前と電話番号をプリントする　親機／子機	128
#143	電話帳転送	電話帳転送	親機の電話帳の内容を子機に転送する（子機から親機へも転送できます）	76
#144	電話帳の全消去	電話帳全消去	親機の電話帳の内容をすべて消去する（子機でも電話帳の内容を消去できます）	74
ｺﾋﾟｰの設定 [ｽﾀｰﾄ]押す				
#091	分割コピー	分割ｺﾋﾟｰ=なし	分割コピー機能をはたらかせるか、はたらかせないかを選ぶ　あり／なし	128
#094	マルチコピーソート	ｿｰﾄ ｺﾋﾟｰ=なし	複数コピーの方法を変更する あり／なし	80
#098	フィルム残量表示	ﾌｨﾙﾑ表示=なし	インクフィルムの残量のめやすを表示させるか、させないかを選ぶ（インクフィルム残量表示を「あり」に設定すると、別売品の長さ50mのインクフィルムの残量を表示します。付属のインクフィルムでは、長さが短く、正しく表示されません）　あり／なし	128
ﾌｧｸｽの受け方を変更 [ｽﾀｰﾄ]押す				
#110	在宅時の受けかた	在宅=電話優先	ファクスの受けかたを選ぶ 電話優先／ファクス優先	90 92
#120	留守時の受けかた	留守=ﾌｧｸｽ/留守電	留守中の受けかたを選ぶ ファクス／留守電／ファクス専用／留守電専用	94 104
ﾌｧｸｽの設定 [ｽﾀｰﾄ]押す				
#011	送信結果レポート	送信ﾚﾎﾟｰﾄ=なし	ファクスの送信結果をプリントする あり／エラー／なし	130
#020	ファクス親切案内	ﾌｧｸｽ親切案内=あり	音声案内をするかしないかを選ぶ あり／なし	130
#023	海外送信モード	海外送信=なし	海外へうまく送れないときは、「1回」を選ぶ 1回／なし	84
#051	読み取り濃度	読取濃度=ふつう	薄い原稿は「濃く」を、濃い原稿は「薄く」を選ぶ 濃く／ふつう／薄く	130
#090	エコノミー受信	ｴｺﾉﾐｰ受信=あり	ファクス受信のとき、縮小するかしないかを選ぶ あり／なし	130
#103	リモート受信番号	ﾘﾓｰﾄ受信=＊9 [2-4桁]	並列接続電話操作でファクスを受ける ＊9／2～4ケタの番号に変更可能	132
#106	ファクスメモリー消去	ﾌｧｸｽﾒﾓﾘｰ消去 [ｽﾀｰﾄ]押す	メモリー代行受信したファクスをすべて消去する	132

＜機能登録一覧表＞（つづき）

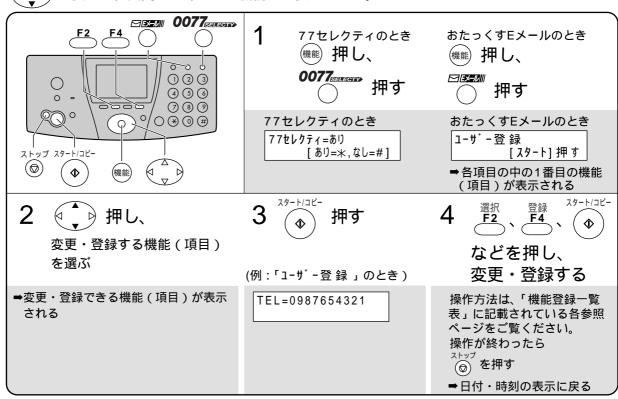
コード番号	機能	ディスプレイ	変更・登録できる内容	参照ページ
留守番電話の設定 [ｽﾀｰﾄ] 押す				
#006	暗証番号	暗証番号=.... [4桁]	外出先から留守番電話を操作するための暗証番号を登録する	106
#030	用件録音時間	録音時間=2分	1件当たりの録音時間を選ぶ 2分／最大	132
#074	留守音声モニター	留守音声ﾓﾆﾀｰ=あり	用件録音中、相手の声を聞くか聞かないかを選ぶ あり／なし	132
#127	リモート繰り返し再生	ﾘﾓｰﾄ再生=1回	リモート操作のとき一度聞いた用件も毎回聞く 繰り返し／1回	134
#142	用件転送	用件転送=なし	用件転送先を選ぶ なし（転送しない）／電話／ポケベル	110
	用件転送先電話番号	転送先=.........	「電話」または「ポケベル」に設定したとき、転送先の電話番号を登録する	
ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ [ｽﾀｰﾄ] 押す				
#133	ナンバー・ディスプレイ	ﾅﾝﾊﾞｰ・D=自動	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき、「自動」を選ぶ　自動／なし	190
#137	キャッチホン・ディスプレイ	ｷｬｯﾁ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ=なし	キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するとき､「あり」を選ぶ　あり／なし	190
#135	グループコール	ｸﾞﾙｰﾌﾟｺｰﾙ=1 未登録 未登録	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき、グループ番号（1～9）ごとに呼出音や液晶ディスプレイの色（バックライト色）を変更する	202
#136	指定呼出	指定呼出=なし	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき、相手によって着信先を切り替える あり／なし	204
#042	指定呼出リスト印字	指定呼出ﾘｽﾄ印字 [ｽﾀｰﾄ] 押す	ナンバー・ディスプレイサービス利用時、設定した指定呼出先のリストをプリントする	206
#184	非通知電話着信拒否	非通知電話=受ける	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき、非通知電話を受けるか、受けないかを選ぶ 受ける／受けない	208
#185	非通知ファクス着信拒否	非通知ﾌｧｸｽ=受ける	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき、非通知ファクスを受けるか、受けないかを選ぶ　受ける／受けない	208

＜機能登録一覧表＞（つづき）

コード番号	機能	ディスプレイ	変更・登録できる内容	参照ページ
その他の設定 [スタート]押す				
#058	キー確認音	キー確認音=あり	親機のボタン操作音を出すか出さないかを選ぶ（子機でも設定できます） あり／なし	134
#131	モデムダイヤルイン	ダイヤルイン=なし	TEL/FAX／親/子／なし ●「TEL/FAX」や「親/子」の場合、モデムダイヤルインの電話番号の下4ケタをそれぞれ登録する	212
#134	液晶ディスプレイのバックライト色	バックライト=自動	親機の液晶ディスプレイの色（バックライト色）を選ぶ 自動／スカイブルー／マスカット／ナチュラル／ブルームーン／レモンライム／グレープ／アプリコット	50
#160	ドアホン	ドアホン設定=自動	自動／なし ドアホンを取り外すときは「なし」を選ぶ	232
#162	ドアホンワープ	ドアホンワープ=なし	ドアホンワープを設定する なし／留守／常にあり	236
	ドアホンワープ先電話番号	転送先=.........	「留守」または「常にあり」に設定したとき、転送先の電話番号を登録する	
#170	ワイヤレスリンクレベル調整	レベル調整=1 (ワイヤレスリンク)	ワイヤレスリンクの信号レベルを調整する 1／2／3／4／5／6／7／8	219
すべての機能を表示 [スタート]押す	123～126ページのすべての機能（項目）を表示します			

77セレクティやおたっくすEメールの変更・登録する機能を選ぶ

77セレクティやおたっくすEメールの機能を変更・登録したり、登録している内容をプリントできます。機能については、「機能登録一覧表」（☞127ページ）を参照してください。

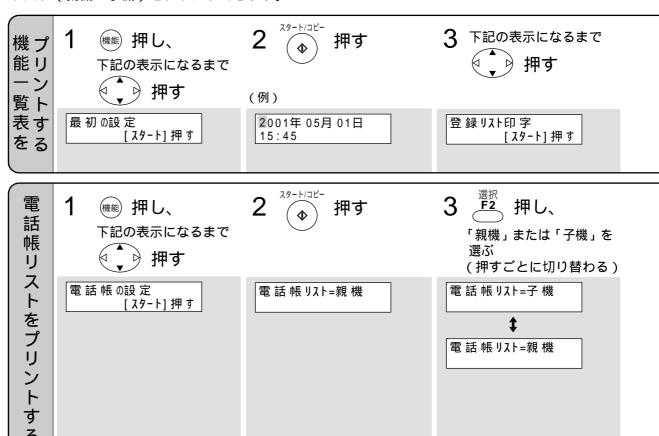
◁▷ を使って、変更・登録したい機能を選択できます。

＜機能登録一覧表＞

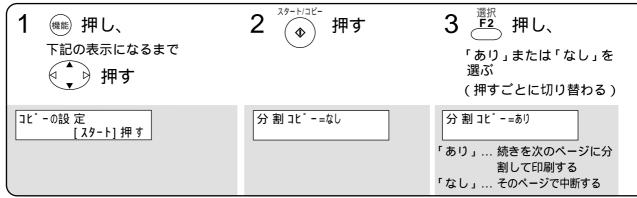
	機　能	ディスプレイ	変更・登録できる内容	参照ページ
77セレクティ	**77セレクティの設定**	77ｾﾚｸﾃｨ=あり [あり=＊,なし=#]	77セレクティを利用するかしないかを選ぶ あり／なし	144
	データ受け取り	ﾃﾞｰﾀ受け取り [ｽﾀｰﾄ]押す	転居などで電話番号が変わったときなどに、オンライン通信でデータを受け取る	144
おたっくすEメール	**おたっくすEメールのユーザー登録**	ﾕｰｻﾞｰ登録 [ｽﾀｰﾄ]押す	おたっくすEメールを利用するときのユーザー登録を行う	150
	Eメールアドレス帳の登録	ｱﾄﾞﾚｽ帳登録 [ｽﾀｰﾄ]押す	EメールアドレスをEメールアドレス帳に登録する	164
	Eメールアドレス帳の確認／修正	ｱﾄﾞﾚｽ帳確認 [ｽﾀｰﾄ]押す	Eメールアドレス帳に登録されたEメールアドレスを確認／修正する	166
	アドレス帳転送	ｱﾄﾞﾚｽ帳転送 [ｽﾀｰﾄ]押す	親機のアドレス帳の内容を子機に転送する（子機から親機へも転送できます）	170
	Eメール登録リスト印字	登録ﾘｽﾄ印字 [ｽﾀｰﾄ]押す	Eメールアドレス帳に登録したEメールアドレス、ドメイン名、定型文をプリントする	188
	ドメイン名の登録	ﾄﾞﾒｲﾝ名登録 [ｽﾀｰﾄ]押す	ドメイン名を登録する（あらかじめ登録されている @fem.dion.ne.jp と @ を変更・登録できる）	172
	定型文の登録	定型文登録 [ｽﾀｰﾄ]押す	定型文を登録する（よく使う単語や文章を登録できる）	172
	子機お知らせの設定	子機お知らせ=ｴﾗｰ時	子機からEメールを送信したときに、送信結果の知らせかたを選ぶ ｴﾗｰ時／常時	162
	Eメールの返信先選択	返信=差出人へ	Eメールを返信するときの宛先を選ぶ 差出人へ／全員へ／毎回選択	183
	Eメールの返信宛先優先選択	返信宛先優先=なし	返信先を「差出人へ」に設定している場合、返信宛先が指定されたメールに返信するとき、「返信宛先」を優先するか、しないかを選ぶ あり／なし	182
	受信Eメールの本文引用	引用=する	Eメールを返信するときに、受信メールの本文を引用するか、しないかを選ぶ する／しない	182
	H"LINK 送信用紙印字	H"LINK用紙印字 [ｽﾀｰﾄ]押す	DDIポケットの H"LINK （PメールDX）対応端末ユーザーへ、画像データを送信するときのフォーマット用紙を印字する	188
	電話番号の変更（再登録手続き）	ﾕｰｻﾞｰ変更登録 [ｽﾀｰﾄ]押す	電話番号が変わったときに新しい番号を登録する	156
	ユーザー登録の解約の設定	Eﾒｰﾙ解約=ｵﾌ	おたっくすEメールのユーザー登録を解約する オン／オフ	154
	本機を使わなくなったとき	Eﾒｰﾙ初期化=ｵﾌ	本機を他の人に譲るときなどに、必ず設定する オン／オフ	156

使いかたに合わせて機能を変更・登録する(親機)

リストのプリント

現在登録されている機能の登録一覧表、電話帳に登録した名前や電話番号（☞66ページ）の
リスト（親機／子機）をプリントできます。

プリントのしかたを選ぶ（分割コピーの設定）

A4サイズに1部コピーする場合やハンドスキャナーで読み取った場合、原稿の下部がプリントされなかったときに続きを次のページに分割してプリントするか、そのページで中断するかを選べます。

インクフィルム残量表示の設定

別売品の長さ50mのインクフィルムを使うときのみ、インクフィルムの残量（めやす）を表示できます。
インクフィルムを交換時に設定してください。使用途中で設定すると正しく表示されません。
（付属のお試し用インクフィルムを使って表示させると、インクフィルムの長さが短いため、正しく表示されません。）

●ナンバー・ディスプレイサービス利用時の着信リストのプリントのしかた（☞198ページ）

4 スタート/コピー **押す**

5 プリントが終わったら ストップ **押す**

➡機能一覧表がプリントされる

日付・時刻の表示に戻る

4 登録 F4 **押す**

5 プリントが終わったら ストップ **押す**

■「親機」を選んだとき
➡親機の電話帳リストがプリントされる

■「子機」を選んだとき

子機を操作してくださ い

➡**子機側で電話帳の一斉転送操作を行う（☞76ページ）と、子機の電話帳リストがプリントされる**

●**ここでの一斉転送操作では、電話帳のデータは、親機へ転送されません**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

●**電話帳に登録した名前は、フリガナの**
数字→アルファベット→カナ→記号の順番でプリントされます。名前を登録していない電話番号は、登録順でリストの最後にプリントされます。

4 登録 F4 **押す**

5 ストップ **押す**

登録しました
⬇
（手順3の設定を表示する）

日付・時刻の表示に戻る

4 選択 F2 **押し、**
「あり」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

5 登録 F4 **押す**

6 ストップ **押す**

フィルム表示=あり
⬍
フィルム表示=なし

登録しました
⬇
（手順4の設定を表示する）

日付・時刻の表示に戻る
➡インクフィルム残量表示が「インク残▮▮▮」になる

使いかたに合わせて機能を変更・登録する(親機)

送信結果レポートをプリントする

送信できなかったとき、自動的に送信結果レポートをプリントするように設定できます。
（お買い上げ時は、プリントされない「なし」に設定されています。）
「なし」に設定した場合：プリントしません。
「あり」に設定した場合：送信のたびにプリントします。
「エラー」に設定した場合：送信できなかったときだけプリントします。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

ファクスの設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

送信レポート=なし

3 選択 F2 **押し、**
「エラー」または「あり」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

送信レポート=あり

あり → エラー → なし

ファクス親切案内の設定

ファクスの送受信時に、本機の動きを音声で知らせるか知らせないかを選べます。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

ファクスの設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー
押す

送信レポート=なし

3 **下記の表示になるまで**
押す

ファクス親切案内=あり

原稿読み取りの濃度選択

ファクス送信する原稿やコピーする原稿に合わせて、読み取り濃度を選べます。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで **押す**

ファクスの設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

送信レポート=なし

3 **下記の表示になるまで** **押す**

読取濃度=ふつう

縮小または等倍にしてプリントする（エコノミー受信の設定）

エコノミー受信をするか、しないかを選べます。（エコノミー受信について☞87ページ）

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

ファクスの設定
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

送信レポート=なし

3 **下記の表示になるまで**
押す

エコノミー受信=あり

（例）

送信結果レポート					2001. 5. 1　16:18　P.01
日時	通信枚数	相手局名	時間	結果	
2001. 5. 1　16:17	0枚 送	09876543・・	0'06	ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを受けつけました	

4 登録 F4 **押す**

登 録 しました
↓
（手順3の設定を表示する）

5 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- 送信結果レポートを「あり」または「エラー」に設定した場合は、記録紙およびインクフィルムがセットされているかご確認ください。

---

4 選択 F2 **押し、**
「あり」または「なし」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

ﾌｧｸｽ親 切 案 内 =なし
↕
ﾌｧｸｽ親 切 案 内 =あり

- 「なし」を選ぶと音声が聞こえなくなる

5 登録 F4 **押す**

登 録 しました
↓
（手順4の設定を表示する）

6 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

---

4 選択 F2 **押す**
（押すごとに切り替わる）

読 取 濃 度 =薄く

薄く → 濃く → ふつう → 薄く

5 登録 F4 **押す**

登 録 しました
↓
（手順4の設定を表示する）

6 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

濃度選択のめやす

- **「薄く」を選ぶとき**
  ➡原稿が濃いときや銀行、通信販売などのOCRシート※を送信したいとき
  ※ OCRシートとは、文字や記号を光学的に識別するときに使用する用紙です。
- **「濃く」を選ぶとき**
  ➡原稿が薄いとき

---

4 選択 F2 **押し、**
「あり」または「なし」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

ｴｺﾉﾐｰ受 信 =なし

「あり」…縮小率約92%で印字する
「なし」…等倍で印字する

5 登録 F4 **押す**

登 録 しました
↓
（手順4の設定を表示する）

6 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- 設定を「なし」にすると1ページの内容が2ページにまたがってプリントされることがあります。

使いかたに合わせて機能を変更・登録する(親機)

並列電話機でファクスを受ける リモート受信番号を変える

並列に接続している電話機でファクスを受けるときに使う、リモート受信番号を変更できます。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

ファクスの設定
[スタート] 押す

2 スタート/コピー **押す**

送信レポート=なし

3 **下記の表示になるまで**
押す

リモート受信=*9
[2-4桁]

ファクスを消去する

記録紙やインクフィルムがなくなり、一時的にメモリー代行受信（☞86ページ）しているファクスを消したいときは、下記の操作で消去できます。消去すると、ファクスの内容を見ることはできません。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

ファクスの設定
[スタート] 押す

2 スタート/コピー **押す**

送信レポート=なし

3 **下記の表示になるまで**
押す

ファクスメモリー消去
[スタート] 押す

用件1件当たりの録音時間を選ぶ

用件1件当たりの録音可能時間を選べます。（お買い上げ時の設定：2分）

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

留守番電話の設定
[スタート] 押す

2 スタート/コピー
押す

暗証番号=....
[4桁]

3 **下記の表示になるまで**
押す

録音時間=2分

用件録音中に相手の声などを聞こえないようにする（留守音声モニターの設定）

留守設定中に電話がかかってきたとき、応答メッセージの声と用件録音中の相手の声がスピーカーから聞こえるようにするか、しないか選べます。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

留守番電話の設定
[スタート] 押す

2 スタート/コピー **押す**

暗証番号=....
[4桁]

3 **下記の表示になるまで**
押す

留守音声モニター=あり

4 リモート受信番号を入力する
（2～4ケタ）
（例：1234）

リモート受信 =1234 [2-4桁]

- ＃は使えません
- まちがえたとき
➡ クリアー F1 を押す

5 登録 F4 押す

登録しました

↓
（手順4の設定を表示する）

6 ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

お願い
- 暗証番号とは違う番号を登録してください。（☞106ページ）

お知らせ
- リモート受信番号の使いかた（☞35ページ「電話機を並列接続するとき」☞91ページ「子機で受ける」）

---

4 スタート/コピー 押す

すべて消去しますか？ はい=＊ いいえ=#

- 消去したくないとき
➡ ＃ を押す

5 ＊ 押す

消去しました

↓
（手順3の画面を表示する）

6 ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

---

4 選択 F2 押し、「最大」または「2分」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

録音時間 =最大

↕

録音時間 =2分

5 登録 F4 押す

登録しました

↓
（手順4の設定を表示する）

6 ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ
- **「最大」に設定したときの録音可能時間は、約18分です。**（録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。）
ただし、以下の場合は約18分よりも短くなります。
  - 通話録音や用件録音がある（☞64、98ページ）
  - 自作応答メッセージがある（☞102ページ）
  - メモリー代行受信したファクスがある（☞86ページ）

---

4 選択 F2 押し、「あり」または「なし」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

留守音声モニター=なし

- 「なし」を選ぶと音声が聞こえなくなります

5 登録 F4 押す

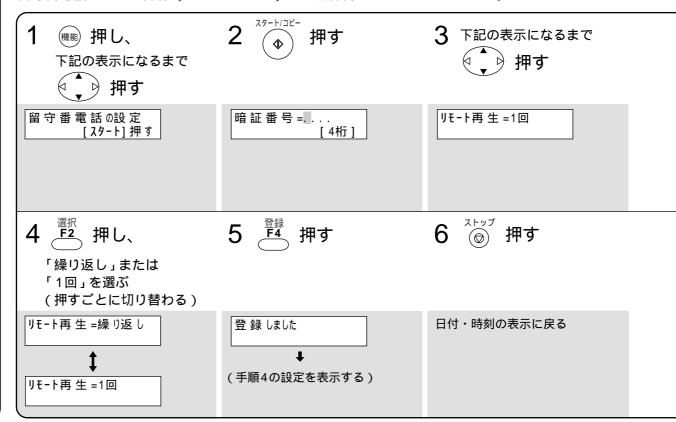
登録しました

↓
（手順4の設定を表示する）

6 ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

外出先からの留守番電話用件再生のしかたを選ぶ(リモート繰り返し再生の選択)

留守番電話リモート操作（☞106ページ）での用件再生のしかたを選べます。

ボタンの確認音を鳴らさないようにする(キー確認音の設定)

ボタンを押すたびに鳴る確認音を消すことができます。

お知らせ

選択できる内容	リモート再生＝1回 **（お買い上げ時の設定）** （リモート操作を一人で行うときに選んでください。）	リモート再生＝繰り返し （リモート操作を家族など複数の人で行うときに選んでください。）
用件再生のしかた	**新しい用件だけ**再生されます。 ●一度リモート操作で聞いた用件は自動的に再生されません。	**新しい用件と、一度リモート操作で聞いた用件**が再生されます。
トールセーバーに設定したときの留守番電話の応答	●**新しい用件があるとき** ➡ 呼出音3回以内で留守番電話が応答する ●**新しい用件が録音されていないときや、一度リモート操作で用件を聞いたとき** ➡ 呼出音4〜6回で留守番電話が応答する	●**新しい用件があるとき**（一度聞いた用件を含む） ➡呼出音3回以内で留守番電話が応答する ●**新しい用件が録音されていないとき** ➡呼出音4〜6回で留守番電話が応答する

4 登録 F4 **押す**

登 録 しました

↓

（手順3の設定を表示する）

5 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

使いかたに合わせて機能を変更・登録する(子機)

ボタンの確認音を鳴らさないようにする(キー確認音の設定)

ボタンを押すたびに鳴る確認音を消すことができます。

1 機能 F1 **押す**

2 **下記の表示になるまで** **押す**

3 登録 F1 **押す**

1	2	3
登録/機能	ｷｰ確認音	ｷｰ確認音 あり　なし

子機の呼出音を先に鳴らす(独り占め着信)

子機の呼出音を5～6回まで親機より先に鳴らすようにして、かかってきた電話を親機より先に受けることができます。(設定後、約3時間で自動的に解除されます。)

1 機能 F1 **押す**

2 **下記の表示になるまで** **押す**

3 登録 F1 **押す**

1	2	3
登録/機能	独り占め着信	

子機の電話の受けかたを選ぶ(オフフック応答の設定)

子機での電話の受けかたを、充電台から取るだけで受ける**(オフフック応答「あり」)**か、外線 などのボタンを押して受ける**(オフフック応答「なし」)**かを選べます。**(お買い上げ時の設定:「あり」)**

1 機能 F1 **押す**

2 **下記の表示になるまで** **押す**

3 登録 F1 **押す**

1	2	3
登録/機能	ｵﾌﾌｯｸ応答	ｵﾌﾌｯｸ応答 あり　なし

4
選択
F2
押し、
「なし」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）
ｷｰ確認音
あり　なし
ｷｰ確認音
あり　なし
5
登録
F1
押す
登録しました
（手順4の設定を表示する）
6
切
押す

4
切替
F1
押す
➡スピーカーから「ピー、
設定しました、ピピピピ」
と聞こえる
5
切
押す
お知らせ
●3時間以内に解除するには
➡左記の手順1～4と同じ操作をする。
手順4で「ピー、解除しました、ピピピピ」と
聞こえます。
●呼出音6～7回目から、親機の呼出音も鳴り始めます。
●独り占め着信は子機1台のみ設定できます。
●子機を増設しているとき
➡別の子機ですでに設定されているときは、手順4で
「ピピピ…」と8回鳴り、設定できません。

4
選択
F2
押し、
「あり」または「なし」
を選ぶ
（押すごとに切り替わる）
ｵﾌﾌｯｸ応答
あり　なし
ｵﾌﾌｯｸ応答
あり　なし
5
登録
F1
押す
登録しました
（手順4の設定を表示する）
6
切
押す
お知らせ
●「オフフック応答」とは、
充電台から子機を取るだ
けで、電話を受けられる
機能です。
●外線が点灯していたら、
切を押して消灯させた
あと、登録操作を行って
ください。

目覚ましを使う(子機)

目覚ましを設定する前に、必ず日付・時刻を登録してください。(☞40ページ)
設定した時刻になると、アラーム音か呼出音を約1分間鳴らします。

目覚ましを使う

3 登録 F1 **押す**

目覚まし
毎日
　００：００

4 変更 F2 **押す**

時間？
　００：００

7 選択 F2 **押し、**

「アラーム音」または「呼出音」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

音の種類？
　呼出音

↕

音の種類？
　アラーム音

8 登録 F1 **押す**

いつ？
　毎　日

11 切 **押す**

日付・時刻の表示に戻る

設定した時刻・曜日を変更するには

手順5、手順9で時刻・曜日を入れ直す

お知らせ

- **目覚まし音の音量は、調整できません。**
- **目覚まし音を止めるとき**
  ➡子機のボタンを押す
  （どのボタンを押しても止まります）
- 目覚まし音を止めなかった場合、自動的に約1分後でいったん止まります。設定した時刻から約5分後に再び鳴ります。再度止めなかった場合、設定した時刻から約10分後にもう一度鳴ります。
- 電源を切っていても、指定時刻になると自動的に電源が入り、目覚まし音が鳴ります。
- 通話以外の操作中に指定時刻になると、操作が中断されて目覚まし音が鳴ります。中断されたときは再度やり直してください。（通話中は、目覚まし音は鳴りません。）

3 登録 F1 **押す**

（例）

目覚まし
毎日
　０８：００

4 ストップ F1 **押す**

目覚まし
ストップ
しました

↓

目覚まし
毎日
　０８：００

5 切 **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- 再度、設定するときは手順4で スタート F1 を押してください。

その他の機能

ファクスを送受信後、続けて話す（電話予約）

ファクスを送ったり受けたりしたあと、電話をかけ直さずに、続けて話ができます。

電話予約をしたいとき

受話器

スピーカーホン

1 ファクス受信中または送信中に
受話器を取る
（または スピーカーホン 押す）

電話予約中

- **受信時**は、受信中のページを受けたあとで相手機を呼び出します
- **送信時**は、送信が全部終わったあとで相手機を呼び出します

2 相手が出たら
話す

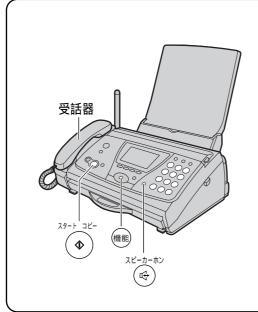
相手のファクスをこちらの操作で受ける（ポーリング受信）

あらかじめ自動送信設定となっている相手の原稿（情報）を、こちらからの操作で受信できます。

1 機能 **2回押す**

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ

2 **受話器を取る**
（または スピーカーホン 押す）

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ?

4 「ピーヒョロロ」が聞こえたら
スタート/コピー **押す**

➡「ファクスを受信しますので電話を切ってお待ちください」のメッセージが流れる

NTTのFネットを利用する

NTTと加入契約（G3サービス1300 Hz）をしてください。

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）のサービス内容に関するお問い合わせ先：

NTT窓口
☎116（通話料金無料）
受付時間 ：9：00〜17：00（土・日・祝も受付）
定休日 ：12月29日〜1月3日
または フリーダイヤル 0120-161011（通話料金無料）
受付時間 ：9：00〜17：00（月曜〜金曜）

電話予約の呼び出しを受けたとき

1 送受信後に
呼出音が鳴る

```
電話に出てくだ゛さい
```

2 10秒以内に
受話器を取って話す

● 10秒以内に電話に出ないと自動的に切れます

お知らせ

● **次の場合は電話予約できません。**
- 相手のファクスに電話予約機能がない
- Fネットを使用している（☞下記）

3 相手の電話番号を**ダイヤルする**

(例：098765・・・・)

```
098765····
通話時間    0'18
```

5 **受話器を戻す**

➡受信を開始する

お知らせ

● 相手の原稿がB4サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小されます。
● 相手機によっては、受信できない場合があります。

お知らせ

● **Fネットでファクスが送られてきたときは**
- 本機の呼出音は鳴らずに、自動的に受信します。（加入契約が「G3サービス16 Hz」では鳴ります。）
- コピーや登録操作中は、下記メッセージを表示し、約3秒間断続的にブザーが鳴りますが、受信は行いません。その後、再び送られ自動的に受信します。

```
Fﾈｯﾄ呼出で゛す
```

77セレクティを利用する

本機をホームテレホンや構内交換機に接続したときは、ご利用になれません。

77セレクティとは

0077 SELECTY

電話回線を利用してKDDIが提供する機能です。
77セレクティでは、おトクな市外回線を自動で選びます。また、呼出メロディのダウンロードサービスを利用することもできます。

●**おトクな市外回線を自動で選ぶ**（☞146ページ）：
市外へ電話をかけたとき、相手の場所・曜日・時間などを判定し、KDDIの0077市外電話サービスとNTT※1の通常通話料金を比較したうえで、おトクな回線※2を選びます。

● えらんでメロディ 和音（☞146ページ）：
多数の人気曲の中から、お好きな曲を本機の呼出メロディとして取り込むことができます。

※1 NTT ：NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズをいいます。
※2 市外通話をKDDI以外の電話会社にマイラインプラスでご登録の場合は、ご登録いただいた電話会社の利用が優先されます。

（上記のサービスは2001年5月現在のものです。サービスの内容は予告なく変更および終了することがあります。）

利用開始までの流れ

本機には、77セレクティ機能がついています。お買い上げ後に親機を接続するだけで、通常約1時間後には77セレクティを利用できるようになります。（登録料などはかかりません）

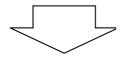
親機を接続する／77セレクティを利用するかを選ぶ
（☞30、31ページ）

アナウンス後に何もしなければ、約2分後には自動的に「77セレクティを利用する」設定になります。

77セレクティ利用案内のアナウンスが流れる

おたっくすをお買い上げいただきありがとうございます。このおたっくすは、お申し込みをしなくてもKDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。**ご利用を希望されないお客様は「機能」「77セレクティ」「#」を押して、「77セレクティランプ」が消灯したことを確認してください。**

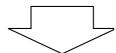
本機が自動的にKDDIに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取る
（**オンライン通信**☞144ページ）

●オンライン通信は、通話料金はかかりません。
●**電話をかける際、ナンバー・ディスプレイサービスにより、お客様の電話番号がKDDIへ通知されます。NTTとの契約で「通常非通知（回線ごと非通知）」のお客様の電話番号も「186」を付加してKDDIへ通知されますので、ご了承ください。**
●お客様の電話番号などの情報は、KDDIのご利用サービスのみに利用するもので、他の目的に利用するものではありません。

77セレクティランプが緑色に点灯し、77セレクティが利用できるようになる

緑色に点灯しなかった場合は、本機がホームテレホンや構内交換機に接続されていないことを確認してください。

KDDIから77セレクティ利用開始の電話がかかる

こちらはKDDIです。おトクな0077市外電話の自動選択機能、77セレクティが設定されました。「77セレクティランプ」が緑色に点灯していることをご確認ください。ありがとうございました。

●77セレクティの利用開始案内は、翌日になる場合があります。
●**電話に出られなかったり、話し中などで上記アナウンスを聞けないことがあります。**
77セレクティランプが緑色に点灯していれば、利用できます。

●**「おたっくす情報サービス」（おたっくすEメール）の申し込みもできます。****（☞150ページ）**

77セレクティの設定は、あとで変更することができます**（☞144ページ）**

お問い合わせ先

（機能・通話料金・支払い方法など、77セレクティのご利用に関するご質問について）
KDDI　カスタマサービスセンター　フリーコール 0077-772（通話料金無料）
受付時間 9：00～21：00（土・日・祝も受付）

下記の場合は、KDDIカスタマサービスセンター（上記）にお問い合わせください

77セレクティランプが緑色に点灯しないとき

- 本機を接続したあと、数日たっても「77セレクティランプ」が緑色に点灯しないとき
- 「77セレクティランプ」が緑色に点灯したあと、何らかの理由で消灯／赤色点灯に変わったとき

本機がホームテレホンや構内交換機に接続されていないことを確認してから、KDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

NTTや新電電各社（地域系新電電を含む）の割引サービスなどを利用しているとき

- 市外への通話がKDDI通話になることにより、割引が適用されなくなる場合があります。

通話料金・支払い方法・サービスなどに関して知りたいとき

- 77セレクティの登録料、定額料などは一切不要です。
- KDDIの0077市外電話サービスや、その他のサービスを利用された料金は、KDDIから請求されます。（NTTご利用の通話料金は、従来どおりNTTから請求されます。）
- 「マイライン」でKDDI以外の電話会社を登録している場合でも、77セレクティご利用による通話料は、KDDIからの請求となります。（「マイラインプラス」をご利用の場合は、マイラインプラスに登録した電話会社からの請求となります）（☞4～5ページ）
- 通話料金などのご請求のため、KDDIが必要に応じて、お客様の電話番号、住所、氏名などについての情報提供をNTTから受けることがあります。

利用料金は、利用した電話会社からそれぞれ請求されます。なお、料金やサービスに対する異議が生じた場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

転居などで電話番号が変わったとき

- 77セレクティを正しく利用いただけない場合があります。

下記のような理由で、本機を取り外したとき

- 本機を譲渡、貸与、処分するとき
- 本機を転居などにより取り外すとき
- 本機を紛失、または盗難にあったとき

KDDIにてご登録のデータを消去、または変更する必要があります。ご連絡のない場合、本機を他の回線に接続して利用された料金が、ご登録されているお客様に請求されることがあります。

その他

- INS64などのダイヤルイン子番号に本機を設置したとき
- 長期間本機の電源を切ったあと、再度利用するとき

77セレクティを利用する

オンライン通信とは

77セレクティの機能をご利用いただくための料金データなどが、KDDIから送られてくることを**オンライン通信**といいます。オンライン通信は下記のような場合に自動的に行われます。
オンライン通信中に電話に出た場合は電話を切って、しばらくお待ちください。

オンライン通信は、右記のような場合に自動的に行われます	• お買い上げ後、親機を接続したとき（☞30、31ページ） • 電話番号変更のため、KDDIから新しいデータを受け取るとき（☞下記） • 77セレクティを再び利用するように設定を変更したとき（☞下記） • 77セレクティ利用中に、料金の改定などで自動的にデータ更新が行われるとき

オンライン通信の電話を受けると

オンライン通信中

➡「ピポピポ…」音が聞こえ、「こちらはKDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました。」のメッセージが流れます。

受話器を戻し、電話を切ってください

オンライン通信中

➡データが送られてきます。

電話番号が変わったとき

転居などで電話番号が変わったときや、何らかの理由で77セレクティランプが緑色点灯から赤色点灯に変わったときは、下記の操作を行ってください。ただし、KDDIの割引サービスなどをご利用の場合は、まず**KDDI カスタマサービスセンター（0077-772：通話料金無料）に連絡してください。**

1 機能 **押し、** 0077 SELECTY **押す**

77セレクティ=あり
[あり=＊, なし=#]

2 下記の表示になるまで **押す**

データ受け取り
[スタート] 押す

77セレクティの設定を変更する（利用をやめるとき／再び利用するとき）

お買い上げ後の接続の際、いったん利用設定を解除したお客様も、下記の設定を「あり」に変更すると、77セレクティを利用できます。利用をやめるときは設定を「なし」に変更してください。

利用をやめるとき

1 機能 **押し、** 0077 SELECTY **押す**

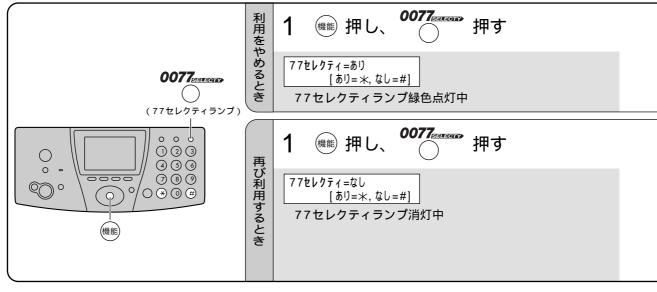
77セレクティ=あり
[あり=＊, なし=#]

● 77セレクティランプ緑色点灯中

再び利用するとき

1 機能 **押し、** 0077 SELECTY **押す**

77セレクティ=なし
[あり=＊, なし=#]

● 77セレクティランプ消灯中

オンライン通信中に電話をかけようとすると

●約5秒後にオンライン通信が中止されます。
（親機で受話器を取った場合は、警告音が約5秒ごとに流れます。）

電話をかけるには
●親機の場合　：いったん電話を切って、かけ直す
●子機の場合　：しばらく（約5秒）待って、かけ直す

お知らせ

●オンライン通信は、お客様がお使いになる地域の料金データなどをKDDIからお客様へ送るために必要です。
●オンライン通信の電話がかかってきたとき電話にでられなくても、呼出音が15回鳴ると本機が自動的に応答し、オンライン通信が行われます。（呼出音の回数について詳しくは☞90ページ）
●親機は日付・時刻を合わせていなくても、オンライン通信が終了すると、**KDDI 標準時刻**に書き替えられます。
●同じ回線につないでいる他の電話機（並列接続電話機）や、停電用外部電話機でオンライン通信の電話を受けたときは、「ピポピポ…」音を数回繰り返し、「こちらはKDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました。」のメッセージが流れ、電話が切れます。KDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
●77セレクティをご利用開始後、KDDI からご利用確認の連絡が入ることがあります。

3 スタート/コピー **押す**

KDDIへ連 絡 します

➡77セレクティランプ赤色点灯

●約1分後にオンライン通信が始まります（☞上記）

4 おたっくすEメールをご利用の場合は
77セレクティランプが緑色点灯してから、Eメールの再登録手続きを行う
（☞156ページ）

お知らせ

●オンライン通信後、77セレクティランプが緑色点灯すれば、利用できます。
●NTTのエリアプラス・テレホーダイ・テレチョイスなどの割引サービスにご加入の場合は、左記の操作により、割引が適用されなくなることがあります。ご不明な点は、KDDI カスタマサービスセンターへお問い合わせください。

2 # **押す**

設 定 を解 除 しました ➡ KDDIへ連 絡 します

➡77セレクティランプ消灯

2 ＊ **押す**

登 録 しました ➡ KDDIへ連 絡 します

↓

●約1分後にオンライン通信が始まります（☞上記）

➡77セレクティランプ緑色点灯

お知らせ

●**77セレクティを利用中の状態から「なし」に変更した場合**
➡オンライン通信が行われ、設定を変更したことがKDDIへ通知されます。
➡KDDI の割引サービスなどをご利用の場合は、別途KDDI への解約手続きが必要です。KDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。ご連絡がなければ、月額料などが引き続きかかることがあります。

●**「あり」に設定した場合**
➡NTTのエリアプラス・テレホーダイ・テレチョイスなどの割引サービスにご加入の場合は、左記の操作により、割引が適用されなくなることがあります。ご不明な点は、KDDIカスタマサービスセンターへお問い合わせください。

77セレクティを利用する

おトクな市外回線を自動で選ぶ

市外へ電話をかけたとき、相手の場所・曜日・時間帯を判定し、KDDIの0077市外電話サービスとNTTの通常通話料金※ を比較して、おトクな回線を自動的に選ぶ機能です。(電話代を節約できます)

※ 通常通話料金とは電話会社（KDDI、NTT）の割引サービス適用前の料金です。

利用するには

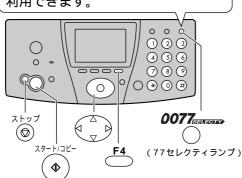
0077（KDDIにつなぐ番号）を押さずに、相手先の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

お知らせ

- 通話料金がKDDIとNTTと同じ場合はKDDIを選びます。
- KDDI以外で電話をかける場合、電話会社の識別番号（NTTコミュニケーションズなら0033）のあとに、市外局番からダイヤルしてください。
- **親機に並列接続した電話機で電話をかけたとき、本機の77セレクティは、はたらきません。**
  (本機からファクスや電話をかけたときのみ77セレクティがはたらきます。)
- **親機に登録された日付・時刻に誤りがあると、本機の77セレクティが正しくはたらきません。**
  ➡定期的に確認し、誤差が生じた場合は、正しい日付・時刻を再登録してください。
  (☞40ページ)

えらんでメロディを利用する

下記の操作でお好きな曲を受信して本機に登録すると、呼出音に設定できます。
- ご利用には、東京国分寺（市外局番042）までのKDDI通話料がかかります。(2001年5月現在)

えらんでメロディは、77セレクティランプが緑色点灯している場合のみ、利用できます。

1 0077 SELECTY **押す**

えらんで゛メロデ゛ィ
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

接続中
⬇
えらんで゛メロデ゛ィ
[数字]押す

6 **再生が終わると元の画面に戻り「♪」マークが表示される**

■ **再生された曲を登録するには ➡手順7へ**

■ **他の曲を選ぶには ➡手順3へ**

しば゛らく お待ちくだ゛さい
⬇
えらんで゛メロデ゛ィ
♪ [数字]押す

7 登録 F4 **押し、メロディを登録する番号（⑤、⑥、⑦）を押す**

- 登録後「♪」マークは消えます

指定した番号に、すでにメロディが登録されているときは、

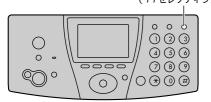
上書きしていいで゛すか?
はい=✱ いいえ=#

と表示されます。

- ✱ を押すと元のメロディに上書きします。
- 消したくない場合には # を押して別の番号を押し直してください。

つづく

77セレクティの動作状態について

（77セレクティランプ）

77セレクティランプ	77セレクティの動作状態
緑色点灯	• 利用可能状態です
緑色点滅	• 市外通話で、0077市外電話が自動選択されています（約5秒間：速い点滅） • オンライン通信が行われています（遅い点滅）
赤色点灯	• お買い上げ時の初期状態です • 停電またはその他の理由で、77セレクティのデータが消えています ➡ 144ページ「電話番号が変わったとき」の操作で、新しいデータをKDDIから受け取ってください
消灯	• 77セレクティの設定が「なし」になっています ➡ 144ページ「77セレクティの設定を変更する」

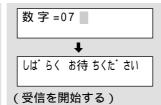
●「マイライン」「マイラインプラス」でKDDI以外の電話会社を登録している場合でも、えらんでメロディご利用による通話料は、KDDIからの請求となります。（☞4〜5ページ）

3 押し、**受信したい曲を選ぶ**

（例：「07. Graceful World」）

4 曲の番号をダイヤルボタンで入力する

（受信を開始する）

5 受信が終わると、受信した曲が再生される

再 生 中
Graceful World

●曲にタイトルがある場合は、下段に表示される

8 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

9

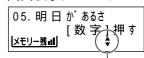
■親機の呼出音に設定するには

（☞52ページ）

■子機の呼出音に設定するには

1.親機から子機へメロディを転送する（☞148ページ）
2.子機の呼出音の音色を変更する（☞52ページ）

お知らせ

●曲目は予告なく変更される場合があります。
●親機には、3曲までメロディを登録することができます。登録できるのは、**1回の通信で1曲です。**
登録後、次の曲を登録したいときは
➡ ストップ を押し、再度、手順1からやり直す
●登録した曲を変更する場合は、⑤、⑥、⑦に上書き登録してください。
●**画面表示について**

表示されていない曲があることを示します。
➡ を押すと、続きを表示できます。
（▲▼は、▲や▼に変わります。）

77セレクティを利用する

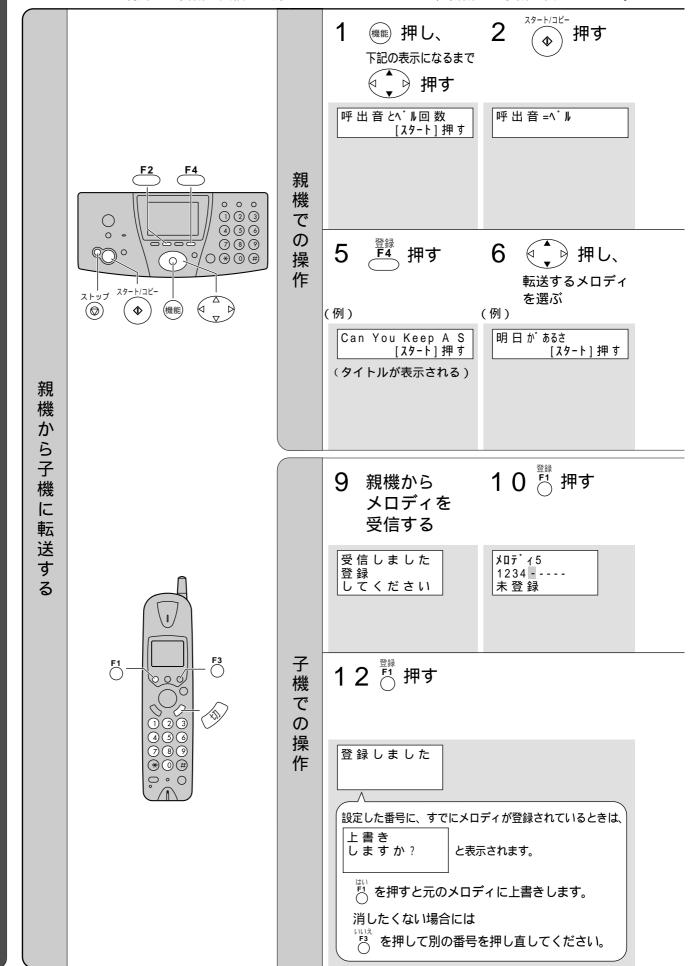
えらんでメロディを利用する

77セレクティを利用して親機に受信・登録したえらんでメロディを、親機から子機へ転送できます。

3 **下記の表示になるまで ◁▲▼▷ 押す**

```
ﾒﾛﾃﾞｨ転送
```

4 **登録 F4 押す**

```
転送先=子機1
```

●**子機を増設しているとき**
➡ 選択 F2 を押して、転送する子機を選ぶ

7 **スタート/コピー** **押す**

```
転送中
```
⬇
```
転送しました
子機を操作してくだ゛さい
```
⬇
(手順3の画面を表示する)

8 **ストップ 押す**

日付・時刻の表示に戻る

11 **メロディを登録する番号（⓪〜⑨のいずれか）を押す**

(例：メロディ「6」を選んだとき)

```
ﾒﾛﾃﾞｨ6
1234------
未登録
```

13 **呼出音に設定する**

●**設定のしかた**
➡ 52ページ

お知らせ

●転送できないと、下記の表示が出ます。

```
転送できませんでした
```

・子機が離れすぎている
➡ 親機に近づける
・子機の電池が切れている
➡ 充電する

それぞれの処置を行ったあと、もう一度転送をやり直してください。

●すでに登録しているメロディを消去することはできません。新しいメロディを上書きしてください。

おたっくすEメールを利用する

本機をホームテレホンや構内交換機に接続したときは、ご利用になれません。

おたっくすEメールとは

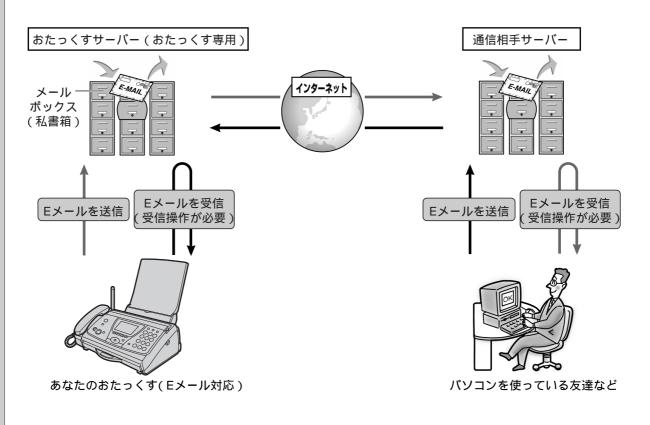
本機を使って、パソコンや携帯電話（Eメール対応）などと、Eメール（電子メール）のやり取りができる機能です。おたっくすEメールのご利用は、九州松下電器株式会社との契約（有料）が必要です。
おたっくすEメールは、私書箱を使った郵便のようなもので、おたっくすサーバーのメールボックス（私書箱）を利用し、下図のようにメッセージの送受信を行います。

申し込み（ユーザー登録）のしかた

申し込み（ユーザー登録）の流れ

77セレクティランプが点灯（緑色）していることを確認する

消灯している場合
➡ 77セレクティの設定を「あり」に変更する
（☞144ページ）

➡

「おたっくす情報サービスご利用申込書」へ必要事項を記入し、送信する
（☞152ページ）

あなたの名前、サイン、電話番号、住所を記入します。（上記は記載例です）

➡

約5分後…「ユーザー登録完了」案内が送られてくる
（☞152ページ）

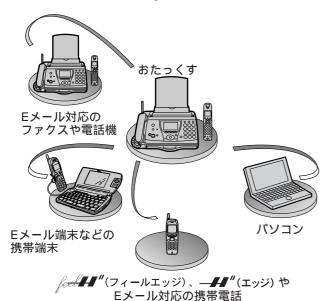
⬇

Eメールアドレスが提供されEメールができるようになる
（☞右記）

つづく

やり取りできる相手について

パソコン・携帯電話（Eメール対応）・Eメール端末などと、Eメールがやりとりできます。

feelH"（フィールエッジ）、H"（エッジ）や
Eメール対応の携帯電話

お知らせ

- Eメールは、おたっくすサーバー内のあなたのメールボックスに保管されています。
  受信操作を行わないと、Eメールは受信できません。
  （☞176ページ）
- 送信したEメールは、直接通信相手に届くのではなく、通信相手が接続するサーバーのメールボックスに保管されます。（☞158～163ページ）
- **重要・緊急を要する書類などを送信する場合**
  送信後、必ず相手へ電話で確認してください。
  （インターネット経由の場合には秘密保持が難しいので、重要な書類は、ファクスでの送信をお勧めします。）
- 通信相手のメールボックスに届かなかった場合、サーバーから宛先不明というEメール**（リターンメール）**が送られてきます。（☞155、247ページ）
  （通信相手サーバーによっては、リターンメールが送られない場合があります。）
- 通信中にキャッチホンの信号が入るとエラーになることがあります。

こんなことができます

- 文字Eメール送信（☞158ページ）
- ファクスEメール送信（☞160ページ）
- 音声Eメール送信（☞162ページ）
- 同報送信（☞159～163ページ）
- Eメール受信（☞176～179ページ）
- Eメール返信・転送（☞180～183ページ）
- 未受信Eメール一覧の受信（☞178ページ）
- 拡張サービス（☞184～187ページ）
- Eメールアドレス帳登録（☞164ページ）
- ドメイン名登録（☞172ページ）
- 定型文登録（☞172ページ）

利用料金

登録料	500円（税別）新規契約時のみ	
基本料金	無料	
通話料	8時～23時	23時～8時
	10円／1分毎	8.5円／1分毎
情報料	5円／30秒毎	

2001年5月現在

- 本サービスの契約は、添付の「おたっくす情報サービス」契約約款によります。
- ご利用料金（登録料・情報料）は、KDDI市外通話料金の請求時に通話料と合わせてKDDIご契約者様へ請求されます。
- 「マイライン」「マイラインプラス」でKDDI以外の電話会社を登録している場合でも、おたっくすEメールご利用による通話料と情報料は、KDDIからの請求となります。（☞4～5ページ）
- KDDIとのご契約内容によっては、通話料と登録料・情報料が別請求になる場合があります。
- このサービスのご利用料金をお客様が支払わなかった場合には、サービス提供を停止させていただくことがあります。

Eメールアドレスについて

郵便を送る場合には、受取り人の住所や宛先が必要です。同じようにEメール送受信するときも、この宛先にあたる「Eメールアドレス」が必要です。

おたっくすEメールアドレス例

p××××△△△△@fem.dion.ne.jp

ユーザー名　**ドメイン名**

ユーザー名：お客様専用に、九州松下電器株式会社が設定します
ドメイン名：おたっくす情報サービスの登録者全員に、共通して付与されます

- Eメールアドレスは、世界中に同じものはなく、正しいEメールアドレスであれば相手のメールボックスに届きます。
- Eメールアドレスのユーザー名は、好きな名前に変更できます。詳しくは、184ページを参照ください。（Eメールアドレス変更）

おたっくすEメールを利用する

申し込み（ユーザー登録）のしかた

「おたっくす情報サービスご利用申込書」（添付品）

● 左記のご利用申込書を紛失した場合などは、新たにファクスで取り出せます。260ページのコード番号6804、「おたっくすEメールの申し込み方法とご利用申込書」を取り出す操作を行ってください。

あなたの名前、サイン、電話番号、住所を記入します。（左記は記載例です）

● **電話回線契約者名義でお申し込みください。**

※申込書の様式は変更になることがあります。

スタート/コピー

送る面（記入した面）を裏向きに

0077 SELECTY

（77セレクティランプ）

ストップ

機能

F4

1 **77セレクティランプが点灯（緑色）していることを確認する**

● 消灯している場合

➡77セレクティの設定を「あり」に変更する(☞144ページ)

⬇

約1分後にオンライン通信が行われ、77セレクティランプが緑色点灯

5 登録 F4 **押す**

（または スタート/コピー 押す）

Eメール申込書を
セットしてください

7 **約5分後、自動的に呼出音が鳴り、データ通信が始まる**

● データ通信とは

ユーザー登録をしたあと、Eメールアドレスやセキュリティ ID※ の情報が九州松下電器から送られてくることです。

※ 変更手続きを行うときなどに、本人かどうかを確認するためのパスワード

● データ通信の電話に出ると

Eメール認証中
認証中

「ピポピポ…」音のあと、「Eメール通信を開始しますので、電話を切ってお待ちください。」とメッセージが流れる（ スタート/コピー **は押さないでください）**

➡受話器を戻し電話を切る

データが送られてくる

8 **おたっくすサーバーから「ユーザー登録完了」案内が送られてきて、データ通信が終了する**

● Eメール **が点灯し、「ユーザー登録完了」案内がプリントされる（☞下記）**

➡ Eメールが使えるようになり、おたっくすサーバーにあなた宛の「情報サービス案内」Eメールが送られてくる

////////////////　「ユーザー登録完了」案内　////////////////

こちらは九州松下電器株式会社です。

このたびは、「おたっくす情報サービス」にお申し込みいただきましてありがとうございます。
おたっくすEメールのご利用が可能になりましたので、お知らせいたします。

あなたの電話番号　：　○○○○○○△△△△

◆あなたの
　Eメールアドレス　：　p××××△△△△@fem. dion. ne. jp

◆あなたの
　セキュリティID　：　□□□□

Eメールアドレスとセキュリティ IDは、新サービスの提供時や引越しに伴う電話番号の変更連絡等に必要になりますので、取扱説明書裏表紙の「おたっくすEメールお客様メモ」欄に必ず記入しておいてください。

●「ユーザー登録完了」案内には、あなたの**Eメールアドレス、セキュリティID**などが書かれています（左記は、2001年5月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。）

● Eメールアドレスは変更することができます（☞184ページ「Eメールアドレス変更」）

緑色に点灯していないとユーザー登録は、できません

2 添付の
「おたっくす情報サービスご利用申込書」に記入する

●記入のしかた（☞152ページ）

3 機能 **押し、** Eメール **押す**

ﾕｰｻﾞｰ登録
[ｽﾀｰﾄ]押す

4 **押す**

（例）

TEL=08765432..

●77セレクティでKDDIに通知された電話番号が自動的に表示されます（この番号は変更できません）

6 記入済みの
「おたっくす情報サービスご利用申込書」を本機にセットし、 スタート/コピー **押す**

（自動的におたっくすサーバーに接続し、通信が始まる）

ｻｰﾊﾞｰに接続します
[ｽﾀｰﾄ]押す
↓
ﾕｰｻﾞｰ登録中
接続中
↓
ﾕｰｻﾞｰ登録中
認証中
↓
ﾕｰｻﾞｰ登録中
通信中

● 登録に失敗しました の表示が出た場合
➡構内交換機、ホームテレホンと接続されていないことを確認し、最初からやり直す

●**通信終了後、登録された電話番号がプリントされる**
➡ 正しい電話番号が登録されているかご確認ください

（例）

2001. 5.31 14:30 P.01

あなたの登録した電話番号は 08765432.... です

●「電話番号」や「ファクス番号」をダイヤルする必要はありません（本機が自動的にダイヤルします）

● Eﾒｰﾙ認証中
通信中 **表示中に電話をかけようとすると、**
「プープー」音が聞こえ、電話はかけられません
➡ 電話を切ってしばらくお待ちください

●**すぐに電話をかけたいときは**
➡「ピー」と鳴るまで ストップ を押す
（データ通信は、再度自動的に行われます）

9 **押し、** **押す**

● 「情報サービス案内」がプリントされる

●「情報サービス案内」では「おたっくすEメール」の最新の情報を提供しています

お願い

●**「ユーザー登録完了」案内に書かれているEメールアドレス、セキュリティIDは「おたっくすEメールお客様メモ」（☞裏表紙）に忘れないように記録してください。**
●受信した「ユーザー登録完了」案内は、第三者に見られないように保管してください。

お知らせ

●**セキュリティIDは、下記のような場合に必要です。**
・転居などにより、新しい電話番号に変更になった。
・修理後、Eメール機能が利用できない。
・Eメール対応おたっくすを新しく購入した。
・誤ってEメール設定を初期化した。（☞156ページ）
●「ユーザー登録」でEメールアドレスを入手したあと、転居などにより再登録する場合は、「再登録手続き」を行ってください。（☞156ページ）
●77セレクティランプが赤色点灯時または消灯時に登録した場合
➡手順4で「ピー音」が鳴り、下記の表示が出る

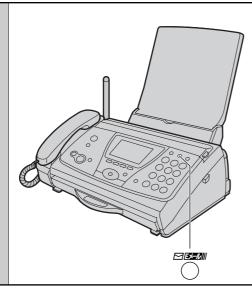
77ｾﾚｸﾃｨの
利用が必要です
➡
ﾕｰｻﾞｰ登録
[ｽﾀｰﾄ]押す

➡77セレクティの設定を「あり」にしてください。
（☞144ページ「77セレクティの設定を変更する」）

おたっくすEメールを利用する

Eメール用語リスト

用　語	意　味	参照ページ
サーバー	Eメールの送受信を運営、管理するためのシステムです。	150、152
メールボックス	サーバー内に設けられた、個々の利用者に割り当てられる私書箱のようなものです。	150、151
Eメールアドレス	Eメール通信を行うときの、利用者の私書箱ナンバーのようなものです。 ユーザー名、ドメイン名から成り、「@」を含む一定の書式になっています。 例： abc @def△△.co.jp（abc＝ユーザー名、def△△.co.jp＝ドメイン名）	151、153、164〜171、174

Eメールランプについて

Eメール 点灯	**おたっくすEメールが使用できます。** **お願い** サーバーにあなた宛の Eメールが届いている場合があります。定期的に受信操作を行って、確認してください。（☞176ページ） **受信操作を行わないとEメールは受信できません。** **お知らせ** **Eメールを自動的に受信したり、サーバーにEメールが届いたことをお知らせすることもできます。** ➡ 拡張サービスの「着信通知サービス」（有料）をご利用ください。（☞184ページ）

ユーザー登録を解約する

おたっくすEメールのユーザー登録を解約したいときは、次の操作を行ってください。
この解約操作により、九州松下電器株式会社へ利用契約の解約通知が行われます。
解約を行う前にEメールを受信してください。未受信Eメールを残したまま解約すると、おたっくすサーバーのメールボックスにある未受信Eメールが消去されます。

1 （機能）**押し、** （Eメール）**押す**

```
ﾕｰｻﾞｰ登録
       [ｽﾀｰﾄ]押す
```

2 **下記の表示になるまで** （◁▷）**押す**

```
Eﾒｰﾙ解約 =ｵﾌ
```

3 （選択 F2）**押し、「オン」を選ぶ**

```
Eﾒｰﾙ解約 =ｵﾝ
```

用　　語	意　　味	参照ページ
ユーザー名	Eメールアドレスの「@」より左側を指します。	151、157
ドメイン名	Eメールアドレスの「@」より右側を指します。（@も含む） ドメイン名はサーバーの運営提供者によって特定されており、おたっくすEメールを利用する場合は、必ず「@fem.dion.ne.jp」となります。	151、172、174
リターンメール	宛先不明などで送信者に返送されてくるEメールです。	151、247

Eメール **点滅**	文字Eメールの送信などサーバーに接続したとき、あなた宛のEメールが届いていると点滅します。 ➡ **受信してください**（☞176ページ） （受信すると点灯に変わります）
Eメール **消灯**	**おたっくすEメールが使用できません。** ■申し込んでいないとき ➡申し込み（ユーザー登録）を行う（☞152ページ） ■すでに申し込んでいるとき ➡再登録手続きを行う（☞156ページ）

お願い

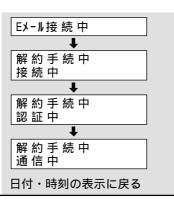
- 着信通知サービスを利用するときは、電話優先時の呼出音の回数（☞90ページ）を「しない」に設定しないでください。（設定すると、着信通知ができません。）

4 登録 F4 **押す**

解約しますか?
はい=✳ いいえ=#

- **解約したくないとき**
  ➡ # を押す

5 ✳ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

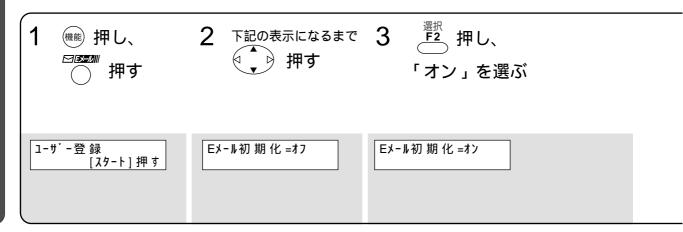
- 解約を行う場合は、通話料、情報料はかかりません。
- 再度おたっくす情報サービスに登録されるときには、登録料がかかります。
- 手順5のあと下記の表示が出た場合、もう一度最初からやり直してください。

解約できませんでした

おたっくすEメールを利用する

本機を使わなくなったとき（Eメール初期化）

今までお使いの本機を他の人に譲るときなどに、必ずこの設定を行ってください。この設定を行わないと、本機を他の回線に接続し利用された料金（情報料）が、登録されているお客様に請求されることがあります。

転居・買い替え・修理・誤って初期化したとき（再登録手続き）

転居などにより新しい電話番号に変更になった場合は、まず**KDDIカスタマサービスセンター（フリーコール 0077-772：通話料金無料）へ連絡し、77セレクティの操作でKDDIから新しいデータを受け取ってください。**（☞144ページ「電話番号が変わったとき」）
そのあと**77セレクティランプが緑色に点灯したら**、下記の手順で再登録してください。（無料）
この再登録手続きにより、九州松下電器株式会社へ契約回線の変更の届け出が行われます。

再登録手続きの際には、お客様の**Eメールアドレスとセキュリティ IDが必要です。**（☞153ページ）
それまでご利用になっていたEメールアドレス、セキュリティIDおよび「拡張サービス」で変更されていた内容（着信通知サービスなど）はそのまま継続してご利用できます。

1 機能 **押し、** Eメール **押す**

ﾕｰｻﾞｰ登録
[ｽﾀｰﾄ]押す

2 下記の表示になるまで ◁▲▼▷ **押す**

ﾕｰｻﾞｰ変更登録
[ｽﾀｰﾄ]押す

3 スタート/コピー **押す**

（例）

TEL=0876543･･･
新しい電話番号

- 77セレクティでKDDIに通知された電話番号が表示されます
  （この番号は変更できません）

8 登録 F4 **押す**

ｾｷｭﾘﾃｨID=....
[4桁]

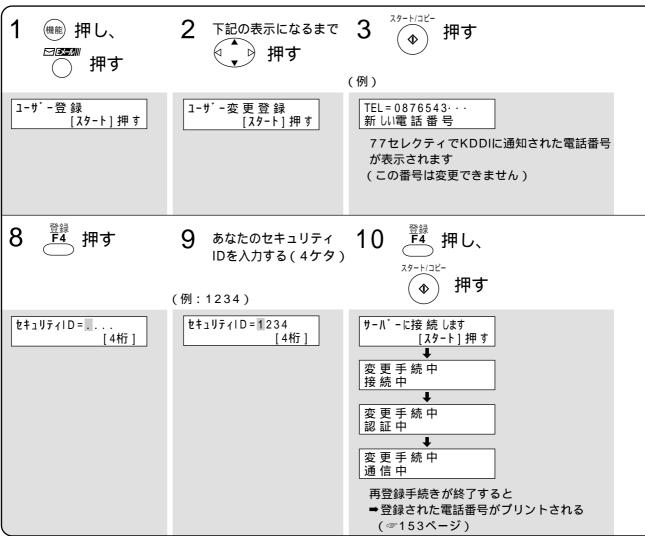
9 あなたのセキュリティIDを入力する（4ケタ）

（例：1234）

ｾｷｭﾘﾃｨID=1234
[4桁]

10 登録 F4 **押し、** スタート/コピー **押す**

ｻｰﾊﾞｰに接続します
[ｽﾀｰﾄ]押す
↓
変更手続中
接続中
↓
変更手続中
認証中
↓
変更手続中
通信中

- **再登録手続きが終了すると**
  ➡登録された電話番号がプリントされる（☞153ページ）

初期化する前にEメールを受信してください。
初期化すると、次のものがすべて消去されます。
●Eメールアドレス帳・ドメイン名・定型文の登録した内容

4 登録 F4 **押す**

初期化しますか?
はい=＊ いいえ=#

●初期化を中止するには
➡ # を押す

5 ＊ **押し、** ストップ **押す**

初期化しました

⬇

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

●本機内に記憶されているおたっくすEメールサービス用の情報が消去されます。ただし、おたっくす情報サービスのユーザー登録は解約されません。

●本機を再び使用するとき

- 今まで利用していたEメールアドレスを使う場合
  ➡「再登録手続き」を行ってください。(☞下記)
- 新しいEメールアドレスに変更する場合
  ➡「ユーザー登録」を行ってください。(☞152ページ)
  この場合は、登録料がかかります。

以下の場合は再登録手続きが必要です

- 転居などにより新しい電話番号に変更になった場合
- 修理後、Eメール機能が利用できなくなった場合
- Eメール対応おたっくすを新しく購入された場合
- 誤ってEメール設定を初期化した（☞上記）場合

再登録手続きが終了するまでは、Eメールの確認ができなくなりますので、事前にEメールを受信(☞176ページ)することをお勧めします。再登録手続き終了後も、それまでご利用になっていたEメールアドレスは継続してご利用できます。

4 登録 F4 **押す**

(例)

TEL=
今までの電話番号

または

TEL=0654321・・・
今までの電話番号

(今までの電話番号が表示される ➡ 手順6へ)

5 今までの電話番号を**市外局番から入力する**

(例)

TEL=0654321・・・
今までの電話番号

6 登録 F4 **押す**

ﾕｰｻﾞｰ=p........
[8桁]

カーソル

●「p」は自動的に入力されます

7 **あなたのユーザー名**（Eメールアドレス「@」より左側）**の数字8ケタを入力する**

（ユーザー名例：p1234····）

ﾕｰｻﾞｰ=p1234····
[8桁]

再登録が受け付けられた場合

再登録手続き終了から約5分後、呼出音が鳴り、おたっくすサーバーからデータ通信が行われます。(☞152ページの手順7)
「変更登録手続き完了」案内が送られてきてデータ通信が終了すると、Eメールが使えるようになります。
(下記は、2001年5月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。)

////////////////　「変更登録手続き完了」案内　////////////////

こちらは九州松下電器株式会社です。

新しい電話番号でのサービスのご利用が可能になりましたので、お知らせいたします。

新しい電話番号　：　０８７６５４３…
これまでの電話番号　：　０６５４３２１…

◆あなたの
Ｅメールアドレス　：　ｐ××××△△△△@ｆｅｍ. ｄｉｏｎ. ｎｅ. ｊｐ
◆あなたの
セキュリティＩＤ　：　□□□□

これまでご利用されていたＥメールアドレスとセキュリティＩＤの変更はありませんので、継続してご利用ください。

お知らせ

●手順10のあと、下記の表示が出た場合、本機が構内交換機、ホームテレホンと接続されていないことを確認して、もう一度最初からやり直してください。

登録に失敗しました

●受信した「変更登録手続き完了」案内は、第三者に見られないように保管してください。

Eメール送信

Eメールを受信可能な端末に、ダイヤルボタンで入力した文字メッセージをEメール送信できます。

文字Eメールを送る

3 [スタート/コピー] **押す**

ｱﾄﾞﾚｽ1?
カーソル

4 送りたい相手の
Eメールアドレスを入力し、 [登録 F4] **押す**

（最大5人、合計半角129文字まで）

（例：yuki@abc.def.ghi）

ｱﾄﾞﾚｽ1?
yuki@abc.def.ghi

ｱﾄﾞﾚｽ2?

- **複数の相手に送るとき（同報送信）は、手順4を繰り返す**
- 入力のしかた
  （☞44～49ページ）
- 「英」と「数」のみ入力できます

8 **メッセージを入力する**
（全角100文字／半角200文字まで）

（例：8時に駅前）

8時に駅前
>_

- 入力のしかた
  （☞44～49ページ）

9 [登録 F4] **押す**

Eﾒｰﾙ通信中
接続中

Eﾒｰﾙ通信中
認証中

Eﾒｰﾙ通信中
通信中

- 通信終了後、未受信Eメールの件数が表示されます

（例）
送信しました
未受信Eﾒｰﾙ　2件

あなた宛にEメールが届いています
➡ Eメールを受信するには
（☞176ページ）

3 送りたい相手の
Eメールアドレスを入力し、 [登録 F1] **押す**

（最大5人、合計半角129文字まで）

（例：yuki@abc.def.ghi）

アドレス1?
yuki@abc.def
.ghi

➡

アドレス2?

- 入力のしかた
  （☞44～49ページ）
- 「英」と「数」のみ入力できます
- **複数の相手に送るとき（同報送信）は、手順3を繰り返す**

7 **メッセージを入力する**
（全角100文字／半角200文字まで）

（例）

メッセージ?
8時に駅前に
なりました

- 入力のしかた
  （☞44～49ページ）

8 [登録 F1] **押す**

送信
しますか？

9 [はい F1] **押す**

親機へ
送信中

親機へ
送信しました

外線使用中

➡ **親機からサーバーへ通信を開始する**

お知らせ

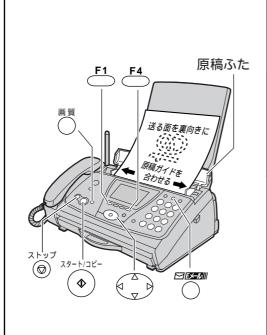
- 相手にはテキスト形式で送信されます。
  （☞188ページ「通信相手の文字Eメール受信例」）
- **便利な入力のしかた**
  （☞174ページ）
- **文字リスト**
  （☞175ページ）
- **Eメールアドレス帳を使うとき**
  （☞164ページ）
  ➡手順4で [上下キー]
  （子機は [上下キー]）を押し、
  [左右キー]（子機は [左右キー]）
  を押して送りたい相手を表示させ [確定 F4]
  （子機は [確定 F1]）を押す
- タイトルを入力しないと、相手にタイトルは表示されません。

子機お知らせについて

- 親機からサーバーへ送信できなかったとき（エラー時）に親機が子機に電話をかけて送信結果を音声でお知らせします。
  （子機お知らせ）
  ➡「送信できませんでした」を2回流す
  再度、送り直してください。
- 送信できなかったときだけでなく、送信するたびに、子機お知らせをするように設定できます。
  （☞162ページ「子機お知らせの設定」）

Eメール送信

ファクスEメールを送る

パソコン（TIFFビューア付）やEメール対応おたっくすなどEメールアドレスを持っている人に、
ファクス感覚で手書きのメッセージや、ハンドスキャナーに記憶した内容をEメール送信できます。

1 原稿ふたを開けて、**原稿ガイドを原稿の幅に合わせ、原稿を入れる**
（「ピッ」と鳴る）

原稿をセットしました
画質=ふつう

- 送る面を裏向きに
- 一度に**重ねて5枚**まで

2 画質 **押し、**
画質を選ぶ

- **画質選択のめやす**（☞78ページ）

5 登録 F4 **押す**

タイトル？
>_

- 前回入力したタイトルがあれば上段に表示される
- **前回のタイトルを消すには**
  ➡ クリアー F1 を2秒以上押す

6 **タイトルを入力する**
（全角16文字／半角32文字まで）
（例：予約の件）

予約の件
>_

- 入力のしかた
  （☞44〜49ページ）

付属のハンドスキャナーで記憶した内容を送信する

1 ハンドスキャナーで
原稿を読み取り、親機に接続する
または
親機に接続した状態で スキャナー F2 **押す**

- 原稿の読み取りかた（➡112ページ手順1〜7）
- 記憶された枚数を表示する
  （例：10枚）

読取枚数　　10枚
印字は[ｽﾀｰﾄ]押す

2 原稿を入れずに
Eメール **押す**

ﾌｧｸｽEﾒｰﾙ送信
[ｽﾀｰﾄ]押す

5 登録 F4 **押す**

ﾀｲﾄﾙ？
>_

- 前回入力したタイトルがあれば上段に表示される
- **前回のタイトルを消すには**
  ➡ クリアー F1 を2秒以上押す

6 **タイトルを入力する**
（全角16文字／半角32文字まで）
（例：予約の件）

予約の件
>_

- 入力のしかた
  （☞44〜49ページ）

7 スキャナー F2 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

■ **全ページを送信するとき**
➡手順12へ

一括送信
[ｽﾀｰﾄ]押す

■ **ページを指定して送信するとき**
➡手順8へ

ﾍﾟｰｼﾞ指定送信
[ｽﾀｰﾄ]押す

10 登録 F4 **押す**

終了ﾍﾟｰｼﾞ=07
[数字]押す

手順9で入力したページ番号を表示する

11 送信したい
最後のページ番号を2ケタで入力する
（例：10ページ目まで）

終了ﾍﾟｰｼﾞ=10
[数字]押す

- **まちがえたとき**
  ➡ クリアー F1 を押す
- **1ページだけ送信するとき**
  ➡手順9と同じページ番号を入力する

3 Eメール **押し、** スタート/コピー **押す**

```
ファクスEﾒｰﾙ送信
      [ｽﾀｰﾄ]押す
   ↓
ｱﾄﾞﾚｽ1?
```

カーソル

4 送りたい相手の **Eメールアドレスを入力し、** 登録 F4 **押す**

（最大5人、合計半角129文字まで）

（例：yuki@abc.def.ghi）

```
ｱﾄﾞﾚｽ1?
yuki@abc.def.ghi
   ↓
ｱﾄﾞﾚｽ2?
```

- 入力のしかた（☞44〜49ページ）
- 「英」と「数」のみ入力できます
- **複数の相手に送る（同報送信）ときは、手順4を繰り返す**

7 登録 F4 **押す**

```
接続中
   ↓
認証中
   ↓
通信中
```

- 通信終了後、未受信Eメールの件数が表示されます

（例）
```
送信しました
未受信Eﾒｰﾙ   2件
```

あなた宛にEメールが届いています
➡ Eメールを受信するには（☞176ページ）

3 スタート/コピー **押す**

```
ｱﾄﾞﾚｽ1?
```

カーソル

4 送りたい相手の **Eメールアドレスを入力し、** 登録 F4 **押す**

（最大5人、合計半角129文字まで）

（例：yuki@abc.def.ghi）

```
ｱﾄﾞﾚｽ1?
yuki@abc.def.ghi
   ↓
ｱﾄﾞﾚｽ2?
```

- 入力のしかた（☞44〜49ページ）
- 「英」と「数」のみ入力できます
- **複数の相手に送る（同報送信）ときは、手順4を繰り返す**

8 スタート/コピー **押す**

```
開始ﾍﾟｰｼﾞ=01
      [数字]押す
```

9 送信したい **最初のページ番号を2ケタで入力する**

（例：7ページ目から）

```
開始ﾍﾟｰｼﾞ=07
      [数字]押す
```

- **まちがえたとき**
  ➡ クリアー F1 を押す

12 ■ 全ページを送信するとき スタート/コピー **押す**

■ ページ指定して送信するとき 登録 F4 **押す**

```
接続中
   ↓
認証中
   ↓
通信中
```

- 通信終了後、未受信Eメールの件数が表示されます

（例）
```
送信しました
未受信Eﾒｰﾙ   2件
```

あなた宛にEメールが届いています
➡ Eメールを受信するには（☞176ページ）

お知らせ

- **途中で送信をやめるとき**
  ➡ ストップ を押す
- Eメール対応おたっくすにはファクスイメージで送信され、パソコンなどにはTIFF※形式の添付ファイルとして送信されます。（☞188ページ「通信相手のファクスEメール受信例」）
  ※ **拡張サービスを利用して送信ファイルの形式をTIFFからJPEGに変更することもできます。**（☞185ページ「ファクスEメール送信形式設定」）
- **便利な入力のしかた（☞174ページ）**
- **文字リスト（☞175ページ）**
- **Eメールアドレス帳を使うとき**（☞164ページ）
  ➡手順4で ◁▷ を押し、▲▼を押して送りたい相手を表示させ 確定 F4 を押す
- タイトルを入力しないと、相手にタイトルは表示されません。
- 画質はハンドスキャナーで読み取ったときの設定で送信されます。
- ハンドスキャナーに記憶した内容を送信しても、記憶した内容は消えません。

Eメール送信

音声Eメールを送る

Eメール受信が可能で音声ファイルを再生できる端末に、音声で録音された音声データをEメール送信できます。（WAV形式の添付ファイルとして送られます。）

F1　F4　Eメール

スタート/コピー　スピーカーホン

1 （Eメール）**押す**

Eﾒｰﾙ受信
[ｽﾀｰﾄ]押す

2 **下記の表示になるまで** （◁▷）**押す**

音声Eﾒｰﾙ送信
[ｽﾀｰﾄ]押す

5 （登録 F4）**押す**

ﾀｲﾄﾙ?
>_

- 前回入力したタイトルがあれば上段に表示される
- **前回のタイトルを消すには**

➡ （クリアー F1）を2秒以上押す

6 **タイトルを入力する**
（全角16文字／半角32文字まで）

（例：予約の件）

予約の件
>_

- 入力のしかた
（☞44～49ページ）

7 （登録 F4）**押す**

Eﾒｰﾙ通信中
接続中

⬇

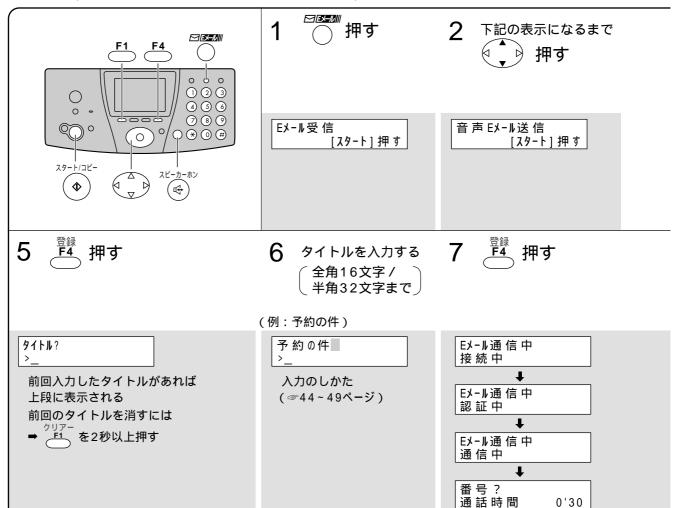
Eﾒｰﾙ通信中
認証中

⬇

Eﾒｰﾙ通信中
通信中

⬇

番号？
通話時間　　　0'30

子機お知らせの設定

子機で文字Eメールを送信したとき、親機が子機に電話をかけて、送信結果を音声でお知らせします。
送信できなかったときのみ知らせる（**「エラー時」**）か、常にお知らせする（**「常時」**）か選べます。

（お買い上げ時の設定：「エラー時」）

送信できなかったとき	：「送信できませんでした」のメッセージが2回流れる
送信できたとき	：「送信しました」のメッセージが2回流れる

3 スタート/コピー ◇ **押す**

4 送りたい相手の
Eメールアドレスを入力し、 登録 F4 **押す**
（最大5人、合計半角129文字まで）

（例：yuki@abc.def.ghi）

```
ｱﾄﾞﾚｽ1?
█
```
└カーソル

```
ｱﾄﾞﾚｽ1?
yuki@abc.def.ghi
```
↓
```
ｱﾄﾞﾚｽ2?
█
```

- **複数の相手に送る（同報送信）ときは、手順4を繰り返す**

- 入力のしかた
  （☞44〜49ページ）
- 「英」と「数」のみ入力できます

8 **音声案内に従って用件を録音する**
（受話器を取って話すこともできます）

9 終わったら
スピーカーホン **押す**
（または受話器を戻す）

- 接続されると、音声で録音のしかたについての案内が流れてきます

- メッセージは、約60秒録音できる
- **録音が終わったら**
  ➡ # を押し、下記の操作を行う

●録音した内容で良いとき ………	# を押す
●録音した内容を聞き直すとき …	1 を押す
●録音し直すとき ……………………	＊ を押す

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- 相手にはWAV形式の添付ファイルとして送信されます。
  （☞189ページ「通信相手の音声Eメール受信例」）
- **便利な入力のしかた**
  （☞174ページ）
- **文字リスト**
  （☞175ページ）
- **Eメールアドレス帳を使うとき**
  （☞164ページ）
  ➡手順4で ◁▷ を押し、△▽ を押して送りたい相手を表示させ 確定 F4 を押す
- タイトルを入力しないと、相手にタイトルは表示されません。

3 選択 F2 **押し、**
「エラー時」または「常時」を選ぶ
（押すごとに切り替わる）

```
子機お知らせ=常時
```
↕
```
子機お知らせ=ｴﾗｰ時
```

4 登録 F4 **押す**

```
登録しました
```
↓
（手順3の設定を表示する）

5 ストップ **押す**

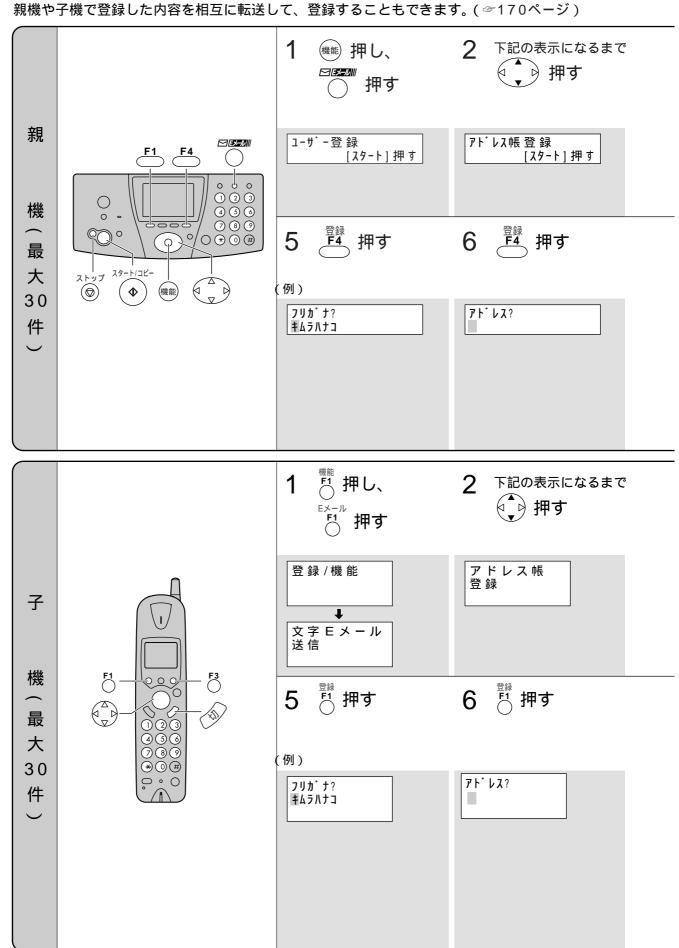
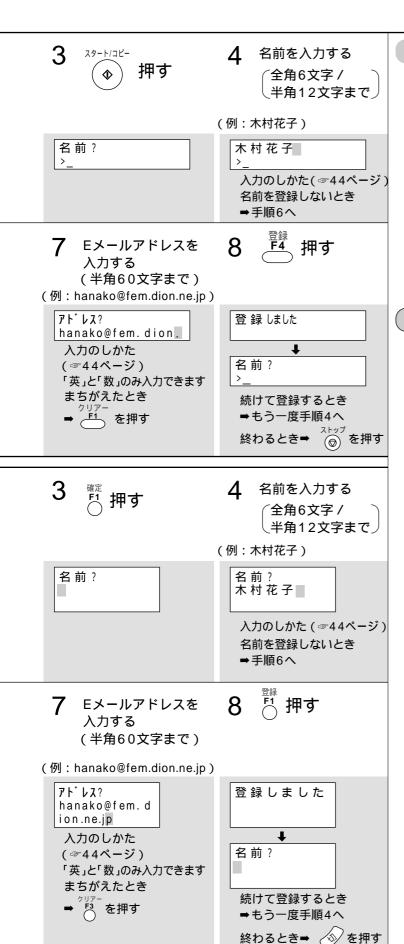
日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- 60秒以上呼び出しても、子機が応答しないときは呼び出しをやめます。

Eメールアドレス帳

Eメールアドレス帳に登録する

よく送る相手の名前とEメールアドレスを親機や子機のEメールアドレス帳に登録できます。
親機や子機で登録した内容を相互に転送して、登録することもできます。(☞170ページ)

お知らせ

- **途中で登録をやめるとき** ➡ ストップ（子機は 切 ）を押す
- **親機・子機ともに、あらかじめ下記の1件が登録されています。**
  - 案内取り出し（info@fem.dion.ne.jp）

  ➡「info@fem.dion.ne.jp」は、拡張サービスの案内Eメールを取り出すときのアドレスです。
  （☞186ページ「文字Eメールで使いたい機能の案内を取り出す」）
- **登録したアドレス帳の使いかた**（☞175ページ）
- **登録した内容を確認するには**

  ➡Eメール登録リストをプリントする（☞188ページ）

フリガナについて

- 名前を登録すると自動的に表示されます。（半角12文字まで）
  表示されたフリガナが間違っているときは、修正してください。
  （例）
  「乙丸（オトマル）」という名前を、「乙女（オトメ）」と入力して「女」を消去し、「丸（マル）」を入力して登録したとき

  ﾌﾘｶﾞﾅ?
  ｵﾄﾒﾏﾙ

  この文字が不要

  ➡ クリアー F1 （子機は クリアー F3 ）を押して、正しいフリガナに変更する（入力のしかた☞44ページ）

Eメールアドレス帳

Eメールアドレス帳の内容を確認／修正する

親機や子機のEメールアドレス帳に登録されている相手の名前やEメールアドレスを確認、修正します。

3 スタート/コピー **押す**

（例）

アドレス帳検索
名前？

4 **押し、**
修正する相手を選ぶ

（例）

林雪
yuki@abc.co.jp

5 修正 F2 **押す**

林雪
>_

●**名前を修正しないとき**
➡ 登録 F4 を押し、手順7へ

7 **フリガナを修正し、**
登録 F4 **押す**

フリガナ?
ハヤシケイコ
⬇
アドレス?
yuki@abc.co.jp

●**アドレスを修正しないとき**
➡ 登録 F4 を押す

8 **Eメールアドレスを修正する**

●「英」と「数」のみ入力できます

林恵子
keiko@abc.co.jp

9 登録 F4 **押す**

登録しました

●**続けて修正するとき**
➡手順4へ

---

3 確定 F1 **押す**

（例）

アドレス帳検索
名前？

4 **押し、**
修正する相手を選ぶ

（例）

林雪
yuki@abc.co.
jp

5 修正 F1 **押す**

名前？
林雪

●**名前を修正しないとき**
➡ 登録 F1 を押し、手順7へ

7 **フリガナを修正し、**
登録 F1 **押す**

フリガナ?
ハヤシケイコ
⬇
アドレス?
yuki@abc.co.
jp

●**アドレスを修正しないとき**
➡ 登録 F1 を押す

8 **Eメールアドレスを修正する**

●「英」と「数」のみ入力できます

林恵子
keiko@abc.c
o.jp

9 登録 F1 **押す**

登録しました

●**続けて修正するとき**
➡手順4へ

お知らせ

- Eメールアドレスが長すぎて一画面に表示できないときは、（子機は ）を押してアドレスの続きを確認することができます。
- 名前の一部を修正したときは、「フリガナ」も修正してください。（修正前のフリガナが残ります。）
- **修正をやめるとき**
  ➡ ストップ （子機は 切 ）を押す

Eメールアドレス帳

Eメールアドレス帳の内容を消去する

親機や子機のEメールアドレス帳に登録されている相手の名前やEメールアドレスを消去します。

お知らせ

- あらかじめ登録されている1件も消去できます。(☞165ページ「お知らせ」)

Eメールアドレス帳

Eメールアドレス帳の内容を転送する

Eメールアドレス帳の内容（名前とアドレス）を、親機から子機、子機から親機に転送できます。
別々に登録する手間が省けて便利です。（転送しても、すでに転送先に登録されている内容は消えません）
１件ごと（個別）に転送する方法と、一括して（一斉に）転送する方法があります。

- 一括して転送するときは、（◁▷）（子機は（◁▷））を押して表示される順番で転送されます。
- 一括して転送するとき、「ｱﾄﾞﾚｽ帳ｶﾞｲｯﾊﾟｲ」が表示されると、自動的に転送を終了します。

親機から子機へ個別に転送する

1. 親機の（機能）押し、（Eメール）押す
   - 表示：ﾕｰｻﾞｰ登録　[ｽﾀｰﾄ]押す
2. 下記の表示になるまで（▲▼◁▷）押す
   - 表示：ｱﾄﾞﾚｽ帳転送　[ｽﾀｰﾄ]押す
3. （スタート/コピー）押す
   - 表示：転送先＝子機1
   - ●子機を増設しているとき
     ➡（選択 F2）を押して転送する子機を選ぶ

親機から子機へ一斉に転送する

1. 親機の（機能）押し、（Eメール）押す
   - 表示：ﾕｰｻﾞｰ登録　[ｽﾀｰﾄ]押す
2. 下記の表示になるまで（▲▼◁▷）押す
   - 表示：ｱﾄﾞﾚｽ帳転送　[ｽﾀｰﾄ]押す
3. （スタート/コピー）押す
   - 表示：転送先＝子機1
   - ●子機を増設しているとき
     ➡（選択 F2）を押して転送する子機を選ぶ

子機から親機へ個別に転送する

1. 子機の（機能 F1）押し、（Eメール F1）押す
   - 表示：登録/機能 → 文字Eメール送信
2. 下記の表示になるまで（◁▷）押す
   - 表示：アドレス帳転送
3. （確定 F1）押す
   - 表示：ｱﾄﾞﾚｽ帳転送　個別　一斉

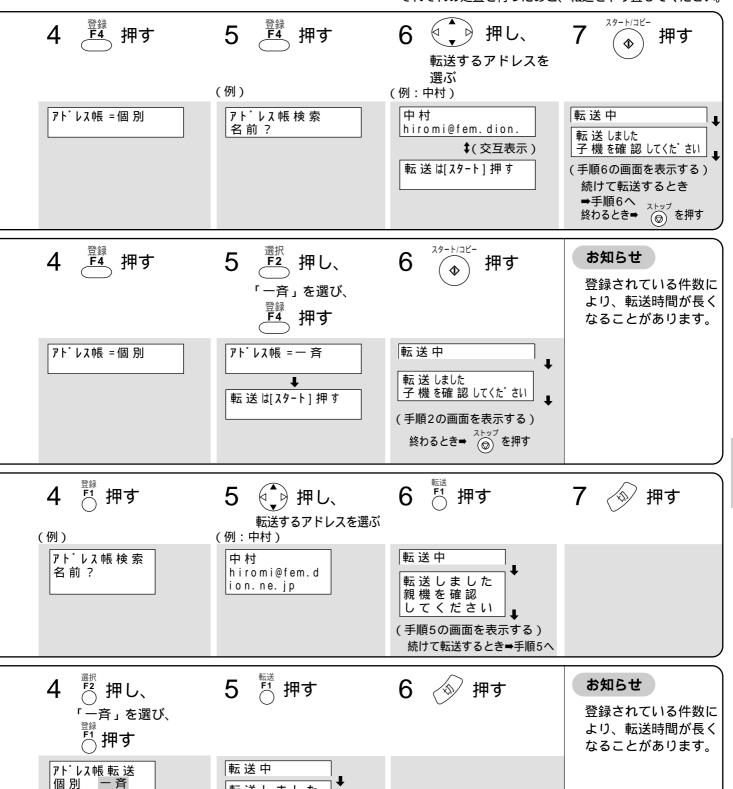
子機から親機へ一斉に転送する

1. 子機の（機能 F1）押し、（Eメール F1）押す
   - 表示：登録/機能 → 文字Eメール送信
2. 下記の表示になるまで（◁▷）押す
   - 表示：アドレス帳転送
3. （確定 F1）押す
   - 表示：ｱﾄﾞﾚｽ帳転送　個別　一斉

お知らせ

- **Eメールアドレス帳の転送操作を行うときは、子機を親機の近くに持ってきてください。**
- 転送する内容と同じものが、すでに転送先に登録されている場合、その内容は転送されません。
- 転送先に同じ名前があっても、アドレスが異なるときは、追加登録されます。
- 転送ができないと、下記の表示が出ます。

親機 転送できませんでした　子機 転送 できません でした

・子機が親機から離れすぎている ➡ 親機に近づける
・子機の電池が切れている ➡ 充電する
それぞれの処置を行ったあと、転送をやり直してください。

ドメイン名／定型文

ドメイン名を登録する（最大10件）

よく使うドメイン名（@を含む右側）を親機に登録できます。（親機のみ）
お買い上げ時は、1件目に「@fem.dion.ne.jp」、2件目以降に「@」が登録されています。

定型文を登録する

よく使う単語や文章を、定型文として親機や子機に登録できます。

親機（最大10件）

1 機能 **押し、** Eメール **押す**

ﾕｰｻﾞｰ登録 [ｽﾀｰﾄ]押す

2 **下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

定型文登録 [ｽﾀｰﾄ]押す

3 スタート/コピー **押す**

（例：定型文1のとき）

定型文1? >_

●**「定型文2」以降を登録するには**
➡ ◁▷ を押し、
定型文2～10を選ぶ

子機（最大10件）

1 機能 F1 **押し、** Eメール F1 **押す**

登録/機能

↓

文字Eメール 送信

2 **下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

定型文登録

3 確定 F1 **押す**

定型文1

●**「定型文2」以降を登録するには**
➡ ◁▷ を押し、
定型文2～10を選ぶ

4 ドメイン名を入力する
（半角30文字まで）

- 入力のしかた（☞44ページ）
- 「英」と「数」のみ入力できます
- **まちがえたとき**
  ➡ クリアー F1 を押す

5 登録 F4 押す

登録しました
⬇
ドメイン名？
@

6 2件目の ドメイン名を入力し、登録 F4 押す

- **続けて登録するとき**
  ➡手順4〜6を繰り返す
- 10件登録すると
  ドメイン名登録
  ［スタート］押す
  が表示される
- **終わるとき**➡ ストップ を押す

4 定型文にする 文字を入力する
（全角20文字／半角40文字まで）

（例）

こんにちは
>_

- 入力のしかた（☞44ページ）
- **まちがえたとき**
  ➡ クリアー F1 を押す

5 登録 F4 押す

登録しました
⬇
こんにちは
>_

- **続けて登録するとき**
  ➡ ◁▷ を押し、定型文2〜10を選び手順4〜5を繰り返す
- **終わるとき**➡ ストップ を押す

4 登録 F1 押す

（例：定型文1のとき）

定型文1？

5 定型文にする 文字を入力する
（全角10文字／半角20文字まで）

（例）

定型文1？
こんにちは

- 入力のしかた（☞44ページ）
- **まちがえたとき**
  ➡ クリアー F3 を押す

6 登録 F1 押す

登録しました
⬇
定型文1
こんにちは

- **続けて登録するとき**
  ➡ ◁▷ を押し、定型文2〜10を選び手順3〜6を繰り返す
- **終わるとき**➡ 切 を押す

お知らせ

- **登録を途中でやめるには**
  ➡ ストップ（子機は 切）を押す
- **登録した内容を確認するには**
  ➡Eメール登録リストをプリントする（☞188ページ）
- **登録したドメイン名・定型文の使いかた**
  ➡（☞174ページ）

登録したドメイン名・定型文を修正・消去するには

- **修正するとき**
  ➡手順4で、◁▷（子機は 修正 F1 を押したあと、◁▷）を押してカーソルを修正したい文字に移動させ、入れ直し、登録 F4（子機は 登録 F1）を押す
  （文字を消すには クリアー F1（子機は クリアー F3）を押す）
- **消去するとき**
  ➡手順4で、クリアー F1（子機は クリアー F3）を押して、文字を全部消したあと 登録 F4（子機は 登録 F1）を押す

便利な入力のしかた

登録した**Eメールアドレス帳**、**ドメイン名**（親機のみ）、**定型文**は、（子機は◁▷）を使って、Eメールの入力時に利用することができます。親機と子機は一部押すボタンが異なりますが、同じ操作です。

アドレス入力の
早わざ！

前回入力したアドレスを表示する

◁▷（子機は◁▷）押す

アドレス1？
keiko@fem.dion

● 「アドレス1」のみ表示します。

登録しているドメイン名（☞172ページ）を使う（親機のみ）

① ユーザー名（Eメールアドレスの@より左側）を入力する

アドレス1？
yuki

カーソル

●カーソルの右側にドメイン名が入ります。

② 機能 押す

ドメイン名？

③ ◁▷ で選ぶ

@abc.co.jp

④ 見つかったら 確定 F4 押す

アドレス1？
yuki@abc.co.jp

タイトル、
メッセージ入力の
早わざ！

登録している定型文（☞172ページ）を使う

（例）

今日は
>_

カーソル

●カーソル位置から定型文が入ります。

①「定型文1」が表示されるまで 文字切替 F3（子機は F2）押す

定型文1
こんにちは

② ◁▷（子機は◁▷）で選ぶ

定型文2
良い天気ですね。

③ 見つかったら 確定 F4（子機は 確定 F1）押す

日は良い天気ですね。
>_

お知らせ

●定型文入力時に文字数がいっぱいになった場合は、入力できるところまで入力されます。

便利な入力のしかた

複数の相手に送る（同報送信）

「アドレス1」の入力と同じように、アドレス2〜5までの入力を繰り返す

アドレス帳に登録している（☞164ページ）名前の頭文字を入力して探すには

① （子機は ）押す

ｱﾄﾞﾚｽ帳 検 索
名 前 ?

② 送りたい相手の頭文字を入力する（☞下記）

（例：「中村」のとき）
5 を押す

ﾌﾘｶﾞﾅ?
ﾅ

③ （子機は ）で選ぶ

中村
hiromi@fem.dion

④ 見つかったら 確定 F4 （子機は 確定 F1 ）押す

ｱﾄﾞﾚｽ1?
hiromi@fem.dion

お知らせ

- **Eメールアドレス入力中に、半角129文字を超えると、下記が表示されます。**

親機の表示

桁 数 が いっぱ いで す

子機の表示

桁 数 が
い っ ぱ い で す

➡送信する相手を減らしてください。

- 複数の相手に送るときは、送る人数によって、入力できるアドレスの文字数が1つずつ減ります。
（例：2人に送るとき
➡半角128文字まで）

文字リスト

ダイヤルボタンを押すごとに、ボタンに割り当てられた文字が順番に表示されます。

ボタン ＼ 表示	かな	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@（アットマーク） .（ドット） _ -（ハイフン） & $ \ % + = ~ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをんー（長音）！？（ ）	ワヲンー（長音）！？（ ）	! ? / ー ＊ # , ; : ｜ ・ ’ ” （ ） [ ] { } 〈 〉「 」	0
＊	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。		、。	
#	↲ 改行 （メッセージの入力時のみ入力できます）			
画質（親機）	スペース			
ファクス（子機）	スペース			

- Eメールアドレス入力時の「英」では、小文字が先に表示されます。
- Eメールアドレス入力時の「英」では、、。ー・「　」が入力できません。
- Eメールアドレス入力時は、「英」と「数」のみ入力できます。

Eメール受信／返信／転送

Eメールを受信する

受信の流れ

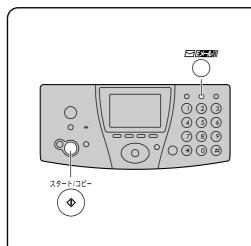
おたっくすサーバーに Eメールが到着する

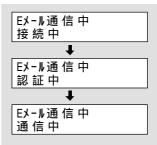
●文字Eメールの送信を行ったときなど、サーバーにあなた宛のEメールが来ていると、[Eメール] が点滅します。

●自動的に [Eメール] を点滅させたいときは、着信通知サービスをご利用ください。（☞184ページ）

おたっくすサーバーへ接続し Eメールを受信する（☞下記手順1～2）

●受信操作を行わないと、Eメールを受け取ることはできません。
●通話料と情報料がかかります。
● Eメールがない場合でも、通話料がかかります。
● 子機では、受信できません。

1 [Eメール] **押す**

Eメール受信
［スタート］押す

2 [スタート/コピー] **押す**

受信可能なファイル形式について

●受信できるファイル形式は以下のとおりです。（2001年5月現在）

画像ファイル：JPEG（～.jpg、～.jpeg)、TIFF（非圧縮形式）（～.tif、～.tiff)、BMP（～.bmp）
テキストファイル：TXT（テキスト形式）（～.txt）
音声ファイル：WAV（～.wav）
文書ファイル：～. doc（Microsoft® Word 2000 for Windows® 形式の文書）
～. xls（Microsoft Excel 2000 for Windows形式の文書）
～. ppt（Microsoft PowerPoint® 2000 for Windows形式の文書）
～. pdf（Adobe Acrobat 4.0J形式の文書）

Eメールの内容がプリントされる

（すべてEメールがプリントされたら...）Eメール 点灯

●テキスト形式で受信したEメールは、A4サイズに全角で約50文字・約65行でプリントします。

■未受信Eメールがあるとき

Eメール通信中

➡Eメールが記録紙にプリントされる

●すべてのEメールがプリントされたら、Eメール が点灯する

■未受信Eメールがないとき

未受信Eメール　0件

お知らせ

●受信途中でエラーになった場合、下記のように表示し、Eメール が点滅します。

(例)

受信できませんでした
Eメール2件

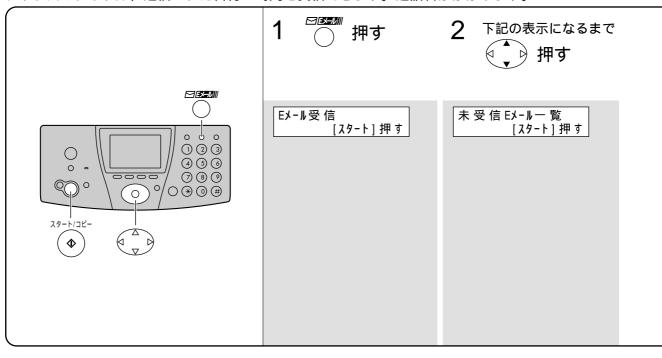
受信開始前の件数を表示

➡ おたっくすサーバーに未受信Eメールが残っています。再度、受信してください。

●～. doc、～. xlsの場合、受信可能な用紙サイズは、A3、A4、B4、B5、Letter、Legalです。
●複数のシートから構成される～. xlsの受信も可能です。その場合、それぞれのシートに対して、異なる用紙サイズを設定可能ですが、その中に受信不可能な用紙サイズが含まれていると、その文書はすべて受信できません。
●複数のファイルが添付されたEメールの受信も可能です。添付ファイルの中に、受信不可能な形式、および、用紙サイズが含まれている場合は、そのファイルのみ受信できません。
●受信できないファイルが送られてきた場合は、おたっくすサーバーからその理由がEメール送信されます。送信相手に受信可能なファイル形式で送り直してもらうように連絡してください。

Eメール受信／返信／転送

未受信Eメール一覧を受信する

おたっくすサーバーに接続して、サーバー内のメールボックスに保管された未受信EメールのEメールアドレスとタイトル、送信された日付・時刻を受信できます。通話料がかかります。

音声Eメールを受信する

受信したEメールにWAV形式（～.wav）の音声データが添付されていた場合、文書番号を指定して音声を聞くことができます。
音声データはEメールを受信してから1週間の間、おたっくすサーバーに保管されます。
1週間以内に音声Eメールを受信してください。

1 Eメール 押す

Eメール受信
［スタート］押す

2 下記の表示になるまで 押す

音声Eメール受信
［スタート］押す

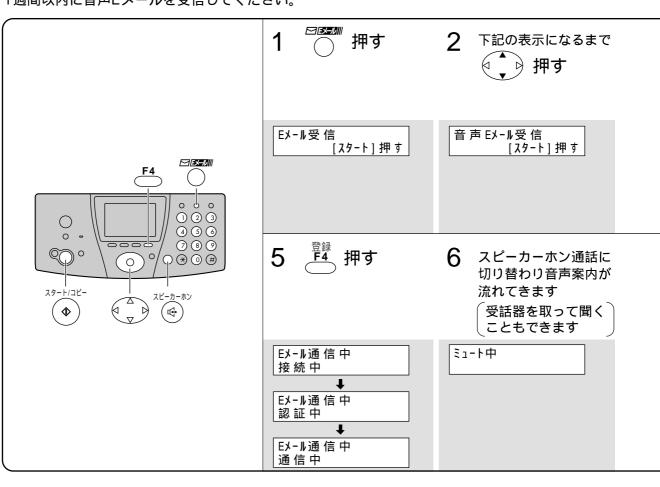
F4　Eメール
スタート/コピー　スピーカーホン

5 登録 F4 押す

Eメール通信中
接続中
↓
Eメール通信中
認証中
↓
Eメール通信中
通信中

6 スピーカーホン通話に切り替わり音声案内が流れてきます

（受話器を取って聞くこともできます）

ミュート中

3 スタート/コピー **押す**

Eﾒｰﾙ通信中
接続中
↓
Eﾒｰﾙ通信中
認証中
↓
Eﾒｰﾙ通信中
通信中
↓
未受信Eメール一覧が受信される
（例）

未受信Eﾒｰﾙ 2件

●**未受信Eメールがないとき**

未受信Eﾒｰﾙ 0件

●**続けて未受信Eメールを受信するには**（☞176ページ）
●**不要なEメールを受信せずに消去するには**
➡拡張サービスを利用して「未受信Eメールの個別削除」を行う（☞185ページ）

未受信Eメール一覧の受信例

「未受信Eメール一覧」

お問い合わせはEメールで下記アドレスまで送信してください。（通話料・情報料がかかります）
アドレス：「p110@fem.dion.ne.jp」

確認日 ： 2001年05月01日 15：54
Eメールアドレス ： p1234△△△△@fem.dion.ne.jp

番号	タイトル	差出人	送信日時
0001	母より	p9876××××@fem.dion.ne.jp	2001/05/01 15:52:04
0002	こんにちは	taro@pana.co.jp	2001/05/01 18:30:30

拡張サービス機能を利用すると、不要なEメールを受信せずに削除することができます。

3 スタート/コピー **押す**

文書番号=．．．．
［4桁］

4 **受信する文書番号を入力する**

（例：0002）

文書番号=0002
［4桁］

●文書番号については、右記を参照してください

7 **音声案内に従って操作する**

8 終わったら スピーカーホン **押す**
（または受話器を戻す）

お知らせ

●受信してから1週間以内しか聞くことができません。1週間を過ぎたものや無効の番号を入力した場合、通信後に下記メッセージが表示されます。

文書番号ｴﾗｰでした

●WAV形式（〜.wav）の音声データが添付されたEメールの受信例

受信日時：2001/05/01 15:55 合計1ページ

タイトル：鳥の声
送信日時：2001/05/01 15:52:04
差 出 人：taro@pana.co.jp
宛 先：p1234△△△△@fem.dion.ne.jp
文書番号：0002 ← 文書番号

こんにちは

珍しい鳥の鳴き声を録音しました。聞いてください。

WAV形式の音声データが添付されています。
ファイル名：「鳥の声.wav」

Eメール受信／返信／転送

受信したEメールに返信する

おたっくすでEメールを受信すると、文書番号が印刷されます。(☞ 右記「文書番号について」)
受信したEメールの文書番号を指定すると、簡単に返信できます。
返信できるEメールは、受信してから1週間以内のEメールです。

ファクスEメールで返信する

1 原稿ふたを開けて、**原稿ガイドを原稿の幅に合わせ、原稿を入れる**(「ピッ」と鳴る)

原稿をセットしました
画質 =ふつう

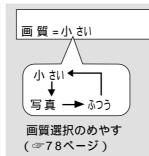
- 送る面を裏向きに
- 一度に**重ねて5枚**まで

2 画質 **押し、** **画質を選ぶ**

(例)

画質 =小さい

- **画質選択のめやす**(☞78ページ)

3 Eメール **押し、** **下記の表示になるまで** **押す**

ファクスEメール送信
[スタート]押す
↓
ファクスEメール返信
[スタート]押す

文字Eメールで返信する

1 Eメール **押し、** **下記の表示になるまで** **押す**

文字Eメール返信
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

文書番号=. . . .
[4桁]

- **返信先が「毎回選択」のとき (☞183ページ)**

差出人へ返信 =*
同報宛先へも返信 =#

➡ ＊ または ＃ を押す

3 **返信する相手の文書番号を入力し、** 登録 F4 **押す**

(例：0001)

文書番号=0001
[4桁]
↓
メッセージ ?
>_

- 前回入力したメッセージがあれば上段に表示される
- **前回のメッセージを消すには**
  ➡ クリアー F1 を2秒以上押す

付属のハンドスキャナーで記憶した内容を返信する

1 ハンドスキャナーで **原稿を読み取る**

- **原稿の読み取りかた**
  ➡112ページ手順1〜8
- 画質はハンドスキャナーで読み取ったときの設定で送信される

2 原稿を入れずに Eメール **押し、** **下記の表示になるまで** **押す**

ファクスEメール返信
[スタート]押す

3 スタート/コピー **押す**

文書番号=. . . .
[4桁]

- **返信先が「毎回選択」のとき (☞183ページ)**

差出人へ返信 =*
同報宛先へも返信 =#

➡ ＊ または ＃ を押す

つづく

4 スタート/コピー **押す**

5 **返信する相手の文書番号を入力し、**
登録 F4 **押す**

（例：0001）

文書番号=....
［4桁］

●**返信先が「毎回選択」のとき（☞183ページ）**

差出人へ返信 =＊
同報宛先へも返信 =#

➡ ＊ または # を押す

文書番号=0001
［4桁］
⬇
Eﾒｰﾙ通信中
接続中
⬇
Eﾒｰﾙ通信中
認証中
⬇
Eﾒｰﾙ通信中
通信中

---

4 **メッセージを入力する**
（全角100文字／半角200文字まで）

（例：散歩に行こうか）

散歩に行こうか
>_

5 登録 F4 **押す**

Eﾒｰﾙ通信中
接続中
⬇
Eﾒｰﾙ通信中
認証中
⬇
Eﾒｰﾙ通信中
通信中

---

4 **返信する相手の文書番号を入力する**

（例：0001）

文書番号=0001
［4桁］

5 「付属のハンドスキャナーで記憶した内容を送信する」（☞160ページ）の**手順7〜12を行う**

お知らせ

●返信できるEメールは受信してから1週間以内のEメールです。1週間を過ぎたものや無効の番号を入力した場合、通信後に下記メッセージが表示されます。

文書番号ｴﾗｰでした

●受信済みのEメールは1週間保存されます。

●返信先の設定や受信文書の引用設定を変更することもできます。（☞182ページ「返信先の設定」）

文書番号について

おたっくすでEメール受信すると、次のように文書番号が印刷されます。

例）

受信日時：2001/05/01　18:41　　　合計1ページ

タイトル：こんにちは
送信日時：2001/05/01　18:40:05
差 出 人：yuki@abc.def.ghi
宛　　先：p1234△△△△@fem.dion.ne.jp
同報宛先：taro@pana.co.jp
文書番号：0001 ← 文書番号

今日は天気がいいですね。

返信文書について

受信したEメールの文書番号を指定して返信すると、次のような内容で相手に届きます。

例）

---------- Original Message ----------------------------------

From　：yuki@abc.def.ghi
To　　：p1234△△△△@fem.dion.ne.jp
Date　：2001/05/01　18:41:05
Subject：こんにちは

>今日は天気がいいですね。← 送られてきた本文が引用される。「>」マークが付く

散歩に行こうか

• 添付ファイルは返信されません。

Eメール受信／返信／転送

受信したEメールに返信する

返信先の設定

引用の設定

☞181ページ「返信文書について」

●受信文書を引用「する」か「しない」を設定できます。

1. （機能）押し、（Eメール）押す

```
ﾕｰｻﾞｰ登録
      [ｽﾀｰﾄ]押す
```

2. 下記の表示になるまで、（◁▷）押す

```
引用=する
```

3. （選択 F2）押す（押すごとに切り替わる）

```
引用=しない
   ↕
引用=する
```

4. （登録 F4）押す

```
登録しました
```

5. （ストップ）押す

●お買い上げ時の設定は「する」

返信宛先優先の設定

1. （機能）押し、（Eメール）押す

```
ﾕｰｻﾞｰ登録
      [ｽﾀｰﾄ]押す
```

2. 下記の表示になるまで、（◁▷）押す

```
返信宛先優先=なし
```

3. （選択 F2）押す（押すごとに切り替わる）

```
返信宛先優先=あり
   ↕
返信宛先優先=なし
```

4. （登録 F4）押す

```
登録しました
```

5. （ストップ）押す

●「なし」は差出人へ「あり」は返信宛先へ返信します。
●お買い上げ時の設定は「なし」

受信したEメールを転送する

おたっくすでEメールを受信すると、文書番号が印刷されます。（☞右記「文書番号について」）
受信したEメールの文書番号を指定すると、簡単に転送できます。
転送できるEメールは、受信してから1週間以内のEメールです。

返信する相手先の設定

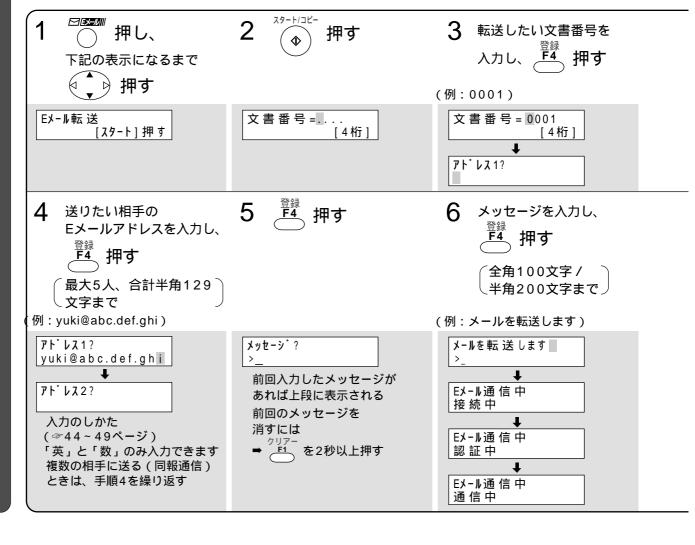
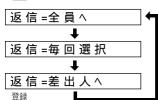
1. (機能) **押し、** (Eメール) **押す**

ﾕｰｻﾞｰ登録
[ｽﾀｰﾄ]押す

2. 下記の表示になるまで、 (◁▷) **押す**

返信=差出人へ

3. (選択 F2) **押す**（押すごとに切り替わる）

4. (登録 F4) **押す**

登録しました

5. (ストップ) **押す**

●お買い上げ時の設定は「差出人へ」

●返信配布先の例

1.「差出人：山田、同報宛先：小林」というEメールに対して返信した場合

返信設定	返信Eメール配布先
差出人へ	山田
全員へ	山田、小林
毎回選択	山田／山田、小林

2.「差出人：山田、返信宛先：田中」というEメールに対して返信した場合

返信宛先優先設定	返信Eメール配布先
あり	田中
なし	山田

3.「差出人：山田、同報宛先：小林、返信宛先：田中」というEメールに対して返信した場合

		返信宛先優先設定	
		あり	なし
返信設定	差出人へ	田中	山田
	全員へ	田中、小林	山田、小林
	毎回選択	田中／田中、小林	山田／山田、小林

お知らせ

●転送できるEメールは受信してから1週間以内のEメールです。1週間を過ぎたものや無効の番号を入力した場合、通信後に下記メッセージが表示されます。

文書番号ｴﾗｰでした

●受信済みのEメールは1週間保存されます。

●**便利な入力のしかた**（☞174ページ）

●**文字リスト**（☞175ページ）

●**Eメールアドレス帳を使うとき**（☞164ページ）

➡ 手順4で (△▽) を押し、(◁▷) を押して送りたい相手を表示させ (確定 F4) を押す

文書番号について

おたっくすでEメール受信すると、次のように文書番号が印刷されます。

例）

受信日時：2001/05/01　18:41　　合計1ページ

タイトル：こんにちは
送信日時：2001/05/01　18:40:05
差 出 人：yuki@abc.def.ghi
宛　　先：p1234△△△△@fem.dion.ne.jp
同報宛先：taro@pana.co.jp
文書番号：0001 ← 文書番号

今日は天気がいいですね。

転送文書について

受信したEメールの文書番号を指定して転送すると、次のような内容で相手に届きます。

例）

メールを転送します

--------- Original Message ---------
From　：yuki@abc.def.ghi
To　：p1234△△△△@fem.dion.ne.jp
Date　：2001/05/01　18:41:05
Subject：こんにちは

今日は天気がいいですね。

• 添付ファイルも転送されます。

その他

拡張サービスとは

「おたっくす情報サービス」では、もっと便利にお使いいただくための機能を
「**拡張サービス**」として用意しています。

<拡張サービスご利用の流れ>

文字Eメールで、使いたい機能の案内を取り出す（☞186ページ）

文字Eメールを使って、案内番号をサーバーに送信する ➡ 約5分後 **折り返し送られてくる案内Eメールを受信する**

案内Eメールに従って操作する

<拡張サービス一覧表> 拡張サービスをご利用になる場合は、上記の操作を行ってください。

案内番号	機能	ページ数	機能説明
0	おたっくす情報サービスに関するご案内	3	最新のサービス内容を案内しています。
1	受信可能な画像・音声ファイル	1	おたっくすEメールで受信可能なファイルの種類を説明しています。
2	着信通知サービス（★）	3	新しいEメールが送られてきたら電話がかかってきます。 （1通知当たり10円の利用料が、通常の通話料および情報料に加えてかかります。毎月の固定費用（基本料）は発生しません。） **●着信通知サービスには、以下の3つのモードがあります。** ・**着信通知モード**： Eメールが送られてきたときにEメールランプが点滅してお知らせします。（自動的にEメールは受信しません。） ・**自動受信モード**： 着信通知を受けて自動的にEメールを受信します。 ・**非通知モード**： 一時的に着信通知サービスを停止します。 **●非通知時間帯の設定を利用すると** 夜間など、着信通知してほしくない時間帯を設定できます。
3	H"LINK（PメールDX）対応端末とのEメール送受信	3	DDIポケットのH"LINK（PメールDX）対応端末と、文字や絵を含んだEメールの送受信ができます。
4	最新の約款（★）	4	最新版の「おたっくす情報サービス契約約款」を取り出せます。
5	Eメールアドレス変更	2	おたっくすのEメールアドレスを変更できます。 例） 変更前：p1234△△△△@fem.dion.ne.jp 変更後：suzuki@fem.dion.ne.jp
6	名称変更	2	おたっくすから送るEメールに、お客さまの名前・ニックネームなどを入れることができます。
7	返信機能	2	受信したEメールに対して、相手のアドレスを入力せずに、返信できます。
8	音声Eメール機能	2	音声をEメールで送受信できます。（対応機種のみ）
9	文書番号一覧の取り出し（★）	1	返信機能、音声Eメール機能、受信済Eメールの再受信、Eメール転送に利用する「文書番号」の一覧を取り出せます。
10	受信Eメールの文字サイズの大きさ変更（★）	2	受信するEメール本文の文字を「大きい」「特大」に変更できます。

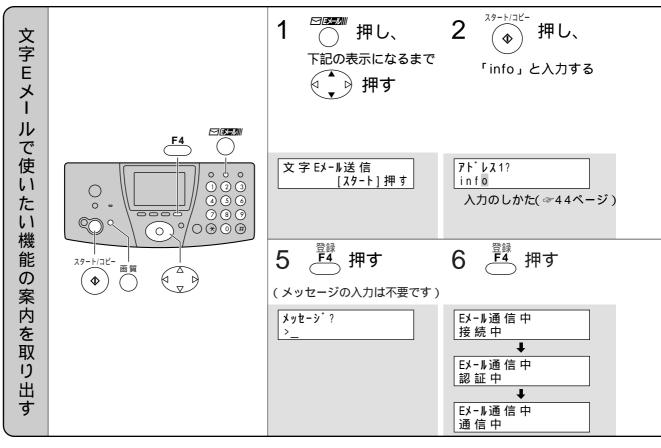
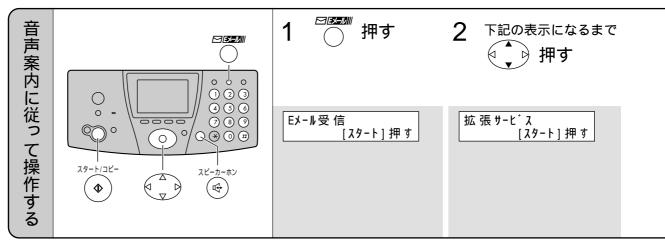
つづく

お知らせ

- 案内Eメールには、拡張サービスの各機能の詳しい説明や、設定方法などが記載されています。
- 下記の拡張サービス一覧表で（★）がついている機能は、音声案内に従って操作・設定ができます。
（☞186ページ「音声案内に従って操作する」）

（下記のサービスは2001年5月現在のものです。サービスの内容は予告なく変更される場合があります。）

案内番号	機　　能	ページ数	機　　能　　説　　明
11	お知らせEメールの受信設定（★）	1	おたっくす情報サービスでは年に数回、新機能のご紹介やプレゼントキャンペーンなどのお知らせを、Eメールでお客さまへ送信しています。 このお知らせEメールが不要なかたは、受信しないように設定できます。
12	ファクスEメール送信形式設定	1	ファクスEメール送信のファイル形式をTIFF形式からJPEG形式に変更できます。
13	自動転送設定	2	Eメールが到着したときに、同時に他のアドレスに自動転送できます。
14	受信済Eメールの再受信	1	受信して1週間以内のEメールを再受信できます。
15	署名機能	2	署名を設定すると、Eメールの本文に自動的に署名を付けて送信します。 では、またの便りまで この部分が署名→ 九松太郎 taro@fem. dion. ne. jp
16	同報送信	1	複数のアドレスに対して、一度の送信操作でEメールを送信できます。
17	Eメール転送	2	受信して1週間以内のEメールを、他のアドレスに転送できます。
18	個人情報照会	2	お客さまの現在の設定を、Eメールを利用して照会できます。
19	掲示板	7	他のおたっくすEメールユーザーとコミュニケーションを図ることができます。（主な機能：一覧・詳細・返信・掲載・取消など）
20	送受信履歴（★）	1	3ヵ月前までのEメールの送受信履歴を取り出せます。
21	未受信Eメール一覧（★）	1	サーバーのメールボックスに保管された未受信Eメールの一覧を取り出せます。
22	未受信Eメールの個別削除（★）	1	サーバーのメールボックスに残っている、受信したくないEメールを削除できます。
23	添付ファイルのカラー／モノクロ受信設定	1	Eメール受信時の添付ファイルを、カラーとモノクロのどちらで受信するかを選べます。**（カラー対応機のみ：本機では利用できません。）**
24	フォトフレーム用イラストの取り出し	1	フォトフレーム用ピンにかけて飾っておく、カレンダーや写真などを取り出せます。**（カラー対応機のみ：本機では利用できません。）**
999	Q&A	3	よくあるご質問とその回答集を取り出せます。

使いたい機能の詳しい案内（案内Eメール）を、おたっくすサーバーから取り出すことができます。
文字Eメールを使って、各機能の案内番号（☞184ページ「拡張サービス一覧表」）をおたっくすサーバーへ送信し、おたっくすサーバーから折り返し送られてくる案内Eメールを受信します。

拡張サービス一覧表（☞184ページ）の（★）がついている機能は、音声案内に従って操作・設定を行います。（詳しい操作方法を知りたいかたは、案内Eメールを取り出してください。）

音声案内の例：情報サービス案内の取り出しかた

3 登録 F4 **2回押す**

4 ダイヤルボタンで**案内番号を入力する**（☞184ページ）

■1件の情報を取り出す場合
番号を1つだけ入力する
（例：案内番号2の「着信通知サービス」）

■複数の情報を取り出す場合
番号と番号の間をスペース（画質 押す）で区切り、複数の番号を入力する

タイトル？
＞_

2

1 2 3
（スペース）

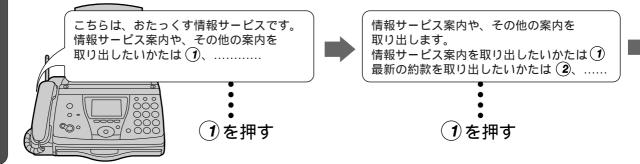
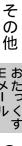
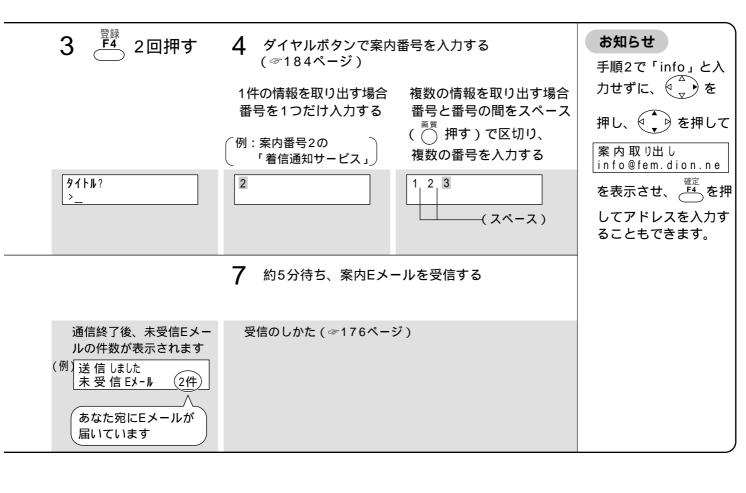
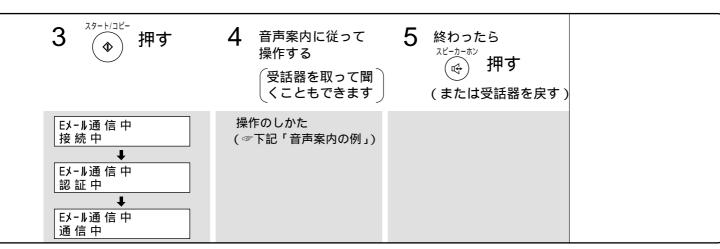
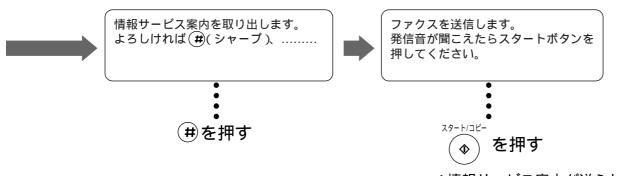
お知らせ
●手順2で「info」と入力せずに、を押し、を押して
案内取り出し
info@fem.dion.ne
を表示させ、確定 F4 を押してアドレスを入力することもできます。

7 約5分待ち、**案内Eメールを受信する**

●通信終了後、未受信Eメールの件数が表示されます
(例) 送信しました
未受信Eメール 2件
あなた宛にEメールが届いています

●受信のしかた（☞176ページ）

その他

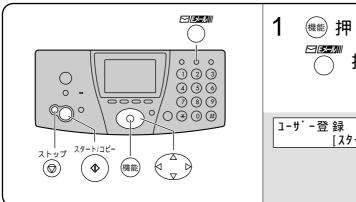
Eメール登録リストをプリントする

Eメールアドレス帳に登録した名前やEメールアドレス・ドメイン名・定型文のリスト（親機のみ）をプリントできます。

1 機能 **押し、** Eメール **押す**

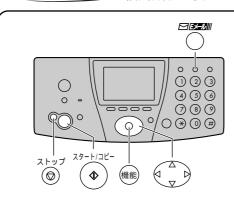
ユーザ゛ー登録
[スタート]押す

2 **下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

登録リスト印字
[スタート]押す

H"LINK送信用紙をプリントする

Eメールアドレスをお持ちのDDIポケット H"LINK （PメールDX）対応端末ユーザーへ、専用の「H"LINK 送信用紙」を使ってファクスEメールを送信できます。

1 機能 **押し、** Eメール **押す**

ユーザ゛ー登録
[スタート]押す

2 **下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

H"LINK用紙印字
[スタート]押す

通信相手のおたっくすEメール受信例

●通信相手の文字Eメール（☞158ページ）受信例※

※ 通信相手のEメールソフトによって表示内容は異なります。

題名　　同窓会のお知らせ
差出人　p1234△△△△@fem.dion.ne.jp

今度の同窓会は　7時PMから　6時半に　駅前ね！

●通信相手のファクスEメール（☞160ページ）受信例※

※ 通信相手のEメールソフトによって表示内容は異なります。

題名　　同窓会のお知らせ
差出人　p1234△△△△@fem.dion.ne.jp

このEメールは、おたっくす（Panasonic製パーソナルファクス）より
送られてきたものです。
TIFF形式の画像データが添付されていますので、添付ファイルの
アイコンをダブルクリック（左２回押し）して見てください。
（アイコン：Image.tifやImage.jpgなどの表示がついた絵のこと）

ご不明な場合は、下記URLをダブルクリックして操作方法を
ご確認ください。

http://www.kmepci.ne.jp/femhp/ten.html

3 スタート/コピー 押す

➡リストがプリントされる

4 プリントが終わったら ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

登録リストのプリント例

Eメールアドレス帳リスト　2001. 5. 1 12:00 P.01

名前	フリガナ	アドレス	（空き 28件）
木村花子	キムラ ハナコ	hanako@fem. dion. ne. jp	
松下太郎	マツシタ タロウ	taro@pana. co. jp	

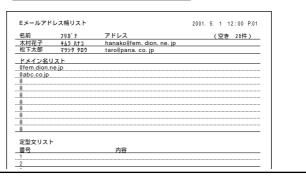
ドメイン名リスト
@fem.dion.ne.jp
@abc.co.jp
@
@
@
@
@
@
@
@

定型文リスト

番号	内容
1	
2	

3 スタート/コピー 押す

➡ H"LINK 送信用紙がプリントされる

4 プリントが終わったら ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る
（あとは H"LINK 送信用紙に送信する内容を書いてファクスEメールを送信する）

お知らせ

- 送信した内容は、H"LINK（PメールDX）対応端末へBMP形式の添付ファイルとして送られます。
- 送信できるのは、1回の送信で1枚です。
- 小さい文字やうすい文字は見えづらくなることがあります。また写真などは、画質が粗くなります。

●通信相手の音声Eメール（☞162ページ）受信例※

※通信相手のEメールソフトによって表示内容は異なります。

題名　同窓会のお知らせ
差出人　p1234△△△△@fem.dion.ne.jp

このEメールは、おたっくす（Panasonic製パーソナルファクス）より
送られてきたものです。

Windows wave形式の音声データが添付されています。
なお、Macintoshをご利用の場合、音声再生ソフトは以下のサイトから入手できます。

http://www.kmepci.ne.jp/femhp/soft.htm

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本機は、NTTの ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ に対応しています。

NTTとナンバー・ディスプレイサービスの**契約（有料）のみで、**約2〜3日後にはサービスを利用できます。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、
本機の設定は必要ありません。
ただし、キャッチホン・ディスプレイを利用するには、別途NTTとの契約と本機の設定が必要です。

ナンバー・ディスプレイサービスに加入すると

■相手の電話番号を確認してから、電話を受けることができます（☞192〜193ページ）
かけてきた相手の電話番号が親機や子機のディスプレイに表示され、電話に出る前に相手を確認できます。

■着信メモリー（☞194〜201ページ）
かけてきた相手の電話番号・日付・時刻を30件まで記憶できるので、電話に出られなかった場合でも、あとから確認して簡単にかけ直せます。

■グループコール（☞202〜203ページ）
電話帳に登録したグループ番号ごとに、呼出音を変えて鳴らすことができます。親機で設定する場合のみ、バックライトの色（ディスプレイの色）もグループ番号ごとに変えられます。

■指定呼び出し（☞204〜207ページ）
かけてきた相手によって、あらかじめ4種類の中から受けかたを選ぶことができます。（30件まで）
（1.親機のみ呼び出す　2.子機のみ呼び出す　3.ファクスのみ受ける　4.電話に出ない）

■非通知着信拒否（☞208〜209ページ）
相手が非通知（☞192ページ）でかけてきたときに、電話やファクスを受けないようにすることができます。
（☞192ページ「相手の電話番号を表示できない場合には」の「非通知」のときのみ、はたらきます。）

契約について（2001年5月現在）

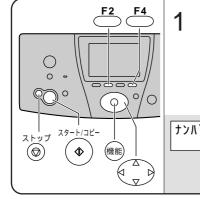
■ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、NTTとの契約が必要です。（有料：工事費、月額使用料）

●ただし、ナンバー・ディスプレイサービスは、下記サービスとの同時契約ができません。
- 転送でんわ（ボイスワープ除く）
- テレドーム（情報提供側）
- ダイヤルQ2（情報提供側）
- ノーリンギング通信サービス（センター側）

■キャッチホン・ディスプレイサービスをご利用いただくには、NTTとの下記サービスの同時契約が必要です。（有料：工事費、月額使用料）
●ナンバー・ディスプレイ
●キャッチホン・ディスプレイ
●キャッチホン、キャッチホンII、マジックボックス、ボイスワープII、話中時転送サービスのいずれか1つ

●詳しくはNTTの「ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター」（☞191ページ）へお問い合わせください。

キャッチホン・ディスプレイの設定をする

キャッチホン・ディスプレイを利用する場合は、NTTへの契約の申し込みを行ってから、設定を「あり」にしてください。サービスが開始されると、通話中にかかってきた相手の電話番号が約30秒間表示されます。着信メモリーに記憶されます。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで ▲▼ **押す**

ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
[ｽﾀｰﾄ]押す

2 スタート/コピー **押す**

ﾅﾝﾊﾞｰ･D=自動

3 下記の表示になるまで ▲▼ **押す**

ｷｬｯﾁ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ=なし

NTTナンバー・ディスプレイサービスおよびキャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ先：

ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター

0120 - 848521（通話料金無料）

受付時間：9：00～17：00（月曜～土曜）

お知らせ

- 「グループコール」「指定呼び出し」は、相手の電話番号を表示できない場合（☞192ページ）には、はたらきません。
- 停電時は、ナンバー・ディスプレイサービスおよびキャッチホン・ディスプレイサービスは、利用できません。

キャッチホン・ディスプレイについて

- **別途NTTとの契約（☞下記）と、本機の設定（☞下記）が必要です。**
- キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってきた電話番号もディスプレイに表示されます。キャッチホンの電話に出る前に相手を確認できて便利です。

お知らせ

- **モデムダイヤルインサービスと同時契約する場合**
  - NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。

    （詳しくは上記NTTの「ナンバー・ディスプレイカスタマーセンター」、または最寄りのNTT窓口にご相談ください。）
- **NTTのISDN回線をご利用の場合**
  - 接続するターミナルアダプターによっては表示されない場合があります。ナンバー・ディスプレイ対応のアナログポートのあるターミナルアダプターなどを接続してください。
- **構内交換機、ホームテレホンと接続している場合**
  - 本機のナンバー・ディスプレイ機能は利用できません。
- **ナンバー・ディスプレイサービスを利用する場合は、電話機を並列に接続しないでください。**
  （誤作動の原因になります。）
- **次のような場合、契約しても電話番号が表示されません。**
  （2001年5月現在）
  - 相手が番号を通知せずにかけてきた通話（☞192ページ）
  - 海外からの通話

4 選択 F2 **押し、**

「あり」を選ぶ

キャｯﾁ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ=あり

5 登録 F4 **押し、**

ストップ **押す**

登 録 しました

↓

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイは、下記の設定をしている相手から電話がかかってきても、その機能は、はたらきません。
  - グループコール（☞202ページ）
  - 指定呼び出し（☞204ページ）
  - 非通知着信拒否（☞208ページ）

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスを解約したとき

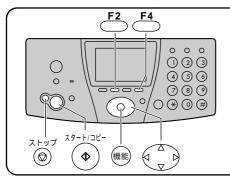
ナンバー・ディスプレイサービスを解約する場合は、NTTへの解約の連絡を行ってから、設定を「なし」にしてください。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
押す

ナンバー・ディスプレイ
[スタート]押す

2 スタート/コピー **押す**

ナンバー・D=自動

相手の電話番号を確認してから電話を受ける

親機や子機のディスプレイに下記のように電話番号や名前が表示されるので迷惑電話の防止などに役立ちます。

1 本機に電話がかかってくる

親機のディスプレイ表示

発信元確認中

子機のディスプレイ表示

子機1

2 相手の電話番号（市外局番から）が表示される

（例：相手の電話番号が09876543・・のとき）

親機

09876543・・

（末尾から16ケタまで）

子機

09876543・・

（末尾から11ケタまで）

➡**ここから呼出音が鳴る**

●電話帳に名前と電話番号を登録した相手の場合、名前も表示されます。

親機

木村
09876543・・

子機

木村
09876543・・

■相手の電話番号を表示できない場合には

ディスプレイには相手の電話番号のかわりに下記のメッセージが表示されます。

表示	説明
非通知	・・・相手が自分の電話番号を表示させないようにしているとき（「184」を付けてダイヤルしたときや、通常非通知の契約になっているとき）
公衆電話	・・・相手が公衆電話からかけてきたとき
表示圏外	・・・海外や一部の携帯電話などから電話をかけてきたとき
表示できません	・・・回線状況が悪かったときなど（子機には、外線着信中 と表示されます。）

※「非通知」「公衆電話」「表示圏外」の場合も着信件数に含まれます。
「表示できません」の場合は、着信件数に含まれません。

自分の電話番号を通知して、または通知せずに電話をかける

通知して電話をかける　次の2種類があります。

■NTTに**「通常通知**（通話ごと非通知）**」**を申し込む

■「通常非通知」を申し込んでいる場合は、**「186」**をつけてかける

1. 受話器を取る
（または スピーカーホン を押す）

2.「186」を押す

3.「プププ…」音が聞こえたら
相手先をダイヤルする

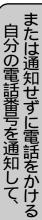
●77セレクティを利用していると、「184」や「186」をダイヤルしたあとの「プププ…」音は聞こえません。
➡「184」や「186」をダイヤル後、そのまま続けて相手先をダイヤルしてください。

3 選択 F2 **押し、**

「なし」を選ぶ

ナンバ゛ー・D =なし

4 登録 F4 **押し、**

ストップ **押す**

登 録 しました

⬇

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

●再度、ナンバーディスプレイサービスを利用するときは、手順3で「自動」を選択してください。

3 表示された電話番号を見て電話に出る

親機

通 話 時 間　　0'18

↑

通話時間（めやす）

子機　↓

0：00：18

■電話に出なかった場合

➡相手の電話番号が本機に記憶され、着信メモリーランプが点灯する

●記憶された相手を知るには

➡下記の操作で相手を確認すると、着信メモリーランプが消灯する

- **「かけてきた相手の電話番号を検索する」**（☞194ページ）
- **「着信リスト（着信履歴一覧）をプリントする」**（☞198ページ）

お知らせ

●ナンバー・ディスプレイサービスを利用すると、子機の呼出音は、親機より遅れて鳴り始めます。

通知せずに電話をかける　次の2種類があります。

■NTTに**「通常非通知**（回線ごと非通知）**」**を申し込む

■「通常通知」を申し込んでいる場合は、**「184」**をつけてかける

1. 受話器を取る
(または スピーカーホン を押す)

2.「184」を押す

3.「プププ…」音が聞こえたら
相手先をダイヤルする

●詳しくはNTTの「ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター」（☞191ページ）へお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

かけてきた相手の電話番号を検索する（着信メモリー）

ナンバー・ディスプレイサービスを利用すると、かけてきた相手の電話番号・日付・時刻が本機のメモリーに記憶されます。（電話帳に登録できる150件とは別に最大30件まで記憶できます。）記憶されている電話番号・日付・時刻をディスプレイに表示させて検索することができます。

親機

電話に出なかったら点灯します。

ストップ　着信メモリー

1 着信メモリー 押す

例：記憶されているデータ10件中出なかった電話が1件のとき

新規(＊マーク)　1件
着信メモリー　10件

2 押す

押すごとに新しいデータから古いデータに切り替わる

（例）

＊ 5月　1日 16:30
木村

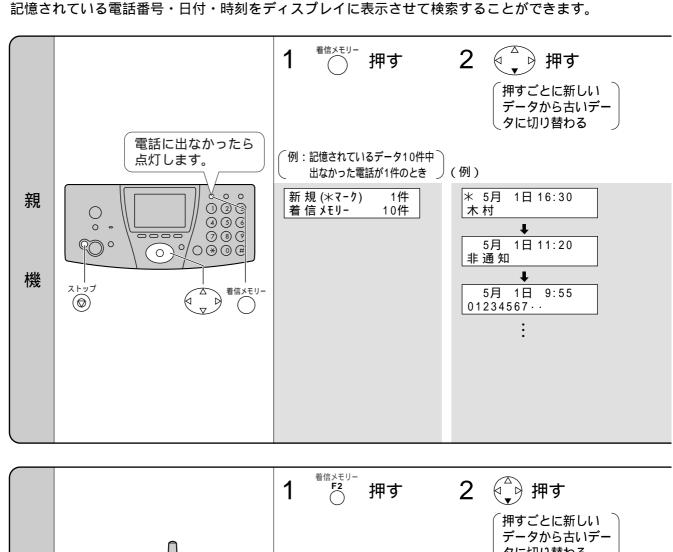
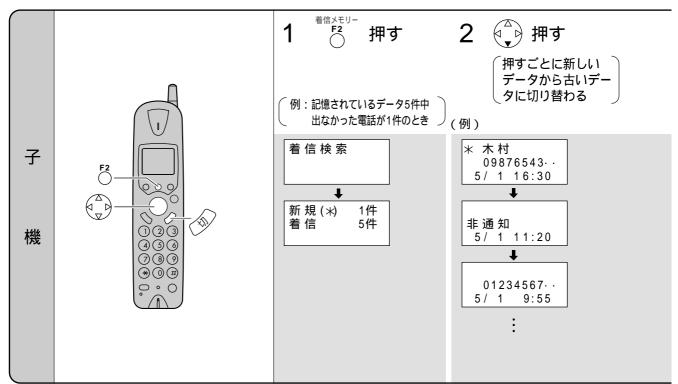
↓

5月　1日 11:20
非通知

↓

5月　1日　9:55
01234567‥

⋮

子機

3 終わったら
ストップ **押す**

- ＊マークは検索していない新しいデータを表します
- 同じ相手から続けてかかってきた場合は、同じ電話番号が続けて表示されます
- 電話番号は末尾から合計16ケタまで表示されます
- 電話帳に名前が登録されていると、名前も表示されます

```
＊ 5月　1日 16:30
木 村
```

↕ 交互表示

```
＊ 5月　1日 16:30
09876543‥
```

日付・時刻の表示に戻る

- 検索がすべて終わっていなくても ストップ を押すと着信メモリーランプや＊マークは消えます

3 終わったら

押す

- ＊マークは検索していない新しいデータを表します
- 同じ相手から続けてかかってきた場合は、同じ電話番号が続けて表示されます
- 電話番号は末尾から合計12ケタまで表示されます
- 電話帳に名前が登録されていると、名前も表示されます

```
＊ 木 村
  09876543‥
 5/ 1 16:30
```

- 検索がすべて終わっていなくても 切 を押すと＊マークは消えます

親機の着信メモリーランプが点灯しているとき

かかってきても、出なかった電話の番号が記憶されています。

➡**一度検索すると消灯します。**
新規＊マークが0件になります。

お知らせ

- **手順1で記憶しているデータがないとき**
  ➡ピッという音が鳴り、下記の表示が出る

  親機
  ```
  着 信 が ありません
  ```

  子機
  ```
  着 信 が
  あ り ま せ ん
  ```

- **記憶した件数が30件を超えると、検索していなくても古いデータから消去されます。**
- **相手が（モデム）ダイヤルインサービスを利用しているときは**
  ➡（モデム）ダイヤルイン内で契約している番号のうちの1つが表示されます。
  企業などで（モデム）ダイヤルインサービスを複数の電話回線を使って利用している場合、相手が使った回線によって表示される番号が異なります。
  着信メモリーを使ってかけ直すときは表示された番号にかけ直します。（☞196ページ）
- 着信した日付・時刻は親機、子機とも親機に登録されている時刻によって記憶されます。
- 手順2で ◁▲▽▷ （子機は ◁▲▽▷ ）を押すと、着信した日付の古いデータから新しいデータの順に表示されます。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

着信メモリーの電話番号にかける

本機に記憶されている相手の電話番号（着信メモリー）を使って簡単に電話をかけることができます。

3 受話器を取る

（または スピーカーホン 押す）

4 相手が出たら 話す

5 話が終わったら 受話器を戻す

（または スピーカーホン 押す）

ﾀﾞｲﾔﾙします

➡ダイヤルを開始する

（例：09876543・・）

09876543・・
通話時間　0'10

09876543・・
通話時間　0'18

↑
通話時間
（めやす）

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- **着信メモリーに、かけたい相手の電話番号がないとき**
  ➡手順2で ストップ を押し、相手の電話番号をダイヤルする
- **「184」や「186」をつけてかけたいとき**
  1. 受話器を取る
  2. 「184」または「186」をダイヤルする
  3. 着信メモリー を押し、相手が表示されるまで ◁▷ を押す
  4. 「プププ…」音が聞こえている間に スタート/コピー を押す

→ **3 ◁▷ を押し、かけたい番号を選ぶ**

→ **4「ツー」音が聞こえている間に スタート/コピー を押す**

- 「184」や「186」をつけたときは、「プププ…」音が聞こえている間に スタート/コピー を押す

（77セレクティを利用しているときは、「プププ…」音が聞こえません。
➡ そのまま スタート/コピー を押す）

3 外線 押す

（または スピーカーホン 押す）

ダイヤル
します

↓

09876543・・

➡ダイヤルを開始する

4 相手が出たら 話す

0:00:18 ←通話時間（めやす）

5 話が終わったら 切 押す

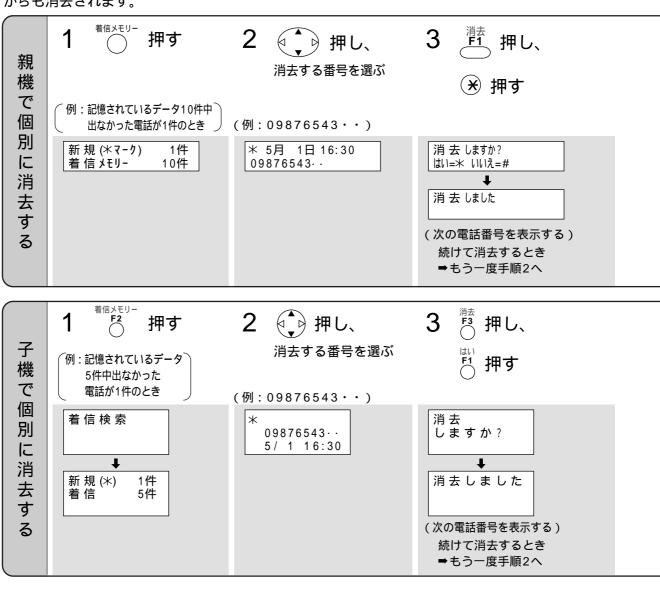
お知らせ

- 子機では、着信メモリーの電話番号の前に「184」や「186」をつけて電話をかけることはできません。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

着信メモリーの電話番号を消去する

本機に記憶されている電話番号を親機か子機どちらかで消去すると、その番号は親機からも子機からも消去されます。

着信リスト（着信履歴一覧）をプリントする

記憶されている相手の一覧表をプリントできます。（最大30件まで）

1 着信メモリー **押す**

例：記憶されているデータ10件中出なかった電話が1件のとき

```
新規(＊マーク)    1件
着信メモリー     10件
```

2 スタート/コピー **押す**

➡リストがプリントされる

着信リストのプリントの例

①②③④⑤⑥⑦

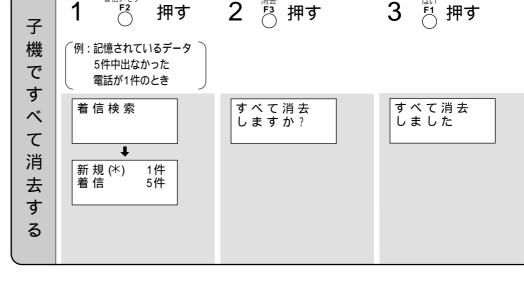
着信リスト　　2001. 5. 1　12:00　P.01

No.	日時	相手局名	名前	新規	指定呼出	ダイヤルイン
1	2001. 4.29 15:30	0987654320		＊	迷惑	4321（親機）
2	2001. 4.28 13:54	0123456789	片岡			4320（子機）
3	2001. 4.28 8:30	公衆電話				4321（親機）

このリストはモデムダイヤルインサービスを利用しているときの例です。

4 終わったら ストップ 押す

日付・時刻の表示に戻る

4 切 押す

お知らせ

- **プリントされるのは新しいものから順に30件までです。記憶した件数が30件を超えると、古いデータから順次消去され、プリントできません。**
- 着信リストをプリントすると、データはすべて検索が終わったものとして扱われ、ディスプレイ上では新しいデータとしての＊マークの表示はされません。また着信メモリーランプも消灯します。

① 着信時間の新しいものから順にプリントされます。

② プリントできる相手の電話番号は20ケタまでです。

③ 相手の電話番号、または相手の名前を表示できないときはメッセージがプリントされます。
（☞192ページ「相手の電話番号を表示できない場合には」）

④ (名前) は着信メモリーに記憶されている電話番号と電話帳に登録されている電話番号が一致し、名前が登録されているときにプリントされます。

⑤ ＊マークは、検索が終わっていないことを表します。

⑥ (迷惑) マークは、指定呼び出しを「迷惑」に設定した相手からかかってきたことを表します。

⑦ 電話を受けた本機のモデムダイヤルインの下4ケタと電話／ファクスまたは親機／子機の区別をプリントします。
（モデムダイヤルインサービスを利用していないときは、この欄は印字されません。）

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

着信メモリーの電話番号を電話帳に登録する

本機に記憶されている相手の電話番号を電話帳に登録することができます。

3 登録 F4 押す
4 ⊛ 押す
5 相手の名前を入力する
（全角6文字／半角12文字まで）
（例：木村）
電話帳 =＊
指定呼出 =#
名前？
>_
木村
>_
●入力のしかた（☞44ページ）
●名前を登録しないとき
➡手順7へ
9 グループ番号を入力する（1〜9）
（例：2）
10 登録 F4 押す
11 終わったら ストップ 押す
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=2
[1-9]押す
登録しました
＊ 5月 1日 16:30
木村
●続けて登録するとき
➡もう一度手順2へ
日付・時刻の表示に戻る
3 登録 F1 押す
4 相手の名前を入力する
（全角6文字／半角12文字まで）
（例：木村）
名前？
名前？
木村
●入力のしかた
（☞44ページ）
●名前を登録しないとき
➡ 手順6へ
8 グループ番号を入力する（1〜9）
（例：2 ）
9 登録 F1 押す
10 終わったら 切 押す
ｸﾞﾙｰﾌﾟ=2
[1-9]押す
登録しました
＊ 木村
09876543‥
5/ 1 16:30
●続けて登録するとき
➡もう一度手順2へ

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

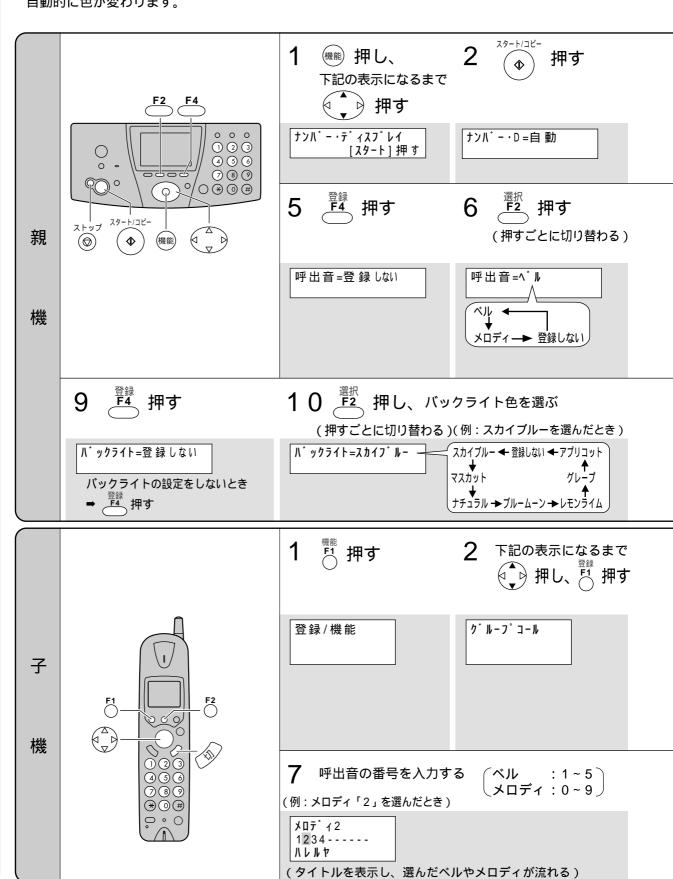
電話帳のグループごとに呼出音の音色とバックライトの色を変更する（グループコール機能）

あらかじめ、電話帳の電話番号をグループに分けて登録しておいてください。（☞66ページ）
呼出音の音色をグループ番号ごとに変えて鳴らすことができます。
親機で設定する場合のみ、バックライトの色（ディスプレイの色）もグループ番号ごとに変えられます。

お知らせ

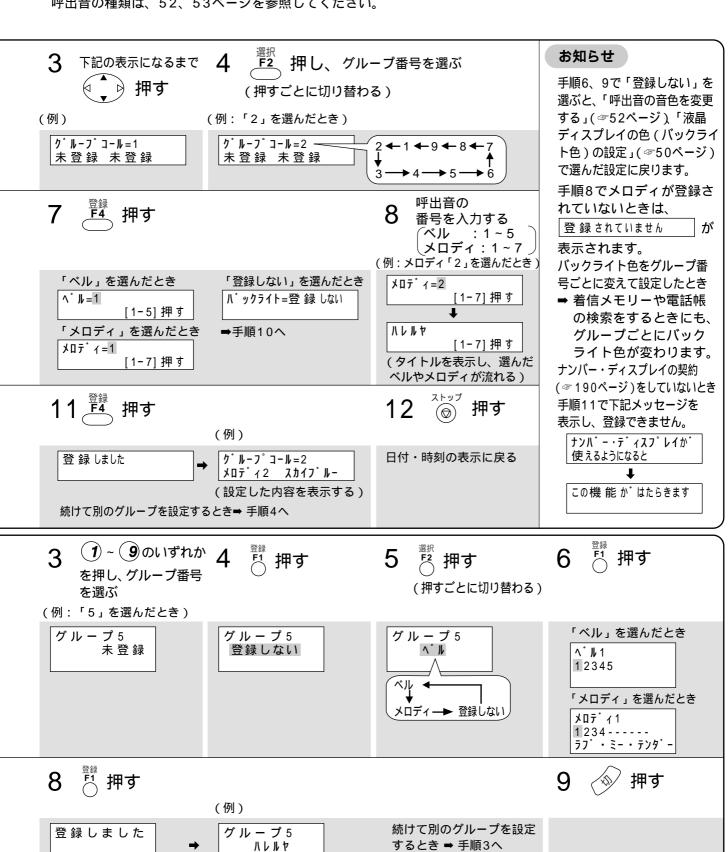
●「液晶ディスプレイの色（バックライト色）の設定」を「自動」にしていると、操作内容によっても自動的に色が変わります。

グループコールの設定例

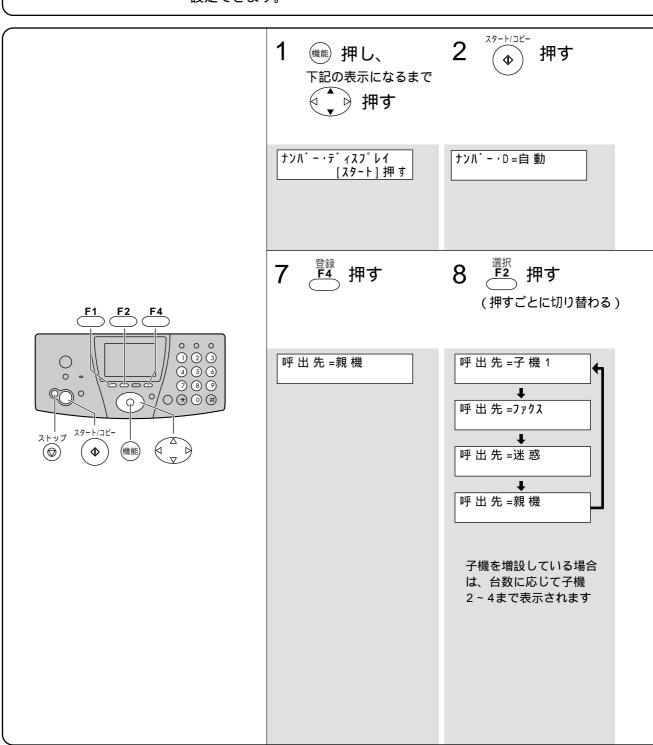
グループ	グループ番号	呼出音の音色	バックライト色
お父さんの友達	1	ベル／メロディ（☞52、53ページ）の中から選ぶ	スカイブルー
⋮	⋮	⋮	⋮
親類	9	ベル／メロディ（☞52、53ページ）の中から選ぶ	アプリコット

お知らせ

●呼出音の種類は、52、53ページを参照してください。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

かけてきた相手によって呼出先を変える（指定呼び出しの設定）

かけてきた相手によって、呼出先などを下記のように指定できます。
指定呼び出しを設定できる相手の電話番号は30件までです。

呼出先**「親機」**　：**親機だけ呼出音を鳴らしたいとき選ぶ**
➡ 親機で設定している受けかたに従ってファクスを受けたり、用件を録音したりできます。

「子機1」　：**子機1だけ呼出音を鳴らしたいとき選ぶ**
➡ 親機で設定している受けかたに従ってファクスを受けたり、用件を録音したりできます。
- 子機を増設している場合は、台数に応じて子機2〜4のそれぞれに設定できます。

呼出先**「ファクス」**　：**ファクスしかこない相手から、呼出音を鳴らさずに受けるとき選ぶ**
➡ 呼出音は鳴らずに、ファクスを自動受信します。
（電話を受けることはできません。）

「迷惑」　：**特定の相手からの電話やファクスを受けたくないとき選ぶ**
➡ 呼出音は鳴りません。
かけてきた相手には「プープープー」と話し中の音が聞こえます。

3 **下記の表示になるまで** ◁▲▼▷ **押す**

指定呼出＝なし

4 選択 F2 **押し、「あり」を選ぶ**
（押すごとに切り替わる）

指定呼出＝あり
↕
指定呼出＝なし

5 登録 F4 **押す**

TEL01=

● **修正・追加するとき**
➡ 選択 F2 を繰り返し押し、変更したい番号や空き番号を選ぶ

6 ダイヤルボタンで **相手の電話番号を入力する**
（20ケタまで）
（例：09876543・・）

TEL01=9876543・・

● **まちがえとき**
➡ クリアー F1 を押す

9 登録 F4 **押す**

登録しました
↓
TEL02=

● **続けて登録するとき**
➡ もう一度手順6へ

10 登録が終わったら ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

● **モデムダイヤルインサービスを親機専用と子機専用に設定して利用しているときは**
手順8で 呼出先＝迷惑 以外の設定をしても、はたらきません。
● **指定呼び出しをすべてやめるには**
➡ 手順4で「なし」を選ぶ
● **指定呼び出しを個別にやめるには**
➡ 手順5で 選択 F2 を繰り返し押し、相手の番号を表示させ、クリアー F1 を押して番号を消す
● **指定呼び出しを設定した電話番号の相手から電話がかかってきたときは、子機の独り占め着信の機能は、はたらきません。**

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

着信メモリーの電話番号を指定呼び出しに登録する

本機に記憶されている相手の電話番号を指定呼び出しに登録することもできます。

1 着信メモリー **押す**

（例：記憶されているデータ10件中 出なかった電話が1件のとき）

```
新 規 (*マーク)    1件
着 信 メモリー     10件
```

2 ◁▷ **押し、登録する番号を選ぶ**

（例：09876543・・）

```
 5月  1日 11:02
09876543・・
```

●「非通知」など電話番号以外のディスプレイ表示を選んでも指定呼び出しへの登録はできません

F2　F4　着信メモリー

ストップ

6 選択 F2 **押す**

（押すごとに切り替わる）

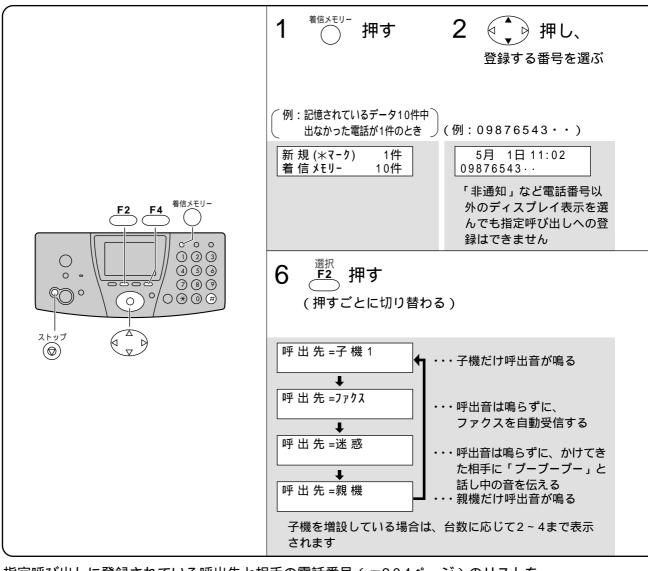
```
呼 出 先 =子 機 1 ※
```
・・・子機だけ呼出音が鳴る

```
呼 出 先 =ファクス
```
・・・呼出音は鳴らずに、ファクスを自動受信する

```
呼 出 先 =迷 惑
```
・・・呼出音は鳴らずに、かけてきた相手に「プープープー」と話し中の音を伝える

```
呼 出 先 =親 機
```
・・・親機だけ呼出音が鳴る

※ 子機を増設している場合は、台数に応じて2～4まで表示されます

指定呼出リストをプリントする

指定呼び出しに登録されている呼出先と相手の電話番号（☞204ページ）のリストをプリントできます。

1 機能 **押し、下記の表示になるまで** ◁▷ **押す**

```
ナンバ゛ー・デ゛ィスプ゛レイ
       [スタート] 押 す
```

2 スタート/コピー **押す**

```
ナンバ゛ー・D =自 動
```

5 プリントが終わったら ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

3 登録 F4 **押す**

4 # **押す**

（例：09876543・・）

5 登録 F4 **押す**

```
電話帳   =*
指定呼出 =#
```

```
TEL01=09876543・・
```

●指定呼び出しの件数に空きがないときは、下記の表示が出ます

```
指定呼出がいっぱい
登録できません
```

```
呼出先 =親機
```

7 登録 F4 **押す**

8 ストップ **押す**

```
登録しました
```

↓

```
  5月  1日 11:02
09876543・・
```

●**続けて登録するとき**
➡もう一度手順2へ

日付・時刻の表示に戻る

3 **下記の表示になるまで** ◁ ▲ ▼ ▷ **押す**

4 スタート/コピー **押す**

```
指定呼出リスト印字
      [スタート]押す
```

➡リストがプリントされる

指定呼出リストの例

指定呼出リスト　2001. 5.1　12:00　P.01

登録番号	電話番号	呼出先
TEL01	09876543・・	親機
TEL02	01122334・・	迷惑
TEL03	01234567・・	子機1
	556778・・	ﾌｧｸｽ

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

相手が非通知でかけてきたとき、電話やファクスを本機が受けないように設定することができます。（かけてきた相手には通話料金がかかります。）

非通知着信拒否にすると、相手が「通常非通知」（☞192ページ）にしてかけてきた場合、**本機はその電話やファクスを受けることができません。**

相手が「通常非通知」にしていても、「186」に続けてダイヤルしてきた場合は、その電話やファクスを受けることができます。

非通知電話を受けないようにする

F2　F4

ストップ　スタート/コピー　機能

1 （機能）**押し、**

下記の表示になるまで

（◁▷）**押す**

```
ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
       [ｽﾀｰﾄ]押す
```

2 スタート/コピー **押す**

```
ﾅﾝﾊﾞｰ・D=自動
```

非通知ファクスを受けないようにする

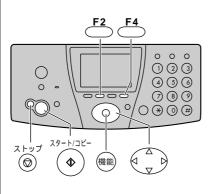
1 （機能）**押し、**

下記の表示になるまで

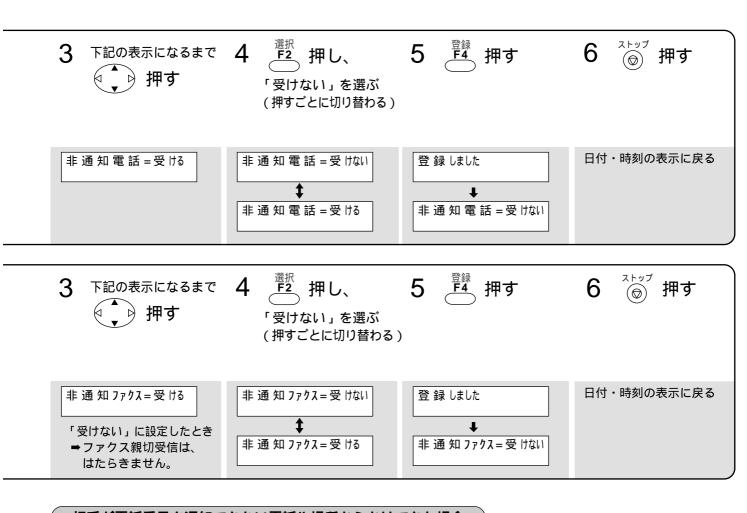
（◁▷）**押す**

```
ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
       [ｽﾀｰﾄ]押す
```

2 スタート/コピー **押す**

```
ﾅﾝﾊﾞｰ・D=自動
```

相手が非通知でかけてきたとき

本機の設定の組み合わせ	本 機 の 動 き
「非通知電話=受けない」 「非通知ファクス=受けない」	呼出音は鳴りません。 相手にメッセージ※を2回送ったあと電話が切れます。
「非通知電話=受けない」 **「非通知ファクス=受ける」**	呼出音は鳴りません。 **電話の場合**…………相手にメッセージ※を2回送ったあとファクス受信音を流し、電話が切れます。 **ファクスの場合**……相手にメッセージ※を2回送ったあとファクスを受信します。
「非通知電話=受ける」 「非通知ファクス=受けない」	通常の動作をします。 ・非通知ファクスは自動的に受信しません。

※メッセージ：『あなたの電話番号は通知されていません。恐れ入りますが、電話番号の前に「186」をつけて、おかけ直しください。』

相手が電話番号を通知できない電話や場所からかけてきた場合

次のようにディスプレイに表示され、**通常どおりに動作します。**

(例) 公衆電話 ・・・相手が公衆電話からかけてきたとき

表示圏外 ・・・海外や一部の携帯電話などから電話をかけてきたとき

表示できません ・・・回線状況が悪かったときなど(子機には 外線着信中 と表示されます。)

お知らせ

●相手が非通知でかけてきたとき、ディスプレイに「非通知」と表示しますが、以下の操作で電話を受けたりファクスを受信することができます。

1 下記の表示が出たら
電話に出る

非通知

2 ■相手が電話のとき
通話できる

■「ポー、ポー」音や相手の声が聞こえないとき
スタート/コピー **を押すとファクスを受信する**

モデムダイヤルインサービスを利用する

本機は、特別な装置を接続しないでNTTのモデムダイヤルインサービスを利用することができます。**NTTとの契約（有料）と本機の設定が必要です。** NTTと契約すると1つの電話回線に、最大2つまで電話番号を持つことができます。増やした電話番号を「ファクス専用番号」や「子機専用番号」に割り当て、呼出音を鳴らさずにファクスを受信したり、本機をもっと便利に使うことができます。

契約について

NTTとのモデムダイヤルイン契約が必要です。（有料）
下記の内容を契約時にNTTへ連絡してください。（NTT窓口 116：通話料金無料）

- 本機は、モデムダイヤルインサービスに適合しています。
- 専用番号の指定
  電話専用番号または**親機専用番号**は必ず主番号※を指定してください。
  ※主番号：電話を取り付けたとき、NTTと契約した電話番号
  - 専用番号指定が適切でないとFネットサービスや77セレクティなどの機能がはたらきません。

本機の登録について

必ずモデムダイヤルインサービスが開始されてから本機の登録を行ってください。
モデムダイヤルインサービスが開始される前に本機の登録を行ったときや、モデムダイヤルインサービスが開始されても本機の登録を行っていないときは、電話やファクスを受けることはできません。
必ずサービスが開始されると同時に登録してください。

NTTへの契約申込み → NTTよりサービス開始の通知 → サービス開始の日時に合わせて本機の登録をする

- 電話専用とファクス専用で使うとき（☞212ページ上段）
- 親機専用と子機専用で使うとき（☞212ページ下段）
- モデムダイヤルイン利用時の専用番号の指定方法（☞右記）

モデムダイヤルインサービスの使いかた

電話専用番号とファクス専用番号で使う場合

相 手

電話専用番号をダイヤルする → モデムダイヤルインサービス → **電話の呼出音が鳴る**
- モデムダイヤルインサービスを利用する前と同じ操作でファクスを受信したり、留守番電話に録音することもできます。

ファクス専用番号をダイヤルする → モデムダイヤルインサービス → **呼出音を鳴らさずに自動的に受信する**
- 電話に出たり、用件の録音はできません。

- 留守番電話に設定中、電話専用番号でファクスを受けたくない場合は、受けかたを「留守電専用」に設定してください。（☞104ページ「留守中の受けかたを選ぶ」）

お知らせ

- 電話がかかるとディスプレイに ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信中 と表示されます。ナンバー・ディスプレイサービスと同時契約のときは 発信元確認中 と表示されます。
- モデムダイヤルインは1本の電話回線を使用していますので、2つの電話番号を同時に使うことはできません。
- 相手が電話をかけてきたとき、モデムダイヤルインサービスを利用する前と比べてつながるまでに多少時間がかかります。（呼出音が鳴るまでに無音が約4秒～10秒続きます。）

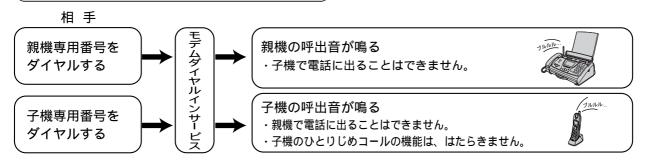
お知らせ

- モデムダイヤルインサービスは、NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。詳しくは最寄りのNTT 窓口にご相談ください。
- Fネットとの同時契約はできますが、一部利用形態に制約があります。詳しくは最寄りのNTT窓口にご相談ください。
- モデムダイヤルインサービスを利用すると、本機の以下の機能がうまくはたらかないことがあります。
  - ・トールセーバー　・リモートターンオン
- モデムダイヤルインサービスを利用できない場合があります。最寄りのNTT窓口にご相談ください。
  - ・本機をISDN回線に接続している場合、お住まいが利用できない地域にある場合
- **ホームテレホンや構内交換機に接続している場合**
  本機のモデムダイヤルインサービスは利用できません。

モデムダイヤルイン利用時の専用番号指定方法

（例1）　従来の番号（主番号）から2種類の番号になるとき
（電話専用／ファクス専用番号または、親機専用／子機専用番号）

専用番号名	指定のしかた
電話専用番号／親機専用番号	主番号を指定してください
ファクス専用番号／子機専用番号	新しく与えられた番号を指定してください

親機専用番号と子機専用番号で使う場合

モデムダイヤルインサービス利用時に停電になったとき

- **停電中は、ハンドスキャナーの電池を利用して、親機の受話器を使って電話をかけたり、受けたりすることができます。その他の機能や子機については、停電中には使えません。**
  ハンドスキャナーの電池がなくなると、使えなくなります。
  （☞249ページ「停電のとき」）

モデムダイヤルインサービスを利用する

電話専用とファクス専用の電話番号を登録する

「電話専用」と「ファクス専用」で使い分けたい場合、下記の登録をしてください。
電話専用番号に電話がかかってきたときは呼出音が鳴りますが、ファクス専用番号にファクスが送られてきたときは呼出音は鳴らずに自動的に受信を開始します。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
◁▷ **押す**

```
その他の設定
      [スタート]押す
```

2 スタート/コピー **押す**

```
キー確認音=あり
```

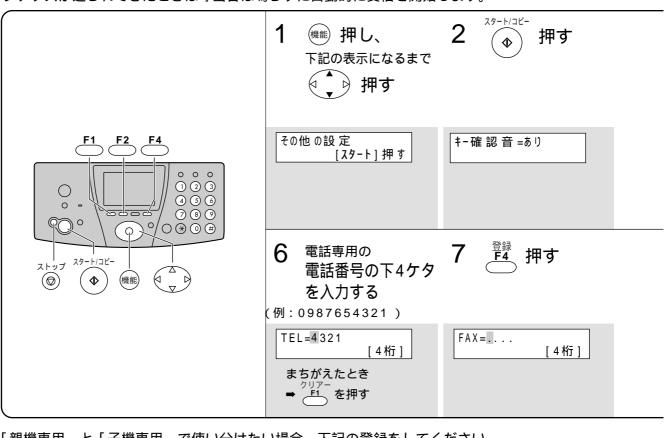
6 電話専用の
電話番号の下4ケタを入力する
（例：0987654321 ）

```
TEL=4321
         [4桁]
```

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

7 登録 F4 **押す**

```
FAX=....
         [4桁]
```

親機専用と子機専用の電話番号を登録する

「親機専用」と「子機専用」で使い分けたい場合、下記の登録をしてください。
相手がかけた番号の方だけ呼出音が鳴ります。

F2
F4
ストップ
スタート/コピー
機能

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
◁▷ **押す**

```
その他の設定
      [スタート]押す
```

2 スタート/コピー **押す**

```
キー確認音=あり
```

6 親機専用の
電話番号の下4ケタを入力する
（例：0987654321）

```
親機=4321
         [4桁]
```

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

7 登録 F4 **押す**

```
子機=....
         [4桁]
```

3 **下記の表示になるまで ◁▷ 押す**

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=なし

4 選択 F2 **押し、「TEL／FAX」を選ぶ**
（押すごとに切り替わる）

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=TEL/FAX

TEL/FAX → 親/子 → なし

5 登録 F4 **押す**

TEL=. . . .
[4桁]

8 ファクス専用の **電話番号の下4ケタを入力する**
（例：0987654320）

FAX=4320
[4桁]

●まちがえたとき
➡ クリアー F1 を押す

9 登録 F4 **押す**

登録しました
↓
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=TEL/FAX

10 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

お知らせ

- モデムダイヤルインサービスを解約するときは、NTTに連絡してNTT側の工事が終了してから、手順4で「なし」に変更してください。工事終了後に変更しないと、ファクスや電話を受けることができなくなります。

3 **下記の表示になるまで ◁▷ 押す**

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=なし

4 選択 F2 **押し、「親／子」を選ぶ**
（押すごとに切り替わる）

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=親/子

親/子 → なし → TEL/FAX

5 登録 F4 **押す**

親機=. . . .
[4桁]

8 子機専用の **電話番号の下4ケタを入力する**
（例：0987654320）

子機=4320
[4桁]

●まちがえたとき
➡ クリアー F1 を押す

9 登録 F4 **押す**

登録しました
↓
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=親/子

10 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

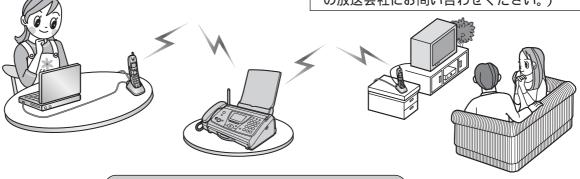
お知らせ

- モデムダイヤルインサービスを解約するときは、NTTに連絡してNTT側の工事が終了してから、手順4で「なし」に変更してください。工事終了後に変更しないと、ファクスや電話を受けることができなくなります。

ワイヤレスリンクを使う

ワイヤレスリンクとは、子機と親機の間をワイヤレス（配線なし）でデータ通信をする機能です。電話コンセントから離れた場所でも、パソコンやBSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーなど電話回線に接続して使用する情報通信機器を、子機の充電台に接続することで使用できます。電話コンセントの増設や電話機コードの長い引き回しがいりません。

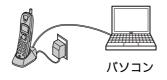
電話コンセントのない部屋でもパソコンでインターネットが楽しめます。

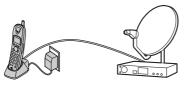
電話コンセントのない部屋でも、BS／CSデジタル放送のショッピング番組・双方向デジタル放送のクイズ番組や有料番組などが楽しめます。
（放送番組や利用料などについては、ご加入の放送会社にお問い合わせください。）

ワイヤレスリンクでこんなことができます！

ワイヤレスリンクを使えるのは、付属の子機または、別売の子機（品番：KX-FKN501D）のみです。

子機の充電台に接続して使う

■パソコンを接続して使う（☞216ページ）

（☞216ページ）

- パソコンに、内蔵または外付けのモデムが必要です。

■BSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーを接続して使う（☞220ページ）

別売のPHSデータ通信用PCカード（品番：KX-PH405）を使って通信する（56Kデータ通信）

PHSデータ通信用PCカードを使うと、パソコンでインターネットがより高速で楽しめます。

（☞221ページ）

ワイヤレスリンクご利用の条件

ワイヤレスリンクで接続できる情報通信機器について

●パソコン、PHSデータ通信用PCカード、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルハイビジョンチューナー、デジタルCSチューナーによっては、正常に動作しない場合があります。

接続確認済みの情報通信機器のリストを、ファクスで取り出せます。
➡261ページのコード番号6892、「ワイヤレスリンク接続確認済リスト」を取り出す操作を行ってください。
また、下記のホームページでもご覧いただけます。（2001年5月現在）
http://www.kme.panasonic.co.jp/pana/fax/301dl

●充電台のデータ通信用モジュラージャックに2台以上の情報通信機器を並列接続して使うことはできません。
●ISDNターミナルアダプターや構内交換機（PBX）、電話回線自動選択用アダプターに接続した場合、正常に動作しない場合があります。

接続および環境について

■子機の環境について

・子機の充電台に接続して使う場合は、ワイヤレスリンク通信中に子機を充電台から外したり、子機に触れたりしないでください。
➡子機が充電台から外れると、ワイヤレスリンク通信が切断されます。
・子機のアンテナマーク（📶）が安定して3本（📶）以上立っている場所に設置してください。
➡電波が弱いと、ワイヤレスリンク通信中、使用環境によってはデータエラーが発生する場合があります。
・**増設した"feelH"（フィールエッジ）、"H"（エッジ）などDDIポケットの電話機では、ワイヤレスリンクは使えません。**

■その他

・**充電台のデータ通信用モジュラージャックには、NTTの電話回線からのコードを接続しないでください。**
➡故障の原因となることがあります。
・キャッチホンやキャッチホン・ディスプレイのサービスを受けている場合、ワイヤレスリンク通信中に別の電話がかかってくると、ワイヤレスリンク通信が切れることがあります。

本機使用中やワイヤレスリンク使用中の動作について

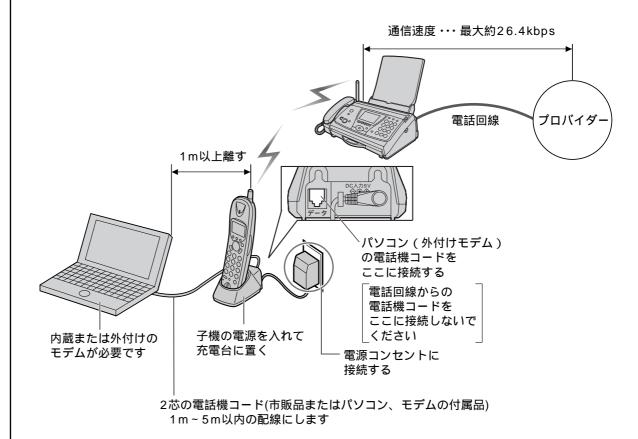
●親機や子機使用中は、ワイヤレスリンク通信はできません。
●1台の子機がワイヤレスリンク通信中は、親機・増設子機は使えません。
増設子機のアンテナマーク（📶）の表示が消えます。
ただし、ドアホン接続をしている場合、通信中にドアホンの呼び出しがあると、親機に「ドアホン1呼出中」などが表示され、親機でのみ通話できます。
●子機間内線通話でのワイヤレスリンク機能は、使用できません。

お知らせ

●**ワイヤレスリンクで通信するときは、本機の77セレクティ機能がはたらきません。**
●ワイヤレスリンクで通信をしたときのダイヤル番号は、親機・子機の再ダイヤルには記憶されません。
●**上記や214〜223ページに記載している条件を満たしている場合でも、電波の状況やお使いの情報通信機器の条件・接続環境などにより、通信できないことがあります。**

ワイヤレスリンクを使う

パソコンを子機の充電台に接続することで、電話コンセントのない部屋でもインターネットを楽しめます。

1. パソコンを接続する

接続確認済みの情報通信機器のリストを、ファクスで取り出せます。
➡261ページのコード番号6892、「ワイヤレスリンク接続確認済リスト」を取り出す操作を行ってください。
また、下記のホームページでもご覧いただけます。（2001年5月現在）
http://www.kme.panasonic.co.jp/pana/fax/301dl

2. 子機の準備

❶ **子機の電源を入れて、充電台に置く**

- 子機を充電台に置かないと、通信できません。

❷ **子機と充電台を、子機のアンテナマーク（📶）が安定して3本(📶)以上立っている位置（親機との通信ができる位置）に設置する**

パソコンを接続して使う

つづく

3. パソコンの設定

❶ **パソコンを使ってインターネットに接続するためには、プロバイダーへの加入登録が必要です。未加入のかたは、加入登録を行ってください。**
- 加入登録のしかたは、各プロバイダーにお問い合わせください。

❷ **プロバイダーから収得した情報などを設定していない場合は、設定する**
- 設定のしかたは、ご使用のパソコンやモデムの取扱説明書をお読みください。

❸ **電話回線種別を「トーン（プッシュ、PB）」に設定する**
- 設定のしかたは、ご使用のパソコンやモデムの取扱説明書をお読みください。
- 本機の電話回線種別は、変更する必要はありません。

❹ **「ダイヤルトーンの検出」設定がある場合は、「検出する」に設定する**
- 設定のしかたは、ご使用のパソコンやモデムの取扱説明書をお読みください。

4. パソコンで通信する

左記接続状態でパソコンを操作します。（パソコンの取扱説明書をご覧ください。）
- 通信が始まると、下記のように表示されます。

- 子機の操作は必要ありません。

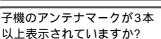
通信できないときは
➡218ページ「通信できないときは、下記の内容を確認してください！」

お知らせ

- 通信中は、親機・子機ともに操作ができません。
  通信を中止するには、パソコン側で切断してください。
  本機の操作で、通信を強制的に終了することもできます。➡通信中に子機の（切）を押す
- 通信速度は、最大約26.4kbpsです。
  通信速度は、理論上の最高速度であり、ご利用の電話回線の品質など、回線の接続環境により、低い通信速度で接続します。

ワイヤレスリンクを使う

通信できないときは、下記の内容を確認してください！

接続などの確認

確認事項	対処
子機から電話をかけたり、受けたりできますか？	・電話ができないときは、本機の電話回線種別が正しく設定されているか確認してください。（☞32ページ）
子機のアンテナマークが3本以上表示されていますか?	・ワイヤレスリンクは、アンテナマークが3本以上の場所で使用してください。
子機を充電台に置いていますか？	・子機を充電台に置いてないと使えません。 充電台に子機を置いてください。
充電ランプが点灯しているか、子機のディスプレイに「充電完了」が表示されていますか？	・点灯や表示していないときは、ACアダプターが電源コンセントに差し込まれているか確認してください。 ・充電台に子機が正しく置かれているか確認してください。
パソコン側から充電台に電話機コードが正しく接続されていますか？	・電話機コードを奥まで差し込んでください。

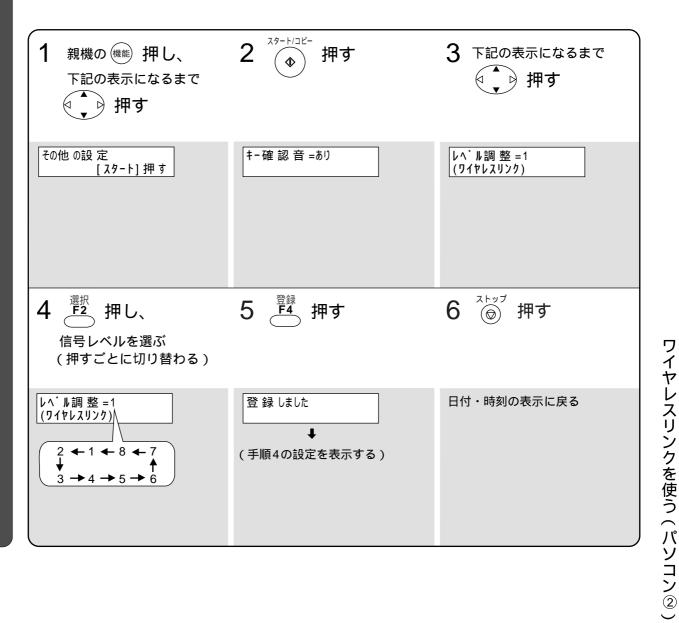
パソコンなどの確認

確認事項	対処
プロバイダーとの契約はお済みですか？	・インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。 （各プロバイダーにお問い合わせください。）
ワイヤレスリンクを使わずに、パソコン（外付けモデム）から直接電話回線に接続して通信できますか？	パソコンの電話回線種別を「トーン（プッシュ、PB）」に変更したときは（☞217ページ）、あなたの電話回線種別に合わせて設定したあと、通信してみてください。（通信ができたら、設定を「トーン」に戻してください。） ・通信できれば、プロバイダーの設定は合っています。ほかの項目を確認してください。 ・通信できないときは、プロバイダーから収得したユーザー名、パスワード、電話番号などの情報について、パソコンの接続設定を確認してください。※（大文字、小文字を間違えていないかも確認してください。）
子機のディスプレイが「接続中」から「通信中」に変わりますか？	表示が変わらないときは、下記の内容を確認してください。 ・パソコンの電話回線種別が「トーン（プッシュ、PB）」になっているか確認してください。※ ・パソコンのダイヤルトーンの検出設定がある場合は、「検出する」になっているか確認してください。※ ・パソコンのモデムの接続オプションの設定の中で「ダイヤル時のタイムアウト設定」のチェックを外してください。※
子機のディスプレイが「通信中」になったあと、接続が切れますか？	・同一地域内で複数のアクセスポイントがあるときは、他のアクセスポイントに設定を変更してみてください。 ・複数のプロバイダー契約をしているときは、他のプロバイダーのアクセスポイントに設定を変更してみてください。
アクセスポイント（プロバイダー）がV.34方式に対応していますか？ （契約しているプロバイダーへお問い合わせください。）	・V.34方式に対応しているアクセスポイント（電話番号）にパソコンの設定を変更してください。※ （アクセスポイントによりV.90方式のみに対応し、V.34方式には対応していないところがあります。）
ISDN回線を使用していますか？	・ISDN回線で使うときは、パソコンのモデムの接続スピードを38400bps以下に落としてください。※
接続やパソコンを確認しても通信できないときは？	・ワイヤレスリンクの通信レベルを変更してみてください。（☞219ページ）

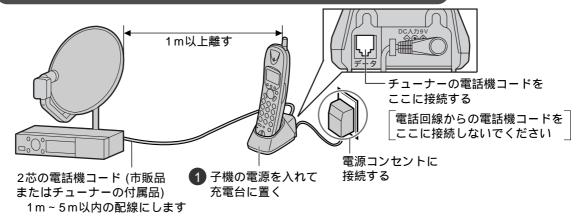
※：設定のしかたは、ご使用のパソコンやモデムの取扱説明書をお読みください。

ワイヤレスリンクの信号レベルを調整する

接続するプロバイダーとパソコン（モデム）の信号レベルのバランスが崩れていると、通信できないことがあります。本機とパソコンとの接続やパソコンの設定が合っていても通信できないときは、ワイヤレスリンクの信号レベルを変えてお試しください。

- お買い上げ時は、「1」に設定されています。
- **本機では、信号レベルのバランスを8段階から選択できます。レベル「1」から順番に「8」まで試して、つながる設定でご使用ください。**

ワイヤレスリンクを使う

BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーを子機の充電台に接続することで、電話コンセントのない部屋でもBS／CSデジタル放送が楽しめます。

1. BSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーを接続する

❷ **子機と充電台を、子機のアンテナマーク（Yıll）が安定して3本（Yıl）以上立っている位置（親機との通信ができる位置）に設置する**

BSデジタルチューナー／デジタルCSチューナー（情報通信機器）をご使用できない場合があります！

接続確認済みの情報通信機器のリストを、ファクスで取り出せます。
➡261ページのコード番号6892、「ワイヤレスリンク接続確認済リスト」を取り出す操作を行ってください。
また、下記のホームページでもご覧いただけます。（2001年5月現在）
http://www.kme.panasonic.co.jp/pana/fax/301dl

- 電話回線種別が「ダイヤル回線（速度10pps）」の場合、ご使用できません。
- 電話回線種別が「ダイヤル回線（速度20pps）」の場合、デジタルCSチューナーはご使用できない場合があります。
- **本機をISDN回線に接続する場合、ご使用できません。**
  （松下電子応用機器（株）製のISDNターミナルアダプター（品番：TO-TAB128D2）をご使用になると、松下電器産業（株）製のBSデジタルハイビジョンテレビ（品番：TH-36D10）とBSデジタルハイビジョンチューナー（品番：TU-BHD100）は使用できます。）
- **本機を構内交換機、電話回線自動選択用アダプターに接続すると、ご使用できない場合があります。**

2. BSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーの設定

❶ **電話回線種別を「トーン（プッシュ、PB)」に設定する**
- 設定のしかたは、ご使用のBSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーの取扱説明書をお読みください。

❷ **「ダイヤルトーンの検出」の設定がある場合は、「検出する」に設定する**
- 設定のしかたは、ご使用のBSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーの取扱説明書をお読みください。

❸ **接続と設定が終わったら、BSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーが通信できることをあらかじめ確認（テスト）しておいてください。**(操作のしかたは、BSデジタルチューナー／デジタルCSチューナーの取扱説明書をお読みください。本機の操作は必要ありません。)
- 通信が始まると、下記のように表示されます。

（子機） 接 続 中 ➡ 通 信 中　　（親機） 子 機 1 使 用 中（1：内線番号）

お知らせ

- **BS／CSチューナーを接続する場合は、子機は通常充電台に置いたままにしておいてください。**（BS/CSチューナーから自動的に通信する場合があります。）
- 通信中は、親機・子機ともに操作ができません。

56Kデータ通信を行う

別売のPHSデータ通信用PCカード（品番：KX-PH405）を使うと、パソコンで最大約56kbpsのデータ通信ができます。

KX-PH405（）のご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- 本機は、DDIポケットの DATA64 の規格に準拠した別売のPHSデータ通信用PCカードを使って通信（ワイヤレスリンク）を行います。DATA64の規格に準拠したPHSデータ通信用PCカードやUSBケーブルであればご使用になれますが、機器によっては正常に動作しない場合があります。

接続確認済みの情報通信機器のリストを、ファクスで取り出せます。
➡261ページのコード番号6892、「ワイヤレスリンク接続確認済リスト」を取り出す操作を行ってください。
また、下記のホームページでもご覧いただけます。（2001年5月現在）
http://www.kme.panasonic.co.jp/pana/fax/301dl

- **増設した（フィールエッジ）、（エッジ）などDDIポケットの電話機では、ワイヤレスリンクは使えません。**

1. パソコンを子機のデータポートに接続する

❶ **PCカードをパソコンに接続する**

❷ **データポートにPCカードの接続ケーブルのコネクターを差し込む**

データポート
コネクター
カバー
PHSデータ通信用PCカード
接続ケーブル

通信速度…約64kbps
プロバイダーからの通信速度 …最大約56kbps
プロバイダーへの通信速度 …最大約33.6kbps
プロバイダー
電話回線

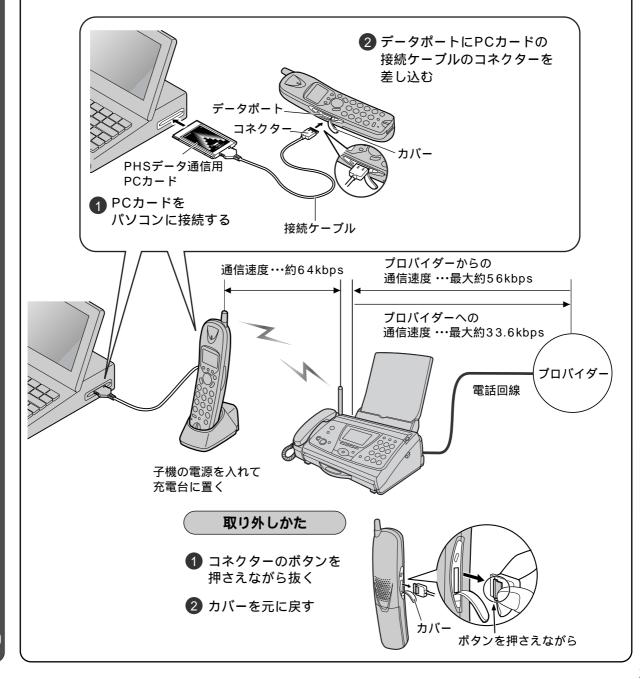
子機の電源を入れて充電台に置く

取り外しかた

❶ **コネクターのボタンを押さえながら抜く**

❷ **カバーを元に戻す**

カバー
ボタンを押さえながら

つづく

ワイヤレスリンク

ワイヤレスリンクを使う

2. 子機の準備

❶ **子機の電源を入れて、充電台に置く**

■充電台に置いていないとき
子機を充電台に置いていなくても通信できますが、**通信途中で子機の電池がなくなると通信が切れますので**、充電台に置いて通信することをおすすめします。（子機を充電台に置いて充電状態にしておくと、電池がなくなって通信が切れることはありません。）

・連続通信時間のめやす
子機を約6時間充電したあと ・・・・約6時間

❷ **子機と充電台を、子機のアンテナマーク（）が安定して3本（ ）以上立っている位置（親機との通信ができる位置）に設置する**

3. パソコンの設定

❶ **パソコンを使ってインターネットに接続するためには、プロバイダーへの加入登録が必要です。未加入のかたは、加入登録を行ってください。**
- 加入登録のしかたは、各プロバイダーにお問い合わせください。

❷ **プロバイダーから収得した情報などを設定していない場合は、設定する**
- 設定のしかたは、ご使用のPHSデータ通信用PCカードおよびパソコンの取扱説明書を参照してください。

❸ **上記のプロバイダーのアクセスポイント（電話番号）に、「64kPIAFS」の通信方式を指定するコマンドを追加する**
（例）別売品のKX-PH405の場合：コマンドは、「＃＃4」です。
電話番号が「092-123-××××」のときは、「092-123-××××＃＃4」を設定してください。

- **V.90または、V.34方式に対応しているアクセスポイント（電話番号）を設定してください。**
- **DDIポケットの32kPIAFSや64kPIAFSのアクセスポイントは、使用できません。**
- **コマンドは、PHSデータ通信用PCカードやパソコン（USBケーブルを使って接続する場合）によって異なります。**ご使用のPHSデータ通信用PCカードやパソコンの取扱説明書をお読みください。
- アクセスポイントについては、ご契約されているプロバイダーへお問い合わせください。

4. パソコンで通信する

接続とパソコンの設定が終わったら、パソコンを操作します。（パソコンの取扱説明書をお読みください。）
- 子機の操作は必要ありません。
- 通信が始まると、下記のように表示されます。

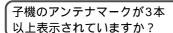
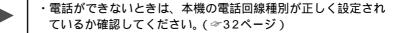
お知らせ

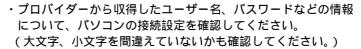
●通信中は、親機・子機ともに操作ができません。
通信を中止するには、パソコン側で切断してください。
本機の操作で、通信を強制的に終了することもできます。➡ 通信中に子機の 切 を押す

●データ通信終了後は、必ず接続ケーブルを外してください。
接続したままにすると、データ通信しなくても子機の使用可能時間が短くなります。

●通信速度は、子機と親機間が約64kbpsで、親機と電話回線間が最大約56kbpsです。
通信速度は、理論上の最高速度であり、ご利用の電話回線の品質など、回線の接続環境により、低い通信速度で接続します。

通信できないときは、下記の内容を確認してください！

接続などの確認

確認事項	対処
子機から電話をかけたり、受けたりできますか？	・電話ができないときは、本機の電話回線種別が正しく設定されているか確認してください。（☞32ページ）
子機のアンテナマークが3本以上表示されていますか？	・ワイヤレスリンクは、アンテナマークが3本以上の場所で使用してください。
パソコン側から子機のデータポートに正しく接続されていますか？	・接続ケーブルを奥まで差し込んでください。

パソコンなどの確認

確認事項	対処
プロバイダーとの契約はお済みですか？	・インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。（各プロバイダーにお問い合わせください。）
子機のディスプレイが「データ通信OK」から「接続中」、「通信中」に変わりますか？	表示が変わらないときは、下記の内容を確認してください。 ・PHSデータ通信用PCカードが奥まで差し込まれているか確認してください。 ・PHSデータ通信用PCカードのドライバーが、パソコンに正しくインストールされているか確認してください。※ ・パソコンのダイヤルアップの設定で、プロバイダーのアクセスポイント（電話番号）がV.90またはV.34方式に対応していて、「64kPIAFS」の通信方式を指定するコマンドが付加されているか確認してください。※ （別売のKX-PH405の場合、「＃＃4」を追加します。） ・パソコンのダイヤルアップの設定で、モデムの設定（接続の方法）が使用するモデムの設定になっているか確認してください。※ （別売のKX-PH405の場合、「Panasonic KX-PH405」を選択します。）
子機のディスプレイが「通信中」になったあと、接続が切れますか？	・プロバイダーから収得したユーザー名、パスワードなどの情報について、パソコンの接続設定を確認してください。※ （大文字、小文字を間違えていないかも確認してください。） ・同一地域内で複数のアクセスポイントがあるときは、他のアクセスポイントに設定を変更してみてください。※ ・複数のプロバイダー契約をしているときは、他のプロバイダーのアクセスポイントに設定を変更してみてください。※

※：設定のしかたは、ご使用のPHSデータ通信用PCカードまたはパソコンの取扱説明書をお読みください。

子機を増やす

子機をあと3台増やせます。別売の子機（品番：KX-FKN501D）やお手持ちの feelH"（フィールエッジ）、H"（エッジ）などDDIポケットの電話機が子機として使えます。

■ 子機を増やすには、お使いの親機への登録（増設）が必要です。

接続確認済みのDDIポケット電話機の一覧と、登録（増設）方法は、別冊「子機増設編」をよくお読みのうえ、登録を行ってください。

※最新の接続確認済みの電話機のリストをファクスで取り出せます。(☞261ページのコード番号6860、「増設できる子機の品番は？」を取り出す操作を行ってください。)

また、下記のホームページでもご覧いただけます。
http://www.kme.panasonic.co.jp/pana/fax/301dl

DDIポケットの電話機を増やしたとき

1台の電話機を家の中と外で、使い分けできます

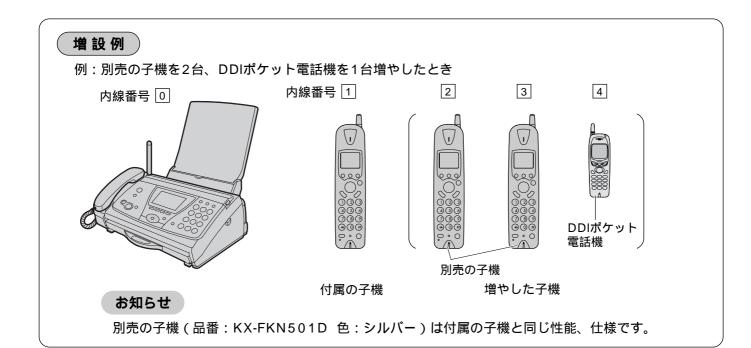
現在、お使いの feelH"、H"をコードレス子機として使うこともできます。

● feelH"またはH"として使えます

●コードレス子機として使えます

お知らせ

●以前使っていた feelH″、H″などDDIポケットの電話機もコードレス子機として使えます。

（外で feelH″、H″としては使えません。）

●付属の子機と増設したDDIポケット電話機とでは、操作手順が異なることがあります。
また、「電話をかける/受ける/トランシーバー」以外の機能は、使えないことがあります。
（操作方法は、お手持ちのDDIポケット電話機の取扱説明書をお読みください。）

お願い

●**登録（増設）のあとに、コードレス子機として使えるように、DDIポケット電話機側で待受けモードを「公衆＆家庭」に設定してください。また、以前使っていたDDIポケット電話機を増設したときは、待受けモードを必ず「家庭のみ」に設定してください。**
（設定・変更方法は、お手持ちのDDIポケット電話機の取扱説明書をお読みください。）

●**増設したDDIポケット電話機ではワイヤレスリンクは使えません。**

子機を増やす

親機と子機で通話する（内線通話）

親機から子機にかける

子機
受話器
スピーカーホン

1 **受話器を取る**

番号？

●受話器を取らず 子機 を押すと、
スピーカーホンで話せます
➡手順3へ

2 子機 **押す**

(例：内線「2」を増設しているとき)

内線番号
[12....]
内線番号「2」
内線番号「1」

子機から親機にかける

内線
切
スピーカーホン
送話口

1 内線 **押す**

内線呼出

2 内線番号
⓪ **押す**

内線呼出
0

➡親機の呼出音が鳴る

子機から別の子機にかける

内線
切
スピーカーホン
送話口

1 内線 **押す**

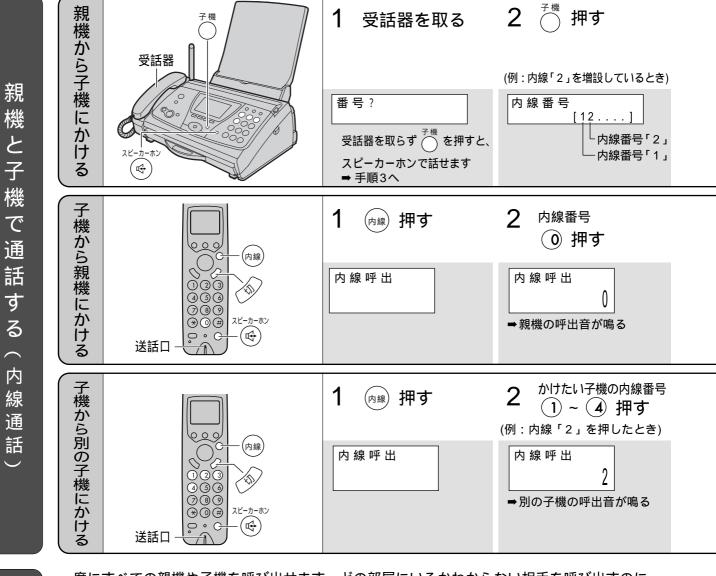
内線呼出

2 かけたい子機の内線番号
①～④ **押す**

(例：内線「2」を押したとき)

内線呼出
2

➡別の子機の呼出音が鳴る

すべての親機や子機を一斉に呼び出す（一斉呼出）

一度にすべての親機や子機を呼び出せます。どの部屋にいるかわからない相手を呼び出すのに便利です。

3 かけたい子機の内線番号 ①〜④ **押す**

(例：内線「2」を押したとき)

子 機 2呼 出 中

➡子機の呼出音が鳴る

4 相手が出たら **話す**

子 機 2内 線 通 話 中

5 話が終わったら **受話器を戻す**

日付・時刻の表示に戻る

● **スピーカーホンで通話していたとき**
➡ スピーカーホン を押す

---

3 相手が出たら **話す**

内 線 通 話 中

4 話が終わったら 切 **押す**

「内線通話中」が消える

---

3 相手が出たら **話す**

内 線 通 話 中

4 話が終わったら 切 **押す**

「内線通話中」が消える

お知らせ

- 子機どうしで通話しているときは、スピーカーホンや別の子機は使用できません。
- 子機どうしの通話中に外から電話がかかってきたら、子機どうしの通話が切れ、呼出音が聞こえます。
  - ➡**親機で話すには**
    受話器を取る
    (または スピーカーホン を押す)
  - ➡**子機で話すには**
    外線 を押す
    (または スピーカーホン を押す)
- 子機と親機は見通し距離約100m以内でお使いください。

---

3 ㊀ **押す**

一 斉 呼 出 中

➡すべての子機の呼出音が鳴る

4 相手が出たら **話す**

(例：内線「2」が出たとき)

子 機 2内 線 通 話 中

5 話が終わったら **受話器を戻す**

日付・時刻の表示に戻る

● **スピーカーホンで通話していたとき**
➡ スピーカーホン を押す

---

3 相手が出たら **話す**

内 線 通 話 中

4 話が終わったら 切 **押す**

「内線通話中」が消える

子機を増やす

外の相手との通話をまわす

親機から子機にまわす

1 外の相手と通話中に
子機 ◯ **押す**

(例：内線「2」を増設しているとき)

```
内 線 番 号
      [12....]
```

└内線番号「2」
└内線番号「1」

➡外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが聞こえる

2 まわしたい子機の内線番号
①〜④ **押す**

(例：内線「2」を押したとき)

```
子 機 2呼 出 中
親 機 保 留 中
```

➡子機を呼び出す

子機から親機にまわす

1 外の相手と通話中に
(内線) **押す**

(例)

```
子 機 1保 留 中
内 線 呼 出
```

(外線) 点滅

➡外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが聞こえる

2 内線番号
⓪ **押す**

```
子 機 1保 留 中
内 線 呼 出
             0
```

(外線) 点滅

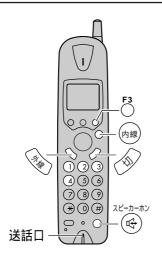
➡ 親機を呼び出す

子機から別の子機にまわす

1 外の相手と通話中に
(内線) **押す**

(例)

```
子 機 1保 留 中
内 線 呼 出
```

(外線) 点滅

➡外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが聞こえる

2 まわしたい子機の内線番号
①〜④ **押す**

(例：内線「2」を押したとき)

```
子 機 1保 留 中
内 線 呼 出
             2
```

(外線) 点滅

➡ 別の子機を呼び出す

3 子機が出たら
通話をまわすことを伝える

子機2内線通話中 親機保留中

● **子機が出ないとき**
➡ 子機 を押すと外の相手ともう一度話せる

4 **受話器を戻す**

子機2使用中

➡子機と外の相手が通話できる

親機で取った電話を子機で話したいとき

1. 親機側で 保留 F4 を押し、受話器を戻す。

保留中

2. 子機側で 外線 （または スピーカーホン ）を押す

● 保留中 の表示のまま約3分間放置すると、下記を表示し、親機は警告アラーム、子機は外線呼出音が鳴り続けます。（ただし、子機は呼出音量を「切」にしていると、鳴りません。）約5分たつと、通話が切れます。

親機の表示

保留警報 受話器を取ってくだ゛さい

子機の表示

外線着信中

3 親機が出たら
通話をまわすことを伝える

子機1保留中 内線通話中

外線 点滅

● **親機が出ないとき**
➡ 外線 を押すと外の相手ともう一度話せる

4 切 **押す**

外線使用中

消灯

➡親機と外の相手が通話できる

3 別の子機が出たら
通話をまわすことを伝える

子機1保留中 内線通話中

外線 点滅

● **別の子機が出ないとき**
➡ 外線 を押すと外の相手ともう一度話せる

4 切 **押す**

外線使用中

消灯

➡別の子機と外の相手が通話できる

子機で取った電話を親機または別の子機で話したいとき

1. 子機側で 保留 F3 を押す
2. 子機側で 切 を押す（または充電台に置く）

保留中

3. ● **親機で話したいとき**
受話器を取る（または スピーカーホン を押す）

● **別の子機で話したいとき**
別の子機側で 外線 （または スピーカーホン ）を押す

● 保留中 の表示のまま約3分間放置すると、下記を表示し、親機は警告アラーム、子機は外線呼出音が鳴り続けます。（ただし、子機は呼出音量を「切」にしていると、鳴りません。）約5分たつと、通話が切れます。

親機の表示

保留警報 受話器を取ってくだ゛さい

子機の表示

外線着信中

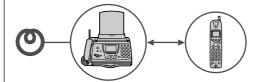
子機を増やす

トランシーバーとして使う

■ 子機の通話モードについて

子機には2つの通話モードがあります。使いかたによって切り替えます。

家庭モード

ふだん、電話機としてお使いのときの通話モードが家庭モードです。

●子機を屋内で利用するとき、親機に接続されている電話回線を通じて通話を行います。

通話モードを切り替える

1 機能 F1 **押す**

登録/機能

2 下記の表示になるまで ◁▷ **押す**

ﾓｰﾄﾞ切替

呼び出す

1 内線 **押す**

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞｰ
1 →

2 呼び出したい子機の内線番号 ①〜④ **押す**

(例：内線「2」を押したとき)

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞｰ
1 → 2

自分の内線番号
相手の内線番号

受ける

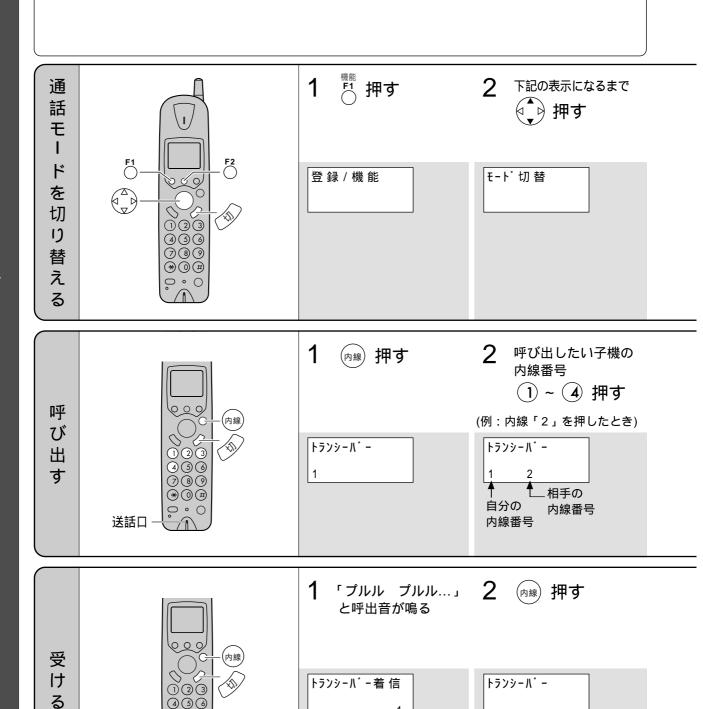
1 「プルル　プルル…」と呼出音が鳴る

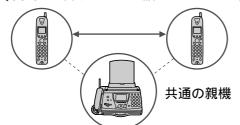
ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞｰ着信
1

相手の内線番号

2 内線 **押す**

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞｰ

● 切、◁▷、F1、F2、F3 以外のキーでも受けられます **（エニーキーアンサー）**

トランシーバーモード

同じ親機に子機を2台以上増設したとき、親機を介さずに、子機どうしのみで直接通話することができます。（同時に3台以上での通話はできません）

●ご使用になる子機は呼び出す側、受ける側どちらも必ずトランシーバーモードに設定してください。**（通話料金はかかりません）**

●**同じ分類内でしかトランシーバー通話できません。**
（☞別冊「子機増設編」2ページ）

●**電話機として使うとき**
➡「家庭」を選ぶ

3 話す

トランシーバー

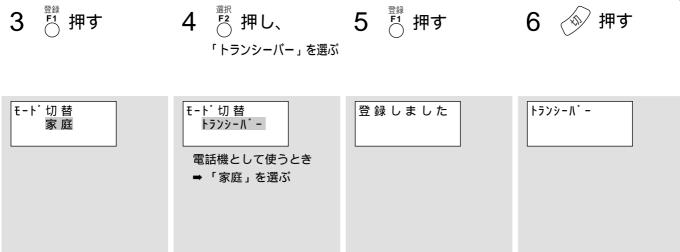
4 話が終わったら

切 **押す**

3 話す

トランシーバー

4 話が終わったら

切 **押す**

お知らせ

●**トランシーバーとして使っているときは、電話（内線通話も含む）をかけたり、受けたりできません。**
●子機どうしの見通し距離を約100m以内にしてください。電波環境の悪いところでお使いの場合は、約100m以内でも通話が切れることがあります。
●お互いの子機は、50cm以上離してください。（通話が途切れることがあります。）
●トランシーバー通話は、第2世代コードレス電話システム標準規格（RCR-STD28）により、発信してから約3分間たつと、自動的に切れます。その後、「プップッ…」と鳴って、通話に戻ります。
●屋外などでご使用の場合は、高温や低温、直射日光や直接雨にあたること、衝撃を与えることなどは避けてください。
●スピーカーホンは使えません。
●呼出音は変更できません。

お願い

●**長時間使わないとき**

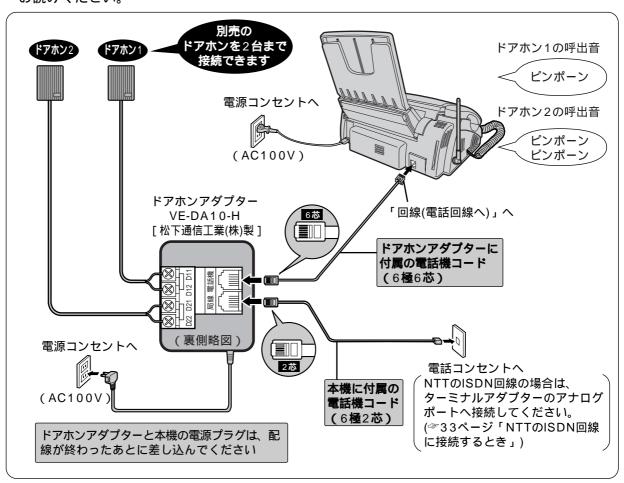
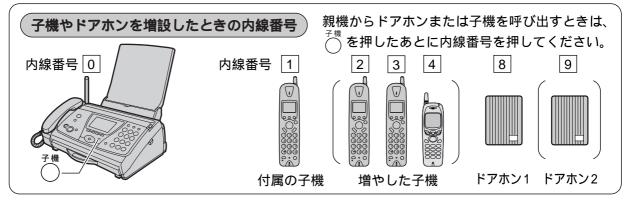
➡ を約2秒以上押し、電源を切ってください。

（再度、切 を約2秒以上押すと電源が入ります。）

ドアホンをつなぐ

ドアホン接続について

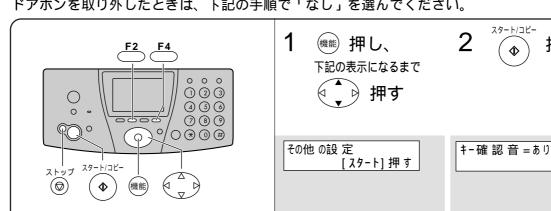
●接続には、ドアホンアダプター（別売品／品番：VE-DA10-H）が必要です。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●ドアホン取付工事と接続方法については、ドアホンアダプター（VE-DA10-H）の説明書をお読みください。

ドアホンを使わなくなったとき

ドアホンを取り外したときは、下記の手順で「なし」を選んでください。

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
◁▷ **押す**

その他 の設 定
［スタート］押 す

2 スタート/コピー **押す**

キー確 認 音 =あり

本機には以下の当社指定のドアホン（テレビドアホン）を接続してください

（2001年 8月現在）

■ドアホン（別売品 ☞267ページ「無極性ドアホン子機」）

松下通信工業（株）製

品番： VB-3363 ★ VB-3364 ★ VB-3365 ★ VB-3366 ★ VF-521 ★ VF-522 ★
VF-523D ★ VF-523DA ★ VF-523U ★ VL-568 ★ VL-568D ★ VL-568DA ★
VL-568G ★ VL-568K ★ VL-586P ★ VL-582 ★ VL-582A ★ VL-583 ★
VL-584D ★ VL-585D ★ VL-586F ★ VL-594 ★ VL-568KA VL-568R
VL-568S VL-568U VL-580D VL-581D VL-592 VL-593
VL-594A

★マーク付きの品番は、生産完了品であることを表します。

■テレビドアホン

松下通信工業（株）製

品番： VL-V140K-T VL-V140K-H VL-V150KP-K VL-V150X-T
VL-V160X-T VL-V160KP-T VL-V161X-T VL-V161KP-T

松下寿電子工業（株）製

品番： HA-S101BK-T HA-S101B-T HA-S18BK-T HA-S18B-T
HA-S60B-T HA-S60BK-T HA-S70BK-T
HA-S61BK-T HA-S61B-T HA-S103BK-T HA-S103B-T HA-S201BK-T

お知らせ

- ドアホンを接続した場合、操作手順についてはドアホンアダプターの説明書ではなく、本書に従ってください。
- ホームテレホンなどに接続した場合、本機のドアホン機能は使えません。
- ファクス送受信中にドアホンが押されると、親機は「ピンポーン」と鳴りますが、ドアホンの相手と話をすることはできません。また子機の呼出音は鳴りません。
- コピー中にドアホンが押されると、親機が「ピンポーン」と鳴り、受話器を取ると通話できます。
子機の呼出音は鳴りません。

ドアホンでは使えない本機の機能について

- ドアホンを押しても本機から応答メッセージが流れたり、来客者の声を録音したりできません。
- ドアホンと親機・子機間の3者通話はできません。
- ドアホンと親機との通話は、子機にはまわせません。
- ドアホンと子機との通話は、親機や別の子機にはまわせません。

ドアホンの接続が終わったら

- **ドアホンを押して、親機または子機が「ピンポーン」と鳴ることを確認してください。**
接続後、一度もドアホンを押していない場合は、そのドアホンに呼びかけることができません。

お知らせ

- ドアホンを再び接続したときは、手順4で設定を「自動」に変更してください。

ドアホンをつなぐ

来客があると

ドアホンの呼出音

ドアホン1：「ピンポーン」
（内線8）
ドアホン2：「ピンポーン ピンポーン」
（内線9）

親機	**1** ドアホンが鳴ったら **受話器を取る**
	➡ドアホンにつながる
子機	**1** ドアホンが鳴ったら **充電台から取る** **■充電台に置いていないとき** ➡ 内線 押す
	➡ドアホンにつながる

ドアホンの前の来客に呼びかける

	1	2	3	4
親機	受話器を取り 子機 **押す**	呼び出したい ドアホンの内線番号 **⑧または⑨押す**	来客に **呼びかける**	話が終わったら **受話器を戻す**
		➡ドアホンにつながる		➡ドアホンとの通話が切れる
子機	内線 **押す**	呼び出したい ドアホンの内線番号 **⑧または⑨押す**	来客に **呼びかける**	話が終わったら 切 **押す**
		➡ドアホンにつながる		➡ドアホンとの通話が切れる

2 **来客と話す**

3 話が終わったら **受話器を戻す**

➡ドアホンとの通話が切れる

2 **来客と話す**

3 話が終わったら （切） **押す**

➡ドアホンとの通話が切れる

お知らせ

- **外線・内線・ドアホン通話中にほかからの呼び出し（ドアホンまたは外線）があると、**通話中の親機または子機に呼出音が聞こえます。

  ■応答するには

  1. 通話を切る
     （親機）受話器を戻す
     （子機）（切）を押す
  2. 呼び出しに応答する
     （親機）受話器を取る
     （子機）（外線）または（内線）を押す

  ■外線通話中に外線を保留したまま、来客に応対するには（☞下記）
- **ワイヤレスリンク通信中でも、親機では、ドアホンの呼び出しを受けることができます。（子機はできません。）**
- **子機を増設しているときは、子機どうしで内線通話中にドアホンから呼び出しがあると、内線通話は自動的に切れます。**

外線通話を保留したまま来客に応対する

親機

1 通話中にドアホンが鳴ったら （子機） **押す**

➡外線が保留になりドアホンと話せる

2 話が終わったら （子機） **押す**

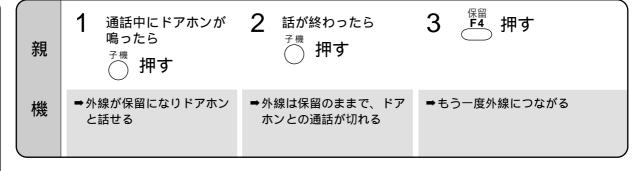
➡外線は保留のままで、ドアホンとの通話が切れる

3 （保留 F4） **押す**

➡もう一度外線につながる

子機

1 通話中にドアホンが鳴ったら （内線） **押す**

● 点滅

➡外線が保留になりドアホンと話せる

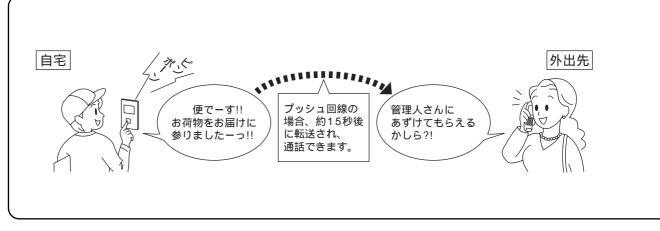
2 話が終わったら **押す**

● （外線） 点灯

➡ドアホンとの通話が切れ、もう一度外線につながる

ドアホンをつなぐ

ドアホンからの呼び出しを転送する（ドアホンワープ）

外出している場合でも、ドアホンからの呼び出しをあらかじめ登録した携帯電話やPHSなどに転送（ドアホンワープ）して、応答することができます。

転送先の電話番号を登録する

1 機能 **押し、**
下記の表示になるまで
◁▲▽▷ **押す**

```
その他 の設 定
      [スタート]押 す
```

2 スタート/コピー ◇ **押す**

```
キー確 認 音 =あり
```

3 **下記の表示になるまで**
◁▲▽▷ **押す**

```
ドアホンワープ =なし
```

5 登録 F4 **押す**

```
転 送 先 =·········
```

6 **転送先の電話番号を入力する**
（30ケタまで）
（例：0987654・・）

```
転送先=987654··
```

● **まちがえたとき**
➡ クリアー F1 を押す

7 登録 F4 **押す**

```
登 録 しました
```

⬇
（手順4の設定を表示する）

転送先での電話の受けかた

1 **ドアホンから呼び出しがあると、上記手順6で登録した電話番号へ転送する**

2 **転送先の携帯電話・PHSなどで応答すると、下記メッセージが2回流れる**

「こちらはドアホンワープです。#を2回押してください。」

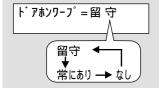
● ご自宅で親機または子機が応答すると、下記メッセージが流れ、転送を終了します
「お家の方が応答しました。電話を切ります。」

3 # # **押し、相手と話す**

● # # を押さないと、相手と話すことができず、約30秒後に転送を終了します

●電話回線がプッシュ回線の場合にご利用ください。（ダイヤル回線は転送に時間がかかるため、おすすめできません）
●本機をホームテレホンや構内交換機に接続しているときは、うまく転送できない場合があります。
●転送先の電話番号に、フリーダイヤルは使用できません。（転送先から操作することはできません）
●ISDN回線でターミナルアダプターを接続してご使用時は、相手の応答時に極性反転するアナログポートをご使用ください。
（ドアホンとの通話ができないため）（設定や操作については各メーカーにお問い合わせください）
●ドアホンと転送先で通話中にキャッチホンが入ると、ドアホンからキャッチホンの着信音が聞こえます。
●親機・子機で通話中や、親機使用中の場合はドアホンワープはできません。
●［ﾄﾞｱﾎﾝﾜｰﾌﾟ通話中］の表示が出ているときに、ご自宅で親機または子機が応答する場合、スピーカーホンは使えません。

4 選択 F2 **押し、**
「留守」または
「常にあり」を選ぶ
（押すごとに切り替る）

ﾄﾞｱﾎﾝﾜｰﾌﾟ=留守

［なし］……転送しない
［留守］……親機が留守設定のとき、転送する
［常にあり］……常に転送する

8 ストップ **押す**

日付・時刻の表示に戻る

ドアホンワープを解除するには

➡手順4で「なし」を選ぶ

ﾄﾞｱﾎﾝﾜｰﾌﾟ=なし

転送先の電話番号を変更するには

➡手順6で クリアー F1 を押して、変更する電話番号を入れ直す

4 話しが終わったら、
(＊) (#) 押し、
通話を終わる

お知らせ

●通話終了時、(＊) (#) を押すとドアホンに「ピポ」が流れます。
(＊) (#) を押さずに終了すると､ドアホンに｢ツーツー｣が流れます。
●転送先の電波状態により、つながらない場合があります。
●転送するたびに転送先までの通話料金がかかります。

故障かなと思ったとき

下の表に従って処置してください。直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

（親機/ドアホン）

	症　状	原　因　と　対　応	参照ページ
一般	**動作がおかしい**	➡「故障かなと思ったとき」の各症状を見て処置してください。 直らないときは、下記の操作を行ってください。 1.　5秒以上 ストップ を押す 2.　リセットしますか？ はい=＊ いいえ=# が表示される 3.　＊ を押す ● 手順2が表示されなかったり、手順1〜3を行っても動作がおかしいときは、電源コードを抜き、10秒以上待ってから電源コードを接続してください。（登録した内容、応答メッセージなどは消えません。）	
	ディスプレイの表示がおかしい	●電話機コードを接続せずに放置（約22分以上）したため、デモモードになった。 ➡ 電話機コードを接続し、電源コードを抜き、10秒以上待ってから電源コードを接続してください。	31 30
	インクフィルムの残量表示が正しく表示されない	●付属のお試し用インクフィルム（10m）を使っている。 ➡ インクフィルムの長さが短いため、正しく表示されません。 ●インクフィルム交換時に ＊（はい）を選択しなかった。 ➡ インクフィルムを交換したら、＊（はい）を押す。 #（いいえ）にすると、正しく表示されません。 ●インクフィルム使用途中で、インクフィルムの残量表示の設定を「あり」にした。 ➡ インクフィルム交換時に設定しないと、正しく表示されません。 次回、フィルム交換時より正しく表示されます。	128 26
	本体底部の金属部分が温かい	●異常ではありません。（夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります。） ➡ 非常に熱いときは、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	
	着信メモリー が赤色点灯したままになっている	●ナンバー・ディスプレイサービス利用時に電話に出なかったとき赤色点灯する。 ➡ 検索またはプリントすると消灯する。	194 198
電話	**電話がかけられない**	●電話回線の種別が正しく設定されていない。➡ 正しく設定する。 ●電話機コードが外れている。➡ 正しく接続する。 ●プリントしている。➡ プリントが終わってから電話をかける。	30、32 30
	電話を受けられない	●ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、「ナンバー・ディスプレイの設定」が「なし」になっている。 ➡ 設定を「自動」にする。	192
	呼出音が鳴らない	●呼出音が「切」になっている。 ➡ 音量/変換 を押して「切」を解除する。 ●無鳴動受信の設定を「あり」にしている。 ➡ 設定を「なし」にする。	50 96
	自分の声が相手に聞こえない	●受話器や子機の送話口を指や顔などでふさいでいる。 ➡ 送話口をふさがないようにする。	

	症　状	原　因　と　対　応	参照ページ
ファクス送信	**送信できない**	●電話機コードが外れている。 ➡ 正しく接続する。 ●相手先がナンバー・リクエスト（ナンバー・ディスプレイサービスのオプション機能）を利用しているとき、電話番号を通知しないで送信した。 ➡ 電話番号を通知するようにしてください。 ●相手のファクスが電話番号を登録した特定の相手のみ受信するような設定をしている。 ➡ 「あなたの電話番号」を登録し、相手のファクスにもあなたの電話番号を追加してもらう。	30 192 42
	相手の受信用紙と同じサイズの原稿を送信したが、縮小して送信される	●原稿ガイドの幅が、送信する原稿の幅より広くセットされている。 ➡ 原稿ガイドを原稿の幅に合わせてから、送り直す。	82
	海外への送信ができない	●海外送信モードの設定が「なし」になっている。 ➡ 設定を「1回」にして送信してみてください。 ※それでも送信できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	84
	原稿が引き込まれない	●原稿が正しく挿入されていない。 ➡「ピッ」と鳴るまで原稿を入れる。 ●6枚以上セットされている。 ➡ 5枚以内にする。	82 82
	相手側に何も記録されない	●送る面を表向きにして送った。 ➡ 裏向きで送り直す。	82
ファクス受信・コピー	**相手の受信文書、またはあなたが受けたり、コピーした記録紙に白や黒い線が入ったり、文字がつぶれたりする**	●ガラスやガラス上部の白い部分、ローラーが汚れている。 ➡ 汚れをとりのぞく。 ●キャッチホンサービスの信号が入った。 ➡ 送り直す、または再度送ってもらう。 ●電話機を並列に接続している。 ➡ 通信中、電話機を使わない。	254 256 64 35
	受信（またはコピー）できない	●記録紙やインクフィルムがなく、メモリーがいっぱいになっている。 ➡ 記録紙またはインクフィルムを入れる。 ➡ 用件などが録音されているときは、用件を消去する。 ●電話機コードが外れている。 ➡ 正しく接続する。	86 26､28 102 30
	自動受信ができない	●ファクスの受けかたが、「電話優先」または「留守電専用」に設定されている。 ➡ 在宅時の受けかたを「ファクス優先」に、留守中の受けかたを「ファクス／留守電」または「ファクス専用」にそれぞれ設定する。	92 104
	受信文書がかすれている	●相手側の原稿がかすれている。 ➡ 相手側に確認する。	

故障かなと思ったとき

（親機/ドアホン）

	症　状	原　因　と　対　応	参照ページ
留守番電話	**外出先からの操作ができない**	●トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていない。 ●暗証番号が登録されていない。 ➡ 登録する。 ●応答メッセージを聞き終わってから、暗証番号を押している。 ➡ 応答メッセージが聞こえている間に、暗証番号を押す。	106
	用件メッセージが録音の途中で切れている	●録音中に6秒以上無音が続いた。 ➡ メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝える。 ●相手のメッセージが短かった。（4～5秒以内） ➡ メッセージを入れるときは5秒以上話すよう、相手に伝える。 ●相手の声が小さかった。 ➡ メッセージを入れるときは大きめの声で話すよう、相手に伝える。	99
	用件が録音できない	●メモリー容量がいっぱいになっている。 ➡ 不用な用件を消去する。 ➡ 記録紙やインクフィルム切れでプリント待ちのファクスがあるときは、記録紙またはインクフィルムを入れて、ファクスをプリントする。	102 86
	応答メッセージが出ない	●自作応答メッセージが無音で録音されている。 ➡ 録音し直す、または固定応答メッセージに戻す。	102
登録	**入力したが、機能の登録・設定ができていない**	● 登録 F4 を押さずに ストップ を押して終了した。 ➡ 必ず 登録 F4 を押して、設定内容を登録する。	
ドアホン	**ドアホンに接続したが、呼出音が鳴らない**	●本機に付属の電話機コード（2芯）とドアホンアダプターに付属の電話機コード（6芯）を逆に接続している。 ➡ 正しく接続する。 ●ドアホン設定が「なし」になっている。 ➡ 設定を「自動」にする。	232 232
警告音	**本機の電源コードを抜いていたら、約10秒ごとに「ピッ」と鳴る**	●ハンドスキャナーの電池がなくなりかけている。 ➡ 本機の電源コードを電源コンセントへつなぎ、電池を充電する。	38

（ハンドスキャナー）

	症　状	原　因　と　対　応	参照ページ
ハンドスキャナー	**動作がおかしい**	●電池パックを入れ直す。	38
	電池ランプが点灯しない	●電池パックが正しく入っていない。➡ 電池パックを正しく入れ直す。 ●電池パックの寿命が切れている。 ➡ 交換する。	38 38
	親機に接続したとき スキャナー設定中 **表示のあと、「ピー」と鳴り、ハンドスキャナーの設定ができない**	●ハンドスキャナーが正しく入っていない。 ➡ ハンドスキャナーを正しく入れ直す。 ●操作パネルがきちんと閉まっていない。 ➡ きちんと閉める。	112 27
	メモリーランプが緑色の速い点滅になっている	●メモリー使用量がいっぱいになっている。 ➡ ハンドスキャナー内の記憶内容を消去する。	114 120
	ハンドスキャナーが温かい	●異常ではありません。 ➡ 非常に熱いときは、親機から取り外してお買い上げの販売店にご相談ください。	
	ハンドスキャナーの（スタート/ストップ）を押すと、「ピピッ」と鳴り、読み取りができない	●ハンドスキャナーが使用可能状態になっていない。 ➡ ハンドスキャナーを親機に接続し、充電する。	38
	読み取りやプリントが途中で止まる	●原稿が1.5m以上ある。➡ 2回以上に分けて読み取る。	114 115
	プリントできない	●ハンドスキャナー裏側のローラーに、テープや異物がはさまっている。 ➡ テープや異物を取り除く。 ●記録紙がなくなっている。 ➡ 記録紙を入れる。	25 28
	読み取ったつもりの読み始めの部分が、読み取られていない	●「動作中ランプ」が緑色点灯する前にハンドスキャナーを動かした。 ➡「動作中ランプ」が緑色点灯したことを確認してから、ハンドスキャナーを動かす。 ●厚みのある原稿の読み始めの部分を読み取っているときに、ハンドスキャナーのローラーが回っていない。 ➡ ハンドスキャナーの下に原稿と同じ高さの本などを敷き、段差をなくし、ローラーが回るようにして読み取る。 ハンドスキャナー　読取方向　ローラー　ローラー	
	プリントやファクス送信した文書がぼやけたり、黒くなる	●ハンドスキャナーを原稿に密着して読み取っていない。 ➡ 原稿に押しあてて動かす。	115
	読み取った内容が上下左右反対にプリントされる	●読み取るときに、ハンドスキャナー上の矢印（⇩）方向と逆に動かした。 ➡ ハンドスキャナー上の矢印（⇩）方向に動かす。	113
	プリントやファクス送信した文書に黒い線が出る	●原稿読取部のガラスが汚れている。 ➡ 汚れをふきとる。	255
	読み取った文書が消える	●親機から外したままのときや停電中に電池が切れると消える。 ➡ 電池が切れる前に、親機に接続してプリントする。	116

故障かなと思ったとき

（子機）

	症　状	原　因　と　対　応	参照ページ
一般	**動作がおかしい**	➡「故障かなと思ったとき」の各症状を見て処置してください。 直らないときは、電池パックを抜き、10秒以上待ってから 電池パックを入れてください。	
一般	**電波が強い場所で、時々アンテナマークが消える**	●子機を増設していると、下記の場合に他の子機のアンテナマークが消えます。 •ワイヤレスリンク使用中　•子機間通話中 •他の子機で通話など操作が終わったあとにも、数秒間消えることがあります。	
充電	**充電台に置いても、充電ランプが点灯しない**	●充電台に正しく置いていない。 ●充電端子が汚れている。➡ 乾いた布でふく。	36 250
充電	**充電しても2、3回通話すると、 ランプが点滅する**	●電池パックの寿命が切れている。 ➡ 交換する。	36
充電	**子機、充電台が温かい**	●異常ではありません。 ➡ 非常に熱いときは、ACアダプターを抜いてお買い上げの販売店へご相談ください。	
電話をかける／受ける	**外線を押しても点灯しない（外にかけられない）**	●電池が切れている。 ➡ 充電する。または電池パックを交換する。	36
電話をかける／受ける	**外線を押したとき、** 接続 できません **が表示される**	●親機から離れすぎている。➡ 親機に近づく。 ●親機の電源コードがつながっていない。 ➡ 親機の電源コードをつなぐ。 ●親機を使用中。 ➡ しばらく待ってかけ直す。	16 30 54
電話をかける／受ける	**電話を受けることはできるが、外にはかけられない**	●親機の電話回線種別が正しく設定されていない。 ➡ 手動で設定する。	32
電話をかける／受ける	**電話を受けられない**	●ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、親機側で「ナンバー・ディスプレイの設定」が「なし」になっている。 ➡ 親機側で、設定を「自動」にする。 ●プリントしている。➡ 親機で電話を受ける。	190
電話をかける／受ける	**呼出音が鳴らない**	●電池が切れている。➡ 充電する。または電池パックを交換する。 ●音量が「切」になっている。 ➡ 音量ボタンを押して大きくする。	36 50
通話中	**相手の声がとぎれたり、雑音が入る**	●親機から離れすぎている。➡ 親機に近づく。 ●親機との間に、コンクリート壁などの障害物がある。 ➡ 場所を移動して通話する。	16
通話中	**無線機などの音が混信する**	●故障ではありません。➡ 場所を移動して通話する。	16
警告音	** ランプが点滅し、「ピッ」音が聞こえる**	●電池がなくなりかけている。 ➡ 続けて通話したいときは、親機へ電話をまわす。 通話後、充電する。	62 36
トランシーバー	**DDIポケット電話機でトランシーバーが使えないのですが？**	➡ お手持ちのDDIポケット電話機の取扱説明書を見て、待受けモードを「トランシーバー」に設定してください。 **●分類の異なる電話機どうしでは、トランシーバーは使えません。** ➡ 同じ分類になっているか、DDIポケット電話機の機種を確認してください。	別冊

（ワイヤレスリンク）

	症　状	原　因　と　対　応	参照ページ
ワイヤレスリンク	**パソコンで通信できない**	●接続やパソコンの設定などがまちがっている。 ➡ 子機の充電台に接続するときは、218ページに記載の接続やパソコンの設定などの確認をしてください。 ➡ 子機の「データポート」に接続して56Kデータ通信をするときは、223ページに記載の接続やパソコンの設定などの確認をしてください。 ●接続して使えない機器を使用している。 ➡ 接続確認済みの情報通信機器のリストを、ファクスで取り出せます。261ページのコード番号6892、「ワイヤレスリンク接続確認済リスト」を取り出す操作を行ってください。 また、下記のホームページでもご覧いただけます。 http://www.kme.panasonic.co.jp/pana/fax/301dl	218 223 261
	増設した feelH"（フィールエッジ）、H"（エッジ）などDDIポケットの電話機でワイヤレスリンクが使えない	● feelH"（フィールエッジ）、H"（エッジ）などDDIポケットの電話機では、ワイヤレスリンクは使用できません。 ➡ 付属の子機または、別売の子機（品番：KX-FKN501D）を使う。	215
	BSデジタルチューナー/デジタルCSチューナーなどの情報通信機器で通信できない	●接続がまちがっていたり、子機を充電台に置いていない。 ➡ 正しく接続する。 ➡ BSデジタルチューナー/デジタルCSチューナーから自動的に通信する場合があります。子機は、通常充電台に置いたままにしておいてください。 ●子機のアンテナマークが3本以上立っていない。 ➡ アンテナマークが3本以上立っている所で使う。 ●情報通信機器によっては、ご使用できない場合があります。 ➡ 接続確認済みの情報通信機器のリストを、ファクスで取り出せます。261ページのコード番号6892、「ワイヤレスリンク接続確認済リスト」を取り出す操作を行ってください。 また、下記のホームページでもご覧いただけます。 http://www.kme.panasonic.co.jp/pana/fax/301dl ●BSデジタルチューナー/デジタルCSチューナーの設定がされていない。 ➡ 電話回線種別の設定を「トーン」にする。 ➡ 「ダイヤルトーンの検出」の設定がある場合は、「検出する」に設定する。	220 220 220 220 220
	通信速度が遅い	●子機の充電台に接続するときの通信速度は、最大26.4kbpsです。56Kデータ通信のときは、プロバイダーからの通信速度は、最大56kbps、プロバイダーへの通信速度は、最大33.6kbpsです。（上記の通信速度は、理論上の最高速度であり、ご利用の電話回線の品質など、回線の接続環境により、低い通信速度で接続します。） ●5mより長い電話機コードで接続している。 ➡ 1m～5m以内のコードで接続する。	216、217 221、222 17、216、220
	通信が切れる	●キャッチホン、キャッチホンディスプレイを利用している。 ➡ 利用をやめる。	17、215

こんな表示が出たら

(親機)

	表示	原因と対応	参照ページ
一般	操作ﾊﾟﾈﾙを 閉めてくだﾞさい　U10	●操作パネルがきちんと閉まっていない。 ➡ きちんと閉める。	27
	記録紙ふたを 閉めてくだﾞさい　U17	●記録紙ふたが開いている。 ➡ 記録紙ふたを後ろに戻す。	28
	記録紙確認　U16 A4用紙を入れてくだﾞさい ↕交互表示 記録紙確認　U16 または入れ直してくだﾞさい	●記録紙が入っていない、または正しく入っていない。 ➡ 正しく入れる。	28
	記録紙づﾞまり　U12 操作ﾊﾟﾈﾙを開けて ↕交互表示 記録紙づﾞまり　U12 紙を取り除いてくだﾞさい	●記録紙が詰まっている。 ➡ **操作パネルを開けて**、詰まった記録紙を取り除いてください。	252
	ﾌｨﾙﾑがﾞなくなりましたU23 交換してくだﾞさい ↕交互表示 ﾌｨﾙﾑがﾞなくなりましたU23 品番:KX-FAN141	●インクフィルムがなくなっている。 ➡ インクフィルムを交換する。 ●インクフィルムが正しく入っていない。 ➡ 正しく入れる。	26
	ｵｰﾊﾞｰﾋｰﾄ　U31	●本体が余分な熱を持っている。 ➡ 熱がさめて、表示が消えるまでしばらく待つ。	86
	ｵﾝﾗｲﾝ通信中	●77セレクティのデータが送られている。 ➡ 通信が終わるまで約5分間待つ。	30
	回線種別を 設定してくだﾞさい	●電話回線種別の自動判定ができない。 ➡ 手動で設定する。	32
	無鳴動設定	●無鳴動受信の設定が「あり」になっている。 ➡ 呼出音を鳴らすには、設定を「なし」にする。	96
コピー/ファクス送信/受信	原稿づﾞまりでﾞす　U13	●原稿が縦800mmより長い。➡ 縦800mm以下にして送る。 ●原稿が詰まっている。➡ 原稿を取り除いて、送り直す。	80 251
	原稿がﾞ残っていますU14	●原稿挿入口に原稿が残っている。 ➡ (ストップ) を押して原稿を排出する。	
	ｽｷｬﾅｰがﾞ外れています ｽｷｬﾅｰを取り外して 入れ直してくだﾞさい	●ハンドスキャナーが半差し、または外れている。 ➡ 正しく入れる。	112
	通信ｴﾗｰ　U40	●回線状況が悪かった。 ●キャッチホンサービスの信号が入った。 ●相手側が受信を中断した。 ●相手側の記録紙がなくなっている。 (以上4項目) ➡ 相手側に確認し、送り直す。 ●海外送信モードの設定が「なし」になっている。➡ 設定を「1回」にして送信する。	82 84
	通信ｴﾗｰ　U40 相手がﾞ話し中でﾞす	●相手が話し中だった。 ➡ しばらく待ってかけ直す。	54
	通信ｴﾗｰ　U40 相手の応答がﾞありません	●相手の応答が無かった。 ➡ しばらく待ってかけ直す。	54

表示		原因と対応	参照ページ
コピー／ファクス送信／受信	通信エラー　H40	●通信エラーが発生した。 ➡ **お買い上げの販売店へご相談ください。**	
	メモリーがいっぱい　U80 録音：残りわずか！ ↕ 交互表示 不要な用件を 消去してください	●メモリー代行受信したファクスや留守番電話の用件録音などでメモリー容量の残りが少なくなり、**用件などを録音できる時間が約3分以内になった。この表示がでると、ファクスは受信できません。** ➡ 記録紙とインクフィルムを入れて、メモリー代行受信しているファクスをプリントする。 ➡ メモリー代行受信しているファクスが不要なときは、ファクスのメモリーを消去する。 **（プリントしないと、ファクスの内容を見ることができません。内容がわかっていて不要なファクスの場合のみ消去することをお勧めします。）** ➡ 留守番電話の用件を再生したあと、不要な用件を消去する。	86 132 102
	メモリーがいっぱい　U80 録音できません ↕ 交互表示 不要な用件を 消去してください	●ファクスや用件録音などでメモリー容量がいっぱいになっている。 ➡ 記録紙とインクフィルムを入れて、メモリーに受信しているファクスをプリントする。 ➡ メモリー代行受信しているファクスが不要なときは、ファクスのメモリーを消去する。 **（プリントしないと、ファクスの内容を見ることができません。内容がわかっていて不要なファクスの場合のみ消去することをお勧めします。）** ➡ 留守番電話の用件を再生したあと、不要な用件を消去する。	86 132 102
留守番電話	録音中停電　U83	●用件録音中に停電になり、録音中の用件が途中で消えている。 ➡ 表示を消すには、（ストップ）を押す。	
登録	登録できません　U71	●暗証番号、リモート受信番号のパスワードが同じ番号である。 ➡ 番号を変えて登録する。	106 132
	電話帳がいっぱいです 登録できません	●電話帳に空きがない。 ➡ 不要な電話番号を消去する。	74
	アドレス帳がいっぱい	●Eメールアドレス帳に空きがない。 ➡ 不要なEメールアドレスを消去する。	168
子機	子機初期化エラー　H82	●子機の登録番号が消えてしまった。 ➡ **お買い上げの販売店へご相談ください。**	
Eメール おたっくす	やり直してください サーバーが話し中でした	●おたっくすサーバーが混み合っていたため、接続できなかった。 （この場合、料金はかからない。）➡ しばらくして、やり直す。	
	Eメール受信待機中	●着信通知サービスの「自動受信モード」を利用の場合、着信通知が行われたときに、おたっくすサーバーが混み合っていると表示される。 ➡ しばらくすると、再び自動受信が行われる。	184

（子機）

表示		原因と対応	参照ページ
登録	電話帳が いっぱいです	●電話帳に空きがない。 ➡ 不要な電話番号を消去する。	74
	アドレス帳が いっぱいです	●Eメールアドレス帳に空きがない。 ➡ 不要なEメールアドレスを消去する。	168

Q&A

（おたっくすEメール）

		質　問	回　答
おたっくすEメール	一般	**おたっくすのメールアドレスあてのEメールを他のパソコンやファクスで受信できますか？**	➡拡張サービスの「自動転送設定」を利用すればできます。 （☞185ページ）
		●毎月の料金はかかりますか？ **●どのような料金がかかりますか？**	➡お申し込み時に登録料として500円（税別）かかります。 月々の基本料金はありません。 ➡通話料と情報料のみかかります。（☞下記）
		●海外へ送る場合は、料金は変わりますか？ **●時間帯や曜日によって料金は変わりますか？** **●A4サイズの原稿を送るのにいくらかかりますか？**	➡料金は、国内、海外を問わず、以下のとおりです。 通話料10円／1分毎、情報料5円／30秒毎（8：00〜23：00） 通話料8.5円／1分毎、情報料5円／30秒毎（23：00〜8：00） （2001年5月現在） ➡料金は、A4サイズ700文字程度の原稿で約30円かかります。
		メールボックス蓄積容量はどのくらいですか？また、それを超えたらどうなりますか？	➡5MB（メガバイト）までのデータは受信できます。 5MB（メガバイト）を超えるデータは受信できません。 （2001年5月現在）
		Eメールはどれくらい保存されますか？	➡未受信のまま1年以上経過したEメールは、消去されます。
		おたっくすEメールが使えなくなったのですが？	➡77セレクティの設定が「なし」になっています。 設定を「あり」にしてください。（☞144ページ） または、77セレクティに登録した電話番号が変更されています。 再登録手続きを行ってください。（☞156ページ）
		おたっくすEメールを利用していて、転居や譲渡、廃棄するときはどうしたらよいですか？	➡転居するときは再登録手続きを行ってください。（☞156ページ） 譲渡、廃棄するときは「本機を使わなくなったとき」 （☞156ページ）の設定を行ってください。
		修理に出したら、おたっくすEメールが使えなくなったのですが？	➡再登録手続きを行ってください。（☞156ページ） Eメールアドレスは変わりません。
		ホームテレホンや構内交換機に接続できますか？	➡本機をホームテレホンや構内交換機に接続したときは、 ご利用になれません。
		自分のEメールアドレスを変更できますか？	➡拡張サービスの「Eメールアドレス変更」を利用すればできます。（☞184ページ） **アドレスを変更しても、登録時に提供されたアドレス** **p××××△△△△@fem.dion.ne.jpは残ります。** このため、登録時のEメールアドレスに送られてきたEメールも受信することができます。
		●Eメールが届いたら、自動的に知らせてくれるようにできますか？（着信通知） **●Eメールが届いたら、自動的に受信するようにできますか？**	➡拡張サービスの「着信通知サービス」を利用すればできます。 （☞184ページ） 1通知当たり10円の利用料が、通常の通話料および情報料に加えてかかります。毎月の固定費用（基本料）は発生しません。
		夜中の着信通知は、呼出音を鳴らさずに受けたいのですが？	➡本機の無鳴動受信の設定（☞96ページ）のご利用を おすすめします。
		受信できないのですが？	**●電源コードが外れています。** ➡ 正しく接続してください。

質　　問			回　　答
おたっくすEメール	一般	**受信したEメールがプリントされないのですが？**	●**記録紙やインクフィルムがなくなっています。** ➡記録紙またはインクフィルムを入れてください。
		（Eメール ランプ）が点滅したままになっているのですが？	●**おたっくすサーバーに未受信のEメールがあります。** ➡Eメールを受信してください。（☞178ページ）
	送信する	**文字Eメールは携帯電話やPHS電話機にも送れますか？**	➡Eメールアドレスを持っている機器に送れます。 （ただし、海外へ送るときなど、相手の機種によっては正しく表示されないこともあります。）
	送信する／受信する	●**Eメールを送ったのに相手に届いていないのですが？** ●**相手はEメールを送ったと言っているが受信していないのですが？**	➡アドレスの間違いや送信経路上のエラーにより送れなかった場合は送信者側にリターンメール（☞下記）で通知しますが、リターンメールも通知できないエラーが発生することもあります。
	受信する	**受信中にエラー終了した場合、そのEメールはどうなりますか？**	➡未受信状態のままです。もう一度受信できます。
	受信する	**下記のようなEメールを受信したのですが？** **（例）** 2001/05/20　19:41　Total　2 Pages From:Mail Delivery Subsystem To:p1234△△△△@fem.dion.ne.jp タイトル:Returned mail: User unknown 送信日時:2001/05/20　17:31 ・User unknown ユーザー名のまちがいです ・Host unknown ドメイン名のまちがいです （☞155ページ）	➡Eメールアドレスをまちがえて存在しないアドレスに送信したときや、送信経路上のエラーにより送信できなかった場合に、送信者側に左記の**リターンメール**が送られてきます。 リターンメールの内容は、通信相手サーバーにより異なります。 ➡通信相手のアドレスをまちがえて送信した場合は、もう一度確認して、再度送信してください。 （まちがえやすい文字の例） •「大文字」と「小文字」 •「O」大文字のオーと「0」数字のゼロ •「I」大文字のアイと「l」小文字のエルと「1」数字のイチ など

Q&A

（ナンバー・ディスプレイ）

		質　　問	回　　答
ナンバー・ディスプレイ	一般	着信メモリー ○ が点灯したままになっているのですが？	➡ナンバー・ディスプレイサービス利用時に電話に出なかったとき赤色点灯します。検索する（☞194ページ）と消灯します。
		●通常より短い呼出音が鳴って電話に出たとき、ザー音が聞こえるのですが？ ●留守番電話の録音ができなかったり、ファクスを自動で受信できないのですが？	➡ナンバー・ディスプレイサービスの設定が「なし」になっていると、左記の現象が起こります。設定を「自動」にしてください。（☞193ページの「お知らせ」）
	電話をかける	相手が電話に出なくても電話番号は通知されますか？	➡ナンバー・ディスプレイサービスを利用している場合、相手が電話に出ないときや留守番電話が応答したときも通知されます。
		「0077」（KDDI）、「0088」（日本テレコム）を利用してかけると電話番号は相手に通知されますか？	➡ナンバー・ディスプレイサービスを利用している場合、今までのかけ方で通知されます。
		モデムダイヤルインサービスを利用してかけた場合、どの電話番号が相手に通知されますか？	➡本機の場合、基本的に主番号が通知されます。モデムダイヤルイン内の任意の1電話番号を通知したい場合は、NTTにお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイで表示された電話番号にかけても相手につながらない。（NTTの「現在使われておりません。」のメッセージが流れる。）	➡通知された相手の番号が**発信専用**として使われている場合、電話をかけてもつながりません。
	電話を受ける	「184」や「186」をダイヤルしたあと、プププ…音が聞こえないのですが？	➡77セレクティを利用すると、聞こえなくなります。（☞192～193ページ）
		本機を構内交換機、ホームテレホンに接続（ファクスアダプターによる接続）しているとき、本機のディスプレイに相手の電話番号は表示されますか？	➡表示されません。
		携帯電話やPHSなどから、かかってきたとき、電話番号は表示されますか？	➡デジタル方式の携帯電話（一部業者除く）やPHSなどから、かかってきた場合は表示されます。
		通常より短い呼出音が鳴って電話に出ても、電話が切れる。（電話をかけることはできる）	➡ナンバー・ディスプレイサービスの設定が「なし」になっていると、左記の現象が起こります。設定を「自動」にしてください。（☞193ページの「お知らせ」）
		相手が（モデム）ダイヤルインサービスを利用している場合、どのように本機のディスプレイに電話番号が表示されますか？	➡以下の2つの場合があります。 •（モデム）ダイヤルイン内で契約している番号のうちの1つが表示されます。 •企業などで（モデム）ダイヤルインサービスを複数の電話回線を使って利用している場合、相手が使った回線によって表示される番号が異なります。
		キャッチホンで割り込んできた通話の電話番号は表示されないのですか？	➡キャッチホン・ディスプレイサービスを契約してください。本機のキャッチホン・ディスプレイの設定を「あり」にしてください。（☞190ページ）

停電のとき

■停電時は、ハンドスキャナーの電池を利用して、親機の受話器を使って電話をかけたり、受けたりすることができます。その他の機能や子機については、停電中は使えません。
ハンドスキャナーの電池がなくなると、使えなくなります。（☞下記）

- 本機で通話中に停電になった場合は、親機・子機ともに通話は切れます。（録音中の用件は途中まで録音されます。）
- **停電しても、本機に登録している内容、応答メッセージ、用件は保存されたままです。**

電話をかける

1. **受話器を取り、ダイヤルする**
2. 相手が出たら **話す**
3. 話が終わったら **受話器を戻す**

電話を受ける

1. 呼出音が鳴ったら **受話器を取る**
2. **話す**
3. 話が終わったら **受話器を戻す**

お知らせ

- スピーカーホンは、使えません。
- 電話帳や再ダイヤルは、使えません。
- 液晶ディスプレイは、表示されません。
- 呼出音は、電源が入っていたときの音量で鳴ります。
  呼出音が「切」のときは、最小の呼出音量で鳴ります。
- ハンドスキャナーの電池が少なくなると、「ピッ」という警告音が鳴ります。

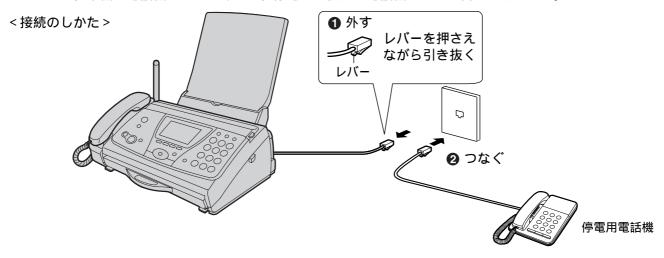
ハンドスキャナーを約10時間充電したあとの使用時間のめやす

- 連続通話時間. . . . . 約90分※
- 待受時間（親機に接続して一度も使わないとき）. . 約10時間※

※使用環境温度が20℃のとき

停電中に親機の電話が使えなくなったとき

停電が長く続くと、親機でも電話が使えなくなり、呼出音も鳴りません。
そのときは、本機の電話機コードを外して、停電でも使える電話機につなぎ替えてください。

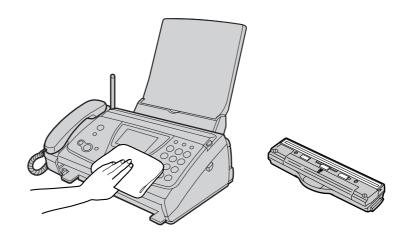
<接続のしかた>

■ナンバー・ディスプレイサービスやモデムダイヤルインサービスを利用しているとき

- 停電中、電話がかかってくると、はじめに通常より短い呼出音が鳴ります。
  その後、通常の呼出音に切り替わってから電話に出てください。

■停電用電話機では77セレクティは動作しません。

お手入れ

親機・ハンドスキャナー

台所用洗剤（中性）を水で薄め、柔らかい布に含ませ、固くしぼってふく

子機・充電台

乾いた布でからぶきする

充電端子は月に一度、
乾いた布でからぶきする

充電端子

充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります。

お願い

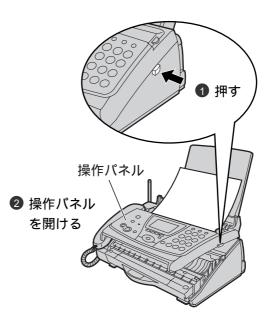
- アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。
  また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。
  （変色、変質の恐れがあります。）

紙が詰まったとき

原稿が詰まったとき

1 ストップ ◎ を押して原稿を排出させる

●詰まった原稿がすべて取り除けた場合は、手順2からの操作は不要です

2 ストップ ◎ を押しても原稿が排出されないときは、操作パネルを開ける

3 詰まった原稿を取り除く

●原稿が取り出せないときは、内側から取り除いてください

4 操作パネルを閉める

●両端を押さえて「カチッ」と音がするまで確実に閉める

●インクフィルム残量表示を設定しているとき
（☞ 128ページ）

➡ インクフィルム交換しましたか はい=＊ いいえ=# が表示されたら、

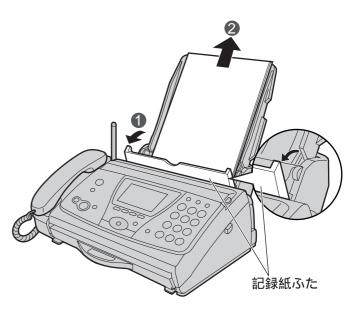
を押す

（インクフィルム残量表示は継続されます。）

紙が詰まったとき

記録紙が詰まったとき

1 記録紙カバーを上へスライドして矢印方向に引き抜く

2 記録紙ふたを手前に引いて、残った記録紙を取り出す

5 操作パネルを閉める

●両端を押さえて、「カチッ」と音がするまで確実に閉める

●インクフィルム残量表示を設定しているとき
（☞ 128ページ）

➡ インクフィルム交換しましたか はい=＊ いいえ=# が表示されたら、

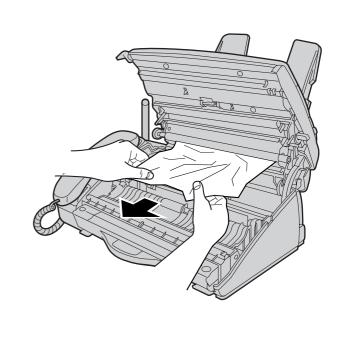
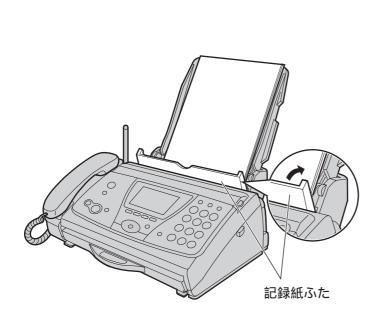
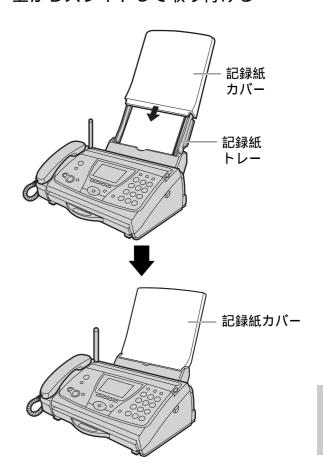
を押す

（インクフィルム残量表示は継続されます。）

6 記録紙（A4サイズ普通紙）をセットする

（サイズや種類の異なる記録紙は使用できません）

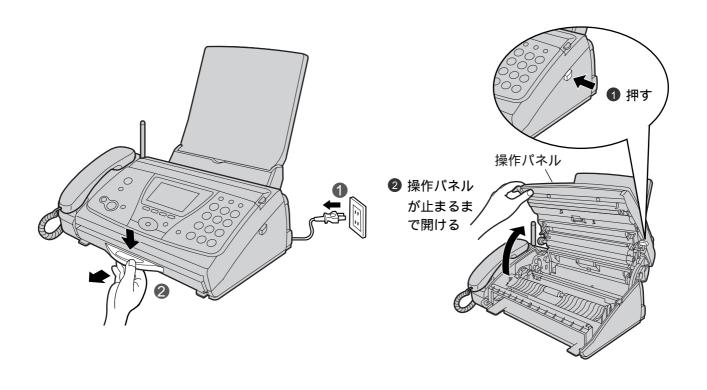
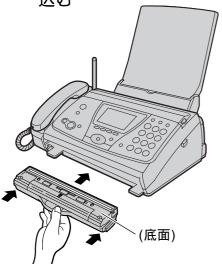
3 操作パネルを開ける

4 内側から詰まった記録紙を取り除く

7 記録紙ふたを元に戻す

8 記録紙カバーを記録紙トレーに上からスライドして取り付ける

記録紙に白や黒い線が入るとき

親機やハンドスキャナーでコピーした記録紙または相手の受信用紙に、白や黒い線が入るとき

ガラスや読み取り部上側の白い部分（☞ 下記）に修正液やインクなどの汚れがつくと白や黒い線の原因になりますので、汚れが取れるまでふいてください。

1　電源コードを抜き、ハンドスキャナーの取っ手を下に押しながら引き出す

2　操作パネルを開ける

5　ハンドスキャナーの底面を上にして、親機に差し込む

●ハンドスキャナーの両端を押して、奥まで入っているかご確認ください

6　電源コードをつなぐ

● スキャナー設定中 表示中は、ハンドスキャナーや電源コードを抜き差ししないでください。

お知らせ

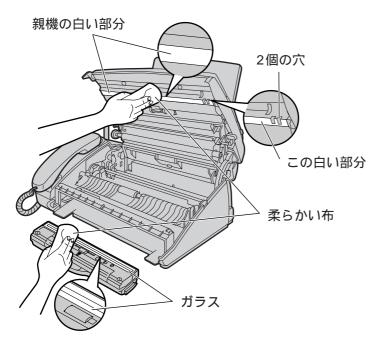
●電源コードを抜いても、登録した内容・応答メッセージ・用件は消えません。

●電源コードを接続し直すと、電話回線種別の設定を自動的に行います。（☞30ページ）設定が終わるまで（約40秒間）使用できません。

3 ハンドスキャナーのガラス・親機の白い部分の汚れをていねいにふき取る

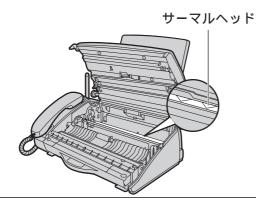
柔らかい布に水で薄めた台所用洗剤（中性）を含ませ、固くしぼったもの。
汚れが取れないときは、ファクス原稿読取部クリーナー（別売品／品番：**KX-AN132**）またはエタノール（消毒用）を含ませたものでふいてください。

お願い

- ガラスには、指でさわらないようご注意ください。
（汚れの原因になります。）

4 操作パネルを閉める

- 両端を押えて「カチッ」と音がするまで確実に閉める

お願い

- **親機およびハンドスキャナーでコピーして、白や黒い線が入っていないことを確認してください。**
  - **親機でコピーした記録紙に白や黒い線が入るとき**
    ➡ 販売店にご相談ください。
- **サーマルヘッド部分には、さわらないようご注意ください。**
（汚れなどにより、白や黒い線の原因になります。）

ガラス部のお手入れについて

- ガラス部の汚れが取れないときは「ファクス原稿読取部クリーナー」（別売品／品番：KX-AN132）があります。

- エタノール（消毒用）は薬局でお求めになれます。
- エタノール（消毒用）は、乾いた布で必ずふき取ってください。（紙づまりの原因になります。）

記録紙に白や黒い線が入るとき

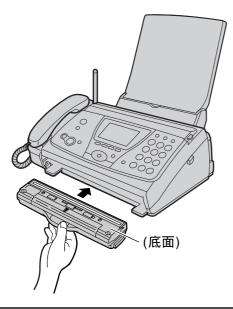
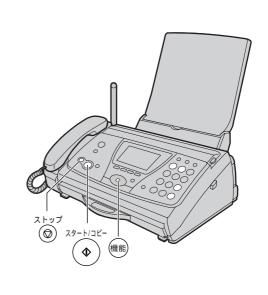
ハンドスキャナーの黒線消去をする

ガラスの汚れをふき取ってもプリントした記録紙や相手の受信用紙に黒い線が入るときは、ハンドスキャナーの「黒線消去」をしてください。

1 ハンドスキャナーを親機に接続する

- ハンドスキャナーの底面を上にして、「ガチャ」と音がするまで親機に差し込む

2 (機能) 押し、(#)(1)(9)(2) 押す

```
スキャナー黒線消去
        [スタート]押す
```

受信した記録紙が汚れるとき

記録紙送りローラーの汚れをふき取ってください。

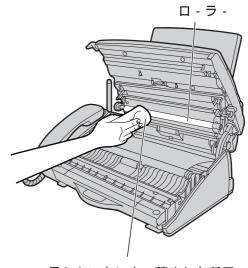
1 電源コードを抜き、操作パネルを開ける

●操作パネルが止まるまで開ける

操作パネル

❶

❷ **押す**

2 ローラーを回しながら、汚れをていねいにふき取る

柔らかい布に水で薄めた台所用洗剤（中性）を含ませ、固くしぼったもの。取れないときは、エタノール（消毒用）を含ませたものでふいてください。

3 スタート/コピー **押す**

```
黒線消去中
```

➡「ピーピーピー、ピーッ」と聞こえる

⬇

```
ｽｷｬﾅｰ黒線消去
        [ｽﾀｰﾄ]押す
```

➡ 黒線消去終了

4 ストップ **押す**

➡日付・時刻の表示に戻る

お願い

- **黒線消去をしたあと、再度読み取りを行って内容をプリントし（☞116ページ）、黒い線が入っていないことを確認してください。**
- 黒線消去をしても黒い線が入ったり、反対にその黒かった部分が白く抜けたりした場合は、販売店にご相談ください。

3 操作パネルを閉め、電源コードをつなぐ

- 両端を押さえて「カチッ」と音がするまで確実に閉める

お願い

サーマルヘッド

- サーマルヘッド部分には、さわらないようご注意ください。
  （汚れなどにより、白や黒い線の原因になります。）
- ｽｷｬﾅｰ設定中 表示中は、ハンドスキャナーや電源コードを抜き差ししないでください。

お知らせ

- 電源コードを抜いても、登録した内容・応答メッセージ・用件は消えません。
- エタノール（消毒用）は薬局でお求めになれます。
- エタノール（消毒用）は、乾いた布で必ずふき取ってください。（紙づまりの原因になります。）
- お手入れした後も受信用紙が汚れるときは、通信相手の問題も考えられます。相手の原稿またはファクスの読み取り部が汚れていないか確認してください。
- 電源コードを接続し直すと、電話回線種別の設定を自動的に行います。（☞ 30ページ）
  設定が終わるまで（約40秒以内）使用できません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルコードレスファクスの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

238～245ページの「故障かなと思ったとき」と「こんな表示が出たら」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	デジタルコードレスファクス
品　番	KX-PW301DL
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により、ファクス送・受信、Eメール送・受信、録音、通話および料金管理などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Eメール おたっくす ファクス情報サービス

フリーダイヤル **0120ー365989（通話料金無料）**におかけ頂きますと、本機について知りたい情報（Q&A）を取り出すことができます。取り出し方法は260～261ページをご参照ください。

■ 受付時間：24時間　年中無休
この内容について予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

- **札幌** 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
- **旭川** 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151
- **帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
- **函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

- **青森** 青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎(017)739-9712
- **秋田** 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600
- **岩手** 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120
- **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
- **山形** 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
- **福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

- **栃木** 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
- **群馬** 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
- **水戸** 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249
- **つくば** つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756
- **埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
- **千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
- **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
- **山梨** 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
- **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
- **新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725

中部地区

- **石川** 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
- **富山** 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
- **福井** 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
- **長野** 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073
- **静岡** 静岡市西島765 ☎(054)287-9000
- **名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
- **岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
- **岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
- **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
- **三重** 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

- **滋賀** 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
- **京都** 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636
- **大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
- **奈良** 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
- **和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
- **兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

- **鳥取** 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
- **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
- **松江** 松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128
- **出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
- **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
- **岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
- **広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
- **山口** 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四国地区

- **香川** 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
- **徳島** 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
- **高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
- **愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

- **福岡** 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
- **佐賀** 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151
- **長崎** 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
- **大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
- **宮崎** 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530
- **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
- **天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
- **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
- **大島** 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

- **沖縄** 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

本機について知りたい情報(Q&A)を取り出す

取り扱い方法やご不明な点などの情報を、ファクスで取り出せます。（1回の操作で4件まで）

フリーダイヤル （通話料金無料）
0120-365989
に電話をかける
➡ **音声案内に従ってダイヤルする**
（ダイヤル回線をご利用の場合は、㊟ボタンを押してからダイヤルしてください。）
➡ **下記のコード番号をダイヤルする**
➡ **ファクスで情報が送られてきます**

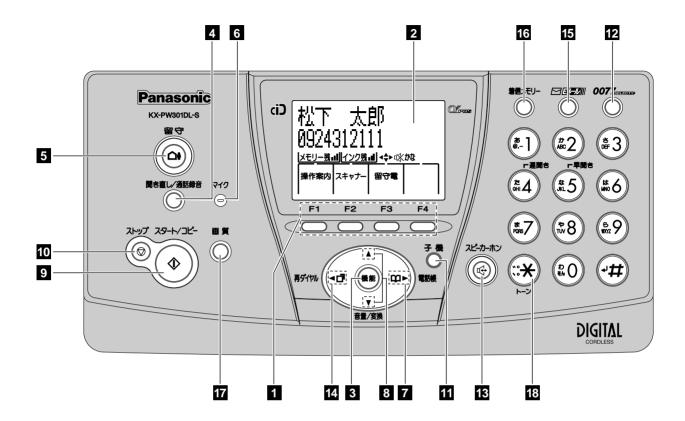
〈お問い合わせコード表〉 **(本機のお問い合わせコード表のコード番号は6800です)**

お問い合わせ内容		コード番号	回答枚数
NTTへの届け出	NTT への連絡は必要ですか？	3101	1
かんたん操作ガイド	かんたん操作ガイド	6801	8
77セレクティ	77セレクティ とはどのようなものですか？	6802	1
	77セレクティ 申し込み、解約方法は？	6803	2
おたっくすEメール	おたっくすEメールの申し込み方法とご利用申込書	6804	2
	おたっくすEメールとはどのようなものですか？	6805	2
発信元電話番号	相手に自分の電話番号を印字したくない	6806	1
	相手に印字される『電話番号』を他の表示に変更できますか？	6807	1
ホームテレホン	接続する方法は？　接続した後の操作方法は？	6810	2
ホームテレホン以外の各種電話機	接続するには？　接続した後の操作方法は？	6815	2
ファクス受信	ファクスが受信できない	6820	2
	受話器を取らずにファクスを自動受信できますか？	6821	1
	呼出音と再呼出音の違いは？	6822	1
	リモート受信(＊9)ができません	6823	2
	ファクス受信専用に設定するには？	6824	1
	コンビニエンスストアのファクスから受信できない	3125	1
	キャッチホンでのファクス受信方法は？	6826	1
	呼出音を鳴らさずにファクスを受信する（無鳴動受信）ときは？	6827	2
応答メッセージ	『ただいま呼び出しております』というメッセージが相手に流れます	6829	1
ファクス送信	ファクスの送信ができない	6830	2
	送信中に表示される電話番号が相手の番号と違う	3131	1
	送信したときの料金はどうなりますか？	3132	1
	送信時、画質のモードを固定することはできますか？	6834	1
ファクス送信・受信	海外と送信・受信できますか？	6835	1
	海外と送信・受信ができません	6839	1
	最近の送受信の結果を知ることはできますか？	6838	1
ファクス送信・コピー	送信・コピーのときに用紙が白く抜けたり黒い線が出る	6836	1
	写真やハガキなどの小さい原稿の場合	3137	1
	原稿が斜めに入っていく	6840	1

お問い合わせ内容		コード番号	回答枚数
電話帳	電話帳に登録するには？	6845	2
	電話帳に登録した内容を消去・変更するとき	6846	2
ハンドスキャナー	送信・プリントのときに用紙に黒い線が出る	6847	1
	原稿内容がうまく読み取れないのですが	6848	1
留守番電話	固定メッセージ（ただいま留守にしております）が消えた	6850	1
	外出先から留守番電話の操作ができません	6851	1
	外出先から一度聞いた用件を再度聞くには？	6852	2
	呼出音とメッセージの間に違う音が鳴るのですが	3152	1
留守用件転送	ポケットベルに転送するには？	6855	1
	携帯電話・自動車電話・PHS電話機に転送できますか？	3156	1
子機	増設できる子機の品番は？	6860	2
	充電について	6861	1
	子機の呼出音が鳴りません	6863	1
	通話中に雑音が入るのですが	3365	2
ドアホン	ドアホンと接続できますか？	6865	2
モデムダイヤルインサービス	モデムダイヤルインサービスとはどのようなものですか？	6866	1
	モデムダイヤルインサービスを利用するには？	6867	2
電源	電源が切れると登録内容は消えてしまいますか？	3168	1
停電	停電時のご使用について	6869	1
記録紙	どのような記録紙を使用するのですか？	6870	1
取扱説明書	取扱説明書をなくしました。もらうことはできますか？	6872	1
内線呼出	内線呼出ができなくなったのですが	6873	1
テレビドアホン	テレビドアホンと接続できますか？	6876	2
Fネット	Fネットとはどのようなものですか？	6880	1
ISDN	ISDNとはどのようなものですか？	3181	1
海外への持ち出し	海外に持って行くことはできますか？	3185	1
相手国（地域）番号	海外へかけるための相手国（地域）番号リスト	3186	1
ナンバー・ディスプレイサービス	ナンバー・ディスプレイサービスとは？	6887	1
	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには？	6888	2
	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときの注意点	6889	1
グループコール	グループコール機能とはどのようなものですか？	6890	1
ワイヤレスリンク	ワイヤレスリンクとは？	6891	1
	ワイヤレスリンク接続確認済リスト	6892	1
各種ご相談窓口	National/Panasonic お客様相談窓口一覧表	3190	2

※受付時間は変更することがありますのでご了承ください。
※この情報サービス内容は、改善・改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
なお、最新のお問い合わせコード表（コード番号6800）を知りたい情報（Q&A）で取り出せます。

English Guide

Control panel

- **1** **Multi-operation** buttons refer to the function displayed on the display panel.
- **2** **Liquid crystal display**
- **3** **Function** button initiates programming.
- **4** **Replay** button plays back recorded messages. / **Record** button records telephone calls.
- **5** **Auto Answer** button
  —light on: answering device activated.
  —light off: used as a regular telephone.
- **6** **Microphone**
- **7** **Store** button stores information (phone numbers, names etc.) into the telephone directory. / **Search** button searches the telephone directory.
- **8** **Search** button searches the directory by pressing the up and down buttons.
  Volume button adjusts ringer, speaker and handset volume by pressing the up and down buttons.
- **9** **Start/Copy** button starts faxing or copying.
- **10** **Stop** button
- **11** **Intercom** button
- **12** **0077 SELECTY** button & indicator accesses 0077 SELECTY services.
- **13** **Speakerphone** button
- **14** **Redial** button
- **15** **E-Mail** button & indicator
- **16** **Call Memory** button & indicator stores the caller ID of incoming calls.
- **17** **Resolution** button selects the resolution when faxing or copying.
- **18** **Tone** button switches to tone dialing.

Answering Device Functions

Recording your own greeting message

1. Press 留守電 F3 (F3).
2. Turn until 自作応答録音 [スタート]押す is displayed.
3. Press スタート/コピー (Start/Copy).
4. Lift the handset.
5. Press スタート/コピー .
6. Record your greeting message up to 16 seconds.
7. a. Press ストップ (Stop).
   b. Replace the handset.
   —The greeting message will be played back automatically.

Erasing your own greeting message

1. Press 留守電 F3 (F3).
2. Turn until 自作応答消去 [スタート]押す is displayed.
3. Press スタート/コピー (Start/Copy).
4. Press ⊛ .

Setting up the answering device

Press 留守 (Auto Answer) until 留守 lights.

Listening to recorded messages

- 留守 (Auto Answer) flashes when new messages have been recorded.

Press 留守 (Auto Answer) or 聞き直し/通話録音 (Replay).

Erasing recorded messages

To erase a specific message

1. Press 消去 F1 (F1) while listening to the message you want to erase.
2. Press ⊛ .

To erase all recorded messages

1. Press 留守電 F3 (F3).
2. Press スタート/コピー (Start/Copy).
3. Press ⊛ .

Operating the Answering Device from a Remote Telephone

Preparation: Programming the remote operation ID

1. Press 機能 (Function).
2. Press # 0 0 6 .
3. Enter any 4-digit number (remote operation ID) except ∗ or #.
4. Press 登録 F4 (F4).
5. Press ストップ (Stop).

Operation: Listening to recorded messages from a remote telephone

Turn on the 留守 (Auto Answer) light before going out.
The remote operation is possible only from a touch tone telephone.

1. Call your unit.
2. Enter the remote operation ID during the greeting message.
3. Press 2 or wait for 4 seconds.
   —Only newly recorded messages will be played back.
   —To listen to all recorded messages, press 4 after the new messages have been played back.

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

仕様

	親　　機	ハンドスキャナー
電　　源	AC100 V（50 Hz/60 Hz）	専用ニッケルカドミウム蓄電池 （品番：KX-FAN38） （DC 3.6 V）（600 mAh）
消費電力	送信時　約　17 W 受信時　約　18 W コピー時 約　20 W 待機時　約　2.1 W 最大時　約 120 W （真っ黒の原稿をコピーするとき）	
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約139×344×262 mm（突起部除く） 約378×344×310 mm（記録紙トレー取付時）	約35×274×81 mm （突起部除く）
質　　量	約3.9 kg（インクフィルム10m装着時）	約340 g（電池パック含む）
使用環境	温度5 ℃～35 ℃　湿度45 %～85 %	
適合回線	電話回線（ダイヤル回線、プッシュ回線） ファクシミリ通信網、新電電（NCC）回線	
直流抵抗値	320 Ω※1	
形　　式	送受信兼用　G3機	
送信原稿サイズ	B4～A5　　最大：幅257 mm × 長さ800 mm	
有効読取幅	252 mm（B4）　208 mm（A4）	最大252 mm（B4）
有効記録幅	202 mm（A4普通紙）	
電送時間※2	約15秒（独自モード）	
伝送速度	9600／7200／4800／2400bps 自動切替（フォールバック機能）	
ハーフトーン	64階調	
走査線密度	主走査：8ドット／mm 副走査：7.7本／mm（小さい）3.85本／mm（ふつう）	主走査：8ドット／mm 副走査：7.7本／mm
読取方式	密着イメージセンサーによる読取	密着イメージセンサーによる読取
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録	
データ圧縮方式	モディファイドハフマン（MH）、独自	
記録紙サイズ	A4カット紙：210 mm × 297 mm	
留守番電話	応答メッセージ：デジタル録音方式　オリジナル（約16秒）、固定内蔵 留守番録音：デジタル録音方式　合計録音時間：最大約18分※5	
メモリー容量	用件録音などの音声情報のみの場合　　：最大約18分※5 受信ファクスなどの画像情報のみの場合　：最大約42枚※3	「文字」ふつうモードの場合 ：約20枚※4 「文字」小さいモードの場合 ：約10枚※4 「写真」モードの場合：A4×約1枚
停電通話時間	約10時間ハンドスキャナーの電池を充電したあとの使用時間 ・連続通話時間　：約90分 ・待機時間（親機に接続して一度も使わないとき）　：約10時間	
ワイヤレス通信	みなし通信：最大26.4 kbps（データ送受信時）	
データ通信	子機／本体：64 kbps　PIAFS Ver 2.0準拠 本体／NTT回線：最大56 kbps（データ受信時） 最大33.6 kbps（データ送信時）	

※1　直流抵抗値が300Ωを超えておりますので、電話をかけることができない場合は、販売店にご相談ください。
※2　電送時間： A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本／mm）で高速モード（9600 bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。
※3　メモリー容量： A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本／mm）で受信したときの枚数です。
※4　メモリー容量： A4サイズ700字程度の原稿を読み取ったときの枚数です。
※5　録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
● A4サイズ700字程度の標準原稿の例を、269ページに掲載しています。

仕様

	子　　機	充　電　台
電　　源	専用ニッケル水素蓄電池（品番：KX-FAN39） （DC 3.6 V） （600 mAh）	ACアダプター（品番：KX-A12N） AC100 V（50 Hz/60 Hz） （DC 9 V）（200 mA）
消費電力		充電時　約2.7 W 待機時　約1.4 W
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約181×44×40 mm（突起部除く） 約196×44×40 mm（アンテナ含む）	約60×80×105 mm
質　　量	約170 g (電池パック含む)	約87 g
使用環境	温度5 ℃～35 ℃　湿度45 %～85 %	
形　　式	デジタルタイプ	
使用時間	連続通話時間：約7時間 トランシーバー連続通話時間：約7時間 待受時間：約700時間 トランシーバー待受時間：約100時間 56Kデータ通信連続可能時間：約6時間 （充電台に置いていない場合）	
充電時間	約6時間	
使用可能距離	約100 m/見通し距離	

転居したとき

転居して、電話がかけられなくなったときや、ファクスが送信できなくなったときは、電話の回線種別（ダイヤル／プッシュ）を設定してください。（☞32ページ「手動で電話の回線種別を設定する」）

転居などで、あなたの電話番号が変わったときは、下記の対応をしてください。
※下記の内容を登録・利用してないときは、操作する必要はありません。

変更する内容	対　　応
あなたの電話番号 （発信元電話番号）	新しい電話番号に変更する （☞42ページ）
77セレクティ	本機の操作を行い、オンライン通信でデータを受け取る （☞144ページ「電話番号が変わったとき」）
おたっくすEメール	再登録手続きをする（無料） （☞156ページ「転居・買い替え・修理・誤って初期化したとき（再登録手続き）」）
モデムダイヤルイン サービス	NTTに電話番号の確認をした上で、モデムダイヤルインの電話番号の設定を変更する （☞210～213ページ「モデムダイヤルインサービスを利用する」） ● **利用をやめるときは** ➡ モデムダイヤルインの設定を「なし」にする （☞212ページ「電話専用とファクス専用の電話番号を登録する」のお知らせ）
ナンバー・ディスプレイ サービス	操作する必要はありませんが、NTTと契約していることを確認してください ● **利用をやめるときは** ➡ 設定を「なし」にする （☞192ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを解約したとき」）

別売品（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。）

価格は2001年8月現在のものです。

品　名	品　番	希望小売価格（税別）
増設子機	KX-FKN501D-S※ (シルバー)	27,000円
インクフィルム（50m）	KX-FAN141	1,400円
普通紙ファクス用記録紙 （A4カット紙1包250枚）	KX-FAN150A4	525円
コードレス子機用電池パック 松下テクニカルサービス(株)扱い	KX-FAN39	2,200円
ハンドスキャナー用電池パック 松下テクニカルサービス(株)扱い	KX-FAN38	1,600円
キャリアシート	KX-A130 (A4用) KX-A131 (B4用)	450円 500円
ファクス原稿読取部クリーナー 松下テクニカルサービス(株)扱い	KX-AN132	500円
PHSデータ通信用PCカード パナソニックコンピュータカンパニー扱い	KX-PH405	21,000円
ドアホンアダプター 松下通信工業(株)扱い	VE-DA10-H	10,000円
無極性ドアホン子機 松下通信工業(株)扱い	VL-568KA-H (グレー) VL-568KA-T (茶) VL-568U	4,600円 4,600円 4,600円

※ 付属の子機と同じ性能、仕様です。

相手国（地域）番号リスト

記載している情報は2001年5月現在のものです。

	相手国（地域）名		番　号
ア	アイルランド	Ireland	353
	アメリカ	U.S.A.	1
	アラブ首長国連邦	U.A.E.	971
	アルゼンチン	Argentina	54
	アンドラ	Andorra	376
	イギリス	U.K.	44
	イスラエル	Israel	972
	イタリア	Italy	39
	イラン	Iran	98
	インド	India	91
	インドネシア	Indonesia	62
	ウクライナ	Ukraine	380
	ウルグアイ	Uruguay	598
	エジプト	Egypt	20
	オーストラリア	Australia	61
	オーストリア	Austria	43
	オマーン	Oman	968
	オランダ	Netherlands	31
カ	カタール	Qatar	974
	カナダ	Canada	1
	韓国	Korea	82
	カンボジア	Cambodia	855
	キプロス	Cyprus	357
	ギリシャ	Greece	30
	グアム	Guam	1-671
	クウェート	Kuwait	965
	ケニア	Kenya	254
	コロンビア	Colombia	57
サ	サイパン	Saipan	1-670
	サウジアラビア	Saudi Arabia	966
	シリア	Syria	963
	シンガポール	Singapore	65
	スイス	Switzerland	41
	スウェーデン	Sweden	46
	スペイン	Spain	34
	スリランカ	Sri Lanka	94
タ	タイ	Thailand	66
	台湾	Taiwan	886
	チェコ	Czech	420
	チュニジア	Tunisia	216
	チリ	Chile	56

	相手国（地域）名		番　号
タ	中国	China	86
	デンマーク	Denmark	45
	ドイツ	Germany	49
	トルコ	Turkey	90
ナ	ナイジェリア	Nigeria	234
	日本	Japan	81
	ニュージーランド	New Zealand	64
	ネパール	Nepal	977
	ノルウェー	Norway	47
ハ	バーレーン	Bahrain	973
	パキスタン	Pakistan	92
	パナマ	Panama	507
	パプア・ニューギニア	Papua New Guinea	675
	ハンガリー	Hungary	36
	バングラデシュ	Bangladesh	880
	フィジー	Fiji	679
	フィリピン	Philippines	63
	フィンランド	Finland	358
	プエルトリコ	Puerto Rico	1
	ブラジル	Brazil	55
	フランス	France	33
	ブルガリア	Bulgaria	359
	ブルネイ	Brunei	673
	ベトナム	Viet Nam	84
	ベネズエラ	Venezuela	58
	ペルー	Peru	51
	ベルギー	Belgium	32
	ポーランド	Poland	48
	ポルトガル	Portugal	351
	香港	Hong Kong	852
マ	マカオ	Macao	853
	マレーシア	Malaysia	60
	ミャンマー	Myanmar	95
	南アフリカ	South Africa	27
	メキシコ	Mexico	52
	モナコ	Monaco	377
ヤ	ヨルダン	Jordan	962
ラ	ラオス	Laos	856
	ルクセンブルク	Luxembourg	352
	レバノン	Lebanon	961
	ロシア連邦	Russian Federation	7

※ 相手国（地域）番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。（詳しくは、下記にお問い合わせください。）

このリストに記載されていない相手国（地域）番号は、下記にお問い合わせください。（通話料金無料）

- KDDI株式会社 ……………………………………………… 局番なしの0057
- NTTコミュニケーションズ ……………………………… 0120-506506
- 日本テレコム株式会社 …………………………………… 0088-41
- ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC株式会社（C＆WIDC）………… 0120-03-0061
- MCI ワールドコム・ジャパン …………………………… 0120-61-0071
- ドイツテレコム・ジャパン ……………………………… 0120-668-666
- フュージョン・コミュニケーションズ ………………… 0037-100

外出先からの留守番電話操作カード

（切り取ってお使いください。）

留守番電話に設定するには

1. 電話をかける。
2. 応答メッセージが聞こえたら、
   暗証番号(4ケタ)を押す。

   →「留守設定をしました」という
   メッセージが聞こえる。
3. 受話器を戻す。

Panasonic

外出先からの
留守番電話操作カード

- 外出先から留守番電話を操作するには、お出かけ前に留守ボタンを点灯させておいてください。
- 留守ボタンを点灯させずに外出した場合、外出先から留守ボタンを点灯させて留守番電話に設定することもできます。
  （左記参照）

留守番電話に設定するには

1. 電話をかける。
2. 応答メッセージが聞こえたら、
   暗証番号(4ケタ)を押す。

   →「留守設定をしました」という
   メッセージが聞こえる。
3. 受話器を戻す。

Panasonic

外出先からの
留守番電話操作カード

- 外出先から留守番電話を操作するには、お出かけ前に留守ボタンを点灯させておいてください。
- 留守ボタンを点灯させずに外出した場合、外出先から留守ボタンを点灯させて留守番電話に設定することもできます。
  （左記参照）

- Ａ４サイズ７００字程度の
  標準原稿の例

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC 18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

操 作 手 順

トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけてください。

1. 電話をかける。
→応答メッセージが聞こえる。

2. 暗証番号(4ケタ)を押す。
□□□□
→用件録音の件数が聞こえる。

3. 4秒以内にリモコン番号をダイヤルボタンで押す
(右記参照)
または、
用件を聞きたいときは、4秒待つ。

● リモコン番号は「ピー」と鳴るまでしっかり押してください。

リモコン番号表

操 作 項 目	リモコン番号
新しい用件を聞く	2
用件を再生中	
• 前の用件に戻る	1
• 次の用件に進む	3
• 遅聞き（ゆっくり）再生をする	4
• 早聞き（早く）再生をする	5
• 再生速度を元に戻す	4または5
• 再生を中止する	#
用件を再生終了後	
• すべての用件を聞き直す	4
• すべての用件を消す	6 → (メッセージ) → 6
用件を転送するように設定する	7
外出先への転送をやめる	9
留守番録音をやめる	0

操 作 手 順

トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけてください。

1. 電話をかける。
→応答メッセージが聞こえる。

2. 暗証番号(4ケタ)を押す。
□□□□
→用件録音の件数が聞こえる。

3. 4秒以内にリモコン番号をダイヤルボタンで押す
(右記参照)
または、
用件を聞きたいときは、4秒待つ。

● リモコン番号は「ピー」と鳴るまでしっかり押してください。

リモコン番号表

操 作 項 目	リモコン番号
新しい用件を聞く	2
用件を再生中	
• 前の用件に戻る	1
• 次の用件に進む	3
• 遅聞き（ゆっくり）再生をする	4
• 早聞き（早く）再生をする	5
• 再生速度を元に戻す	4または5
• 再生を中止する	#
用件を再生終了後	
• すべての用件を聞き直す	4
• すべての用件を消す	6 → (メッセージ) → 6
用件を転送するように設定する	7
外出先への転送をやめる	9
留守番録音をやめる	0

さくいん

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

わ 行

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検 長年ご使用のデジタルコードレスファクスの点検を！

こんな症状はありませんか	● 電源を入れても動かないことがある。 ● こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ● 電源プラグやコードが熱を持っている。 ● 記録紙や送信原稿がたびたびつまる。 ● 時刻表示が大幅にくるうことがある。 ● その他の異常や故障がある。	このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず**販売店に点検**をご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	KX-PW301DL
販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　）　－

おたっくすEメールお客様メモ

お客様のEメールアドレス	p〇〇〇〇〇〇〇〇 @fem.dion.ne.jp	セキュリティID	〇〇〇〇

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
九州松下電器株式会社　テレコム事業部
〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

PFQX1575ZB　WF0501KM1081